ISBN4-8124-0783-4

C0076 ¥2800E

定価 本体2800円+税

9784812407837

1920076028007

仮面ライダー画報

Masked Rider Chronicles

The History of Cyborg Solder's Battle, 1971-2001

仮面の戦士三十年の歩み

竹書房 B Media Books Special

仮面ライダー画報

Masked Rider Chronicles

The History of Cyborg Solder's Battle, 1971-2001

仮面の戦士三十年の歩み

TAKE SHOTS

B.MEDIA BOOKS Special

INTRODUCTION

はじめに

1971年に放映を開始した『仮面ライダー』。

以降、現在まで好評を持って迎えられているシリーズ作品となり、その30年にも及ぶ歴史は、日本におけるスーパーヒーローの歴史にもなっている。

ただ単に強いヒーローではなく、孤独をともなったヒーロー、それが〈仮面ライダー〉である。我々の胸に仮面ライダーが強く残っているのも、異形の仮面に隠されたライダーたちの哀しみ、そして苦しみの中で戦っていく姿があったからなのだ。

そして、もう一つ忘れてならないのが〈怪人〉たちの存在である。ごく身近な団地や住宅街といった風景の中、突如あらわれる奇怪な男たち＝怪人。色鮮やかな装飾にワシのマークのベルト、そしてタイツに覆われた"彼ら"に我々は恐怖した。

これらが、30分という放送時間の中で渾然一体となり、我々をブラウン管の中に釘付けにしたのである。「変身！」のかけ声と共に腰のベルトが発光を合図に開始されるライダーと怪人のバトルに胸躍らせ、過酷な特訓の成果を期待し、"ライダーキック"をはじめとする華麗なる技の威力に驚嘆していたことであろう。

これら『仮面ライダー』が内包した独特のテイストは、いつしかスーパーヒーローを創り出していく上でスタンダードなものとなり、ひいては日本独自のヒーローの定番の一つにもなっていった。そして、「仮面ライダー」シリーズもまた時代に合わせ姿を変えながら、30年もの長きにわたってシリーズを今なお続けている。

本書は、今日においても広がりつつある「仮面ライダー」シリーズを、登場キャラクターの変遷という切り口により、その全貌を紹介していくものである。

最後に長期にわたる「仮面ライダー」シリーズに携わるスタッフ、キャストの方々に敬意を表し、本書をお送りしたいと思う。

それでは、絢爛たる"仮面の世界"へ、いざ！

www.thai-toku.com

——本書を読む前に——

膨大な情報量を持つ本シリーズのまとめ方として、本書では放映されたフィルムに準拠するかたちで編集、執筆しています。さらにフィルムにあらわれない細かい設定やデータなど、放映当時から現在に至るまで発行されている各種児童書籍を参考にさせていただきました。ライダーや怪人について、本文では登場話数、身長(もしくは体長)、体重、鳴き声、声の出演の順で掲載しております。

またそれぞれのキャラクターをより詳しく解説するため、通常の写真以外に映像ソフトより取り込んだ画像や放映当時に発売されていたカードなどといった紙製玩具などを素材として使用させていただきました。特に紙製玩具などについては該当するものにマークを付け、欄外に出典を表記、他のものと区別していることをお断りします。

作品の表記について、多くの作品名が混在する場合、以下のように表記させていただきました。

(『仮面ライダー』→『ライダー』もしくは『第一作』、『仮面ライダー('79)』→『仮面ライダー(新)』もしくは『スカイ』)

また放送局については、放映当時の表記にさせていただきました。(NET→現・テレビ朝日)

※本書中にて、一部現在では不適当と思われる表現が出てきますが、シリーズの歴史的価値を尊重し、そのまま掲載しています。ご了承ください。

各掲載キャラクターやマシンなど、表記上の特徴として以下のように色分けしております。各項目の前についている色で敵・味方など区別できるようにしました。それぞれ以下の通りです。

- ■：主人公〈ライダー〉
- ■：サブキャラクター
- ■：主人公のマシンや他
- ■：敵の組織
- ■：敵の幹部
- ■：敵の怪人
- ■：その他の敵

CONTENTS

仮面ライダー 30年の歴史 ―― 004
ライダーガールズグラフティ ―― 010
ライダーグッズの世界 ―― 014
第1章 ―― 019
仮面ライダー ―― 020
仮面ライダーV3 ―― 054
第2章 ―― 075
仮面ライダーX ―― 076
仮面ライダーアマゾン ―― 092
仮面ライダーストロンガー ―― 104
第3章 ―― 123
仮面ライダー(新) ―― 124
仮面ライダースーパー1 ―― 140
仮面ライダーZX ―― 158
第4章 ―― 169
仮面ライダーBLACK ―― 170
仮面ライダーBLACK RX ―― 186
第5章 ―― 203
真・仮面ライダー～序章～ ―― 204
仮面ライダーZO ―― 208
仮面ライダーJ ―― 214
第6章 ―― 223
仮面ライダークウガ ―― 224
第7章 ―― 241
放映データ ―― 242
索引 ―― 252

COLUMN

"仮面ライダー"誕生!! 018
悪の組織の全貌 053
ゲーム世界の"ライダー" 074
仮面ライダー改造白書 089
ライダーマシン徹底比較 090
"忘れる"おやっさん" 103
漫画世界の"ライダー" 120
ライダースペシャル!! 122
"仮面ライダー"隠ゲ入隠せよ!! 156
強力の仮面ライダーと闘手ッ! 157
[illegible]ライダーWORLD" 166
[illegible]ライダーアクション 168
[illegible]の"ライダー" 185
[illegible]き相棒たち 202
[illegible]部と仮面ライダー 207
アノ人も出ていた! 213
[illegible]で見られた"ライダー" 220
仮面ライダーの音楽世界 221
仮面ライダーSD 222
CMに登場するライダー 223
21世紀の神話 "アギト" 240

仮面ライダー 30年の歴史

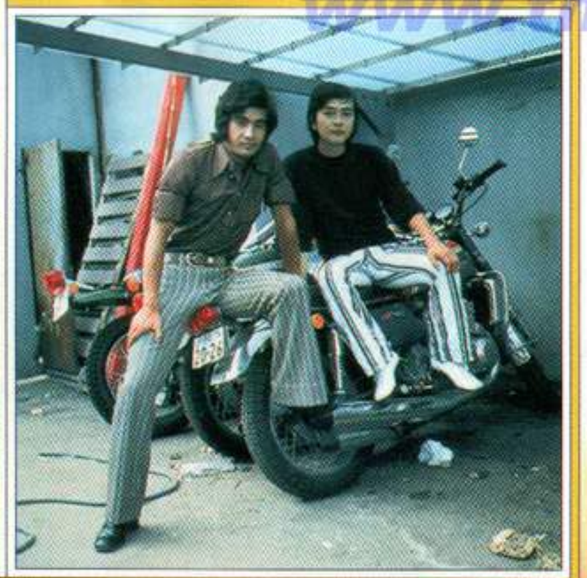
革命的特撮番組『仮面ライダー』。1971年の初登場より、常に日本特撮界をリードしてきた一大シリーズの歩みを振り返る

旧1号

1971年4月『仮面ライダー』。本郷猛は、その類い稀なる運動神経と頭脳を狙われ、秘密結社ショッカーによって改造手術を受けてしまう。だが緑川教授の手引きにより、辛くも脳改造寸前で脱出。人類の敵に対して孤高の戦いを開始する。

ダブルライダー

1972年1月『仮面ライダー』。ゾル大佐打倒も束の間、死神博士が強力怪人と共に襲来。それを追って、本郷ライダーも来日。ここに無敵のダブルライダーが誕生。ショッカーの大いなる脅威となる。



2号

1971年7月『仮面ライダー』。本郷猛はショッカーの別計画を追って海外へ旅立った。代わりに日本の守りに着くのは一文字隼人。本郷に救われ2号ライダーとなる。ショッカー初代幹部ゾル大佐と激戦を展開。

新1号

1972年4月『仮面ライダー』。2号は南米へ。本郷はパワーアップし、再び日本を守る。地獄大使率いるショッカーを壊滅させ、新組織ゲルショッカーに敢然と戦いを挑む。

V3

1973年2月『仮面ライダーV3』。南親と妹をデストロンに惨殺された風見志郎は復讐を誓う。自らも瀕死の重傷を負った時、ダブルライダーによって改造手術を受ける。仮面ライダーV3となり、ドクトルGなど歴代幹部を倒していく。

ライダーマン

1973年12月『仮面ライダーV3』。デストロン科学者結城丈二はヨロイ元帥の奸計で右腕を失う。復讐鬼ライダーマンと化すもV3と出会い平和の戦士に。

時に1971年4月3日。『仮面ライダー』放映。原作はアニメ、コミックでは絶対的な指示のあった石ノ森章太郎氏。『ぼくらマガジン』（講談社刊。のちに『週刊少年マガジン』に移行）ではマンガ連載も開始されていた。氏の原作によるはじめての本格的な実写ヒーロー作品である。

当時は『スペクトルマン』の善戦、『帰ってきたウルトラマン』の登場、怪獣ソフビ人形の人気などで、「第二次怪獣ブーム」の兆しが否が応でも見え始めていた。

そんな中、光線技を使わず、怪奇色が強く、巨大化しないライダーは、明らかに異質な存在であった。当初は、たしかに視聴率的にも振るわなかった。だが、ジャンプを多用した派手なアクション、バイクを駆ることによって生まれるスピーディーな展開、そして、何よりも日常生活に密接した舞台に出現する怪人のリアリティー……。これらは、今まで見たことのない作品として子供たちのハートを着実に掴んでいった。色彩的にもカラフルで、「変身ポーズ」という大見得を切る2号ライダーの登場により、その人気は不動のものとなる。この「第二次怪獣ブーム」が別名「へんしんブーム」と呼ばれる由来でもある。

1972年元旦。さらに、海外に渡っていた1号ライダーの復帰によりダブルライダーが確立される。4月には、新1号ライダーが装いも新たに登場。そして迎える98話最終回。実に2年近くもの長きに渡ったライダー対ショッカーの物語は、一応の幕を閉じるのだった。

だが、時代は新たなライダーを欲していた。1973年。満を持して登場するのは『仮面ライダーV3』である。ダブルライダーに改造され、その力と技を併せ持つ、最強の戦士である。主演の宮内洋氏の熱演もあり、いまだに根強い人気を誇っている。『V3』は、強烈な個性と磨きのかかったアクションで前作以上の人気を誇ることとなる。

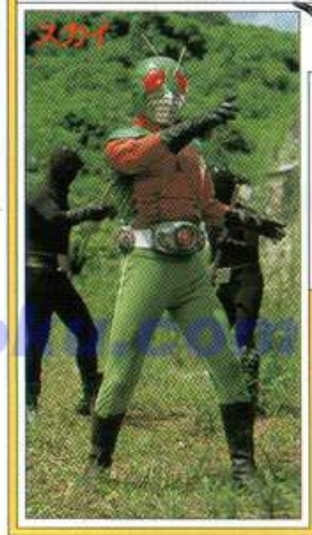
この第二作の成功により、『ライダー』はシリーズ化への道を確実なものとしこの先も歩んでいく。

www.thai-toku.com

1974年2月『仮面ライダーX』。神敬介は、父・啓太郎と共にGOD機関に襲撃される。重傷を負った敬介は、同じく瀕死の父・啓太郎によってカイゾーグ・Xライダーに生まれ変わった。深海作業用の改造人間で、その強靭なパワーで、GODの神話怪人、悪人軍団と激戦を繰り広げる。

1975年5月『仮面ライダーストロンガー』。親友をブラックサタンに殺された城茂は、仇を討つため逆にブラックサタンの改造手術を受け、最強の電気人間ストロンガーとなる。相棒の電波人間タックルと共に敵・奇械人を次々と打ち破る。

1974年10月『仮面ライダーアマゾン』。幼い頃から孤児として南米密林で育った山本大介。彼は、十面鬼率いるゲドンからギギの腕輪を守るべく、日本へ渡る。野獣の如き技で、さらに強力なガランダー帝国にも対抗する。



1979年10月『仮面ライダー(新)』。再び暗躍する悪の軍団ネオショッカー。彼らに改造された筑波洋は、スカイライダーの異名をとる空飛ぶライダー。海外に散る7人ライダーと共に戦う。

1980年10月『仮面ライダースーパー1』。アメリカ国際宇宙開発局で、自ら志願して惑星開発用改造人間となった沖一也。だが、その計画はドグマ王国によって粉砕され、研究員も全滅してしまう。一也は単身、赤心小林拳とファイブハンドで巨悪に挑む。

1982年6月（雑誌連載開始）『仮面ライダーZX』。バダンによって生み出されたパーフェクトサイボーグ・村雨良。ライダーとしての正義に目覚め、姉を惨殺したバダンに反旗を翻す。

1974年2月。装いも新たに登場するのは『仮面ライダーX』である。銀と赤というヒーローカラーに、今までは悪の象徴であった「黒」を配色。さらに『ライドル』という変形武器を駆使。敵も今までの動物型怪人ではなく、神話の神々や怪物をモチーフにした異色の怪人。全く新しいライダー像を確立しようとするスタッフの心意気が感じられる。

同年10月。スタッフの新しい試みはなおも続く。メカ重視のXとは対照的な野生の戦士『仮面ライダーアマゾン』の登場である。獣のような唸りを発し、怪人達を噛みつき、引っ掻き、切り裂いて戦うアマゾン。シリーズ最異色作と呼ばれることも多いが、「異形の者」というライダーの原点に立ち返った野心作でもある。

1975年。今までのシリーズ集大成とも言える『仮面ライダーストロンガー』の登場。悪の根元・大首領と戦うべく、次々と集結するライダー達。かつての主演陣も勢揃いするという一大イベントによってシリーズは一旦の幕を閉じる。

1979年。『スター・ウォーズ』、『宇宙戦艦ヤマト』などのSF作品が内外共でもてはやされていた。過去の数々の名作も再評価され、リメイクされ始めていた。『仮面ライダー』復活はもはや必然であった。

4年の歳月を経て製作された新作は、タイトルもズバリ『仮面ライダー(新)』。原点回帰の前半から後半は歴代ライダーが数多く出演するバラエティに富んだ内容へと変遷した。

翌年1980年は、一転してスペースシャトルの本格実働でわき返るNASAから物語はスタート。惑星開発用改造人間『仮面ライダースーパー1』である。最新メカ・ファイブハンドとカンフー技・少林拳を自在に使う華麗なライダーの誕生であった。常にどん欲に時代性を取り入れていくのもライダーの魅力の一つと言えよう。

1982年には、児童誌の連載という異色の展開を見せた10号ライダー『仮面ライダーZX』が登場。'84年にはTVスペシャル化もされている。

www.thai-toys.com

1987年10月『仮面ライダーBLACK』。暗黒結社ゴルゴムにより次期創世王として改造された南光太郎と秋月信彦。脱走した光太郎は仮面ライダーブラックを名乗り、悪に立ち向かう。その前に立ちはだかるのは、かつての信彦、シャドームーンだった。

1992年2月『真・仮面ライダー 序章』。父・風祭大門の生化学の研究を助けるため被験者となった真。だが、それは死の商人「財団」による戦闘兵士製造実験であった。愛する者を失いながら、シンの戦いは続く。

1988年10月『仮面ライダーBLACK RX』。南光太郎は新たなる敵・侵略者クライシス帝国によって変身能力を奪われる。だが、太陽の力によってRXへと生まれ変わる。ロボ&バイオの変幻能力を持つ。海外で戦っていた10人ライダーと合流、帝国に対して最終決戦を挑む。

www.thai-toku.com

1993年4月『仮面ライダーZO』。ネオ生命体ドラスは究極の存在を目指すべく暗躍を開始。麻生勝・ZOは、長い眠りより覚醒。ドラスの創造主・望月博士の一子、宏少年を守って戦う。

1994年4月『仮面ライダーJ』。かつて恐竜を滅ぼした機械獣母艦フォッグマザーが再び地球に襲来した。その配下に惨殺された青年・瀬川耕司。地球の守護者たる地空人によって、耕司は仮面ライダーJとして再生される。巨大なる敵・フォッグマザーに対して、Jパワーを全開、巨大化を遂げる。

2000年1月『仮面ライダークウガ』。超古代戦士のベルトを身につけ、クウガの力を手に入れた五代雄介。殺人をゲームのように楽しむ未確認生命体グロンギ族。雄介は、一条薫ら協力者と共にグロンギに挑む。

1987年。ライダーは三度TVに戻ってきた。『仮面ライダーBLACK』は、原点である怪奇性を全面に押し出したストーリーで、過去のライダーも一切登場させない独立した世界観を創り出した。それを体現するかのように、従来のライダーの象徴であるマフラーを廃し、全身黒一色、関節部には筋肉がむき出している。また、シャドームーンという敵ライダーとの宿命の対決も斬新であった。

好評の『BLACK』は、翌'88年に続編『仮面ライダーBLACK RX』として生まれ変わる。バイクとスーパーカーを駆り、剣を使い、ロボとバイオの2タイプに変身する。ダークな展開の前作と打って変わって、RXは、従来の東映ヒーローのエッセンスが全て投入されていた。クライマックスには、過去の10人ライダーも参戦。ライダーサーガとしての組み込みにも成功している。

その後、ライダーは、しばらくTVを離れる。1992年には、初のオリジナルビデオ作品『真・仮面ライダー〜序章』が製作される。TVという枠にとらわれず、特殊メイクを多用、ライダーシリーズの一つの目標であった『異形の存在』に到達し得た作品である。翌'93年には、初のオリジナル長編『仮面ライダーZO』が公開される。CGを本格的に駆使し、従来には無かった斬新な映像を創り出すことに成功している。'94年劇場新作『仮面ライダーJ』では、ついにライダーが巨大化する。原点回帰を目指しながら、常にそれを打ち破り続ける。こうした新陳代謝の連続が『仮面ライダー』を常に時代の最先端を走らせるエネルギーの源なのであろう。

そして世紀末2000年。『仮面ライダークウガ』が登場する。幾重にも張り巡らされた伏線と謎が謎を呼ぶストーリー展開。魅力ある多数のキャラクターが織りなす群像劇は、従来には無かった新世代『ライダー』の誕生であった。

親子二世代に支持され、最新作『仮面ライダーアギト』も好調に滑り出している。

新世紀。伝説は終わらない……。

Rider Girls Graffiti

ライダーガールズグラフィティ

人類の平和と自由のために戦う仮面ライダー。その熾烈な戦闘を支える華麗なヒロイン達がいた。人は彼女らを“ライダーガールズ”と呼ぶ。

'70年代初頭。女性の社会進出が活発化しつつあった。特撮ヒーロー作品の中でも『仮面ライダー』は、ここでも先鞭をつけていた。従来は、紅一点のマスコット的存在であったヒロインを物語の軸に有機的に絡めようとしたのである。第一号ヒロイン・緑川ルリ子（右）は、当初は本郷猛を父の仇と恨むという複雑な立場に置かれている。写真は番組開始当初のもののため、ライダーの後ろにいるが、物語が進行するに連れ、守られるだけのヒロインからアクティブなヒロインへと変貌していった。

▶『旧1号編』のヒロイン・ルリ子は、本郷を追いかけヨーロッパへと旅立つ。続く『2号編』では、その友人ひろみ（左上）が、自らの悪友女傑連マリ（左下）、ユリ（下）、ミチを集め、立花レーシングクラブに入会。特にユリは最古参のメンバーとして活躍し続けることになる。この時期は、『プレイガール』の影響もあってか、積極的に物語に参加するヒロインとして彼女たちは描かれている。

「新1号編」からライダーガールズも新たなメンバーを迎えることとなる。以前より幾分かトーンは抑えられたものの、社会の裏側で暗躍するショッカーに対して、ボランティア精神で対抗する立花レーシングチームの少女達を快活に描いている。だが当然、凶悪な怪人達の前では無力に等しい。しかし、その機転で幾度と無くライダーを救ったのも事実である。上の写真のヨッコ（左上）、チョコ（左下）、エミ＆トッコ（右）は、帰国した本郷を助けて活躍する。

◀「新1号編」後期に登場したヨッコとチョコ。後にホームドラマや、リングの上など、幅広い活躍をしたキャストが並んだ。

『V3』のヒロイン珠純子（上）。志郎を暗い続け、陰に日向に支える。その代わり、幾度と無くデストロンに命を奪われそうになってしまう。アマゾンの大親友マサヒコの姉・リツ子（左）。当初はアマゾンを嫌悪するという複雑な役どころであった。

『X』の水城姉妹（上）は、謎の存在としてドラマ序盤を盛り上げた。だが途中より登場のチコ＆マコ（真右上）は典型的なマスコットであった。

『仮面ライダー』におけるライダーガールズは、巻き込まれ型ヒロインが多かった。しかしここより様々な試行錯誤を続けていく。恋愛対象であったり、ミステリアスな存在であったり……。また徐々にだが、主人公ライダー達のパートナーとしての地位を確立していく。特に岬ユリ子は、電波人間タックルに変身し、実戦に本格参加した最強のライダーガールであった。

www.shai-tolly.com

▼は東映出版刊『仮面ライダー豪華カラーアルバム』のものを使用しています。

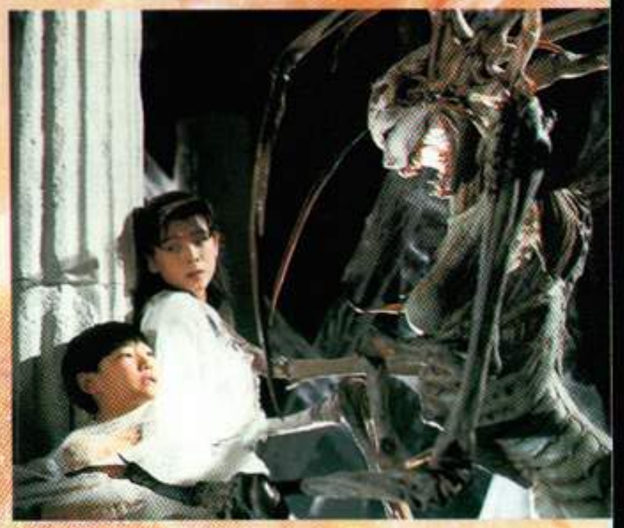
ある意味、極限まで到達したタックルの後、再スタートした『スカイ』では、再びライダーを見守るスタンスに落ち着いた。ただし『スーパー1』の草波ハルミは別格で、番組を通してヒロインの座を守り抜き、ジュニアライダー隊の隊長にまで就任している。また同番組では、敵組織ジンドグマに妖怪王女、魔女参謀という妖艶な女性幹部が登場している。以降、敵ヒロインも定番化していくこととなった。またTVスペシャルという短時間の中だが『ZX』のルミはその存在感を遺憾なく発揮していた。

『スカイ』の叶みどり&野崎ユミ（左）。ともにライダーの生みの親・志度博士が会長を務めるハンググライダークラブの会員。『スーパー1』草波ハルミ（右上）。『ZX』の一条ルミ（右下）。バダンに家族を惨殺された過去を持ち、村雨良に淡い恋心を抱く。

▲『BLACK』の杏子と克美（左）。克美は光太郎の友人であると同時に信彦の恋人である。『RX』の白鳥玲子（右）は光太郎のGFで、カメラマンだったが、後に戦いのため空手を体得。的場雪子（下）は、水を操る超能力を駆使し光太郎を助けた。

スタッフ一新のシリーズでは、ヒロインの置かれる立場は、より重要性を増してきた。『BLACK』の秋月杏子は、兄・信彦の親友、南光太郎に恋心を抱く女子高生。だが、光太郎はブラックサンに、兄はシャドームーンに改造されてしまう。愛する人間同士の狭間で苦悩するドラマチックなヒロインである。『RX』では、クライシス帝国に自ら挑んだ勇気あるライダーガールズが登場。

『真』に登場する明日香愛（左）。敵側のメンバーだが真と結ばれ、新たな生命を宿す。セーラ深町はシンと対立するCIA工作員。『ZO』の玲子（右上）は道場の師範代。『J』の木村加那（右下）は敵フォッグの生け贄にされそうになる。隣は敵・ハチ女人間体。



派手なアクションやSFXも当然のことながら、深いストーリー性を帯びてくるのが、'90年代ライダーの特徴である。それに呼応するようにライダーガールズも変化していく。『ZO』は物語の性格上、ヒロインは顔見せ的なものであったが、『真』と『J』では、ライダーの戦う目的、守るべき対象として存在し、物語の中核に位置している。特に『真』は史上初の本格的なラブシーンも挿入されていたことが話題にもなった。また、話題作『クウガ』では、ただ戦列に加わり、鉄拳を振るうのではなく、各々の専門分野で、可能な限り尽力、サポートするというプロフェッショナルな女性が多数登場する。これからの21世紀には、如何なるライダーガールズが登場するのか？

▲『クウガ』新春SPでは、桜子、みのり、そしておやっさんの姪・奈々の3人が晴れ着姿を披露（上）。左はみのり、奈々。元城恵子（みのりの同僚）が27話で見せた水着姿。

沢渡桜子（左上）は城南大学の考古学研究を通じ、クウガの謎を解明。雄介の妹・みのり（左下）は戦う兄の心の支えになる。榎田ひかり（上）は未確認生命体用兵器の開発に努力した。バラのタトゥの女（右）は、敵、グロンギの中核でありながら、従来の女幹部とは一線を画すキャラクターとして存在感をアピールした。

www.thai-toku.com

ライダーグッズの世界

『仮面ライダー』という作品の人気を物語る数々のアイテム群。ここでは「変身ベルト」等のなりきりグッズを初め、「ポピニカ」や「超合金」等のシリーズ玩具等、なつかしい商品から最新の『アギト』玩具まで代表的なものをご紹介しよう。

TEXT：五十嵐浩司（TARKUS）

■変身ベルト

▶仮面ライダー変身ベルト。記念すべき第1号商品。箱には2号の写真が使われた。'71年。

現在もシリーズが続く“なりきりアイテム”の金字塔。仮面ライダー1号の変身ベルトは、ポピー（現・バンダイ）の看板商品となった。本商品で唄われていた「光る・回る」機能をフォーマットとしつつ、ブラックでは業界初のインターアクティブ機能を、翌年のRXではリモコン機能の搭載等、時代毎に最先端の技術が導入されて来た。また、クウガやアギトのベルトは強化パーツ（別売）の使用により、隠しギミックを作動させることが可能となる。

◀仮面ライダーV3変身ベルト。ホッパー付属。当時は商品を付けた巨大ソフビ人形が店を飾った。'73年。

◀仮面ライダーX変身ベルト。武器を抜くと風車が回転。月アイザーとパーフェクターも付属する。'74年。

◀アマゾンライダー万能ベルト コンドラー。「超エネルギー装置音」を再現。ギギの腕輪も付属。'74年。

◀仮面ライダーストロンガー変身ベルト エレクトラー。電飾は付属の手袋で起動させる。'75年。

◀空飛ぶ!!仮面ライダー 変身ベルト。両脇の重力低減装置レバーには可動ギミックが存在。'79年。

◀仮面ライダースーパー1 変身ベルト。サイクロードが開閉。スーパーハンドも付く。'80年。

◀仮面ライダーBLACKテレビバワーDX変身ベルト。TVに反応してキングストーンが光る！'87年。

▲仮面ライダーBLACK RX アクションコントロール変身ベルト。遠隔操作で光る。'88年。

◀ソニックウエーブ DX変身ベルト。番組同様アマダムが4色に光り、スピーカーから音も響く。'90年。

▲トリプルフラッシュ DX変身ベルト。最も新しい変身ベルト商品。「アギト」の劇中設定に合わせ、3つのタイフーンが光る。'01年。

www.hai-toku.com

■ポピニカシリーズ

ポピー（現バンダイ）の長寿商品である、ダイキャスト製ミニカー・シリーズ。左のミニミニサイクロン号はその前身となった商品で、ポピニカの商標で販売されたのは'73年商品からである。なお、サイクロンからカブトローまでの5台（テントロー除く）は、'78年のリバイバルブーム時に再販されている。

▲ミニミニサイクロン号。発売時期によってマフラーの縫製パターンや、頭部パーツの明度が異なる。'72年6月。

▲ミニミニハリケーン号。発売時期によって人形の素材が異なり、カートンとサックの2種が存在。'73年5月。

▲クルーザー。ポピニカシリーズとして登場。初期は合金製だったホイールが、後期版ではプラに変更。'74年5月。

▲ジャングラー。珍しくミサイルギミックを搭載した商品。フロントカウルの口が開き、中からモリをスプリングで発射する。'75年2月。

▲カブトロー。ストロンガーの愛車。前のジャングラーとは対照的なシンプルな造りで、特に特徴的な機能は備わっていない。'75年6月。

▲テントロー。タックルの愛車。初期は人形のブーツが黒で塗装されていたが、後期版は劇中と同様に黄色に変更される。'75年6月。

▲スカイターボ。ライダーブレイクが再現可能なスタンドが付属する。ホイール部が金と銀の2タイプが存在していた。'79年。

▲Vマシーン。商品は変形後のVジェットを再現。'80年。翌'81年には変形ギミックを搭載したDX版も発売された。

▲ブルーバージョン。実車と同様にフロントカウルはクリアパーツで再現されている。Vマシーンとは別の人形が付属する。'80年。

▲バトルホッパー。この時期展開していたメタルヒーロー商品に併せ、従来よりもサイズを大型化。その再現度は非常に高い。'87年。

▲ロードセクター。天井部のアタックシールドを脱着式で再現。バトルホッパーとは異なる姿勢のブラック人形が付属する。'88年。

▲マシンアクロバッター。BLACK商品を受け継いだサイズで登場。なお、ロボイザーとマックジャバーの発売はなかった。'89年。

▲DXマシンライドロン。左右のドアが開閉し、付属のRX、ロボ、バイオ人形を搭乗させられる。グランチャーも可動。'90年。

▲トライチェイサー2000。後輪にサスペンションを搭載。他にゴウラムとの合体機構を持つDX版が存在している。'00年。

▲DXマシントルネイダー。バイクモードからスライダーモードに完全変形。別売の「装着変身アギト」の搭乗も可能。'01年。

▲DXガードチェイサー。パトライトが開閉。別売の「装着変身G3」と「装着変身G3-X」の搭乗や、付属武器の収納が可能。'01年。

▲DXギルスレイダー。デモンズテールの変形を差し替えで再現。もちろん別売の「装着変身ギルス」を搭乗させることも可能だ。'01年。

◀ポピニカ魂。サイクロン号。高年齢層向けの商品。二重構造によるフル可動の1号が付属する。'00年。

■ソフトビニール人形

◀全長20センチのスタンダード版。この配色の他にも、頭部や胸が青いタイプもあった。'71年。

▲スタンダードとキングサイズはマスクが外せる。

▲ミニサイズ。左の仮面ライダーは100円サイズのもの。右のくも男と死神博士は、「ミニショッカー」の商品である。'71年。

発売時期によって様々なマイナーチェンジが繰り返され、ライダー関連商品の中でも特に把握が困難とされているアイテム。ポピーとバンダイより発売され、そのサイズ毎にキング、スタンダード、ミニの3つに大別される。また、「ミニショッカー」と呼称されるミニソフビのシリーズは、全54種という驚くべきラインナップ数を誇っていた。

◀'78年のキングザウルスシリーズと同規格に変更された新スタンダード。このサイズは現行商品でも健在。

▲ライダーヒーロー。'90年から発売されている長寿シリーズ。今夏から彩色の細かいリニューアル版に変わる。

■アクションドール

最も代表的な商品は、タカラが「変身サイボーグ1号」用の衣装として展開した「変身セット」。仮面ライダー、V3、X、アマゾンの4人がリリースされていた。

▲きせかえ仮面ライダー。ベンダブル人形にジャージの衣装を着せた商品。タイフーンは金属製である。

◀変身サイボーグ1号 変身セット。写真は衣装とスーツが布製のデラックス版。他に衣装がビニール製のスタンダード版も発売された。'72年。

■超合金

ポピニカと並ぶポピー（現バンダイ）の長寿ブランド。本シリーズの中で、初めて商品化された実写のヒーローがアマゾンであった。現在その商標は「装着変身シリーズ」へと受け継がれている。

▲装着変身1 仮面ライダーアギト。可動人形に外装を装着して変身させるシリーズ。'01年。

▶アマゾンライダー。左腕ダイヤルを指定された番号に合わせると、ギギの腕輪が外せる。'75年。

▶ボンボンライダー。「仮面ライダー倶楽部」の商品。他にV3もあった。'87年。

■カルビースナック仮面ライダー

▲仮面ライダー 仮面ライダーV3カード完全図鑑。小社より発売中

オマケのカードが人気となり、爆発的なブームとなったスナック菓子。カードの種類は全546種（バージョン違いを除く）にも及び、「ラッキーカード」が出ると専用カードアルバムがもらえた。当時価格20円。後にV3のスナックも登場（詳細は左の本を読むべし）。なお、近年に発売された復刻版では、カードサイズがトレーディングカードと同じ規格に変更された。

■プラスチックモデル

ライダー関連のプラモ商品は、その大部分がバンダイから発売されている。その第1号商品は、左の「仮面ライダー」（'71年）。サイクロン号に搭乗した1号の商品で、素材にはクリアパーツやゴム等も使われており、今のレベルで見ても秀作のキットである。

◀ベストメカコレクション№12 ブルーバージョン。1/20のディスプレイモデル。

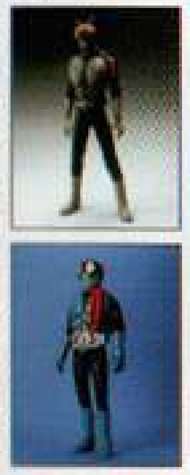
◀仮面ライダーV3。ハリケーン号のゼンマイ走行版（上）。マスコット仮面ライダーX。Xとクルーザーのセット（左）。

▲バトルホッパー。バイクと可動人形のセット。ロードセクターもあった。

■And Now

かつてのライダー世代が送り手になりつつある現在。多くのメーカーから大人も楽しめる高いレベルのグッズが登場している。

▶HG 仮面ライダー。'95年よりスタートした、200円のカプセルトイ・シリーズ。現在第16弾まで登場。バンダイ・ベンダー事業部。



▲海洋堂からリリースされたビッグサイズの可動フィギュア。ソフビキット。細部まで精巧に仕上げられた商品。
▲原作版・仮面ライダー（左）、コミック版1号のガレージキット。コトブキヤ。
▲1/6サイズに様々なギミックを詰めた旧1号とRAH220シリーズの新1・2号（右）。メディコム・トイ（発売元タイムハウス）。

▲ザ・仮面ライダー。食玩とは思えぬ高レベル商品。バンダイ・キャンディトイ事業部。
◀S.I.C. Vol.9 仮面ライダーV3。石森プロ完全監修によるの新解釈のV3。バンダイ。

仮面ライダーグッズとその時代

変身ベルトの元祖であるタカトク版商品は、ギミックのないシンプルなものであった。そこでポピーはタカトクと価格帯を変えることで東映の承認を獲得。高価格ながらもそれに見合ったクオリティの商品を作り、本商品は空前の大ヒットを飛ばすこととなる。また、同社はその後、亜鉛合金やダイヤカット素材など、当時の最先端技術を駆使したポピニカを発表。これら仮面ライダー関連のグッズは、常に「本物らしく」というコンセプトで作られ、いつの世にも子供たちに絶賛され続けてきた。もちろん、その実物を思わせるライブ感を損なうことなく、製品毎に新たな技術を随所に導入。フォーマットを変えないまま新しいものを作り続けてきたことが、今も定番商品の座を守り続けている理由に他ならない。

◀仮面ライダーグッズ大鑑。もっとライダーグッズを知りたい人は、この本を読もう！ グラフィック社。

COLUMN

"仮面ライダー"誕生!! 01

TEXT：早瀬マサト（石森プロ）

来るべき新ヒーローの誕生……を旗印に企画された『仮面ライダー』。そのデザインが決定に至るまで、多くの試行錯誤が繰り返された。原作者・石ノ森章太郎が、最初に提示したデザインは白いヘルメットに白覆面のヒーローで、その名も『クロスファイア』。東映と毎日放送のスタッフにも概ね好評であったというこのデザインは、『月光仮面』の亜流とも言うべきモノであり、原作者自ら撤回を申し入れ白紙に戻された。「インパクトがない、違和感が欲しい」というのがデザインにおける石ノ森の持論であった。そこで提出されたのが70年「週刊少年マガジン3号」に掲載された100ページ読み切り企画として登場した『スカルマン』である。骸骨を模した仮面に身を包んだ異形のピカレスクヒーローは石ノ森の野心作で好評を得ていた。しかし、テレビ局側から「食事の時間帯で骸骨は困る」という意見が出て、断念。そのデザインをあきらめきれない石ノ森が次に描いたのは、骸骨に似た貌（かお）を持つバッタをモチーフとした『ホッパーキング』であった。

だが斬新すぎるデザインは理解され辛かった。しかし、そのデザインがいいと強く推したのが当時5歳になる石ノ森の長男、小野寺丈であった。「"心にズキン"と来るものがなければキャラクターとして成功しない」という石ノ森の考えが実証された瞬間であり、『仮面ライダー』のデザインは完成されたのだ。

その後、次々と新しい「ライダー」が産み出されることとなるのだが、デザインの変遷は、常に歴代ライダーの否定から始まっている。当然、新しいライダーが登場する度、その変わり様に視聴者は驚かされたはずだ。しかし、新しいライダーが誕生するまでに大量のデザインが描かれ、企画当初のものは私たちの思い描くライダー像からは、遠くかけ離れたものが多い。ライダーらしい複眼や触角、クラッシャーまでもがオミットされているのだ。結局は様々な意見から、ライダーらしいデザインへと落ち着くのだが……。石ノ森は常に変化を求めていた。これほどデザインの振り幅が大きな作家も稀であろうし、そのための努力を怠ることはなかった。こうしたことを重ねながら、「仮面ライダー」は、時代と共に"変身"し続けていったのだ。

▲上は、当初提出されていた『スカルマン』のデザイン画。これがもととなって下の『仮面ライダー』に至るのだ。ちなみに小野寺丈氏がこれを選ぶ際、バッタをモチーフにしたもの以外に、獅子の仮面をモチーフしたものがあった。

▲上は『スーパー1』の雛形となったデザイン。早瀬氏の原稿にもあるように、触角がない上、つり目で、口があるというデザインは、それまでのライダーと一線を画している。しかしポイントは胴体のデザイン。この部分が、彼も紛れのない"ライダー"であることを主張している。

www.thai-toku.com

1971~1973

第1章

仮面ライダー

仮面ライダーV3

1971 仮面ライダー

TV
1971年4月3日～1973年2月10日　MBS・NET系
土曜夜7時30分～　全98話（劇場作品2本）

『悪魔くん』『ジャイアントロボ』など、高水準の特撮TV番組を生み出して来た東映が、まったく新たなヒーロー像を創りあげた。実写アクションにオートバイの疾走感を加え、石ノ森章太郎の高いSF性が融合した結果、「バッタの能力を持った改造人間」という画期的な設定が誕生。それが本作『仮面ライダー』である。人類を意のままに操ろうとするショッカーと戦う仮面ライダー。ショッカーの怪人たちによって巻き起こされる恐怖、そして仮面ライダーのスピードとアクションが魅力である。子供達の熱烈な支持を得た本作こそ、現在まで続く長い長い戦いの原点であるのだ。

青年科学者でありモトクロスレーサーでもある本郷猛は、トレーニング中に何者かに襲われた。長い眠りから覚めた本郷は、自分が改造人間にされたことを告げられる。彼を改造したショッカーとは、改造人間によって世界を意のままに操ろうとしている恐るべき集団だ。だが本郷は脳改造の直前、恩師緑川博士によって危機を脱する。この日から本郷は、人間の自由を守りショッカーと戦う仮面ライダーとなった。人類征服の野望を実現しようとするショッカーは、様々な改造人間を送り出して仮面ライダーに戦いを挑む。しかしライダーの活躍によって、ショッカーの日本侵攻作戦はことごとく妨害されていった。
本郷とショッカーとの戦いはますます激化し、遂に本郷はヨーロッパのショッカーを倒すべく独り海外へ旅立った。本郷不在の日本を守るのは一文字隼人。彼はショッカーから本郷に助け出された、もう一人の仮面ライダーである。
ライダー手強しと見たショッカーは、中近東支部で恐れられた大幹部ゾル大佐を日本に派遣した。だが、一文字はFBI特命捜査官・滝や立花藤兵衛などの協力もあり全ての怪人に打ち勝った。倒されたゾル大佐の後任として登場する大幹部は怪人作りの名人・死神博士。一文字は海外から帰ってきた本郷と共にこれを迎え撃った。そして、南米に渡った死神博士を追うように一文字が旅立ち、ふたたび本郷が日本の守りにつく事になった。彼の好敵手として立ちはだかる大幹部は、東南アジアで猛威を振るっていた地獄大使。しかし仮面ライダーは、不屈の闘志で数々の強敵を打ち破った。
ショッカー首領は、より強大な組織を作るためにショッカー軍団を放棄、新たにゲルダム団と併合してゲルショッカーを結成した。より強力で卑劣な大幹部ブラック将軍の率いる怪人に苦戦しながらも、本郷、一文字のダブルライダーは激闘を繰り広げる。やがてゲルショッカーは最後の大攻勢を開始。遂に、最終決戦の時は近づいていた……。

▲改造された悲しみを仮面に隠して、本郷猛は孤独な戦いに臨む。ファイトみなぎるポーズに彼の決意がのぞく。

www.thai-tokui.com

■仮面ライダー1号

改造人間・本郷猛が変身した姿である。バッタの能力を備えており、跳躍力、腕力、破壊力は常人の十数倍となっている。特に跳躍力は、初測定の際には垂直距離15m30cm、幅48m70cmを記録。この超能力の源はベルトの中心にある風車である。風力がダイナモを回し、エネルギーが蓄積し、それが本郷の改造された筋肉に通じるのだ。その能力は、訓練すればまだまだ伸びるという。また、本郷本来の運動神経を活かし、剣技や棒術にも優れている。180cm／70kg

▲青空に輝く緑の仮面。紅く大きな複眼はCアイと呼ばれ、赤外線による暗視機能がある。顔の中心にあるOシグナルは危険探知機。聴力は4キロ先の音を聞く事が可能だ。

■必殺技全リスト

仮面ライダーの技は、ライダーキックやライダーチョップだけではない。戦闘員を一撃で倒すライダーパンチや、3話でさそり男のとどめとなったライダーシザース、そして10話でコブラ男を葬ったライダーがえしなどがある。ライダーシザースは足で敵の首を挟み、岩肌に叩きつける技。ライダーがえしはライダー投げのバリエーションで、敵の突進力を利用して投げ飛ばす。戦闘意欲を燃やし、かつ敵の威嚇でもあるポーズは、ライダーファイトと呼ばれている。ライダーファイトには、構えのみの簡略形もある。特訓で電光ライダーキックを編み出したように、新技は常に開発されている。

■ライダーキック

仮面ライダー最大の必殺技で、蜘蛛男との初戦で決め技となった。人工筋肉によるライダージャンプから繰り出される。

■ライダー投げ

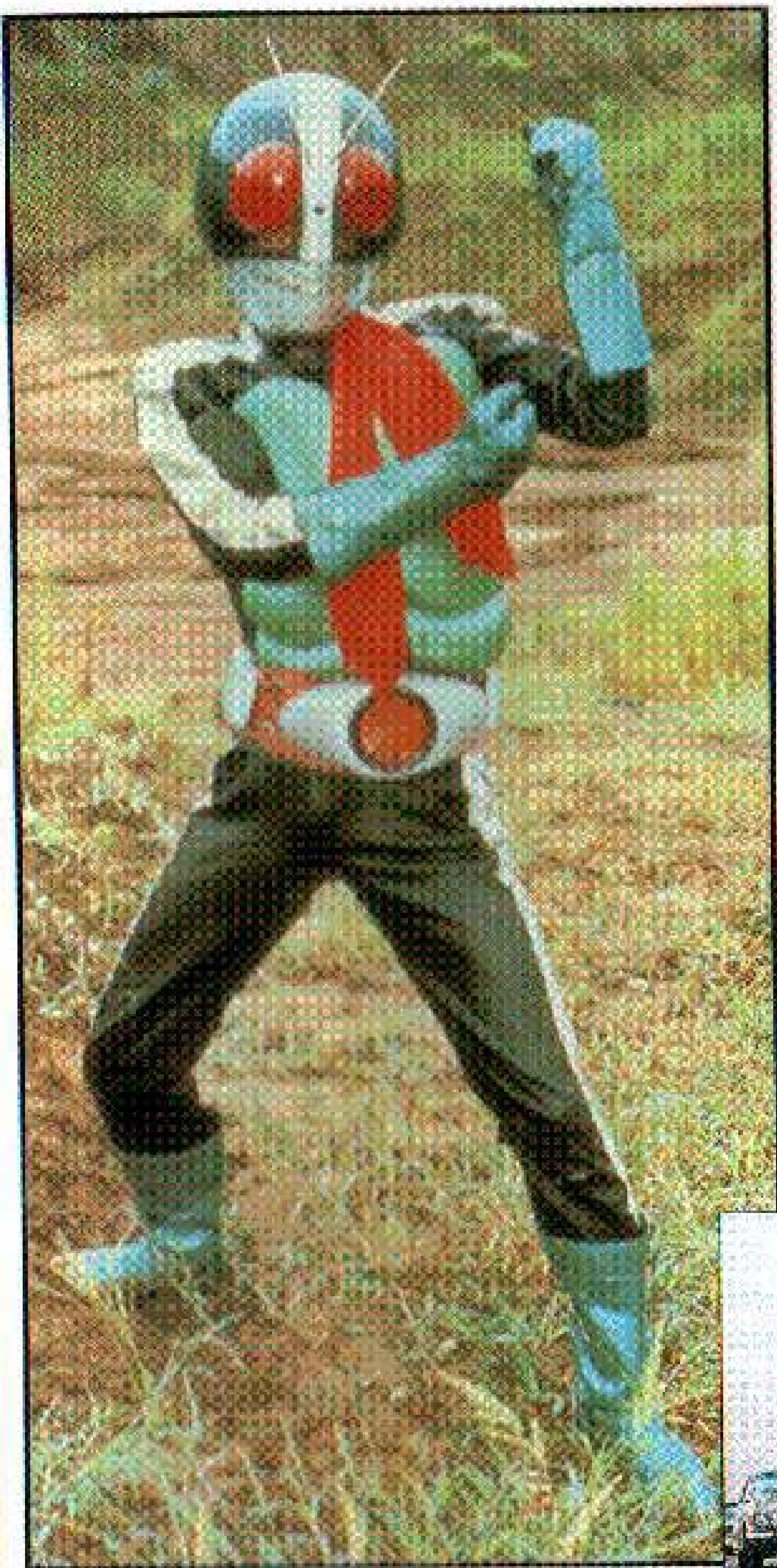
2話において、蝙蝠男を葬った投げ技。怪人を抱きかかえて空中にジャンプ。そこから地面へと真っ逆様に投げ飛ばした。

■ライダーチョップ

直径10センチの鉄棒を叩き折る威力を持つ手刀で、戦闘員を打ち倒す。7話では死神カメレオンへのとどめに使用。

■電光ライダーキック

特訓を重ねたライダーが、ライダーキックのエネルギーを槍にして編み出した。トカゲロンの必殺シュートを破り、見事勝利した。



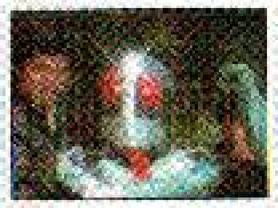
■仮面ライダー2号

ショッカーの別計画を追って海外へ旅立った本郷猛＝仮面ライダー1号に代わって、日本を守る使命を帯びた一文字隼人が変身。もとは、ショッカーが仮面ライダーを倒す為に作り上げた改造人間であったが、脳改造直前に本郷ライダーに助け出された。能力は本郷ライダーとほぼ同等だが、格闘技に秀でた一文字の特性が強く出ている。172cm／65kg

■ライダーキック
2号ライダーの決め技も、1号同様ライダーキックである。35mを跳ぶジャンプ力でこれを放つ。

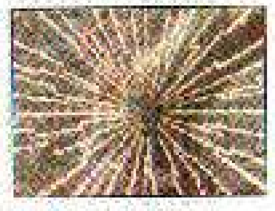
■ライダーパンチ
戦闘員を粉砕する。38話ではジャンプしてパンチを放ち、強敵に勝利する決め技となった。

■ライダー卍キック
アリガバリに倒されたライダーが、滝との特訓の末生み出した。ひねりを加えた体が卍に見える。



■ライダーファイト
ライダーの戦意を高めるファイティングポーズ。構えのみの場合は、ライダーパワーと呼ぶ。

■ライダーがえし
1号の技と威力は同等であると考えられる。27話ではこの技によって再生サラセニアンを倒した。



■放電攻撃
38話ではエイキングの放つ高圧電流を浴び、それを放電させた。40話でもヒルゲリラを倒した。

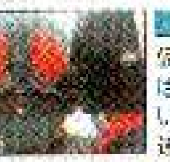
■その他の必殺技
ライダージャンプやライダーチョップなどの特殊能力は、基本的には1号ライダーと変わりはない。しかし1号と同様、絶え間ぬ鍛錬によって日々新たな技を開発している。ハエ男を倒したライダー回転キックやナメクジラに勝利したライダー二段がえしなどが2号ライダーの新たな技である。

www.thai-toku.com

▲戦う仮面ライダー2号。体に銀色の線が入り、マスクの色彩が鮮やかになった。

■ダブルライダー（1号・2号）

スイスから派遣された新たなショッカー日本支部指揮官・死神博士と強力怪人スノーマンを追って、仮面ライダー第1号・本郷猛が日本に帰って来た。激化するショッカーとの戦いに対抗するべく、力を合わせる2人のライダー。息の合った攻撃に敵は恐れをなす。



■テレパシー
仮面ライダー同士は、どんなに離れていてもテレパシーで通じ合っているのだ。

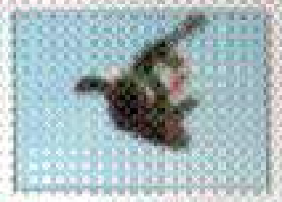
■ライダーがえし
イソギンチャックを痛めつけた連携攻撃。1人で行なう時より数倍の破壊力を有する。

■ライダー車輪
隣の腕を振るイソギンチャックに接近戦を挑む為、相体腕の連携で高速回転して相手に飛び込む荒技だ。

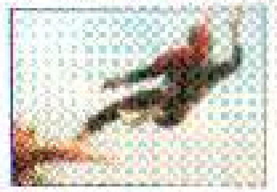
■その他の必殺技
仮面ライダーは協力して戦うと2倍以上の力を発揮する。空中で怪人を衝突させるライダーハンマーキック、2人同時に放つライダーダブルパンチなどの連携技は無敵だ。

■ライダーダブルキック
二人同時にキックを放つ、ダブルライダー最強の技。その破壊力は凄まじく、どんな怪人でも逃れることは出来なかった。

▲マスクが明るい緑に、眼が銀色に、そして腕や足に二本線が入った新1号。パワーアップ後は25mのジャンプ力を誇る。



■ライダーキック
多くの敵を倒したライダーキックも、次第に強くなって行く怪人たちには通用しない事もあった。



■ライダー反転キック
ビルの壁などを蹴りつけ、その反動を使って加速するキック技。ゴキブリ男を倒し、人間に戻した。

■ライダーニーブロック
怪人を空に投げ飛ばし、それを目がけて自らもジャンプ、強烈な膝蹴りを背面に喰らわせる。

■ライダーきりもみシュート
敵を空中に投げ、高速回転させて真空を作り出し、地上に激突させる。イカデビルなどを倒した。

■ライダーヘッドクラッシャー
敵の頭を両足で挟みこみ、回転しながら地面に叩きつける。ジャガーマンや毒トカゲ男に使用した。

■必殺技全リスト
ライダー背面ジャンプ（64話）、ライダーパワー（50話）、ライダークラッシャー（60話）、ライダーハンマー（60話）、ライダー稲妻キック（62話）、スクリューキック（69話）、ライダーニーブロック（71話）、ライダードロップキック（74話）、ライダースクリューブロック（75話）、ライダースクリューキック（77話）、ライダースイング（82話）、ライダーポイントキック（84話）、ライダー月面キック（89話）、ライダーハンマーキック（91話）、ライダースイング（82話）、ライダーフライングチョップ（87話）、ライダーローリング（劇中未登場）

■仮面ライダー新1号

再び日本の守りについた仮面ライダー1号は、鮮やかな外観に変化していた。これには自己鍛錬の結果パワーアップしたという説と、ショッカーにわざと捕まり強化改造を受けたのち脱出したという説があるが、真相は定かではない。格段のレベルアップを成しえた1号は、数々の必殺技で多くの強敵を倒し、"技の1号"と呼ばれ敵から恐れられるようになった。

■ダブルライダー（新1号・新2号）

[illegible]・暮浦に海底基地を建設しようとするショッカーの計画を粉砕すべく、ライダー2号が日本に帰って来た。その後2号は、6人のショッカーライダーと[illegible]ブラック将軍との最終決戦という大決戦の前には必ず日本に帰って来ている。ダブルライダーとゲルショッカー首領との最終[illegible]に迫っていた。

■仮面ライダー新2号
怪人モスキラスを追って南米から帰国したライダー2号は1号同様パワーアップを遂げており、手袋とブーツが赤くなり、マスクの色も明るくなった。パワフルな戦いから、"力の2号"と呼ばれるようにもなった。

■ライダーダブルキック
いくら強化されたゲルショッカー怪人といえども、ダブルライダー最大の技には叶わなかった。

■ヘッドクラッシャー
ゲルショッカー基地の閉じられたドアを破った技。肩を組んで、頭からドアに突進して打ち破る。

■ライダー投げ
再生ムカデタイガーに放った。二人がかりで敵を挟んで、空中高く放り投げる豪快な技。

■その他の必殺技
ライダーそれぞれがパワーアップしているため、ダブルパンチ、ダブルチョップも破壊力が増した。[illegible]み出したライダー車輪は、6人のニセライダーを倒した。

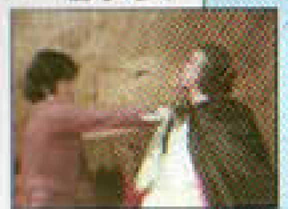
■本郷　猛

城南大学生化学研究所（1話のみ城北大学生化学研究室）きっての秀才であり、モトクロスライダーとしても超一流の青年科学者だったが、ショッカーに捕らえられ、改造人間にされてしまった。仮面ライダーとしてショッカーと戦い、いつか普通の人間に戻れる日が来る事を願っている。

▶モトクロス選手権で多くのトロフィーを奪う腕前。GPレースでの優勝が、本郷とトレーナーである立花藤兵衛の夢だ。

◀知能指数600ともいわれる優秀な頭脳を持つ本郷は、城南大学の研究所でもその才能を発揮しているのだ。

▲意識を失っていた一週間、本郷猛はショッカーによって肉体を改造されていた。高らかに語るショッカー首領の声に戦慄する本郷。



▲変装術にも長けており、劇場版1作目では大道寺博士そっくりに化けた。その技術は、さしもの死神博士をも欺いた程である。

◀奇怪な蜂女によってルリ子を人質を取られた本郷は、逆に捕われの身となってしまった。しかし本郷の不屈の闘志は、絶体絶命の危機であっても決してついえる事はないのである。脱出なるか？

▶海外から再び日本に帰って来た際に乗っていたオートバイ。本郷の変身と共に、バイクもサイクロンへ変身する。レースで鍛えた本郷のバイクテクニックは、戦闘員を軽く蹴散らす腕前だ。

◀ライダー最大の弱点・変身の瞬間を襲われた本郷はポーズを取ったままベルトを冷凍され、変身はおろか身動きが出来ない。

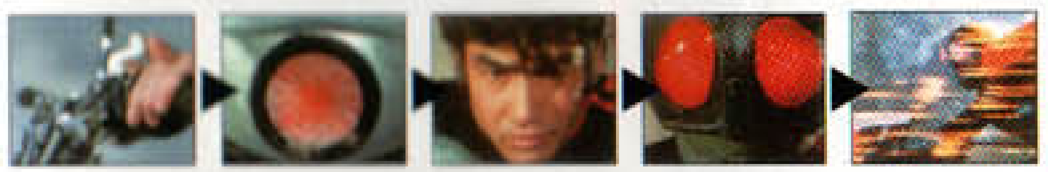
▲初期の本郷は、背広姿にネクタイがトレードマークであった。ちなみに、バイクに乗る際にはヘルメットを着けていない。

▲再び日本の守りについた際に着用していたファッション。知的なイメージのあった以前よりも活動的なスタイルとなった。

▲夏場は爽やかな白を基調とした服装。地獄大使率いる怪人達と戦っている頃であり、やがてショッカーは壊滅を迎える。

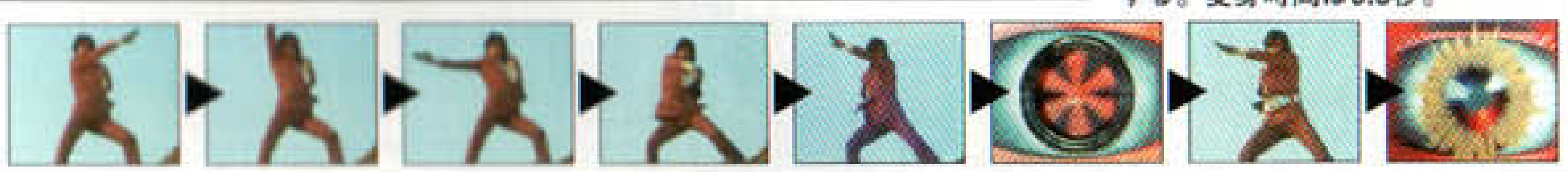
▲ゲルショッカーと激しい戦いを繰り広げている頃の黒い皮ジャン姿。本郷の頼れるヒーロー像を確立したファッションだ。

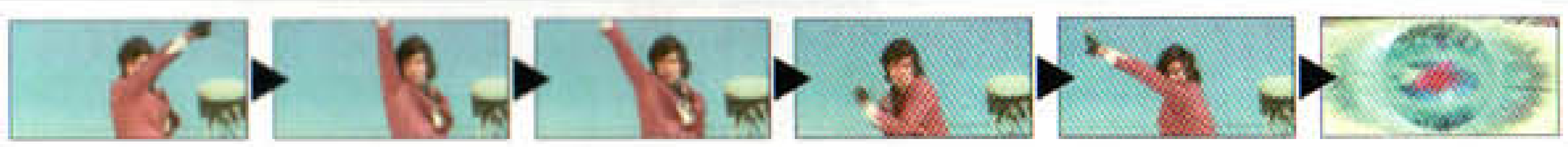
本郷猛がバイクのスイッチを入れるとサイクロンの変型が始まる。同時にベルトの風車が風圧を受け、仮面ライダーに変身するのだ。



ライダー変身！

本郷は劇1で変身ポーズを初披露（掛け声は「変身！」）。「ライダー、変身！」という掛け声は53話からである。ポーズを取ると変身スイッチが入り、ベルトの風車が回転して変身する。変身時間は0.5秒。





■一文字隼人

仮面ライダー２号に変身する青年。職業はフリーカメラマン。ただし女性は撮らない主義。スポーツ万能で、特に柔道六段、空手五段という実力をショッカーに狙われた。明るく陽気な面と熱血漢の面を合わせ持っている。

▲立花オートコーナーを見つめる謎の男……。初登場の一文字は、サングラスで素顔を隠したミステリアスな雰囲気だった。

◀ショッカーにさらわれ、己の意思とは無関係に肉体を改造される一文字。怒りと恐怖で絶叫するが、動きを封じられてどうする事も出来ない。

▲強力怪人キノコモルグによって動きを封じられ、今まさに回転ノコギリの餌食にされようとしている一文字。脱出なるか？

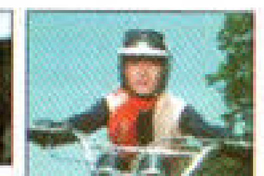
▶改造人間にされた悲しみは胸にしまい、

▲腰に付けられたままのベルトを見るたび、忌わしい改造の記憶が蘇る。しかし一文字はその苦悩を明るい笑顔で隠すのだ。

変身！

ライダーファイトを模したポーズを取ると、ベルトのシャッターが開く。続いてジャンプする事でベルトの風車に風圧を得て、変身が完了する。

▶カメラマン一文字は、14話では小型カメラを持ち歩き、16話ではプロレス会場で草薙昇を取材した。52話では旅立つ前に、本郷に愛用のカメラを託した。



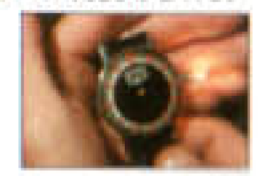
▲初期のファッションは未来的でヒーロー然としたものであった。変身の際、上着は脱げてしまうようである。

▲紺のジャケットは中盤のファッションで、後に茶色ジャケットも着用。帽子姿が多いのも特徴である。

◀互いの危機を救う為、世界のどこに居ても駆けつける二人ライダー。

▲◀ライダーの変身と同時に、サイクロンへと変型する一文字のバイク。時期によって、数タイプのバリエーションが見うけられる。

◀激しいゲルショッカーとの戦いもクライマックス。戦いに臨む本郷と一文字は、敵を前にして同時に変身する。



▲本郷と一文字が付けている腕時計には互いに非常用の発信装置が組み込まれている。他にはトランシーバー等でも連絡を取り合った。

改造人間・本郷猛と一文字隼人は、広い世界にただ二人だけの存在である。孤独を分かち合い、共に戦う二人のライダーに、安らぎのひとときが訪れるのはいつの日であろうか。

サイクロン

仮面ライダーの乗る高性能オートバイ。本郷猛が普段乗るバイクが、クラッチ横のレバーを入れる事でサイクロンに変型する。二百馬力のジェットエンジンを搭載し、最高時速は400km/h。サイクロン号と呼ばれる事もある。

◀サイクロンは緑川博士が設計、ショッカー科学陣が製作したと考えられる。しかし、前と後に描かれたマークは立花レーシングチームのエンブレムである。

▲天空高くジャンプするサイクロン号。ひと飛び30mのジャンプ力を誇り、本郷の空中変身にも使用されるのだ。

▲本郷猛の乗る、変型前のサイクロン。小回りが利くので、変型を解き、このまま仮面ライダーが乗る事もある。

▲強力怪人ゲバコンドルを粉砕した、サイクロンによる体当たり攻撃。サイクロンのジャンプ力を活かした豪快な技だ。

▲サイクロンは、本郷、または一文字が遠隔操作して走行する事が出来る。立花藤兵衛を仮面ライダーの元へと引き寄せた。

▶サイクロンはライダーの戦いを支える頼もしき相棒だ。地獄サンダーの作るあり地獄に捕まったライダーは、ベルトのスイッチでサイクロンを遠隔操作してワイヤーロープを射出、ピンチを脱した事もあった。

◀ライダー2号の乗るサイクロンは、ヨーロッパに渡ったライダー1号からそのまま譲り受けたもので、戦闘時には変わらぬ活躍を見せる。

▶サイクロンは、特殊タイヤの働きによって垂直なビルの壁でも難なく昇る事が可能である。またビルからビルへとジャンプする事もたやすい。他には、海中に潜行する能力を活かして、海底のショッカー基地に突入するという活躍も披露した。

パワーアップしたライダー1号が再び日本の守りに付いた。いわゆる改造サイクロンは画面上、形状の細部に違いが認められるが、設定上は同一の車体。逐次、改良がなされた。ジャガーマンやサイギャング戦などで、ショッカーの殺人ライダー部隊と戦う際にも、ライダー1号は見事なマシンさばきでこれを迎え撃ったのだ。

▲数千度の高熱に耐えられるという、驚くべき耐久性を誇るサイクロン。ショッカーの火炎放射部隊の攻撃にもまったく傷つく様子のないスーパーマシンだ。

新サイクロン

立花藤兵衛が設計・開発したニューモデルマシン。最高時速は500km/h、さらに水上を120km/hのスピードで走行、そしてジャンプ力は50mというように、通常のサイクロンの性能をはるかに上回っているスーパーバイクだ。68話で初登場した。

▲ニューマシンの完成を祝い、乾杯する本郷、滝、藤兵衛。彼らの夢はショッカー壊滅とグランプリを制するマシンを作る事だ。

◀1号の新サイクロンと、2号のサイクロン。南紀を疾走する2大マシンは悪を追い詰める。

◀新2号もグルショッカーとの終盤戦では、新サイクロンに乗るようになった。

▲新サイクロンによる体あたり攻撃。イノカブトンを倒した地上攻撃と、ガニコウモルを撃破した空中攻撃がある。

▲カウルの両側からサイクロンカッターという羽根が飛び出て、サイクロンジャンプと呼ばれる滑空を行なう事が出来る。

▲新サイクロンは、時速300kmの状態で緊急ブレーキをかける際に、後部からパラシュートが開くようになっている。

www.thai-toku.com

▶本郷のトレーナーとして苦労を共にした藤兵衛は、仮面ライダーとなった本郷にも協力を惜しまない。ライダーの能力調査の他、必殺技を生み出す特訓にも手を貸した。

◀ショッカーライダー6人に対抗する為、ダブルライダーを特訓する。藤兵衛を中心に高速で走りジャンプ。敵の平衡感覚を無くして自滅させる必殺技を編み出す。

▼やむなくショッカーのトレーナーになったこともあった。イカデビルに的確なアドバイスをする。

▼ゲルショッカーと刺し違え、行方不明となったライダー。藤兵衛は一人、ライダーの帰還を信じる。

立花藤兵衛

スナック「アミーゴ」のマスターで、本郷猛のトレーナー。かつては自分もオートレーサーであり、今は本郷に自分の夢を懸けている。本郷が改造された事、そしてショッカーの存在を知ってからは仮面ライダーと共に戦う決意をする。後に少年仮面ライダー隊の会長となる。

▼普段は女子供の遊び場になっているクラブだが、レーサーを準備してレースに出場する事もたまにある。

▼藤兵衛が作ったオートバイ用品店。一文字や本郷、そして滝が常駐し、ショッカーと戦う拠点でもある。

▲藤兵衛が経営しているスナック。ルリ子やひろみがアルバイトしており、本郷の憩いの場となっている。

▲ショッカーを誘い出す為に、変装をして危険地帯に出る事も多い。持ち前の正義感の成せる技であろう。

滝　和也

本郷猛とは全日本モトクロス選手権におけるライバルだった。当初からショッカーを執拗に追っていたが、実はFBI特命捜査官が彼の正体だった。一文字、本郷と共にショッカーと戦う、仮面ライダーの良き協力者である。また、FBIからの情報を受けての独自捜査も多くあった。後に少年仮面ライダー隊の隊長も兼任するようになる。野生の獣のごとき素早い動作で、ショッカー戦闘員の2人くらいはすぐに倒してしまう。ゲルショッカー壊滅にも貢献した。

▲藤兵衛が偶然発見した滝の身分証。滝はショッカーを専門に追う使命を帯びており、それに命を懸けている。

▲初登場では結婚式をしていたが、運悪くそこに吸血怪人ゲバコンドルが現れ、新婦洋子に襲いかかった。

▲ダブルライダーそれぞれの良きパートナー。ライダー2号の特訓にも協力した。

▲持ち前の度胸と行動力で、ショッカー基地への潜入も果敢に行なう。水中もお手のものである。

▲77話では、地獄大使の前に渡世人スタイルで出現した。これは当時流行のドラマ「木枯し紋次郎」の扮装だった。

▲ゲルショッカーが壊滅し、長い長い任務をようやく終えた滝は、仲間達に見送られアメリカへと帰った。

滝　洋子

滝和也の妻。結婚式直後にゲバコンドルに襲われ、寝込んでしまった。実は彼女もFBI捜査官で、結婚は偽装であったらしい。

www.shai-tokusu.com

緑川ルリ子

緑川博士の一人娘で、城南大学文学部に通い、スナック「アミーゴ」でアルバイトをしている。本郷猛の後を追って海外へ旅立った。

緑川博士

本郷猛の恩師。ショッカーによって捕らえられており、人体改造の技術協力を強制させられていた。本郷と共に脱出を図るが、潜伏先で蜘蛛男に殺されてしまった。

史郎

スナック「アミーゴ」でバーテンをしている青年。おだてられると調子に乗りやすいので、マスターの藤兵衛にいつも叱られている。後に立花オートコーナー店員になる。

石倉五郎

立花レーシングクラブに出入りしている元気な少年。両親を亡くしていて、滝や一文字、本郷を実の兄のように慕っている。成績優秀で、学年のトップクラスにいる。

ライダーガールズ

立花レーシングクラブに出入りする若い娘達。会長の藤兵衛やレーサーの滝がショッカーと戦っている関係上、彼女らもショッカーと関わる事が多い。写真右は北海道にてFBI捜査官神田と共に戦った時のもの。

野原ひろみ

ルリ子の親友。後に友人のユリたちを藤兵衛に紹介、自身もクラブに参加した。

エミ

スイスで本郷の助手をした後にクラブへ加入。暗号解読と合気道が得意。

ユリ

ルリ子の親友（後に三段）の娘。ひろみの友人。ライダーの一人にも参加した。

ミカ

エミ同様、スイスから来た。トランプ占いが好きで、トランプ手裏剣が得意技。

ミチ

ひろみの友人で唯一90cc以上のバイク経験を持つ。活発なタイプである。

チョコ

ユリの友人。クラブ入りを経てライダー隊の通信員になる。食べ物が大好き。

キッコ

本郷猛に憧れてジャガーマシンに乗りたいのがきっかけでバイクに入りした娘。

ヨッコ

チョコ同様、ユリの紹介を経てクラブ入り、そしてライダー隊の通信員となる。

ケリ

ミチの友人でボクシングが得意。勘がよくはたらき、一本やりの性格を出てた。レーシングクラブ入会の動機は、ハンバージョンを食べさせる為らしい。

少年仮面ライダー隊

仮面ライダーを応援する正義の少年達で結成された私設の支援組織。隊員は全国規模で存在している。活動内容は、ショッカーに関する情報の収集である。移動手段として、自転車を使用する。

◀服装は二度変更された。装備は通信用ペンダント、連絡用伝書鳩、ライダーを模したヘルメット等である。

ナオキ・ミツル

五郎の友人として紹介され、クラブに出入りするようになった二人の少年。その後、少年ライダー隊の初代隊員となった。マリやチョコ、ヨッコと共にライダー隊本部で活躍する。

アンチショッカー同盟

ショッカー、ゲルショッカーに家族を殺された者たちで構成された組織。メンバーは全員黒づくめで、ナイフを武器にしている。ゲルショッカー首領の居場所を収めたコンピューターテープを入手し、仮面ライダー、そして少年仮面ライダー隊と協力して戦った。

木暮精一郎

アンチショッカー同盟の日本におけるリーダーとしてライダーに協力。ナメクジキノコに乗り移られ、同盟メンバーを全滅に導く。

石神千恵

アンチショッカー同盟メンバー。仮面ライダーに協力する。小暮が殺された為、日本における同盟最後の生き残りとなった。

●ショッカー、恐るるに足らず！　奴は一人ぼっちなんだじゃない。こんな素晴らしい仲間達が居るんだ、仲間たちが！」（一文字隼人／ライダー　19話）

▲印の写真は黒鷗出版刊「仮面ライダー豪華カラーアルバム」の写真を使用しています。

ショッカー

◀非常に薄暗いのが初期アジトの特徴。地獄大使登場にあわせアジトも一新、二階建てとなり、側面に機器が並ぶメカニックなものとなった。

◀死神博士が、再来日のため使用した潜水艦（61話）。自衛隊機を粉々にする大砲を装備。ショッカーはこの他にも潜水艦を所有している（50話）。

▲首領の声を伝える通信装置としての役割を果たす、各アジトに置かれた巨大なシンボル。後期はより洗練されたデザインのものへと変更された。

世界征服を企む悪の組織、それがショッカーである。ヨーロッパやブラジル、スイスなど広く世界各地に支部を構える国際的秘密結社である。ナチスドイツの残党を祖とし、人類を効率よく管理支配することを最終目的に、工作員や戦闘員、さらには改造人間を次々と送り込み、暗躍、活動を行う。だが最強の敵となる“仮面ライダー”を誕生させてしまったことにより、その存在は人類にも知られるところとなった。頂点には首領と呼ばれるものが存在。普段は声で指令を伝えるのみであり、その姿はゲルショッカー壊滅時まで現すことはなかった。最後は、全貌を明かすことなく地獄大使の死と共に組織は一旦壊滅してしまった。

■戦闘員　1〜13話

各怪人ごとにチームが組まれ、メイクや衣装が微妙に異なる。赤戦闘員と黒戦闘員から構成され、赤戦闘員がリーダーをつとめた。戦闘力は人間の3倍。

▲首と腕に巻いた赤いマフラーが特徴の女戦闘員。武器は手の先から発射する毒針で、童話やオートバイ戦も敢行した。

▼黒いレオタードとベレー帽が特徴である初期戦闘員。部隊を率いるリーダーは、左右に赤い模様が入った服を着用。

▲初期のベレー帽戦闘員は、各怪人ごとに異なるメイクを顔に施していた。写真は8話に登場したハチ女専属の戦闘員。

▼仮面ライダー登場後しばらくしてから、組織の秘密を守るためか戦闘員はアイマスクを着用し始める。6話より登場。

◀本郷猛を仮面ライダーへと改造した、顔にメイクを施した科学者。複数いて、その中の一人が後に一文字隼人を仮面ライダー2号に改造したと思われる。

■戦闘員　14〜52話

ゾル大佐に仕えた戦闘員は額に各怪人のマークが入る。死神博士の下で働く戦闘員は黒戦闘員のみとなり、赤戦闘員はいなくなってしまった。

▲仮面戦闘員のリーダー格で、従来のベレー帽やアイマスク戦闘員と同様赤い服を着用している。

▼アイマスクに代わり、覆面で顔全体を隠すようになった戦闘員。顔には所属の怪人を示したマークがつけられている。

▼14、15話ではサボテグロンと行動を共にし、ダム破壊作戦の遂行を補助した。物資輸送の護衛に当たることもある。

◀ダイヤモンド鉱脈を狙うイソギンチャックの活動を支援したアフリカ支部の戦闘員。胸に付けられたドクロと十字架を合わせたマークが特徴。（49話）

■戦闘員　53〜79話

主に地獄大使の配下として活動した戦闘員。ボディに骨をあしらったデザインが施された。ショッカー崩壊時には、大量の戦闘員が処刑された。

▲覆面の額にあるマークが、所属の怪人を表すものからショッカーエンブレムに変更された戦闘員。劇1及び53話より登場。

▼53話ではジャガーマン指揮の下、殺人ライダーチームを組織して、ライダーをあと一歩の所にまで追い詰めた。

▼ショッカーの科学者。黒のショッカー・エンブレムが額に入った白覆面を着用するようになった。55話より登場。

◀アルプスに潜伏するFBI捜査官ピエール・アンドレを抹殺するため、ギリザメスと共に行動した戦闘員。その地域の支部のユニフォームと思われる。

■幹部

▲ビラザウルスを指揮して要人暗殺を行う、残忍なショッカーの女幹部マヤ。ビラザウルスの“死の霧”を浴び死亡。

■科学者

▲死神カメレオンと協力した科学者ハインリッヒ。ライダー抹殺の罠・周囲1m2の密室を作った。ナチスの鉄箱に詳しい。

▲ショッカーの生物学者、綾小路律子。コブラ男を再生した直後、首領の命令を受けたコブラ男に殺された。

■トレーナー

▼ショッカー幹部の護衛も行う改造人間のトレーナー、ハリケーン・ジョー。彼自身は改造人間ではないながらも、生身でライダーと互角に戦った実力の持ち主である。

▼立花藤兵衛の旧友にして、良きライバルだった熊木トレーナー。ショッカーの怪人トレーナーとして改造人間トレーニングセンターにやって来た藤兵衛と再会した。

■さそり男

別名、さそり怪人。本郷猛を抹殺する計画「蠍と蜂作戦」の指揮を執るが、実は猛の[illegible]が改造手術を受けた姿である。3話／185cm／94kg／「シュッシュシュッ」（声：池水通洋）

■蜘蛛男

本郷猛の誘拐、及びショッカーを脱走した緑川博士の抹殺を遂行する。更に猛も消すべくルリ子をさらって彼を誘き出すが、ライダーキックを受け倒される。1話／198cm／96kg／（声：槐柳二）

▲強靭な糸を放ち、敵を絡め取って捕らえる。また、ロープ状の赤い糸を緊急脱出に用いたりもした。

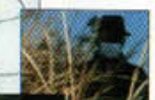
▲いずれ父親に合うであろうルリ子を監視するべく、小型のクモ型発信機を彼女の運転する車に取り付けた。

▲裏切り者・緑川を粛清！　その現場を見てしまったルリ子は、猛が父親を殺したと誤解してしまう……。

▲口から吹き出すダーツ状の毒矢は、刺さった人間を服まで残さずに溶かしてしまう恐ろしい武器だ。

■蝙蝠男

人間蝙蝠と呼ばれる改造人間。鋭い牙で人間に噛みついて新型ビールスを注入、しかる後にその者を自在に操る事が出来る。それを治療するには翼の爪から分泌される血清を使う他ない。2話／205cm／115kg／「キキキキキッ」（声：峰恵研）



▲上図の様に人間への変身も可能。なお、蝙蝠男のエジキになってしまった者は顔面に隈取り状の模様が浮かぶ。

◀何を競っても猛に一歩及ばず、ついにはショッカーの軍門に下ってまで彼を凌駕しようという早瀬五郎。猛の胸中は……。

▲さそり男の率いる戦闘員は、奇怪に回転しながらライダーを取り囲む。砂中に身を隠す能力も備えている。男が操る。

▲人喰いさそり。尾から放つ毒液は人間をたちどころに溶かしてしまう。さそり男が操る。

■サラセニアン

別名、サラセニア人間。ショッカーの改造手術に耐えられる人材を集める為、人間を拉致する役目を担っている。人語を発しない変わり種。4話／230cm／65kg／「エケエケエケケケッ」（声：中村文弥）

▲平時は、熱帯花樹園内の「キングサラセニア」なる食虫植物に化けて獲物を待ちかまえている。

▶武器は蔦で、これを鞭状に振るって攻撃する。また食虫植物の特性を持ち、猛に捕らえられた戦闘員を抱き込んで体内に消化吸収してしまう。

■かまきり男

地下に核爆弾を仕掛けて爆発させ、大地震を誘発して都市を破壊せんと企んだ。5話／175cm／68kg／「ギエーッ」（声：辻村真人）

▼猛の幼馴染みを操って地下室へと突き落とし、時限爆弾で彼を始末しようとした。なお武器として、鎖鎌を使用する。

■蜂女

ショッカー毒ガス製造工場の運営に必要な労働力を集めるべく、眼鏡店で特殊な眼鏡を売ってそれをかけた人間を奴隷にしてしまう。剣の達人。8話／157cm／46kg／「キィ――ッ」（声：沼波輝枝）

◀猛をも昏倒させた強力な毒針や人間を意のままに操る催眠音波が武器。

■コブラ男

世界中から金塊を強奪するべく生み出された。右腕から噴出する赤いガスは、人間や金庫の扉を溶かしてしまう。9話／220cm／127kg／「ヴヴヴヴヴ……グッグッグッ」（声：水島晋）

▲伸縮自在の右腕からは金庫も溶かす赤いガスを出す。なお改造後には、新たに口から高熱火炎を吐く能力が備わっている。

■死神カメレオン

別名、カメレオン男。日本にひそかに隠されていたヒットラーの隠し財宝と称される「ナチスの鉄箱」を奪う事が使命。6、7話／180cm／105kg／「ウウーウクッウクッウクッ」（声：沢りつお）

▲▶タクシーの運転手に化けたり、保護色を用いて姿を消したり、長い舌を伸ばして敵を攻撃する等、その能力は多彩。剣も扱う事が出来る。

■改造コブラ男

一度は敗れたコブラ男だが、ショッカーの次なる金塊強奪計画を遂行させる為、生物学者・綾小路女史の力を借りて復活した。その際、後頭部の形状が変化している。10話／220cm／127kg／「ヴヴヴヴヴ……グッグッグッ」（声：水島晋）

■ゲバコンドル

これまでライダーに敗れた改造人間の長所を併せ持った吸血怪人。若い女性の生き血を好んで吸う。11話／152cm／82kg／「ウヒュー、ムヒュー」（声：谷津勲）

▲両脇から伸びている薄い膜により飛行可能。また格闘術にも優れ、必殺の背面投げによりライダーを一旦は敗退させた。

◀白川博士の助手・柴田は、デンジャーライトを悪用するため自ら進んで改造手術を受けた。口から出す白い粉は、人を麻痺に陥める働きがある。

■ヤモゲラス

殺人光線照射装置「デンジャーライト」を開発した白川博士を脅してまんまと製造法を奪取し、悪用を始める。12話／178cm／102kg／「ウククッ」（声：水島晋）

■トカゲロン

原子力研究所を守っている電磁波防壁バーリヤを打ち破る為に生み出された強力怪人。13話／190cm／183kg／「ミミミミミクァー！　ウォーッ！」（声：堀田真三）

▲粗暴な性格のサッカー選手・野本のキック力に目をつけたショッカーは彼を改造。バーリヤ破壊ボールを蹴り込ませる。

■再生怪人軍団

これまでライダーに敗れた怪人10体が蘇って復活。トカゲロンの作戦を補佐した。だが全員まとめてバーリヤ破壊ボールの炸裂に吹き飛ばされる。

www.tokusatsu-toku.com

■サボテグロン

来日したショッカーメキシコ支部の幹部。爆弾を用いて日本中のダムを破壊しようと画策する魔人。14、15話／184cm／72kg／「ヒヒヒヒヒ！」（声：鈴木利秋）

◀FBI捜査官に変装した。右手の指先からはトゲ型のミサイルを放つ。

■メキシコの花

ショッカーのメキシコ侵略作戦で猛威を奮ったサボテン型の特殊強力爆弾。ショッカーアジト内に貯蔵庫がある。

■ピラザウルス

悪魔のレスラー。覆面レスラー・サタンマスクに化け、プロレス観戦に訪れた政府要人の暗殺を狙う。プロレス技を得意とする。16、17話／207cm／132kg／「イーヒッヒッヒ」（声：谷津勲）

◀ピラザウルスの猛毒に耐える人間として選ばれたプロレスラー草鹿昇。改造され、サタンマスクとなる。

■ピラザウルス（試作体）

▲古代南米に生息したピラザウルスの改造人間。体内の猛毒「死の霧」発生装置に耐えられずに死亡。

■ヒトデンジャー

化石男。任務は霧ヶ岳に建造中の地下ミサイル基地の護衛。古代の大ヒトデの改造人間。弱点は水。18話／192cm／151kg／「ウッウー、ウヴー」（声：池水通洋）

■ドクガンダー（成虫）

毒蛾怪人。繭を急成長させる薬を奪い、ドクガンダーを大量発生させようと目論む。空中戦を展開した後、ライダーキックを受け爆死。21話／230cm／120kg／「ギュアー」（声：辻村真人）

◀▲ライダーキックさえ弾き返す強固な身体を、ヒトデ状に変化させて体当たりすることもできる。

◀ドクガンダー（幼虫）が繭の中で成長した姿。羽根から殺人鱗粉をまき散らす。殺害した小泉教授に化け、薬を発明した吉岡助教授に接近した。

■ドクガンダー（幼虫）

毛虫怪人。富士山麓のショッカーアジトの警護が任務。隼人が合宿のため訪れた村に出没していた。20話／230cm／120kg／「ケヘヘヘ、グァグァ」（声：辻村真人）

◀人間に変装しマリらを拉致。ライダーキックを受けるが、繭を作って逃れた。発火性の泡を吐く。

■アマゾニア

怪魚人。日本近海のウラニウム鉱脈を利用して海底基地を建設する“507計画”の指揮と、作業員確保が任務。22話／200cm／194kg／「イヒヒヒヒ」（声：八代駿）

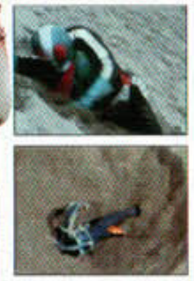
■カニバブラー

ライダーキックをもはね返す泡怪人。任務は新型水中爆弾を使って室蘭半島に人工津波を起こす“海底地震作戦”の実験を進める事。19話／180cm／80kg／「イ・イイイッ」（声：梶哲也）

◀人間を溶かす泡が武器。指揮下の戦闘員も泡の溶解銃を装備している。

■地獄サンダー

日本の主要幹線道路に巨大な人工蟻地獄を作り、交通網を混乱させることが使命。自ら作った蟻地獄の中で息絶える。26話／192cm／87kg／「ケケケケケッ」（声：山下啓介）



▲空から多量の砂を降らせ、人工的に蟻地獄を作り出す。この中ではライダーのいかなる能力も効果を失うのだ。

■キノコモルグ

[illegible]人間を仮死状[illegible]キノコの[illegible]人間を誘拐する。24、25話／174cm／[illegible]／「ヴォ、ヴァヴァー」（声：八代駿）

■ムササビードル

空飛ぶ怪人。大隈博士の発明した新型液体燃料を奪い、札幌を破壊する作戦に参加。空中でライダーキックを受け絶命。23話／185cm／68kg／「ヴァー、ヴェーッ」（声：辻村真人）

◀高速飛行で真空状態を作りだすソニック・ストリーム現象により、人間を切断。

www.thai-toku.com

ゾル大佐

ショッカー中近東支部長であったが、功績を認められ、日本支部初の大幹部に抜擢される。誘拐や洗脳、大規模な破壊活動など、非人道的な作戦を得意とする。武器は右手に持った電磁ムチ。

▲着任時。軍人気質のその性格は厳格かつ冷徹なもの。元アウシュビッツの執行人の生き残りだと噂される。26話。

▲完璧主義者のゾル大佐。戦闘員の服装の乱れも注意する、厳格な男だ。26話。なおゾルの服装は途中変更されている。

▲変装の名手であり、着任早々滝に変装して警官を襲撃。捜査を混乱させる。また油断した一文字の殺害をも謀る。26話。

▲今度はガードマンに変装。自ら敵地に潜入し、"都市交通網混乱作戦"を速やかに遂行しようとする。26話。

ムカデラス

優秀な子供達を洗脳し、ジュニアショッカー隊員にしようとした。ライダーキックで爆死。27話／187cm／88kg／「ファファファ、アファファファ」(声：沢りつお)

▲節足から発せられる催眠音波は、聞いた者をムカデラスの言うなりにしてしまう。

▲両肩口の節足は取り外しが可能で、手裏剣のように敵に投げ付けることも可能だ。

ジュニアショッカー

頭脳優秀な子供たちを誘拐し、ショッカー戦闘員としての教育を受けさせていた。

再生怪人

ゲバコンドル、サラセニアンが復活。少年達を教育する一方で、一文字を牽制した。

モグラング

コンビナートの石油を東京湾に流出させ湾内を火の海にする計画に従事。地下トンネル建設要員として民間人を誘拐していた。28話／172cm／76kg／「オォオーゥ」(声：峰恵研)

▲「エレクトロアイ」(写真左)を地表につきだし、周囲360度を見渡す。右手の槍と左手の爪は武器としても使用可。

モグラ人間

モグラングに誘拐され改造された一般人。モグラングそっくりのフォルムを持つ。

www.tokusatsu.com

ザンブロンゾ

[illegible]の化石を復活させた怪人。ライダー抹殺に赴くもライダーキックで化石に戻る。30話／126cm／27kg／「ウキャッウオァッ　イエィッ」(声：池水通洋)

▲普段は手の平大だが血を吸うと人間サイズまで巨大化する。体の甲羅を外し、手裏剣として投げつける。また口からは殺人毒液を吐く。

クラゲダール

政府要人暗殺用の改造人間・電気人間。その素体となる5000ボルトの電流に耐えられる人間を探していた。29話／160cm／58kg／「ウヒヒヒヒ」(声：沼波輝枝)

◀右手の触手は敵に絡みつき、5万ボルトの電撃でとどめを刺す。

アリガバリ

[illegible]の奥地出身の怪人。[illegible]を意のままに操れる細菌「アマゾンの蟻」を保有。31話／[illegible]／「ギーッ　ギーッ　ギィー」(声：[illegible])

◀左手の爪が強力。2時の新必殺技「ライダーキック」を受け死亡。

ドクダリアン

"毒薬スモッグ作戦"に用いる毒花を栽培するための手先の器用な女性を次々誘拐していた。32話／205cm／71kg／「ヒィーアッ　ヒアッ」(声：沼波輝枝)

◀花屋の主人に化け、催眠音波を発する花で女性を眠らせ拉致。武器は蔦のムチ。

アルマジロング

[illegible]出身の怪人。大都市のガスタンクの破壊と同時に[illegible]ライダー暗殺の密命を受け暗躍。33話／196cm／[illegible]／「ヴァッ　ヴァッ」(声：[illegible])

[illegible]は硬く、[illegible]を丸めて[illegible]を[illegible]し、[illegible]スパーク[illegible]が爆発し、[illegible]が[illegible]する。[illegible]ライダーに[illegible]る。

ガマギラー

"日本列島分断作戦"に気付いた折口博士の娘を誘拐。逃走用のセスナ機ごとライダージャンプにより撃墜され死亡。34話／196cm／88kg／「ワッワッワッ」(声：沢りつお)

◀武器は鎖鎌。吸盤付きの指で器用に操る。また頭の角の根本からは、人間を狂わせる神経ガスを発射する。

■アリキメデス

蟻怪人。女王蟻女を量産することが使命。自らの蟻酸で溶解。35話／189cm／72kg／「フェフエフエフ」（声：由起静子）

◀触覚から出す赤い蟻酸を変身して女に変身した海にきら

■殺人蟻

日本中の人間を食い荒らすために、アリキメデスが操る肉食昆虫。

■エジプタス

火焔怪人。古代エジプト王・トトメスⅢ世が日本に贈った時価10億円の財宝を探すのが使命。36話／180cm／50kg／「アバラバラバラ、エバラバラバラ」（声：関富也）

◀ミイラ状態から"蘇生"された"炎を吐く。

▲口から噴出する緑色の溶解液と、伸びるその触手が武器。

■殺人植物

街中に仕掛けられたショッカーの新兵器。葉から毒ガスを出す。

■トリカブト

毒ガス怪人。殺人植物の毒ガスで大量虐殺を行う"G作戦"を実行。37話／182cm／67kg／「ガガガッ」（声：沢りつお）

■再生怪人軍団

アルマジロング、モグラング、カニバラー、ムカデラスが登場。37話。

■エイキング

稲妻怪人。主要都市の発電所を破壊する"世界暗黒作戦"を行う。ライダーの逆放電とキックで爆死。38話／195cm／90kg／「ウハウウー」（声：谷津勲）

◀ゾル大佐が"変身"した姿、それが狼男だった。

◀実験用狼男と同じく、指からロケット弾を発射。

▲「走れ！稲妻」の叫びで発生する100万ボルトの稲妻。一度はライダーを倒した。

▲飛行能力も有しており、脱走した海洋生物学の権威・関俊彦博士の行方を追う。

■狼男（実験用）

酔っぱらいがウルフビールスによって変貌。現場を目撃した久美子を亡き者にしようとするが失敗。39話／182cm／92kg／「ホォーウウウ」（声：市川治）

■狼男

鮮血怪人。噛みついた人間を狼男にするウルフビールスで、狼男を暴れさせる狼作戦を展開。ライダーパンチを受け爆死。39話／182cm／92kg／「ワオオー」（声：池水通洋）

www.thai-toku.com

■死神博士

ショッカースイス支部より派遣されて日本にやって来た最高幹部。怪人作りの名人という異名を取る天才科学者で、仮面ライダー2号を苦しめる強力怪人を作り出した。一時南米に転属されたが、三度の来日を果たす。

▲残忍で冷酷な大幹部。基地内では車椅子を愛用するが、足が不自由なわけではない。40話～。

▲大鎌を持ち、本郷猛と基地内で対決した事もある。その際、瞬間移動の技を披露した。52話。

▲意外とタフで、滝のパンチにも動じない。その上、瞬時に催眠術をかける得意技を持つ。47話。

▲自ら改造人間の開発を行なうと同時に、古代占星術などを駆使する事もある。49話。

■ハエ男

毒性怪人。薬品で人間を操り一文字暗殺を目論む。ライダー回転キックで爆死。42話／176cm／65kg／「ブルルル」（声：八代駿）

▲冷血漢・加納修が改造された。ハエロボットを使って飲み物に薬品を混入。人間を溶かす泡を吐く。

■再生怪人

アルマジロング、モグラング。ゴースターの作戦をサポートし、桜島で1号を襲う。41話。

■ユノーマン

[illegible]、ヒマラヤの雪男を改造した[illegible]、日本征服計画書の奪還が使命。[illegible]／「スゥノーオオ[illegible]」（声：[illegible]村真人）

◀カげ飛巨岩を、ばすする怪ルライダダブと戦った。

■ゴースター

耐熱怪人。"霧島火山帯噴火作戦"に必要な火山帯破壊用トンネル建設の作業員確保が目的。41話／198cm／232kg／「ゥウオー」（声：八代駿）

▲5000度の熱にも耐える強靭な体で溶岩内を移動。火山弾の圧倒的パワーで1号を捕獲した。

©1971 ショッカー／『仮面ライダー』のカード ▲印は東映出版刊「仮面ライダー豪華カラーアルバム」の写真を使用しています。

■プラノドン

怪鳥人。一文字を宇宙ロケットの世界的権威・並川博士の暗殺犯に仕立てる事が目的。43話／210cm／85kg／「ァアー」（声：沢りつお）

◀角から発狂電波を出し、人間を操る。また口からロケット弾を吐く。

■カビビンガ

墓場の怪人。殺人カビの養分となる人間を襲う。弱点はオイル。44話／180cm／60kg／「オアアアア」（声：山下啓介）

▲体のカビを投げつけ、敵をカビにしてしまう。剣術に長け、十字手裏剣も使う。

◀好戦的な性格で、ライダーに先制攻撃を仕掛ける。が敗退し、逆にライダー抹殺を条件に処刑を免れた。

■ナメクジラ

軟体怪人。"ガスタンク爆破作戦"を任された。ライダー2段がえしを受け爆死。45話／156cm／54kg／「ゴワーオオオウ」（声：辻村真人）

▲当初は溶解液を吐いていたが、人工頭脳を埋め込まれて以降は火炎を吐くようになった。体を液化する。

■トドギラー

冷凍怪人。冷凍した漁船の乗員を連れ去り、改造人間にする"アイス計画"を行う。47話／195cm／80kg／「ブルルルル」（声：池水通洋）

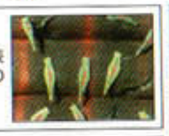
▲零下300度の冷凍シュートを口から放つ。人間はもちろん、ライダーも凍らせて捕獲した。

■ヒルゲリラ

吸血怪人。ショッカーの手足となって働く奴隷人間を作る事が使命。ライダー放電でとどめをされた。48話／165cm／60kg／「ヒッヒッヒヒヒ」（声：山下啓介）

■吸血ヒル

ヒルゲリラの体表面に寄生、人間の血を吸うヒル。



■奴隷人間

緑の液体を注入され、原始猿人程度の知能となった人間。

▲管上の左手で人の生き血を吸い、右手のムチで攻撃する。

■ベアーコンガー

雪山怪人。草津高原の雪を溶かして大洪水を起こすスノー作戦を遂行。46話／170cm／65kg／「ベアァァー」（声：阪修）

◀マタギの老人に化けた。鋭利な爪が武器。

■イソギンチャック

[illegible]怪人。アフリカのダイヤモンド鉱山のありかを探る事が使命。ライダーダブルキックを受け爆死。[illegible]／186cm／87kg／「ターエアエアエ」（声：沢[illegible]）

◀頭頂部の口は何でも吸い込み消化。◀左の触手はムチとして使用。Wライダーと対戦する。

■カメストーン

オーロラ怪人。"殺人オーロラ作戦"で都民の皆殺しを謀る。50話／210cm／90kg／「エエエー」（声：辻村真人）

◀FBI捜査官・ロバート田中になりすました。左手の爪から、見るものを高らす殺人オーロラを放つ。また甲羅をブーメランのように投げて攻撃する。

◀何でも石化する泡を吐く。

◀石人間を救うには光線が必要。

■ユニコルノス

石怪人。大下博士が発明したスーパーエネルギー光線の研究書の奪取が使命。ライダーダブルキックで爆死。51話／190cm／93kg／「アーブン」（声：八代駿）

■ギルガラス

飛行能力を有する怪鳥人。人類皆殺し作戦の責任者。52話／176cm／69kg／「アーアアアー」（声：上田耕一）

▲鳥に変身して、人間を殺人狂にするデッドマンガスを撒いた。

▲デッドマンガスの成分ガンマGは、改造人間の機能をも破壊する。

[illegible]を付き、体を泡状に変化させて[illegible]する。

■ザンジオー

エリート怪人。大道寺博士の発明した人工重力装置GXの方程式を狙い、娘の珠美を襲う。ライダーダブルキックに敗れた。劇1／195cm／84kg／「イギィー」（声：辻村真人）

■再生怪人軍団

蜘蛛男、蝙蝠男、さそり男、サラセニアン、死神カメレオン、ゲバコンドル、ヤモゲラス、サボテグロン、カニバブラー、ドクガンダー（幼虫、成虫の2体）、ムササビードル（ムササビドールと自称）、キノコモルグ、地獄サンダー、ムカデラス、モグラング、アリガバリ、ザンブロンゾ、ドクダリアン、アルマジロング、ガマギラー、アリキメデス、エジプタス、トリカブト、エイキング、狼男、スノーマン、ゴースター、ハエ男、プラノドン、ナメクジラ、トドギラー、イソギンチャック、カメストーン、ユニコルノス、ギルガラスの36体が登場。ハエ男は助手の阿野に化けて大道寺博士に接近。またアリガバリとドクガンダー（成虫）は珠美の誕生パーティを襲った。

www.thai-toku.com

■地獄大使

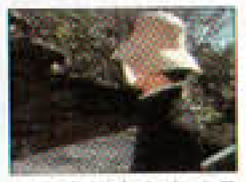
死神博士に代わり、暴虐の限りを尽くしていた東南アジア支部より赴任したショッカー最後の大幹部。喜怒哀楽が激しく、それが原因で作戦を失敗することもしばしば。大量殺戮を主眼とした作戦や、大規模な基地建設計画による戦力増強を特に好む。53〜79話。

▶電磁ムチと、左手のアイアンクローを武器とする。

▶死刑に掛けられるが、それは本郷を油断させるための罠だった。

▶怪人を戦わせる[illegible]りを執り行うなど魔術師的な側面も持つ。68話。

▶首領に見捨てられながらもショッカー軍団万歳を叫び、滅んだ。79話。



▲変身能力を有する他、テレパシーでいかなる動物でも自由に操ることが可能。

■殺人ライダーチーム

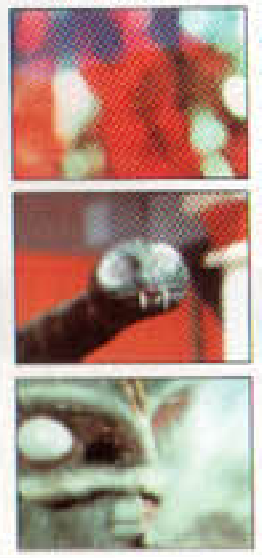
オートバイ練習中の本郷を強襲した、ジャガーマン率いるオートバイ部隊。ライダーと激しいオートバイ戦を展開するも、あえなく退散。

■ジャガーマン

人間豹。動物を操り人間を襲わせるアニマルパニック作戦を遂行。ライダーヘッドクラッシャーに敗れる。53話／192cm／87kg／「ヒョーオゥ」（声：池水通洋）

■海蛇男

幻覚を作り出すプリズム・アイで、世界に大混乱を起こす事が目的。54話／189cm／74kg／「ウェレウェレ」（声：市川治）



◀首に巻いた蛇はプリズム・アイの他、武器としても使用。また人間を溶解する白煙を吐く。

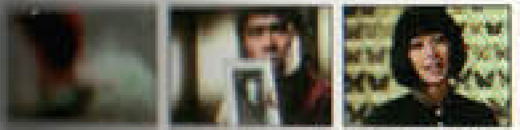
■ゴキブリ男

細菌怪人。老化を促す細菌を空中散布する"アドバルーン作戦"を指揮。55話／155cm／58kg／「レプレプレプァ」（声：峰恵研）

▲効かない殺虫剤を売る詐欺師の黒木が改造された。口から人を老化させる細菌を吐く。

■ギリーラ

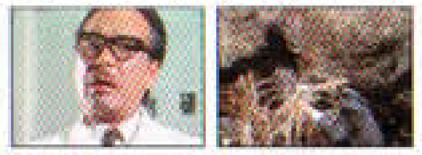
[illegible]な貯水池に毒鱗粉入りのカプセ[illegible]作戦を展開。飛行能力をもつ。[illegible]／151cm／44kg／「ヒヒヒヒヒ」（声：[illegible]）



▲[illegible]に鱗粉が仕込まれ、口からは毒針を放つ。[illegible]を改造した怪人。

■ドクモンド

土グモ男。城南大学の沢田が開発した全ての金属を溶かす液化火薬のデータを盗むのが任務。57話／168cm／62kg／「イイィィー」（声：辻村真人）



◀病院長に化け、沢田を拉致。地中を自在に移動。

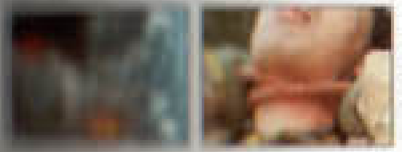
■毒トカゲ男

毒液怪人。世紀の天才科学者を生き返らせ、殺人兵器の開発に尽力させようとした。58話／170cm／60kg／「ウオオオオー」（声：関富也）

▲人間への変身能力を有する。口から噴出する人間を溶かす赤い毒液と、長い舌が武器。

■ミミズ男

[illegible]を改造したリング怪人。秘密[illegible]とコバルト120爆弾による放[illegible]の遂行。59話／170cm／[illegible]「[illegible]」（声：八代駿）



◀柿沼の秘密基地と、首を絞める武器・殺人リング。

■フクロウ男

目の殺人レントゲンを使い、日本中の時計を誘爆する"大時計爆発計画"を遂行。60話／170cm／60kg／「ホホホホホ」（声：山下啓介）

◀殺人レントゲンは、人間を白骨化する威力を持つ。

■ナマズギラー

放電怪人。本郷猛を抹殺するために死神博士が地獄大使に届けた対ライダー1号用怪人。61話／165cm／65kg／「アレアレアレ」（声：関富也）

◀10万Vの[illegible]が武器。[illegible]

● [illegible]地獄大使[illegible]おいて[illegible]」（地獄大使／ライダー　53話）

www.thai-toku.com

■サイギャング

アフリカ支部から来た、バイク戦の名手。ライダーきりもみシュートで爆死。63話／173cm／76kg／「ケケケケケケケケー」(声：山下啓介)

▲人間に変身が可能。本郷の友人を誘拐した口からは火炎を吐く。頭部の一本角が弱点。

■ハリネズラス

毒針怪人。"殺人ドクロ作戦"を展開する。62話／175cm／70kg／「アヤヤヤヤヤヤイヤイヤ」(声：沢りつお)

◀アフリカ支部所属。人間にも変身。

▲人間を白骨化させる"殺人ビールス"入りの殺人針と、炸裂する爆弾針を投げて攻撃。針は遠隔操作も可能。

■セミミンガ

音波怪人。殺人音波で東京中の人間を一挙に殺害しようとした。左手の鋏を武器に、また口から人間の血液や本郷のエネルギーをも吸い取る。飛行能力も有する。ライダーキックによって爆死する。 64話／173cm／85kg／「ミッミッミッミッ」(声：槐柳二)

▶ミンミンゼミを改造。泣き声が殺人音波となって放たれる。

◀頭の角から白い麻酔液を噴射。大カブト虫にも変身する。

■カブトロング

昆虫博士を自称。左手の鋏が武器。怪力も誇ったが、ライダーキックで爆死。65話／198cm／77kg／「ギギギギギギギギッ」(声：池水通洋)

■ショッカースクール生徒

「仮面ライダーと一緒にカブト虫をとろう!!」というショッカーの甘言に乗ってしまい、カブトロングの麻酔液で洗脳された子供達。カブト虫型の通信機兼手榴弾を与えられ、卒業試験は滝の処刑だった。

■イカデビル

宇宙人との混体。宇宙から降り注ぐ隕石を日本に降らせる、"滅の星作戦"を指揮した。誘導装置が内蔵された頭部が弱点で、ライダーきりもみシュートで爆死。68話／205cm／71kg／「ィイーッ」(声：二見忠男)

ムチ、口から吐く墨が武器。ギリザメス同様"キック殺し"を得意とするが、一度はライダーに勝利する超実力派怪人だ。

■再生怪人

■ギリザメス

"キック殺し"を持つが、ライダーきりもみシュートで爆死。アルブス支部所属、鋸鮫の改造人間。67話／185cm／91kg／「ガブガブガブゥー」(声：八代駿)

▲頭部の鋸と刃物状の左手、アンドロガスを出すライダー破壊人形を使用。強化怪人第1号。

■カミキリキッド

ショッカー墓場から全怪人を復活させようとした。口から吐く白い殺人ガスと、火炎を吐く。ライダーきりもみシュートで爆死。66話。

■再生怪人軍団

"悪魔祭り"遂行のためハリネズラス、ジャガーマン、サイギャング、毒トカゲ男、ザンジオーが先行して再生。

▲"悪魔祭り"で怪人は再生する。加藤というショッカーからの脱走者に化けてライダーを欺いた。

■カミキリキッド

再生怪人大軍団を指揮してライダーを攻撃すると共に、富士山のショッカー大要塞に設置したスーパー破壊光線による"日本壊滅作戦"を目論む。劇2／205cm／71kg／「キーリィー」(声：二見忠男)

◀口から痛れガス、角から稲妻光線を発射。最期はライダーキックで爆死した。

■再生怪人大軍団

ムササビードル、キノコモルグ、ザンブロンゾ、エイキング、ゴースター、ブラノドン、海蛇男、ドクモンド、毒トカゲ男、ミミズ男がザンジオー率いる再生怪人大部隊として復活。その他オートバイ部隊を率いるジャガーマンとサイギャング、騎馬隊を率いるセミミンガ、ゴキブリ男、ギリーラ、ハリネズラス、カブトロングも登場。

●ライダー破壊光線の発射、本部基地を破壊した！　その大爆発にスーパー破壊光線をセットすれば、日本全土に自由に爆を起こし、焼き払えるのだ！」(地獄大使／ライダー　劇2)

www.chai-toku.com

■ギラーコオロギ

催眠術と細菌兵器を仕込んだ"死のツメ"による、大量虐殺を試みた。しかしライダーキックによって爆死。69話／189cm／78kg／「ギィーラーァッ」(声：八代駿)

▲顔から殺人音波を発射。死のツメに刺された人間は、ツメをはやして他人を襲い、3日後に死亡。

■モスキラス

紀伊半島の勝浦港付近海底に、ショッカー秘密基地を建設すべく暗躍。ライダーダブルキックで爆死した。72話／186cm／82kg／「ブゥゥーヨン」(声：八代駿)

▼口の針により、人間の体液全てを吸い尽くしてしまう。人間への変身、飛行も可能だ。

■エレキボタル

東京中の電気を吸おうと暗躍したが、ライダーがえしで爆死した。東京都の10日分の消費電力を体内に蓄積できる。70話／188cm／75kg／「リュリュリュリュリュリュ」(声：市川治)

◀高圧の火球"エレキファイヤー"や"地獄の舞"と呼ばれるエレキ催眠術を使う。

■アブゴメス

電波撹乱装置で日本の通信網破壊を企図、電子工学の木原博士の誘拐も実行。ライダーニーブロックで爆死。71話／192cm／99kg／「ヴルルルル」(声：八代駿)

◀右手から発射される"サイル"口の針が武器で、オ沙博士に変装した。メキシコから来た。

■シオマネキング

モスキラスの任を継ぎ、海底基地建設に従事する。ライダーダブルキックを受け、口から泡を吐いて絶命した。72～73話／187cm／86kg／「アビー、アビアビアビ、アビー」(声：沢りつお)

◀口から吐く白い泡で、人間を惑わす"左手の鉄も武器"。水中移動能力はライダー以上。

www.j-toku.com

■シラキュラス

改造人間の手術に必要な血液を集める任務に就く。ライダードロップキックを受け、自らの溶解泡で炎上した。74話／183cm／84kg／「ヴルルルルルルルルルルルゥー」(声：池水通洋)

▼鉄をも貫く左手の針で、人間の血を吸い、被害者は吸血人間となってしまう。口からは赤い溶解液を吐く。

■バラランガ

[illegible]バラの麻薬成分[illegible]海を渡り、本郷抹殺を企てた。ライダースクリューブロックを受け、バラの姿で崩壊した。75話／[illegible]／78kg／「バァァァァーァッ」(声：沼[illegible])

▲"怪獣の卵"なる缶詰に身を潜め、少年ライダー隊本部に侵入し、本郷抹殺を試みた。

■シードラゴンⅠ～Ⅲ世

本郷暗殺を目論む発電怪人。左手の形状(鉄、スパイク、三ツ又の鉄)で区別。76話／177cm／190kg／「イィーチッ」(Ⅰ世)、「ニィーチッ」(Ⅱ世)、「ターツッ」(Ⅲ世)／(声：村越伊知郎)

■イモリゲス

[illegible]地下に飛行[illegible]撃機による[illegible]を計画した。ライダースクリューキックで爆死。77話／[illegible]／87kg／「キケケケケケッ」(声：[illegible])

■ゆうれい怪人 ガニコウモル

ゲルショッカー改造人間第1号。ゲルショッカー編成の前に、ライダー襲撃を目的に暗躍。ライダーに対して、互角に戦う。

■ガラガランダ

ガラガラ蛇をもとにした、地獄大使の正体にして、ショッカー最後の改造人間。"毒水道作戦"を指揮するが、その真の目的はライダーの抹殺であった。79話／192cm／95kg／「ガァァーラーッ」(声：峰恵研)

◀ライダー隊本部員を前に、遂にその正体を現すガラガランダ。

◀ムチ状の右手を振るい、ライダーを攻め立てた。

▲砂の中を、自在に動き回る。牙には猛毒が仕込まれている。

▼口からはドグマファイヤーを吐き、人間への変身能力も有する。卵は生きた人間を栄養として怪人に成長する。

■ラニドグマ

[illegible]ラニドグマによる、人類大虐殺を企図し、人間を捕[illegible]、ライダーきりもみシュートで爆死。78話／176cm／[illegible]／「ラニィーッ」(声：辻村真人)

ゲルショッカー

▶ゲルショッカーのマーク。ショッカーのシンボル・蛇にゲルダムの象徴であるヘビが巻き付く。

▶殺人、暴動、破壊……あらゆる悪を実行すべく、秘密にて結託を決行。暗黒界をにぎわす。

▶日本各地に基地が点在する。本部は、とある洞のさらに地底に建造され、首領自らが君臨していた。

▶首領は、ショッカー時同様、エンブレムの明滅するランプに合わせて、命令を下す。

ショッカー首領は秘かに組織拡大を企み、新組織ゲルダム団を結成。アフリカのコンゴ川上流に蔓延る暗黒宗教を基盤としており、アフリカ砂漠で秘密訓練を積んでいた。ショッカー日本支部壊滅と同時に二大組織は統合、ゲルショッカーへと再編成された。二体の生物を合成したより強力な改造人間を造り出す。

戦闘員

ショッカー戦闘員の数倍のパワーと機動力を持つ。「ゲルバー薬」という特殊薬を3時間毎に摂取しないと死ぬ（91話）。指揮官を失うと組織的な行動が行えなくなってしまうのが、弱点である。

◀選抜オートバイ・チーム。手榴弾やロープ班などを使用する。

◀ゲルショッカー科学班。恐るべき殺戦兵器を開発する。

科学者

◀峰信太郎。ショッカー科学班の一人でサソリトカゲスの発見。それを突いた作戦を考案。97話。（演：佐々木功）

◀ディー博士。科学班の最高責任者。本郷の変身に05秒の隙を発見。それを突いた作戦を考案。97話。（演：岡田英正）

ブラック将軍

ゲルショッカー結成と同時にアフリカ砂漠より来日。日本支部を統括する大幹部として就任。無用となったショッカーの科学班を粛清する冷酷漢。“東京全滅作戦”など大量殺戮計画を得意としながら、反面、要人暗殺など緻密な戦略家である。自らの作戦には絶対的な自信を持っている。イノカブトンなどのように凶悪な犯罪者を改造素体として選ぶことが多い。80～98話。

▶元ロシア帝国の将軍という前歴を持つ。ゲルショッカー結団式で、ライダーをおびき寄せ罠にかけようとする。初戦より戦略家ぶりを発揮。

◀ゲルダム団時代の戦歴は不明。常に指揮杖を手離さず、配下の怪人・戦闘員達を威圧する。

威力などは不明。結団式以降は取り外してしまったようだ。

◀その正体はヒル男。オン。末期に再び人間に戻る。「我が怪人軍団首領に栄光あれ！」

www.thai-toku.com

カニゴウモル

[illegible]人1号。アラブ出身。ショッカー末期より暗躍。[illegible]からのライダー捨て身の体当たりで相打ちに。78～80話／174cm／65kg／「ギイッイィ」（声：池水通洋・西崎章治）

◀不要なショッカー残党を抹殺。口から白い溶解粉末を噴射。左手のハサミも強力。空中を自在に飛行する。

サソリトカゲス

サハラ砂漠出身。必殺技は“ダブル締め”。酸欠ガスを散布して全都民を抹殺する“大東京無血占領作戦”を画策。弱点の背中にライダー反転キック受け爆死。81話／185cm／92kg／「ゾォーリィィ」（声：八代駿）

◀瞬時に空気中の酸素を消滅させてしまう酸欠ガスを吐く。人間体にも変身。峰をはじめとするショッカー残党の抹殺も遂行。

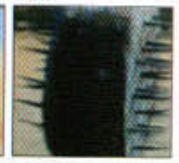
ララゲウルフ

[illegible]出身。ラッシュ時に[illegible]を仕掛ける“新宿駅[illegible]作戦”を実行。強靭な[illegible]が、ライダーきりもみシュートで爆死。82話／[illegible]／「クゥゥーラ[illegible]」（[illegible]）

▼桂木良助が頭部に変身装置を埋めこまれ改造された。必殺触手締めなど様々な触手技の他、背中から溶解液を噴射する。

イノカブトン

千葉出身。“猛毒ガス東京壊滅作戦”の遂行が使命。体を丸めたイノカブトントゲ車が必殺技。サイクロンアタックで爆死。83話／190cm／105kg／「ウェエエオー」（声：市川治）



▲死刑囚を改造。鼻から黄色い発狂ガスを噴射。イノカブトン角えぐりでライダーを負傷させた。

ウツボガメス

別名ヘドロ怪人。口から吐く殺人スモッグにより人体を白骨化。それによる“東京全滅作戦”が使命。ライダーキックで爆死。85話／192cm／99kg／「ファァァァッ」（声：西崎章治）

▲凶悪犯を改造したウツボと海亀の合成怪人。首を分離させて攻撃。全身を丸めて体当たりを仕掛ける。

ギンギンジャガー

[illegible]出身。ライダー抹殺が使命。触手[illegible]。ライダーポイントキックで[illegible]破壊され、元の人間に戻る。[illegible]／「ファンファンファ[illegible]」（[illegible]）

■ワシカマギリ

怪人、戦闘員製造の材料となる人間を確保する“人間狩り作戦”を実行。最期は左手の鎌ブーメランをライダーキックで跳り返され爆死。86話／195cm／00kg／「ギィーラァー」(声：関富也)

▶羽根から撃ち出す羽根ミサイルと、口から吐く白い泡が武器。泡を浴びた人間は仮死状態になり固まってしまう。

■クモライオン

日本を支える各界主要人物をゲルショッカー死亡リストに従って替え玉を送り、暗殺する“T3号計画”を実行。87話／198cm／59kg／「クモラァァァー」(声：辻村真人)

▲糸状の武器を吐き出すいたずらに絡ませ、口から出す糸により、次々と敵を絡めて殺した。

■カナリゴブラ

ペットのカナリヤに化け殺人音波を発射し、東京全都民を発狂死させるという“第一次ペット作戦”を遂行した。89話／175cm／62kg／「ヒュルヒュルヒュー」(声：辻村真人)

▲武器は右手のコブラハンドの猛毒牙。後に鋼鉄製のメカコブラハンドへと改造。

■ネコヤモリ

平和会議出席の為、西熱海に集まった世界有数の科学者を誘拐する“F作戦”を展開。左手に装備したヤモリ吸盤でライダーのエネルギーを吸い取った。88話／185cm／65kg／「ウニャァァァァァー」(声：山下啓介)

▶口から吐く炎が武器。ゲルバー薬を飲ませて少年達を完全な戦闘員にしようとしたが、ライダーに阻止されてしまった。

■ネズコンドル

特殊ペスト菌で東京を死の街とし、基地建設を推し進める“第1次ペット作戦”を決行。さらに、本郷達をペスト患者にしてしまう“ペット作戦第2号”を実行した。89、90話／203cm／97kg／「チュゥゥゥー」(声：西崎章治)

◀両腕に内蔵されたカッターで相手を切り裂く、ハツカネズミの姿にも変身できる。

■改造ネズコンドル

本郷の左目にくちばしを突き刺し、ペスト菌を注入。ネズコンドルとは同一の個体である。

■ペスト人間

▶噛まれた人はペスト人間となり、人に噛みつき患者を増やす

■ムカデタイガー

少年ゲルショッカー隊を組織するのが使命。催眠術にかけた子供達を橋にライダーに詰め寄るが、最期はライダーと共に崖から転落して爆死。91話／175cm／65kg／「ムヒョーォウ」(声：倉口佳三)

▲頭の触覚から特殊音波を出し、捕らえた人間を操る。

■ゲルショッカー恐怖学校

ゲルショッカーは、全国の少年ライダー隊員を全て誘拐、教育し、少年ゲルショッカー隊を組織する作戦を計画。まずは丹沢地区の少年ライダー隊員を拉致して訓練しようとした。

■ショッカーライダー

仮面ライダーと同じ能力を持つ、マフラーの色でナンバリング番で、色はそれぞれ1号が赤、2号が白、3号が緑、4号が黄、5号が紫、6号が青。1号は91～94話、2～6号は93、94話／[illegible]／「ギィィッ」(声：[illegible]①、市川治②、[illegible]、辻村真人⑥)

▲足のつま先に仕込んだ鋭いナイフが武器。足から取り外し、手に持って使うこともできる。

▲最期はダブルライダーの新必殺技ライダー車輪により空中激突、全員爆死した。

■ショッカーサイクロン

新サイクロン号と同じ能力を持つ、カウルに入った黄色いラインが特徴のバイク。ショッカーライダー1号が搭乗し、1号の新サイクロン号と激しいバイク戦を展開した。

1号　2号　3号　4号　5号　6号

■エイドクガー

ショッカーライダー1号と協力し、アンチショッカー同盟が持つ、ゲルショッカー首領の秘密を記録した情報テープを奪うことが使命。93、94話／158cm／50kg／「クエェェー」(声：倉口佳三)

▲自己催眠により仮死状態になることが可能。口から吐く毒粉は、人間を3日3晩眠らせてしまう。

■ハエトリバチ

アンチショッカー同盟と少年仮面ライダー隊を壊滅させることが任務。1号を追い詰めるが、最期はライダーと共に海中に没してしまう。92、93話／166cm／51kg／「ジグゥー」(声：山下啓介)

▲頭部右側にあるハエトリ草から、人間を溶かす緑色のハエトリ液を出す。植物に変身する能力もある。

www.mai-toku.com

■印は王冠印刷工業の「ピクチャースタンプ　仮面ライダー」の写真を使用しています。

■ガラオックス

アメリカ西部出身。水素ガスの50倍の威力を持つ悪魔の霧（ミスティガス）を噴射し、乗り物を舞い上げる。ライダー月面キックで爆死。95話／175cm／65kg／「カオーォウ」（声：池水通洋）

▲頭部の角はそのまま武器にもなるが、ミスティガス噴射口も備えている。同時に弱点でもあり、折られると弱い。両手の爪（悪魔の爪）の先端から爪ミサイルを発射。

■ヒルカメレオン

ブラック将軍の正体。怪人再生用の血液を得るため、人間を襲う。保護色を使い、姿を消せる。ライダーダブルチョップを受け爆死。97、98話／193cm／79kg／「キェーッキェーッ」（声：辻村真人）

▼サボテン研究の第一人者・松田善一郎博士を改造。自らもサボテンに変身可能。"人間総サボテン化作戦"を遂行する。本郷の右腕もサボテン化させた。

■サボテンバット

左腕のトゲで人間をサボテンにしてしまう。右腕はライダーに切断されたため、後に鋼鉄製に強化改造されている。ライダーキックを受け元の姿に戻る。96話／195cm／85kg／「ギギギィィィ」（声：八代駿）

▼将軍以外の人間にも変身できる。脱走した実験用病囚にも変身した。

◀全身から突き出た管で人間の血を吸う。手始めにガニゴウモルを再生する。

▲怪人再生と同時に、絶対0度の変身阻止室で、本郷猛を氷地に追い込む。

■吸血ヒル

ヒルカメレオンの管状の右手から放たれ、人間の血液を吸い取る。来るべき大攻勢のための怪人蘇生用の血液を確保するのが目的。

■再生怪人軍団

クラゲウルフ、ウツボガメス（以上未起動）、ガニゴウモル、ガラオックス、イノカブトン、ハエトリバチ、ムカデタイガー、クモライオン、エイドクガー、サボテンバットが再生。

■ゲルショッカー首領

ショッカー、ゲルショッカーを操っていた首領。それまでは声で指令を伝えるのみだったが、過去、67話では出現を予感させ、94話ではシルエットを見せたにとどまった。マスクで覆われたその正体は、蛇に覆われた顔と不気味な単眼の二つの顔を持つ怪物であった。ライダーに本部を強襲され、正体を暴かれるや、呆気なく自爆の道を選ぶ。その出生など多くの謎は残されたままとなった。（声：納谷悟朗）

◀空中に巨大な姿が浮かび、目から怪光線を発する。地表に爆発を起こし、ダブルライダーを苦しめた。

▼ヘビの頭からも怪光やガスを発する。ダブルライダーへの最後の抵抗か？

▶爆発後に残された目玉。この後、基地とともに自爆したため、その正体は不明のままであった。だがしかし……。

www.thai-tokusatsu.com

仮面ライダーは、世界の平和と人類の自由を守る為に戦っている。対して、世界を征服し人類の自由を奪おうと企んでいる[illegible]の組織の数々である。奴らは世界中に網を張り巡らせ、様々な悪事を計画する。改造人間を作り人類を全て意のままにせんとする者や、大量殺戮を行い世界に究極の闇をもたらそうとする者など目的は様々だが、奴らは罪もない人々を苦しめ、多くの人を悲しませる。だからこそ、歴代ライダーは命を懸けてこれらと戦い続けるのだ。しかし、倒しても倒しても悪の組織は潰えない。なぜなら、人間の内面に潜む悪の思念が新しい組織を生み出すからだ。故にライダーの戦いの道は、果てしなく続くのである。

ショッカー

人間を改造し意のままに操って、全世界の支配を企む世界規模の秘密結社である。ナチスドイツで研究されたと言われる移植手術等の技術を用いて、動植物の特性を持つ改造人間を作り出す。

ゲルショッカー

世界征服計画をことごとく仮面ライダーに妨害されたショッカー首領が、アフリカ奥地で訓練を積んだゲルダム団と手を組み、結成した組織。失敗は即、死という厳しい掟に支配されている。

デストロン

ダブルライダーによってゲルショッカーを滅ぼされた首領が、密かに再編成していた組織。宿敵仮面ライダーV3の打倒と共に、細菌作戦に代表される大規模殺戮を繰り広げる凶悪軍団である。

GOD機関

東西両大国が水面下で手を握り、日本を全滅させるべく組織された。謎のGOD総司令が怪人たちに命令していたが、キングダークの内部に直結していた祝博士がその正体であった。

ゲドン

アマゾン奥地で生まれた悪の組織。ゲドンの神である十面鬼ゴルゴスは、古代インカ科学の超エネルギーの秘密を狙う。獣人を使いアマゾン＝山本大介の持つギギの腕輪を奪おうと画策する。

ガランダー帝国

ゲドン壊滅後、獣人を操り世界征服を企む組織。十面鬼のガガの腕輪を奪い、アマゾンのギギの腕輪をも狙う。ゼロ大帝は全能の支配者に仕えていたが、ゼロ大帝こそが支配者その者だった。

ブラックサタン

サタン虫を使って人間の意志を奪い、世界を意のままにしようと企む組織。奇械人や戦闘員は今までの組織以上にメカニカルである。ブラックサタン大首領の正体は、巨大なサタン虫であった。

デルザー軍団

みな幹部クラスの実力を持つ改造魔人で構成された組織。明確なトップのいない集団だが、これまでの悪の組織を全て支配していたという岩石大首領が存在する。その正体は宇宙生命体であった。

暗黒大将軍

後楽園遊園地の地下に潜伏していた暗黒大将軍は、アトラクションショーを見に来た子供達を誘拐して莫大な身代金を奪取しようと企てた。本物の怪人を従えているが、正体はまったくの不明。

ネオショッカー

ショッカー残党が集ったと目される新組織。目的は増えつづける人口問題の解決で、優秀な人間以外の抹殺を実行するという恐怖の軍団である。大首領の正体は巨大な宇宙怪獣であった。

ドグマ王国

カイザーグロウを神と信仰するテラーマクロが君臨。独立国家の形態を持ち日本を征服せんと暗躍。ちなみにネオS、ドグマ、ジンドグマの三組織は共にB52暗黒星団の出自であるという記述もある。

ジンドグマ

ドグマ王国崩壊後に出現した強力組織。首領の悪魔元帥はB26暗黒星雲より飛来した宇宙生命体。暴力、略奪、破壊を中心とする恐怖を持って、人類を支配する野望を持っている。

バダン帝国

ナチスの残党を中心とした組織で、高度な科学力を誇る。地下にバダンシティーを建設し、世界征服の拠点とする。正体不明のバダン総統は悪霊のエネルギーではないかと言われている。

暗黒結社ゴルゴム

5万年前に世界を支配していた暗黒結社。人類を絶滅させ、不滅の生命を持つ怪人によって世界をふたたび支配せんとする。創生王は巨大な心臓だけの生命体で、死期が迫っている。

クライシス帝国

異次元世界で地球と同位置にある怪魔界を武力で征服し、次に地球の支配を企てる最強の軍団。クライシス皇帝は悪辣な独裁者で、人間が地球を汚せば新たな怪魔界が生じると最後に明かす。

財団

政治、経済、文化、思想などの統一を目的とする以外は謎の組織。生科学研究所を隠れ蓑にして、密かにサイボーグ兵士の開発を行なっている。CIAと警視庁に狙われている。

ネオ生命体

望月博士が創造した、肉体や感情を持たない完璧な生命体だが、本質は邪悪。生体プールから出られない弱点がある為、博士を監禁してより完全な生命体にするよう改造を強要した。

フォッグ

宇宙機械獣母艦フォッグ・マザーとその子供である怪人たちで構成される。千年単位で数万匹の怪物の卵を孵化させ、惑星の生物を餌として食い尽くす。太古の地球にも現れ、恐竜を絶滅させた。

グロンギ

超古代に存在した好戦的先住人類。現代に甦った彼らは現人類の大量殺戮ゲームを開始した。集団の中で最強の存在を決め、世界に究極の闇をもたらすというのが彼らの最終目的であるらしい。

1973 仮面ライダーV3

1973年 TV 2月17日～1974年2月9日 MBS・NET系 土曜夜7時30分～ 全52話(劇場作品1本)

『仮面ライダー』の爆発的ヒットを受けて製作された完全な続編シリーズ。導入部はゲルショッカー壊滅間もない『仮面ライダー』99話の続きから制作され、世界観の継承がドラマティックに行なわれた。そして新ライダー・V3と、新主人公・風見志郎の孤高なヒーロー像確立にも成功し、ムーヴメントはシリーズ最高潮を記録。後半は後続作にも影響する試行錯誤を繰り返し、やがてそれは、ライダーマンという設定の完成で結実した。

仮面ライダー1号、及び2号、そして立花藤兵衛ら少年仮面ライダー隊の活躍により、悪の組織ゲルショッカーは滅亡した。その後、本郷猛の後輩・風見志郎がオートレースの特訓に勤しんでいたが、ゲルショッカー首領の新組織デストロンがその存在を目撃したとして彼を襲撃。志郎の家族を惨殺し、彼自身もダブルライダーを庇って重傷を負った。ダブルライダーは志郎を救うべく改造手術を施し、ライダー3号＝仮面ライダーV3を誕生させた。そして後の戦いをV3に託すと、太平洋上に消えた。残された志郎と立花は協力し、少年ライダー隊の新本部を設立。通信係の珠純子・シゲル姉弟も加え、世界征服を企むデストロンと戦う体制を固めた。

一方デストロンは、強力な怪人の他、他国から大幹部・ドクトルGを呼び寄せて、V3抹殺も含めた作戦を展開。対するV3も26の秘密や必殺技を駆使して陰謀を打破し、ついにはドクトルGを倒す。新幹部・キバ男爵もダブルライダーの援護を得つつ最終的には単独で打ち負かし、更に次なる大幹部・ツバサ大僧正との戦いも特訓技により勝利した。だが四人目の大幹部・ヨロイ元帥が出現して間もなく、謎の復讐鬼＝ライダーマン＝結城丈二が出現した。対デストロンを巡って対立を続ける志郎と結城だが、後に意気投合。そして人々を救うべくライダーマンは空に散り、V3は敵首領が潜むアジトに向かっていった……。

▲破格の火薬量による物凄い爆発を背に、ジャンプする三人ライダーのマシン。巨大な銀幕に一同が揃い踏む、劇場版のメインタイトルのバックだ。

■仮面ライダーV3

ダブルライダーによって改造された風見志郎が変身した仮面ライダー3号、それが“仮面ライダーV3”だ。V3は1号の技と2号の力を受け継ぎ、より強力なライダーとして誕生した。初期は本来の力を十分に発揮できなかったが、試練に対する忍耐や猛特訓を経て、所有する26の秘密を次第に解き明かし、デストロン怪人を打倒する。卑劣な敵の陰謀や罠、そして新たに襲いくる大幹部や強力怪人を物ともせず、平和に生きる人々を守るべく、戦い続けるのだ。180cm／78kg

▶多少のインターバルを置いて覚醒し、自ら名乗りを上げる。1話。ジャンプ力は60m。

▶死の寸前だったが火葬室から脱出し、動揺するイカファイアを煙突から見下す。4話。

…に向けてキックを放つV3。Wライダーより譲られ…ハリケーンとの連携も見ることができる。

…に向けてもキックを放つ。V3は多種多用のキッ…を判断して、様々な技を繰り出していく。

▲ハンマークラゲと対峙。デストロン怪人は単体でも強敵だ。

▼ナイフアルマジロを投げ飛ばす。この戦いでは猛特訓の必要性も認識した。

▲43話に誕生じたV3とデストロンとライダーマンの三つ巴戦。同じデストロンを敵としながらも、標的を巡って対立する。

●『仮面ライダー』『仮面ライダーV3』は改造人間である、悪の秘密組織デストロンに重傷を負わされたが、仮面ライダー1号・2号によって改造手術を受け、仮面ライダーV3として甦った。（73／08／シーン2）

www.thai-tokusatsu.com

V3 26の秘密

V3、26の能力はここで紹介した他にも、ダブルタイフーン、レッドボーンリング、V3サンダー、火柱キック、プロペラチョップ、エレクトロアイ、グライディングマフラー、フリーザーショット、エナージコンバータ、マトリックアイ、空気ボンベがある。

Oシグナル
改造人間探知機。額にランプがあり、怪人を感知すると点滅する。

特殊スプリング筋肉
あらゆる衝撃を緩和する肩の人工筋肉。7話での鉄球特訓中に判明した。

特殊強化筋肉
特殊合成繊維の筋肉。5話ではマシンガンスネークの銃撃を弾き返した。

V3バリヤー
特殊な絶縁膜を体中に張り巡らし、攻撃を防御。11話で初使用した。

レッドランプパワー
ダブルタイフーンのレッドランプが点滅すると、力が倍増。10話より。

レッドホーンパワー
胸にエネルギーを集中させて、猛パワーを発揮。19話で脱出用に使用。

超触覚アンテナ
ダブルライダーと、テレパシーで通信をとる。2話が初使用だ。

細胞強化装置
腕を交差させる事で、細胞が鋼鉄よりも硬くなる。21話で危機を救った。

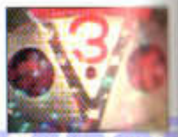
スクランブルホッパー
25話でシゲルに与えた護身武器。振動で高周波が発生し、敵を撹乱する。

V3反転キック
敵に蹴りを放って反転、もう一度蹴りを放つ。5話等、多用した。

V3遠心キック
二体の敵を同時に倒すべく、回転しながら放つ蹴り技。4話で放った。

V3スクリューキック
体を渦巻き状に回転させて加速を付け、粉砕する蹴り技。6話で使用。

V3ドリルアタック
ドリル状に体を回転させ、頭から敵に体当たりをかける。8話で使用。



逆ダブルタイフーン
別称は逆タイフーン。ダブルタイフーンの逆回転による暴風を放つ。

V3ホッパー
ベルトの脇に携行している探査装置。それを天に打ち上げて、索敵データをV3の目に転送する。使用頻度は高く、かなりの敵を探査した。

V3キック
蹴り技の基本となるキック。18話では、二体の敵を連続して葬った。

V3チョップ
敵を切る技。33話ではユキオオカミにV3きりもみチョップを放つ。

V3パンチ
敵を粉砕する技。44話ではカマクビガメに脱出パンチを放って粉砕した。

ダブルアタック
抱えた敵を天高く放り投げ、そのまま背面にキックする。8話のノコギリトカゲ戦で使用した。

4つの弱点
15話で判明。一つ目は逆タイフーン使用後3時間の間は、変身不可能になる事だ。残りの三つは謎のまま。で、Wライダーだけが知っている。

V3スカイキック
39話のバショウガン戦で使用。空中にジャンプして反転し加速、そして両足で敵を粉砕する。

V3きりもみキック
空中からきりもみ急降下で蹴り込む技。10話ではこれで敵を連続撃破。

V3回転キック
空中で回転、蹴りを入れる蹴り技。21話のギロチンザウルス戦で使用。

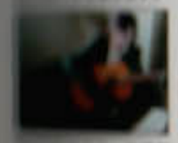
V3マッハキック
40話の特訓で誕生。空中でプロペラの様に回転し、キックを放つ大技。

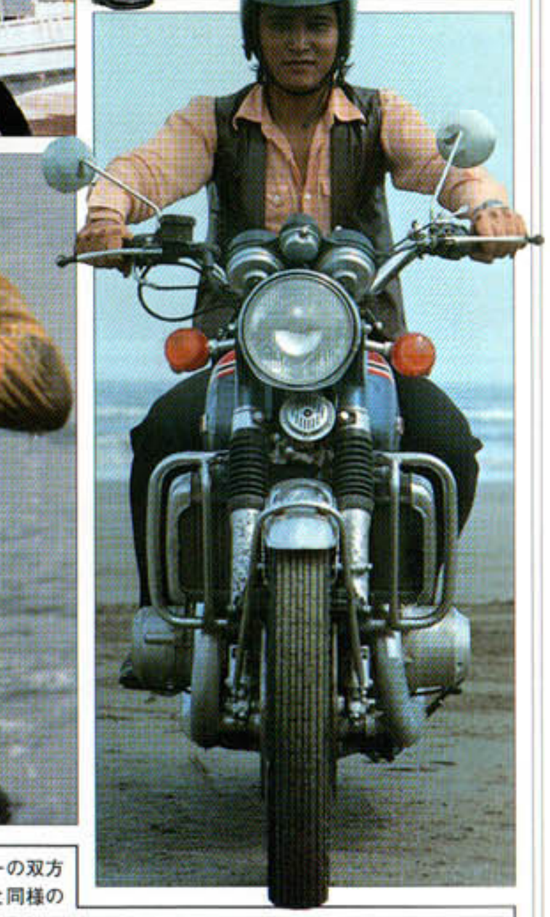
必殺技全リスト

この他、V3回転ダブルキック（2話）、V3電熱チョップ（13話）、V3回転フルキック（25話）、V3ボディアタック（29話）、V3きりもみ反転キック（30話）、V3パワー（31話）、V3フライングキック（31話）、V3回転3段キック（35話）、ビッグスカイパンチ&～キック（36話）、V3ドリルー（37話）、V3トリプルパンチ（37話）、V3脱出パンチ（44話）、必殺きりもみキック（47話）、V3必殺キック（48話）、V3三段キック（49話）、V3フル回転キック（50話）、V3全エネルギー解放（52話）がある。

風見志郎

主人公の後輩にあたる城南大学生。オートレースの才覚にも優れ（本物にてレースに参加、No.は3）、藤兵衛の指導を受けていた。しかしデストロンの存在に気付いた事が原因で、両親と妹を失い、復讐を誓う。だがダブルライダーによって改造手術を受け、命を救って貰った。純子の想いを避ける孤高さがある反面、弱い者を助ける暖かさも垣間見せる。以降、立花ら少年ライダー隊と協力し、デストロンの陰謀に立ち向かっていく。幾多の苦難を経て、立ち上がるその姿は、まさに“不死身の男”だ。





ブイ変身スペシャル

変身ポーズはダブルライダーの双方を折衷。前半は両腕で2号と同様の動きをし、後半は1号と同様のアクションで決める。2話から披露。

▲二輪車上で変身。12話や39話で披露。

▲2話のみ、一瞬手を前で重ねあわせてから変身。

www.tokusatsu-tokui.com

■ライダーマン

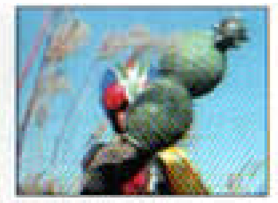
ヨロイ元帥への復讐に燃える結城丈二が、マスクとスーツを装着した姿だ。最大の武器は右腕に装備した人造アームのアタッチメントで、これを駆使して仇敵に立ち向かう。戦闘員を軽くあしらうだけの実力はあるが、ヨロイ族怪人には引けを取り、更にヨロイ元帥との戦いでは劣勢気味となる。当初はV3との共闘を拒むが、組織の悪行を垣間見るにつれ、協力関係を見せる様になった。175cm／70kg

▲デストロンによってやむなくライダーになった二人の立場は酷似しているが、戦う信念と目的には溝があった。だが志郎の説得が、ライダーマンの心を変えた。43話から登場。

www.thai-toku.com

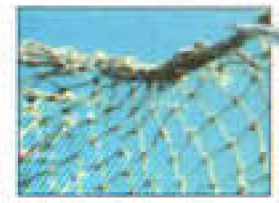
■アタッチメント

[illegible]



■スウィングアーム

ロープの先端を分銅にした形態。45話では志郎と対立した際に使用した。



■ネットアーム

網を射出し、相手を捕縛する形態。50話では暴れる子供達を一網打尽に。

■ロープアーム

ライダーマンが最も多用したアタッチメント形態。ロープの先を換装する事で、様々な用途への転用が可能だ。スウィング・ネット・カギ爪・カマ共に、ロープアームのバリエーションである。

■カギ爪アーム

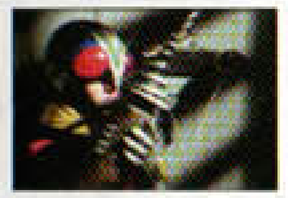
鋭利な先端を利用した接近戦は勿論の事、43話等、この先を対象物に絡め、ロープを伝って移動する手段としても多用した。

■カマアーム

ロープの先端を鎌に変形した状態。劇中では未使用だ。

■パワーアーム

43話でライダーマンが初使用するアタッチメント。鉄状の刃を持ち、接近戦に優れ、高い攻撃力を有する。



■ドリルアーム

鋼鉄の壁を穿つが、2500V以上の電源を要する。

51話では宿敵との決着よりも、人々を救うためのプルトンロケット操縦を優先。安全な場所で爆破するため天高く飛翔し、手持ちの爆弾を操縦室内に放り投げる。最後の台詞は「ライダーマン＝結城丈二の最期を見ろ」！

■結城丈二

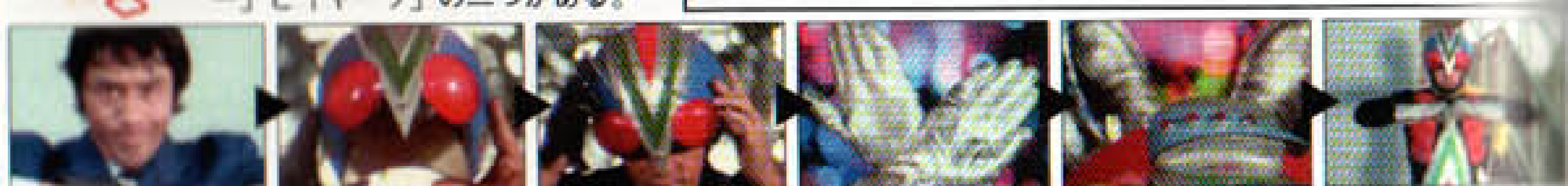
孤児の時にデストロン首領に引き取られ、科学者になるまで育てられた。そのため組織を平和集団と認識していた。科学班所属で、頭脳明晰。部下からの信頼も厚く、組織内ではかなりの支持基盤があった。だがそれが政敵・ヨロイ元帥の危機感を煽らせる事となり、濡衣の容疑で死刑になりかける。しかし右腕を失いつつ脱走に成功、ライダーマンとしてヨロイ元帥に復讐する事を決意した。

▲傷の治療と同時に、人造アーム装着手術も敢行。これは瀕死の結城の命令でもあった。

◀心と共に深い傷を負った右腕に、人造アームが装備される。

◀阿部、平、そして片桐らの助手の手引によって脱走した。

結城はライダーマンマシンのシートに収納したマスクを付けることでライダーマンとなり、腕と連動してアタッチメントを操る。掛声は「トォー」と「ヤーッ」の二つがある。



▲部下からのその絶大な信頼により、ヨロイ元帥の一方的な嫉妬を買う。

▲ヨロイ元帥によって弁明無しに硫酸プールに落とされ、右腕を奪われた。

▲雑踏に紛れ込む際のコート姿。だが49話では、カメレオンの標的となる。

▲心の傷を具象化したアタッチメントを握る結城。似た境遇の志郎と対峙。

ハリケーン

2話から登場するV3の愛車。開発者はダブルライダーで、V3の能力に順応した性能を有する。設定では原子力エンジンを搭載し、普段は志郎のバイクに擬装されている。最高速度は600km/h。更に前部にブースターロケットと自動伸縮の二段式ウイングを装備し、グライディング飛行も可能だ。主な用途はV3の高速移動だが、デストロンのオートバイ部隊戦では戦闘バイクとして活躍。特に空中戦を得意とするツバサ族怪人戦では、強力な対空手段となった。

▶体当たり・ハリケーンラストダッシュ。38話で敢行。

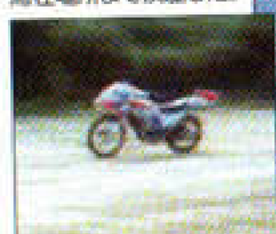
▶後部から制動用パラシュートを展開することが可能。

◀ブースターロケットは両翼に一門づつ装備。10時間以上、滑空する事が可能。

▶空中飛行はV3の遠隔操作でも可能。36話で特訓経を放つべく、呼び寄せる。

200km/hで青、400km/hで黄、600km/hで赤と、色が変化。

▶▲ハリケーンは、ダブルライダーの新サイクロンのシステムやフォルムを継承・発展させたマシンだ。47話ではライダーマンマシーンと並列。デストロン首領の潜在場所まで疾駆した。



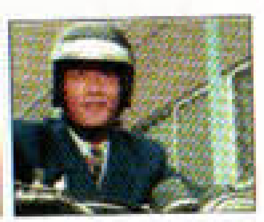
▲ハリケーンは志郎の遠隔操作による自走が可能。31話ではドクロイノシシによって火刑にされかけていた志郎が、遠隔操作で危機を脱している。

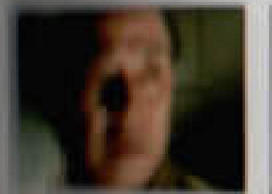
▲

★

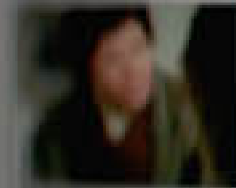
ライダーマンマシーン

ライダーマンと同様、43話から登場する結城の愛車。以前から結城が密かに設計・開発していたものと推測される。設定では最高速度250km/hで、最高出力は125馬力。尾行用や偵察用等、運動性に優れたバイクだ。シート下にはライダーマンマスクとアタッチメントを収納。完全な改造人間ではない結城でも乗りこなす事が可能だ。44話等では、志郎のマシンとバイクチェイスを展開。特に偽装は施されておらず、常時この外装で疾走する。



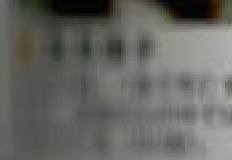


[illegible]



[illegible]

[illegible]



[illegible]

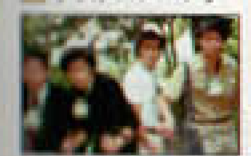
珠純子

デストロンに狙われた事で、ライダー隊本部の通信士に。想い人は志郎。

珠シゲル

4話から登場。純子の代役を機に、ライダー隊への加入が認められた。

デストロンハンター



佐久間ケン（健）

インターポール・デストロン捜査官の総称がデストロンハンターだ。29〜36話まで活躍したケンは、その5号にあたる。

立花藤兵衛

少年仮面ライダー隊会長。ダブルライダーと共にゲルショッカーを倒した後は、志郎のレース指導を行なっていた。しかしデストロン出現とV3誕生、そしてダブルライダーの失踪を機に、新本部を設立。表では運動用器具店「セントラル」店長となり、裏では隊長兼任の少年仮面ライダー隊の維持運営にあたる。唯一、志郎の正体を知る人間だ。

▲年長者の立場から志郎を精神面からサポートし、尚且つ7話等、V3の強化特訓の指導も務める。

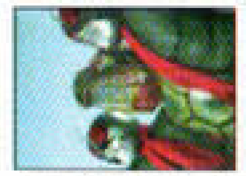
少年仮面ライダー隊

ライダーに協力する子供達で結成された全国組織。主に、探索活動や情報収集面で活躍する。

デストロン出現を機に制服を一新。通信機能を装備したペンダントはV3がモチーフ。制服は赤が基調だが、白の夏服もある。自転車を駆使。

[illegible]ダブルライダー

[illegible]1号と2号。通称"ダブルライダー"は風見志郎をV3[illegible]し、自らは姿を消す。しかしオーストラリアから[illegible]（劇場）。更に2号は渡米後、1号と共に再帰国[illegible]（33、34話）。



▲東京を救うべく、カメバズーカと共に、太平洋に消える（2話）。

▲志郎に贈られたメダルから、ダブルライダーの声が！（20話）。

▲秘密の形見の存在が判明。それはV3の弱点の記録だった（14話）。

▲本郷、風見、一文字。この変身前の三人が本編で揃うのは、1〜2話、33〜34話。

▲本郷は城南大学生の志郎の先輩。毒の分析を行った（1話）。

ライダーダブルキック

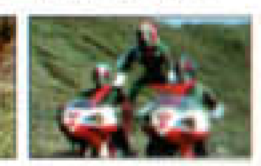
ダブルライダー最強の技は、四国のタイホウバッファロー戦で使用。

ライダー全エネルギー放出

ダブルライダーの高速飛行を可能にする大技だ（2話）。

ライダー返し

ユキオオカミ戦で1号が使用。前作から使用している技である。

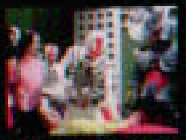


ライダートリプルパワー

原始タイガー戦で使用。三人の力を集中させ、体当たりを敢行。

●「[illegible]がいるかぎり、デストロンの野望は不可能だ！」（風見志郎／V3 34話）

デストロン



▲V3を苦しめる強力な改造人間を、次々と開発していく。

▲デストロンマーク。鷲と髑髏をイメージした不気味な紋章。

ゲルショッカー壊滅から間もなく、首領が結成。姿を現わさずに綿密な計画を立て、一斉に行動を移す恐怖組織だ。生物学のみならず機械工学の特性も取り入れた改造人間を開発し、世界征服計画を進める。全世界に点在するアジトには幹部が存在し、V３の出現で苦戦する日本支部には、都合４人の幹部が投入された。

科学者

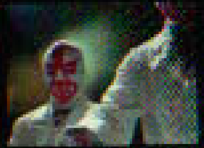
◀・リピッツ ケルシャーク開発後、逝[illegible]

◀ドリルモグラ開発。神父に[illegible]

戦闘員

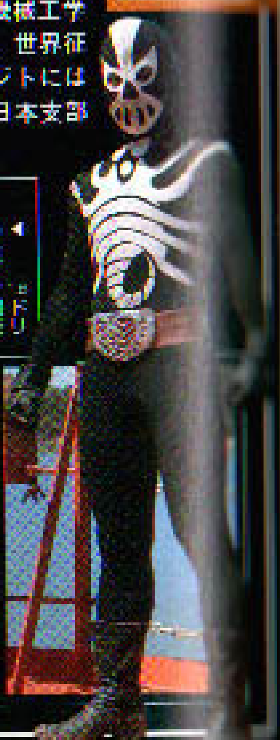
デストロン戦闘員はコスチュームが黒色の一般戦闘員と、白色の科学班戦闘員に大別される。さらに25～26話では、精鋭を集めた"レインジャー部隊"が出現した。

▲オートバイ部隊。27話でバイク戦を展開。

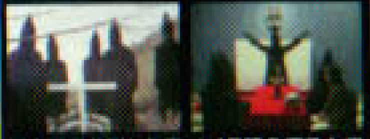


▲3話から登場の科学班。研究開発を担当。

▲親衛隊。百[illegible]



幹部

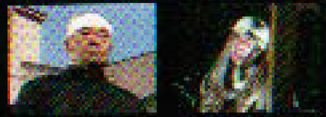


▲1話で参列した喪服の一団。本郷の墓に見立てた十字架に、花輪をたむけた。

▲47話のデストロンパーティの一団。志郎を罠にはめるため、待ち伏せる。

ハサミジャガー

活動を目撃した志郎の暗殺が任務。志郎を付け狙い、彼の両親と妹を殺害。1～2話／194cm／88kg／「シザース」（声：沢りつお）

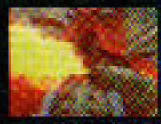


▲祖父に変装して、志郎の隙を突く（2話）。

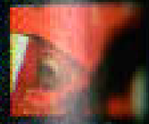
▲刃で切られた相手は、瞬時に溶解してしまう。

イカファイア

相手の力を奪う肉弾戦が得意だが、テレビバエ共々、ライダー遠心キックに敗れる。1～4話／210cm／75kg／「ファイアー」（声：八代駿）



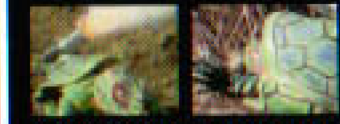
▲左腕装備の火炎放射器は、V3を追い詰めた。



▲黒煙を吐き、ダブルタイフーンの力を弱めた。

カメバズーカ

ライダー抹殺と内蔵の原爆で東京全滅を目論む。最期はダブルライダーによって太平洋に連行され、爆発。1～2話／175cm／63kg／「ズーカァ」（声：峰恵研）

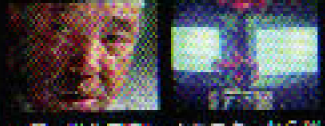


▲バズーカの砲撃力は、ダブルライダーを圧倒。

▲隠密活動時には、手足と頭の本体収納も可能。

テレビバエ

人々の洗脳とV3抹殺の情報収集が任務。殺人電波を放ち、飛行能力を持つ。3～4話／174cm／50kg／「フラーイ」（声：沢りつお）

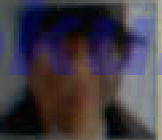


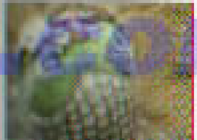
▲元・総合病院院長の姿を奪い、患者を拉致。

▲モニターから催眠電波を発し、視聴者を操る。

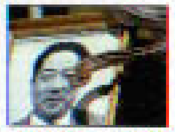
ナイフアルマジロ

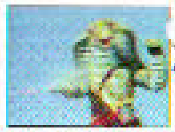
[illegible]に協力。右腕に伸縮[illegible]を装備し、男に変装し[illegible]を行う。V3の特訓によ[illegible]敗れるが、再手術で[illegible]8話／160cm／66kg／[illegible]（声：山下啓介）





[illegible]された男が、改造[illegible]ボディを丸めて体当たり[illegible]V3を一度は敗北させ[illegible]





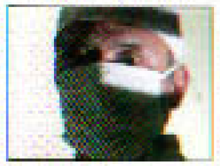
▲蛇に変身して家宅侵入する能力を持つ。また右腕に機関銃を装備し、初戦でV3の足を狙撃した。

マシンガンスネーク

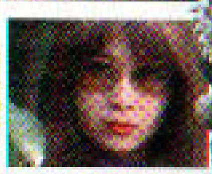
新エネルギー理論を狙い村山博士を牙で殺害。助手の道子とその息子にも魔手を伸ばす。だがV3反転キックに敗れる。5話／165cm／53kg／「シシャァ」（声：辻村真人）

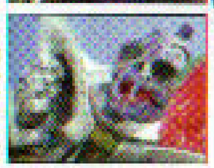
ハンマークラゲ

マシンガンスネークの任務を継続。ハンマーは地震を起こす程強力で、更に柔軟な体はV3キックをも弾く。5～6話／178cm／94kg／「クラァー」（声：峰恵研）



◀医師に変装。またハンマーは鉄分銅にも変形し、絶大な破壊力を発揮する。





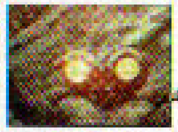
◀説得の動画には、看護婦や女スパイに変身。また左腕の鋸は強力だ。

ノコギリトカゲ

デストロン初の女性怪人で、怪人を蘇生する人工心臓術奪取が目的で河井博士を狙う。鋸の付根の弱点を突かれ、V3ダブルアタックに敗北。7～8話／159cm／51kg／「キィーッ」（声：沼波輝枝）

レンズアリ

レーザー地獄部隊を指揮し、志郎の暗殺を計画。左腕の万力で打倒V3に執念を燃やす。9～10話／170cm／59kg／「チャカァ」（声：辻村真人）



▶冷酷に仕打ちし少年ライダー隊を罠にはめようとする。両目のレンズからは、五千度の熱線を放出。

レーザー地獄部隊

優秀なレーサー集団だが、改造され、デストロンの尖兵に。バイク戦で志郎を苦しめ、核物質を強奪。

カミソリヒトデ

首領の命令でレンズアリに協力し、共同攻撃で一旦はV3を打ち負かす。最期は単身戦い、V3きりもみキックに敗れる。9～10話／180cm／70kg／「シュシュ」（声：八代

◀胸から可燃物質を放出し、大炎上を作る。また刃物は再生可能だ。

●「V3が来た!! V3の名を叫べ デストロンの野望は許せません！」（V3／V3 16話）

■ピッケルシャーク

初任務は中原博士の始末。その後彼の持ち出した秘密文書を奪回するため、V3と対決する。11～12話／175cm／70kg／「ヒルーヒルー」(声：八代駿)

▲ピッケルには、鋭い光線を発して敵を封じるピッケル＝フラッシュを装備。水中戦にも長けており、V3をアジトへと引きずり込んだ。

■ドクトルG

初代日本支部幹部として登場。全身を武具で包み、"悪魔の頭脳を持つ男"と呼ばれている。「仮面ラァ～イダV3」という独特の口調で宿敵を呼称し、冷酷な作戦を次々と指揮する。13～30話。

▲"G作戦"で、日本に無事上陸。棺から目を醒まし第一声を(13話)。

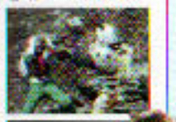
▲悪魔の精霊を呼び寄せるための儀式を執り行う(14,30話)。

▲盾は鉄壁の強度で、斧の切れ味も抜群。V3はこれに苦戦する(15話)。

▲ゲーマーク。主に戦場にマーキングがなされている。

■ジシャクイノシシ

牙ケ岳にV3を引き付け、ドクトルGを無事日本に上陸させる事が使命。V3に最後の技をかわされ、自滅した。13話／185cm／50kg／「シャクー」(声：峰恵研)



▲志郎の後輩・吉村に変装、方眼にはスーパー磁石を装備し、ジシャクバリアを張る事も可能。イノシシダッシュが最後の技だ。

■ドリルモグラ

本能に忠実なまま、V3の抹殺と純子との結婚を画策。地中を移動し、頭部のドリルで相手を穿つ。V3反転キックに敗れた。11～12話／200cm／79kg／「リーロー」(声：西崎卓

■ミサイルヤモリ

[illegible]を破壊する"D－18計[illegible]"。[illegible]テストの目撃者の始[illegible]。強い火力を誇る反面、接[illegible]。一度、ドクトルGの制[illegible]る。16話／180cm／[illegible]」(声：辻村真人)

[illegible]。背中の大型ミサ[illegible]撃する程の威力を持[illegible]。[illegible]の車にも張り付ける。

▲胸からは金属を溶かす程の熱気を放出。そして自身が倒されると同時に、相手のエネルギーを奪う体液を浴びせる。

■ガマボイラー

V3の秘密の奪取を狙う一方、打倒V3のため自らの命を投げ出す。最期はキックを浴びて……。14話／135cm／79kg／「アーブラー」(声：沢りつお)

■バーナーコウモリ

志郎の探索が任務。志郎を匿う岡島博士親子を襲撃するが、V3逆ダブルタイフーンによって吹き飛ばされる。15話／167cm／48kg／「アームー」(声：八代駿)

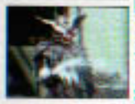
◀男に変装し、突然に消えた志郎の行方を捜索する。口から火炎を放射して攻撃。

■クサリガマテントウ

組織を追われたフリをし、罠を張る。三千Vの電流を与えるスネークチェーンを装備。17～18話／211cm／77kg／「ザーキー」(声：沢りつお)

■スプレーネズミ

教会を乗っ取り、病原菌・デビルスプレーを散布。クサリガマテントウと連携する。17～18話／180cm／59kg／「キーラー」(声：山下啓介)



◀神父に変装して要塞内を偵察。右腕はデビルスプレーを射出する他、17話で高圧線の如くのばして、V3キックを阻止。だが18話では防がれず、敗退される。

▲内臓には背後の敵を攻撃するテントウミサイルを装備。また左腕のスネークチェーンの予備は、体内に格納されている。

■ハリフグアパッチ

船舶を撃破して制海権を握る"フグ魚雷作戦"のための、労働力確保が任務。V3きりもみキックをくらい木っ端微塵になった。19話／168cm／58kg／「チーリー」(声：八代駿)

▲肩からフグ魚雷を発射。頭に体の針は相手の動きを封じ、口の周囲でトドメをさす。

▲男に変装してフェリー内に潜入。そして大部を襲撃し、立花藤兵衛・純子・シゲルを捕虜にした。更に右腕には鋭いギロチンを装備し、口から火炎を放射する。最期はV3回転キックを受け、海で爆死。

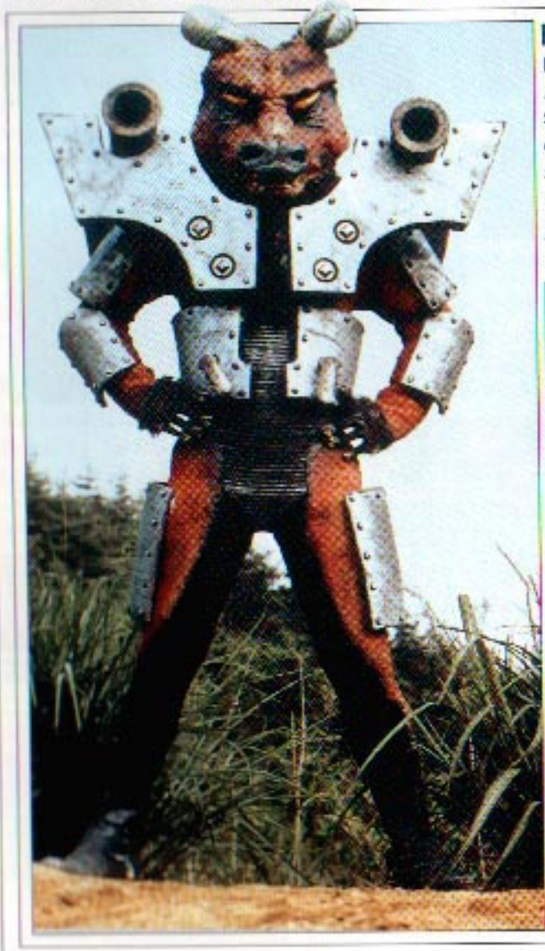
■ギロチンザウルス

"四国占領作戦"を妨害する志郎達の抹殺が任務。V3の首をギロチンにかけようとする。20～21話／175cm／65kg／「ギーロー」(声：辻村真人)

■ドクバリグモ

裏切り者・深沢の始末と、ＳＳ装置の設計図の奪取が任務。V3反転キックをくらい、爆発した。20～21話／165cm／53kg／「グモ～」(声：西崎常治)

▶小型クモに変身し、監視及び盗聴活動を行う。また右腕の巨大注射器のホホに操作コントロールピールスを含ませ、その血清液は、強度に抵抗している。



■タイホウバッファロー

四国に埋蔵されているサタンニウム奪取のため、作戦を妨害するライダーの抹殺が任務。怪人軍団の先頭に立つが、最後は弾切れとなり、自爆覚悟で三人ライダーに戦いを挑む。劇場／195cm／95kg／「バーフー」(声：八代駿)

■ドクバリグモ・ギロチンザウルス

サタンニウム奪取の実行となって行動。ドクバリグモが秘密を探る沖田姉弟の殺害を画策し、ギロチンザウルスがそれを援護する。が、ギロチンザウルスは作戦途中でV3に倒され、ドクバリグモも味方の砲撃により爆発四散した。

◀両肩に凄まじい破壊力を持つ大砲を装備。だがライダーダブルキックとV3ギックの連続攻撃を受け、敗北した。

■怪人軍団

四国・五台山頂の最終決戦時に出現。構成はジシャクイノシシ、スプレーネズミ、ピッケルシャーク、ミサイルヤドリ、ドリルモグラ、クサリガマキリ、バーナーコウモリ、レンズアリ、ガマボイラーの8体。ジシャクイノシシ、ピッケルシャークは南都沖の基地からの増援組。スプレーネズミとミサイルヤドリは1号と戦い、レンズアリとガマボイラーは2号と対決。大阪城の中、[illegible]トルGの強烈な指揮によるタイホウバッファローの砲撃により、全滅した。

■グロベラカブト

[illegible]が改造された姿。[illegible]である血液確保のため、多くの若者を襲撃。23話／[illegible]／「ブーロー」(声：八代駿)

[illegible]を持つ。右腕には鋭利な羽のブーメラン、それを飛ばした連続攻撃も可能だ。

■ブーメランリメラン

[illegible]ストロンレイン[illegible]と、指揮官[illegible]と流がし[illegible]という残[illegible]にも刀を装[illegible]／62kg／[illegible]

◀肩から放つブーメランは、区内の標的を対峙するドルから出られる性・軍性作戦が長い。日常の第1部隊は機動作戦を展開。

■ウォーターガントド

初島で多くの捕虜を酷使し、毒ガスを地底運河で富士山麓に運び、東京一円に散布するのが使命。目撃者の抹殺も兼任する。22話／192cm／50kg／「アウォー」(声：沢りつお)

◀口から5種ガスを噴出。左腕はウォーターガンを装備。

■ゴキブリスパイク

研究室を占拠して若い女性の家政婦を募り、人体実験を繰り返している。老婆を部下にして人質の監視を命じる。右腕にスパイクを装備。24話／168cm／49kg／「スパーイク」(声：辻村真人)

◀大型防土になります。口からガス噴射。腕を使用。

■ヒーターゼミ

レインジャー第2部隊を指揮しての一千万都民ミイラ化が任務。26話／163cm／55kg／「ミミンガー」(声：市川治)

◀若いな性・誘惑に変身し、田口博士の娘を騙うと、m酒を餌すき話を頭にはめようとする。更に怪しき女し、人間の眼を惑わす悪声を発する。正体しは最後を神術。

■ミイラ人間

ミイラピールス入りの水を飲み干した人間の成れの果て。元に戻すには田口博士開発の血清が必要。

●「[illegible]さん、待ってください。タカオくんは怪獣少年ライダー隊の中間です。後近に、もう一度タカオ君を呼び出してください！」(ミシゲル／V3 22話)

Masaki-tokusatsu.com

■ワナゲクワガタ

再生怪人を率いて"日本全滅作戦"の妨害者を排除する事が使命。志郎を捕虜にし、南原博士の命も狙う。V3キックに倒れた。27～28話／170cm／80kg／「クワー」（声：八代駿）

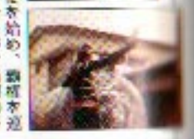
▲新聞記者に変装。更に胸から遠隔操作式の鉄輪を投げ首を絞める。左手首からは煙幕を放出。

■再生怪人

ショッカーのドクダリアン、ウニドグマ、イモリゲス、シオマネキングが登場。

■ショッカー・ゲルショッカー再生4大幹部

ゾル大佐・死神博士・地獄大使・ブラック将軍と、かつての組織の重鎮が揃って復活、ギラードガンマーガス敵布を画策。しかし、基地の自爆に巻き込まれ、全滅する。27～28話。



地獄大使を始め、幹部を巡って睨み合うが、最後には仲間割れとなる。

■カニレーザー

ドクトルGが自らの呪われし血を悪魔の精霊に捧げ、変身した姿。少年仮面ライダー隊を拉致し、三浦海岸でV3に決闘を挑んだ。30話／176cm／51kg／「アバラー」（声：沢りつお）

▶従来の武器である剣と斧を持ち、両目を開に含む能力を有し、人知い術を使う。また剣には目玉に発射するレーザー砲を装備。V3さりもみ旋風キックに破れた。

■カメラモスキート

ドクトルG最後の怪人。デストロンハンターからの秘密書類の奪回が使命。更に解読を請け負う田所博士も襲撃する。29話／168cm／51kg／「ブルル」（声：山下啓介）

▲撮影した相手になりすます能力を持つ。偵察用にミニモスキートを使用するが、志郎にはその正体を見破られてしまった。ホログラフィ発生能力も持つ。

■キバ男爵

アフリカ・コンゴ川上流のドーブー教の大魔術師。31話からデストロン第二次攻撃を請け負う大幹部として姿を現わし、妖術を駆使してV3の前に立ちはだかる。キバー族の怪人を配下に置き、35話まで作戦を指揮した。牙型の槍を携行。

▶冷静な状況中で戦術を切り換える柔軟な思考力を兼ね備えている（31話等）。儀式にはキツネザル姿と羽織を使用。なお画面上では第ディツ、下アゴ部分は別で登場した。

■ドクロイノシシ

ドクトルG戦死直後に出現。小淵沢村を占領後、志郎を捕縛。棺を介した悪魔太鼓の響きが活動源。30～31話／179cm／67kg／「ホワァ」（声：沢りつお）

◀牙は生血を吸う。また、禁忌"鼻笛"を用いた攻撃。

■オニビセイウチ

鬼火沼で少年仮面ライダー隊の全滅を画策。だがV3フル回転キックで致命傷を負う。32話／177cm／66kg／「アオゥ」（声：八代駿）

▲伊藤に化けるが、鏡には正体が反射される。また鬼火を飛ばして攻撃。

■ユキオオカミ

"殺人光化学スモッグ作戦"を展開。寒川博士を協力者として引き込もうとするがV3きりもみチョップに倒れる。33話／175cm／69kg／「スノォ」（声：沢りつお）

▲絶対零度の威力を持つ冷気＝ウルトラブリザードで、志郎を捕らえた。

■獣人

寒川弓子がユキオオカミに噛まれて変身（33話）。ドーブーの呪いによりキバ男爵の言いなりになるが、後で元に戻った。

■原始タイガー

スミロドーンの真の姿。三人ライダーの打撃を跳ねかえすが、ライダートルネードパワーをくらい、爆発して果てた。34話／198cm／65kg／「ヌホッ」（声：市川治）

◀スミロドーンの時より使用する分型マシンで、2号とバイク戦を展開。口からは火を吐く。

■吸血マンモス

キバー族最後の一員にして、キバ男爵の変身体。日本の要人の脳改造を企む。V3回転二段キックを受けて元の姿に戻り、爆発した。35話／199cm／89kg／「モォス」（声：峰恵研）

▶鼻から血を吸い、左脳で地震をおこす。

■魔女スミロドーン

キバ男爵の新婦に成じ、百万年の眠りより目覚めた一族の魔女。来店客や女医、女ライダーに化けて志郎を誘惑する。

www.shai-tokusatsu.com

■ツバサ大僧正

キバー族全滅直後に首領が呼び寄せた日本支部三代目大幹部。チベットのまんじ教の教祖で、幻妖的な雰囲気を持つ。空中戦を得意とするツバサ軍団を指揮。35〜40話。

▲アジトには、黄に緑がかる装飾が施されている。40話で最期を迎える。

■火炎コンドル

インカ帝国の遺跡から飛来し、近代施設の悪用を画策。鋭い爪を持つ。36話／185cm／80kg／「ホオッ」（声：倉口住三）

▲背広姿に変装し、平る所で死者を多発しまくった。口からは吸いの火を放出。

■バショウガン

植物園で人々を拉致して改造人間保存人間を確保する事が任務。味方の口封じも請け負う。39話／169cm／59kg／「キキキ」（声：山下啓介）

▶口の端で相手を捕縛し、地下アジトに引きずり込む。

■殺人ドクガーラ

アジト防衛が任務。目撃者を抹殺、或いは労役のための捕虜にする。口には毒針を持ち、空から急襲。38話／169cm／66kg／「ガーッ」（声：辻村真人）

◀ラドンの力により、大量の毒針を飛ばし、相手を白骨化させる。小型版は偵察用に使う。

■木霊（コダマ）ムササビ

ムササビの森のアジトで毒の散布を企む。カヨコとその祖父を捕えるが、V3トリプルパンチを受け、白骨化した。37話／156cm／48kg／「アーッ」（声：沢りつお）

▲両手首には人間をムササビの死骸と化す毒ミサイルを装備。指からは毒液を出す。

■死人コウモリ

細菌"ヒマラヤの悪魔"の散布が任務。空中での高速回転投げ＝V3キラーでV3を倒すが、再戦でV3マッハキックに敗れた。正体はツバサ大僧正。40話／213cm／63kg／「キイィ」（声：辻村真人）

▲相手の血を吸った後、男のままに帰る"ヒマラヤの悪魔"を長い舌から注入する。無数の小型蝙蝠も縦横自在に操作した。

www.thai-tudu.com

■ガルマジロン

脱走者を餌に志郎を誘きだし、倒す事が使命。右腕にはボウガンを装備。最期はV3と雌雄を決し、敗れる。41話／215cm／87kg／「ガーラー」（声：西崎章治）

▶虫眼で組織内の対決状況の動揺を二本指らんとした。左腕に装置を装備。「結果が全て」を信条に行動する。

◀止体は志郎の親友・白・高木の他介。性式の舞を放棄し、ちゃ相手を溶解する。背面のツノでも攻撃。

■ヨロイ元師

ヨロイ族を率いて非道な作戦を指揮する四代目大幹部。打倒V3と同様、組織内部の派閥間争に異常な向りを見せる。40話〜52話。

▶自分の卵を人間に植み付けて、最のために産る。解剖刷は頭部から脱出。防御力の高い甲殻を持ち、粘性の唾液を吐く。武器を攻撃も可能。

■カマクビカメ

結城ら脱走者、そしてV3の暗殺が任務。声色を変え乳児に変身し、相手を欺く。43〜44話／170cm／65kg／「キーッ」（声：桂柳二）

◀首を伸ばし、松んに酸を体内で溶解する。また子電によるガスで敵を溶す。

■カタツブラー

マンションを占領し志郎に脳改造を迫った。自己催眠能力を有する。触角が弱点。42話／165cm／87kg／「ホワァ」（声：辻村真人）

「俺は悪魔だ！俺はあの子を救ってやりたい。俺はあの子を救ってやりたい。俺はあの子を救ってやりたい。」（仮面ライダーV3 40話）

■サイタンク

Xマスに子供達を集め、デストロンの先兵にする事が使命。怪力と防御力を誇るが、ライダーマンとV3の共同攻撃の前に敗れた。45～46話／158cm／90kg／「フワァ」(声：西崎章治)

▲ブラックサンタに扮し子供を拉致。また強固なツノは相手を消し去る事が可能。

■シーラカンスキッド

デストロンパーティ会場に出現。V3を欺き、ライダーマンの信用失墜が使命。だがV3に陰謀を見破られてしまい、必殺きりもみキックを受け、空中爆発した。47話／180cm／80kg／「カヴァロロ」(声：沢りつお)

◀口から赤い風船爆弾を放出。シーラカンスに化けたりと、敵の撹乱も得意だ。

■デストロンライダーマン

赤胴衆を油断させるべく、デストロンドクター博によって開発された傀儡。少年仮面ライダー隊本部破壊を企む。V3が察知したその正体はシーラカンスキッド。

■オニヒトデ

"東京都皆殺し作戦"を展開する。敏捷性は高いが、ライダーマンのネットに絡み取られてV3三段キックをくらい、気化。48話／170cm／102kg／「ワァオ」(声：八代駿)

◀小型ヒトデに分裂し、人々の恐怖の叫びを止めるべく行動。また飛行能力も持つ。

■カメレオン

改造人間の制御能力を奪うバタル弾を発射し、去郎の自由を奪う。岩土に化けて家出娘のジュンも利用する。49話／「イヒヒヒ」(声：山下啓介)

◀八方に伸びた手足は結ばれて、瞬間的に敵に命中した。結婚はされた本舞台にすべく、手錠をはめる。

■吸血カメレオン

血を集めて"新改造人間製造計画"を企む。みどり学園に透明化して侵入、ガスを散布しつつ子供達を襲撃した。V3フル回転キックを受け、溶解した。50話／180cm／89kg／「イヒヒヒ」(声：山下啓介)

▲カメレオンに吸血能力を付加。舌を伸ばして相手を絞殺する他、血を吸った相手を吸血人間に変える能力も持つ。これを皆に志郎を襲撃した。

■吸血人間

吸血カメレオンの血のホホに操られる子供達。立花の店を襲い、去郎やライダーマンを追い詰めた。

■ザリガーナ

地面から出現し、ロケット実験の目撃者を消す。その正体はコロイ元帥で、V3フル回転キックを受け、アジトに逃げた直後、処刑された。51～52話／179cm／87kg／「グワァ」(演：沢りつお)

◀戦闘中、左腕を失う。結婚の指輪の効果が表れたのか？

◀五郎には巨大な腕を持ち、相手の目を抉る。

◀口から液を吐き、相手を溶解してしまう。

◀中腹を動かし、敵に投げ付ける武器も使う。

■再生怪人

ライダー原画を捕える死人コウモリと本郷を襲撃したオニビヤイウチに、バショウガンが加わってV3をアジトで迎え撃った。

■フルトンロケット

東京を壊滅する"ゼロアリー"にあわせ、八ケ島アジトから発射される強襲兵器。有人操作で目的地に潜るシステムであるためライダーマンはこれを緊急ジャック、絶命寸前で空中爆破した。

■デストロン首領

最終話で顔になった正体は、人工心臓とテープを装備した骸骨であった。その風貌は死神に酷似。浮遊能力と自爆能力を持ち、最期は大爆発を起こす。それはデストロン壊滅の瞬間でもあった。

◀仮面の下に不気味なきりもみの模様をつけていた（46話）。

◀バラキオリンピック会場にいるとも思われた（47話）。

◀音楽を伝えるテープの色はゲルショッカー幹部と同一。

◀人工心臓が弱点。ロボットV3にこれを破壊された。

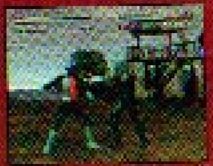
●「電波は君に仮面ライダー4号の名をささげる」ライダーイーン（V3／V3 51話）

www.tokusatsu.com

▼印は山根「ミニカード仮面ライダー」の写真を使用しています。

COLUMN 03 ゲーム世界の"ライダー"

TVゲーム史に「仮面ライダー」の名を残したのはアクションゲームとして登場したファミコンディスク版『BLACK』が最初である（デザインは異なるもののTVより早くシャドームーンが登場！）。以降SD（スーパーデフォルメ）となっての『〜倶楽部』や「ガンダム」や「ウルトラマン」といった他のヒーローとのコラボレーションを果たした『グレイトバトル』シリーズなどの"コンパチヒーロー"シリーズと呼ばれるゲームが登場。これらは主に低年齢層を狙ったソフトであるが、ゲームという媒体により、TVシリーズが無い時期に「仮面ライダー」というキャラクターを広く伝えることを成し得ている。勿論生粋のファンが唸るようなゲームもあった。RPGのシステムでリリースされた『ヒーロー戦記』はコンパチヒーロー系のソフトで子供向けながらも、マニアックなシナリオ構成で、今も語り継がれるソフトとなっている。またライダー単独タイトルのゲームとして登場したSFC版『仮面ライダー』はゲームシステムが当時流行の格闘アクションだが、本郷や一文字から"変身"できることや、ストーリーが"99話"以降の展開であったり、島本和彦氏のイラストが挿入されるなど工夫に凝ったソフトであった。
その後、ハードの進化や拡大により、様々なタイプのTVゲームが現れる。そこではハードの限界にも挑戦するかのように原作のシナリオや映像までも徹底再現していたり、前出以外のさらなるヒーローとのクロスオーバーが描かれ、今やライダーの勇姿はゲーム世界の定番だ。
右の写真群はそうして進化を遂げてきたゲームの数々であり、同時に現在、我々が楽しむことが出来る"成果"でもある。今後もさらなる進化を見せるライダーゲームの動きには注目すべきであろう。



◀▲『仮面ライダー』／放映当時の雰囲気に忠実な画面や"ショッカーストーリー"、"デジタルライダーカード"等が好評を得た。バンダイ／2000円／98年

◀▲『仮面ライダーV3』、『仮面ライダークウガ』（左下）／『ライダー』のシステムを踏襲した『V3』にはライダーマンも登場。『クウガ』は放映中にリリース。バンダイ／5800円（『クウガ』は4800円）／2000年

▶『仮面ライダー作戦ファイル1、2』／詳細なデータベースと怪人の製造シミュレーションで構成されたソフト。東映ビデオ／各6800円／1994年&1995年（PC版）

◀▲『スーパーヒーロー作戦 ダイダルの野望』／古今東西、多くの特撮ヒーローがクロスオーバーして物語を展開させる。バンプレスト／6800円／2000年

▲『特撮冒険活劇 スーパーヒーロー烈伝』石ノ森ヒーロー"のみ"で繰り広げられるアクションRPG。バンプレスト／6800円／2000年

▲『スーパー特撮大戦2001』／等身大、巨大キャラ入り乱れる中、我らのライダーの活躍やいかに？ バンプレスト／6800円／2001年9月発売

【単独タイトル】仮面ライダー（B／PS）、仮面ライダー（B／SFC）、仮面ライダーBLACK対決シャドームーン（B／FCD）、仮面ライダーSD グランショッカーの野望（B／FC）、仮面ライダーSD 出撃!!ライダーマシン（B／SFC）、仮面ライダーSD 走れ！マイティライダーズ（B／GB）、仮面ライダーV3（B／PS）、仮面ライダーZO（B／メガCD）、仮面ライダークウガ（B／PS）、仮面ライダー 作戦ファイル1（東V／Mac・Win・SS）、仮面ライダー 作戦ファイル2（東V／Mac・Win）、仮面ライダー倶楽部（B／FC）
【混載1：アクション系】ザ・グレイトバトル 新たなる挑戦（BP／SFC）、SDバトル大相撲 平成ヒーロー場所（BP／FC）、SDヒーロー総決戦 倒せ！悪の軍団（BP／FC）、グレイトバトルサイバー（BP／FC）、ザ・グレイトバトルIII（BP／SFC）、ザ・グレイトバトルV（BP／SFC）、ザ・グレイトバトルII ラストファイターツイン（BP／SFC）、ザ・グレイトバトルIV（BP／SFC）、ザ・グレイトバトルPOCKET（BP／GB）、ザ・グレイトバトルVI（BP／PS）、ザ・グレイトバトル外伝II 祭りだワッショイ（BP／SFC）、野球ファイト！＜ザ・グレイトバトル外伝＞（BP／GB）
【混載2：バラエティ系】スーパーパチンコ大戦（BP／SFC・GB）、スーパー熱球ファイト！（BP／SFC）、バトルクラッシャー（BP／GB）、バトルサッカー フィールドの覇者（BP／SFC）、バトルサッカー2（BP／SFC）、バトルドッジボール（BP／SFC・GB）、バトルドッジボールII（BP／SFC）、バトルピンボール（BP／SFC）、バトルベースボール（BP／FC）、バトルレーサーズ（BP／SFC）、クイズキャラおけドン！東映特撮ヒーローPART1（BP／PS）、クイズキャラおけドン！東映特撮ヒーローPART2（BP／PS）
【混載：RPG・SG系】アジト2（BP／PS）、アジト3（BP／PS）、ガイアセイバー ヒーロー最大の作戦（BP／SFC）、スーパーヒーロー作戦（BP／PS）、スーパーヒーロー作戦ダイダルの野望（BP／PS）、スーパー特撮大戦2001（BP／PS）
※B：バンダイ、BP：バンプレスト、東V：東映ビデオ、セガ：セガ・エンタープライゼス

i-toku.com

1974-1975

第2章

仮面ライダーX
仮面ライダーアマゾン
仮面ライダーストロンガー

1974 仮面ライダーX

TV
1974年2月16日～10月12日　MBS・NET系
土曜夜7時30分～　全35話（劇場作品1本）

「ライダー」シリーズも3作目となり一新を図ったため、前作とつながりがない形で始まり、怪人のモチーフも従来の動物からギリシャ神話へと変化。ライダーもベースとなる生物不在となった。棒・剣の使用による殺陣の多様化（それまでも相手の武器を奪って使っていたが）が特色。超能力ブームやノストラダムスの大予言といったオカルト的な事象が話に反映されたり、キングダークのような巨大ロボットの登場などが時代を反映している。

日本壊滅を目論む謎のGOD機関は、神教授の人間工学の技術に着目。その息子敬介は恋人涼子の裏切りもあって殺されるが、教授は自らの命を省みずに敬介に改造手術を施し、自らの人格を移植したコンピューターのある神ステーションに運ぶ。仮面ライダーXとなった敬介は、肉体こそ強化されたものの、恋人の裏切りという精神的打撃に対して強化されたわけではなく、同じ顔の謎の女に、明らかに事件が起きているのに恋人の後を追うのは間違っていると咎められる。人間ではないが故に心傷つき、コンピューターの中の父親に悩み事の相談に行けば、自分の存在が弱い男にさせてしまったと父親が自爆してしまうなど、心に大きくダメージを受ける事態が続く。だが、偶然事件に遭遇したおやじさんこと立花藤兵衛と出会い、甘えることなく優しさと厳しさを与えられ、戦いの孤独から解放される。また、謎の女霧子も恋人の妹で自分の味方と判明する。霧子と実はサイボーグだった涼子の相次ぐ死、宿命のライバル・アポロガイストの出現、手痛い敗北と仮面ライダーの通過儀礼とも言える特訓、死んでも蘇り自分を付け狙う宿敵の復活。そして先輩ライダーとの共闘。……激闘の中で様々な経験を経て、Xは自らを成長させて行く。だが地球の運命を握るRS装置の図面を巡る戦いの果て、想像を絶する巨大な敵キングダークがXの眼前に立ちはだかる。XとGODの戦いの行方は!?

仮面ライダーX

5人目の仮面ライダー。深海開発用のカイゾーグがベースとなっているため、海中での行動力は高く、海底1万メートルでも活動できる上に、空を飛ぶ怪人とも互角に空中戦を繰り広げ、ユリシーズ相手には地中に潜って脱出するなど、全体的に高い能力を誇る。改造手術によって強化された肉体は変身せずとも包丁を曲げるほどで、戦闘時に絶大な威力を発揮するが、力だけではなく武芸にも秀で、空手や柔道は勿論、棒術剣術からヌンチャクまで駆使し、バイクの腕前が一流の上に馬も乗りこなす技量をも併せ持つ。178cm／70kg。

▲腰からライドルを引き抜くとベルトの風車が回転する。怪傑ゾロが剣でZ文字を描くように、XライダーもライドルホイップでXの字を切り描きながら名乗りを上げる。

▼エネルギーを全開にした時、Xライダーの目は赤く光り、体からは活火山のようにエネルギーがほとばしる。この後、パワーアップによって可能となった必殺技が繰り出される。

▼クモナポレオンにエネルギーを吸い取られたXライダーを蘇らせるため、風見志郎は神敬介にマーキュリー回路を組み込み、血液を完全に入れ替える手術を行った。

▶変身する時には、腰のベルトが出現する。左にレッドアイザー、右はパーフェクターを装備。

ライドル

ベルトの脇にある武器。抜くとベルトの風車が回転する。赤いグリップの4つのボタンを押すことで用途別に変形。

▶Xライダーの体に合わせ、グリップは

ライドルスティック

怪力を誇る怪人でも曲げられない頑丈さを持つ。空中で鉄棒の大車輪の様に回転する動きはXキックを出す以外にも度々使用される（ライドルステッキとも呼称）。

ライドルホイップ

細身の剣。長さは1メートルほど。刃は付いていないが突き刺すよりも切り払う動きの方が主体となっている。X字に切り裂く動きと共に名乗ることも多い。

ライドロープ

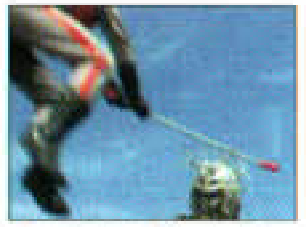
特に長さは決まっていない。捕獲や救出などといった目的はもちろん、戦闘の際にはムチとして使う他、電流を流す事もできる（ライドルロープとも呼称）。

ロングポール

棒高跳びの棒のように、身長よりはるかに長く伸ばした状態。使用頻度は少ないが、全身から放電し近寄り難いケルベロスを水中に叩き込みとどめを刺した。

Xキック

空中高く飛び上がり、ライドルスティックで大車輪（メドウサ戦ではしない）。勢いを付けてから全身をX字に広げてキックする。



ライドル脳天割り

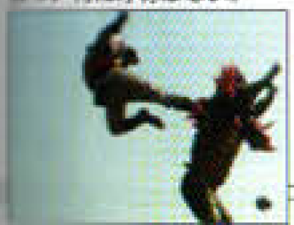
ジャンプしてライドルスティックを振り下ろす。アルセイデスを倒したときが初使用。再生怪人も倒した。

ライドル風車火炎返し

ライドルスティックを高速回転することで敵の攻撃を防ぐ。ガマゴエモンはガマ油に引火して火だるまに。

地獄車キック

真空地獄車の変形技。相手と空中で高速回転してから放り投げ、背中にキックを放つ。特に呼称はない。



真空地獄車

マーキュリー回路により可能となった大技。連続回転で頭と腰を痛めつけ、空中にてXキックを見舞う。

必殺技全リスト

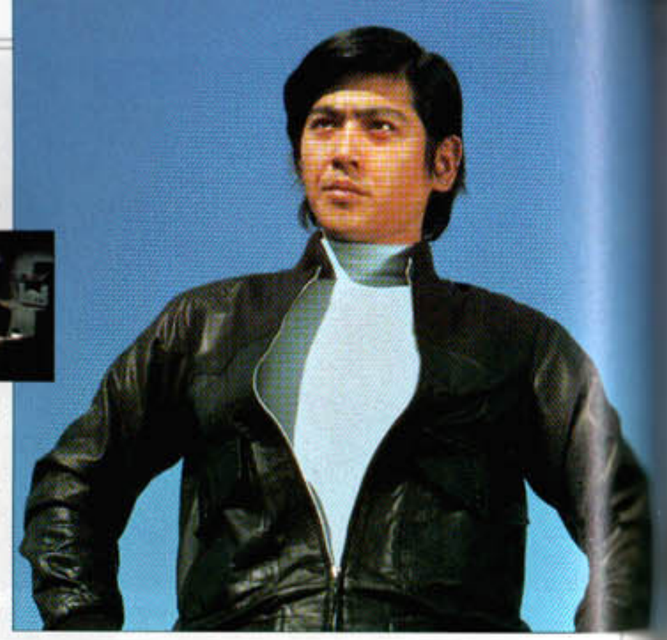
Xキック(1、3～14、16、18～28話)や上記にあげた技の他、クルーザーアタック(2、4、10話、劇)、回転キック(7、19話)、二段キック(10話)、ライダーショック(11、17話)、電気ショック(13、21話)、X必殺キック(14話)、ライドル脳天割り(17、21話)、ライドルバリヤー(19話)、ライダーハンマーシュート(21話)、ライドル風車火炎返し(23話)、空中地獄車(31話)がある。

●巨大な悪の組織ゴッドに父とともに殺された神敬介は瀕死の父の手によって仮面ライダーXとして甦った。敬介の恋人、涼子はなぜゴッドについたのか？ そして霧子とは？ 謎のGOD機関を相手に戦う仮面ライダーX！

■神敬介

沖縄の水産大学生で、休暇中に東京に戻ってきたところ、黒い服の謎の男達に襲われる。柔道・空手の腕前でこれをしのぎ、謎の怪人の攻撃も水泳の技術で逃れるが、銃弾を浴びて死亡。瀕死の父の自らの命を犠牲にする改造手術によりカイゾーグ・仮面ライダーXとして蘇り、日本の平和と人類の未来のためにGOD機関と戦う正義の戦士となった。

▲死亡した敬介を蘇らせるための手術を行う神教授。この時、単に蘇生させるのではなく、深海開発用改造人間の技術を全身に施した事により、人間よりもはるかに強靭な肉体を持った仮面ライダーXが誕生した。



セタッ

セットアップの意。レッドアイザーがマスクになり、口にパーフェクターを装着する。

劇場版では1号ライダーの変身ポーズの後に腕の振りを加えた特殊な変身ポーズの後にセタッと叫んでXライダーに変身した。

大変身

パワーアップ後はポーズと大変身の声から変身するようになる。

www.dai-to.com

■クルーザー

Xライダーのために神教授が作っていたバイク。水中で高性能を発揮できることはもちろん、クルーザー大回転のような空中での活動性を要する動きや無人操縦も可能。地上でも高速と小回りの良さを兼ね備えているので、武装はなくても戦闘では十分すぎる活躍を見せる。

◀クルーザーに乗っての超高速体当たり。バニックのとどめを刺した。

◀カイゾーグ用マシンということもあり、海中での走行も容易にこなす。

◀Xライダーが時へば無人でやって来る。人質を救出して去る場合も。

■神啓太郎

城北大学教授。人間工学という特殊なジャンルもあって変人扱いされている。GODへの協力を拒んだために殺される。カイゾーグ・クルーザーなどGODに立ち向かうための備えをしていた。

■神・ステーション

神啓太郎が無人島の海中に作っていた秘密基地。Xライダーの自立を促す為に自爆した。

■水城涼子

啓太郎の助手で敬介とは恋人同士の間柄。GODの一員として何度も敬介を追い込んだが、実は国際秘密警察の潜入捜査員だった。サイボーグ化されていて、裏切りを理由に自爆させられる。

■水城霧子

涼子にうり二つの双子の妹で、密かに連絡をとっていた姉の代わりに敬介に協力していた。

■チコ

藤兵衛の店のバイト嬢。危険な体験後も食欲旺盛。城北大学生。

■立花藤兵衛

元少年ライダー隊会長。多摩区生田町でコーヒーショップを経営。バス消失事件に遭遇したことが縁で5人目の仮面ライダーと巡り会い、敬介の精神的支えになった。

■マコ

チコの学友でバイト仲間。風邪一つひかない健康さが自慢。

●「俺はまだ人間だろう神敬介でいる時は人間だろ」「敬介、お前は人間ではない」「人間ではない事に誇りを持て」「Xライダー、人間でない苦しさに耐え抜いてそれを誇れる男になれ。お前は立派なカイゾーグの男なのだ」(順に敬介、啓太郎／X 2話)

■5人ライダー

ニューヨーク・パリ・モスクワ・タヒチと各地で活動していた先輩達が、"東京カラカラ作戦"の計画を知り、全員が日本に帰国。各地で作戦中の怪人と対戦する。勢揃いした5人ライダーは怪人軍団を壊滅し、"東京カラカラ作戦"の実行を阻み、打倒Xライダーを目指し、その能力を上回るように作られたコウモリフランケンと対決。共に完膚無きまでにした。V3と2号は以後もRS装置設計図争奪戦に参加し、Xをサポートしている。

▲ライダーマンが左手にカセットアームを装着しているというのは極めて珍しい事である。

▶久しぶりに帰国して挨拶代わりに再生怪人軍団や、クモナポレオンと戦った(3話)。

▶ムカデヨウキヒ・タイガーネロとの戦いでは2号ライダー・一文字隼人も含めた3人が揃った。

■Xライダースーパーファイブキック

◀▲5人ライダーが一列に並び、ジャンプしたXライダーを他の4人が次々と加速させ破壊力を高めた一撃。Xライダーの能力を上回るコウモリフランケンを倒した。

GOD機関

世界の対立する大国同士が密かに手を握り作った秘密結社。神話怪人や悪人軍団を使って日本全滅を狙う。日本各地に秘密基地があり、国内にも密かに協力している科学者は多い。構成員の多くは体を改造され、裏切者は、総司令が管理するスイッチで自爆させられるか、処刑される。

▲アジトの中は、ハイテク機器が多数用意され、罠も多数設置してある。

▲マークは、隠しカメラや基地の各所にもつけられている事が。

■GOD総司令仮の姿

総司令自体が姿を見せる事はなく、顔を見た経験があるのは組織内でもアポロガイストのみである。指令は基地内のスピーカーから伝えられ、基地にいない者に対しては、彫刻や鶏、サッカーボール等に偽装した物体に指令を吹き込んだテープが内蔵された物がひそかに送られ、テープが最後まで再生されると、自動的に爆発する。1～20話（声：阪脩）

■アポロン神殿

ゴッドの日本基地。アポロンの宮殿とも呼ばれる。人工霧に包まれた区域の地下２００メートルにある巨大要塞である。世界中の各地にこの様な基地が存在する。

◀アポロガイストは三百発全て的の中央に当てる。

◀格闘技のトップレベルの人間ばかり揃っている。

◀この中にいる誰の総司令の正体は誰も知らない。

◀人工衛星をも駆使して世界中から情報を入手。

■秘密工作員

人間の姿で行動し、人気がない所で正体を現す。正確には人間ではなくサイボーグである。銃・剣・槍・弓・オートバイ・ジェットローラー・馬等多彩な武器を使い戦う。

◀アキレスと同タイプのジェットローラーを使用。

◀オートバイに乗る事が多いが、こんなケースも。

◀弓矢は火のついた物を使用する場合もある。

◀非戦闘員もいて、科学者は白で区別されている。

■科学者・協力者

▲川上博士・外科手術の腕で再生させたアポロガイストにより斬殺される。

▲宮本博士・城北大学電子物理学教授。同じくアポロガイスト再生に貢献。

▲南原博士・GOD科学開発局長。超兵器にもなるRS装置を完成させる。

■ネプチューン

三又話を愛用し、神敬介の左足に傷を残した。海中から現れタンカーを沈める。邪魔者の神啓太郎を襲った。1話／178cm／83kg／「ネプウ」（声：山下啓介）

▼▶人間に化けて行動する事もできる。口から溶解泡を出すが神敬介は泳いで逃れた。Xキックに爆滅するも生首が爆発する首爆弾で最後までXライダーを苦しめた。

■メドウサ

蛇に変身できる。クルーザーアタック、Xキックの直後、人の血を源とする石化光線を避けられ果てる。4話／197cm／105kg／「クイー」（声：松金よねこ）

◀普段は木暮博士の助手の三浦清美。髪のヘビは催眠術を使う。飛ばして武器になる。工作員の運転するバイクのサイドカーに乗る。

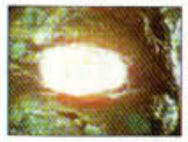
■パニック

ＧＯＤ機関精鋭隊の一員。頭部からのロケット弾は人間を青く溶かす。クルーザーアタックで爆死して消滅。2話／184cm／92kg／（声：沢りつお）

▲八百吉の親父に扮し、市民を扇動した。苗の首の催眠術で一億総殺人鬼計画を実行しようとした。

■キクロプス

トンネルの下に秘密基地を建設。スティックに視力を封じられた後Xキックで倒される。5話／188cm／145kg／「ガーウ」（声：八代駿）



◀▼バスの運転手に化けて乗客を誘拐。世界征服後の奴隷とする為に冷凍保存する計画を指揮。骨型棍棒を振り回し、一つ目レーザーで標的を消し去る。

■ヘラクレス

怪力を誇るもライドルは曲げられず。Xキックを２度受けた後、剣を抜き突進、差し違えられずに泡を出して燃える。3話／177cm／54kg／（声：沢りつお）

▲▶インターポール捜査官に人間の姿で近づき、トゲ付棍棒と盾で襲い、毒蜘蛛で死体を処理した。

■ミノタウロス

工事事務所に隠した武器をゲリラに売る作戦を展開。ブルドーザーを駆使してXライダーを追いつめた。6話／189cm／98kg／「ムウー」（声：西崎章治）

▶普段は現場監督になりすまして武器を管理している。盾にもなっている拳でのパンチ連打と指ミサイル、角からのロケット弾が武器。

www.shi-toku.com

■印は天田印刷工業「ピクチャースタンプ　仮面ライダー」の写真を使用しています。

■イカルス

催眠術で児童を自殺させて大文字博士の天才人間計画を妨害し、GODの一員にしようとした。Xキックを受け、夕日に投げられ爆発。7話／170cm／73kg／「トゥルアァァ」(声：市川治)

▲黒峰山の新エネルギー資源調査隊の妨害が使命。多彩な技を持つ。

▲▶鼻息で飛ばす吹き矢には即効性の毒が塗られている。やや粗雑な技だが、狙いは案外に正確だ。

▲▶大文字博士の助手の瀬山一郎に変装していた。切れ味鋭いデスウイングと溶解力の高いデススモークを武器に戦った。

■マッハアキレス

ジェット機並の俊足で一度は勝利するが、足のジェットローラーが弱点と見抜かれ、Xニ段キックに敗れる。9～10話／180cm／80kg／「グエーッ」(声：八代駿)

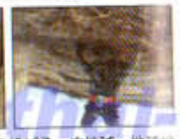
▲▶ミキの父に化けて誘拐、戻ってきたミキに隠していた巨大蜂に襲われ立花も操られる。

▼調査隊に同道していた啓介らを毒矢で狙うが、彼らをかばい霧子・涼子の双子が犠牲となる。

▲炭焼き屋の親父に化けて山の中で暗躍していた。

■鉄腕アトラス

鼻息で飛ばす吹き矢で霧子を殺害、涼子にも重傷を負わせる。弱点が左肩だと死の直前の涼子に明かされ、Xキックの直撃で爆発する。8話／150cm／60kg／(声：沢りつお)



▲地球型分銅を振り回す＝小地球、地球型砲丸を投げる＝中地球・地球投げ、逆立ちして大地に頭突きで地震＝大地球・大地震を駆使する。

■プロメテス

人間ロボットを破壊工作員として養成しようとした。元戦闘工作員養成所長。地中を移動中にXキックを受けて爆発。10話／196cm／102kg／「ルッ」(声：西崎章治)

◀背中に装備しているプロメテス・ナパームを投げつけて攻撃する。怪人は移動時に工作員の運転するサイドカーを使用する。

■ヒュドラー

巨大蛇を巻き付けてXライダーを追いつめたが、Xキックで青い水になって爆発した。11話／182cm／79kg／「ヒュヒュー」(声：辻村真人)

▶光るトカゲに金を奪わせ喜ぶ。溶解ガスを吹き、Xキックで首が飛んでもすぐに胴体に戻り、再生する。

■アポロガイスト

ゴッド秘密警察第一室長。殺人マシーンとも呼ばれる。X必殺キックに敗れるが、殺すには惜しいという総司令の配慮からアポロン宮殿での手術で強化再生。再生手術による生存期間は1か月しかなく、パーフェクターでの存命を図り、第2宮殿で対決するが、再度敗れる。8～21話。185cm／75kg（再生～は190cm／85kg）。

◀▲アポロショットとガイストカッター。いずれも絶大な破壊力を持つ。

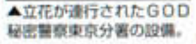
▲最後にXライダーに求めた握手により地獄の道連れとする奥の手アーム爆弾が作動したが、死に際で動きが鈍っていて止めは刺せなかった。

■くるい虫

ギリシャの兵士が戦争の恐怖を忘れる為に用いた。ゴキブリ並の繁殖力を持つ。14話。

▶秘密警察室長の身分を隠す為に、怪人の前に現れる時にわざと人間の姿をする時もある。立花もしばらく彼が神敬介の友人であるとは知らなかった。バイクを乗りこなす姿はいい。

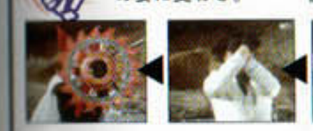
◀バイクの腕は神敬介と比べても甲乙つけ難い凄腕だ。



▲立花が運行されたGOD秘密警察東京分署の設備。

チェンジ！

14話から使用。顔の前で腕をクロスして、アポロガイストの姿に変わる。



■キマイラ

怪力を誇るが、迂闊さも併せ持つ。炎の壁を出すも、体を冷却してのXキックに敗北。12話／173cm／80kg／「ンゲエ」(声：西崎章治)

▲人に化ける事もできる。口から吐く火炎は1万度ある為に、Xライダーでも耐えられない。

■ユリシーズ

剣と弓矢、冠縛りなどの攻撃を駆使する。Xを道連れに自爆を試みるが、Xキックを受け一人爆発する。13話／166cm／75kg／「クエーッ」(声：市川治)

▲予言者ゴッドラダムスに扮して東京全滅を予言。信じぬ者は予言通りに殺そうとした。

▲肩の蛇から東京全滅作戦用の殺人スモッグが吐き出される。

■死神クロノス

大鎌が炎を帯びたクロノス地獄鎌が一番の大技。命を代償にXライダーの左肩を傷つけた。15～16話／184cm／76kg／「シュー」(声：沼田曜一)

▲不気味な老人に化けて指令の入った彫刻を運ぶ任務があったが、不注意で箱を取り違えてしまう。

■ケルベロス

3つの頭でかみつく。放電体質ゆえロングポールで水中に落とされ漏電して爆発。16話／179cm／81kg／「ワオー」(声：西崎章治)

▲5万ボルトの電流で、東京を火の海にしようとした。全身を流れる電気はXキックも封じる。

■アルセイデス

ヒョウタン山で木人を作成。姿は木に変えても心まで木にはできなかった。剣と蔓の鞭を武器としたが、ライドル脳天割りに敗れた。17話／175cm／65kg／「アーウ」(声：八代駿)

▼口からはく緑色のガスで人間を木に変えた。

■猫人間

命令には簡単に服従。猫人間の知能は猫並なので、元の人間に戻っても当時の記憶はほとんど残っていない。

▼沢田博士に開発させたピールスの付きの爪で人々を猫人間に変える。

■キャッティウス

身軽さを持つ怪人。爆弾キャットシュートで攻撃したが、Xキックに倒される。18話／168cm／79kg／「フギャー」(声：沢りつお)

■オカルトス

超能力を備え、東京中に幽霊騒動を起こす。超能力に2度敗れたXライダーだが、ライドルバリヤーで超能力を跳ね返してXキックで倒した。19話／175cm／69kg／「グエーッ」(声：辻村真人)

▲▶瞬間移動・死体操作・念力・立体念写などの超能力を駆使した他、自分が殺した人の葬式も取り仕切る。

■サラマンドラ

老婆に化け、東京郊外のは虫類館で人間を捕らえ、は虫類の餌か蛇人間にする。弱点は鏡である事がばれた為にXキックに敗れる。20話／181cm／92kg／「カーッ」「クルルルル」(声：市川治)

■ヘビ人間

サラマンドラの血液を注入された人間が凶暴化。怪人と同様鏡が苦手である。

▲泡で相手を石化させたり、体を弾丸化して体当たりを行った他に、ペットのは虫類を操り大蛇にXライダーの首を絞めさせる等の攻撃を駆使した。

◀▼最終決戦を前に立ち上がった。その絶対的な威圧感故に数十メートル以上に見える事も。

■再生怪人

アポロガイストの命の炎で復活。アキレス、ユリシーズ、プロメテス、ケルベロス、クロノス、ヘラクレス、メドウサ。21話

■キングダーク

22話から登場（21話は声のみ）。悪人軍団を指揮し、RS装置を狙う。普段は洞窟内の秘密基地で巨大な体を横たわらせるが、出陣後はXライダーでも歯が立たない。6m（26mという記述もあり）／5t／（声：和田文夫）

▲目から怪光線、指からミサイル、口から毒ガス、巨体に怪力を備えるキングダークに勝利する為には、体内に突入して内側から破壊するよりなかった。

■RS装置

あらゆるものをエネルギー源とする装置でキングダークの動力源となるはずだった。ミニチュアですら強大な破壊力を持つ。悪用を恐れた南原が設計図を9枚に分け、8枚を仲間に送る事で秘密を守ろうとした。

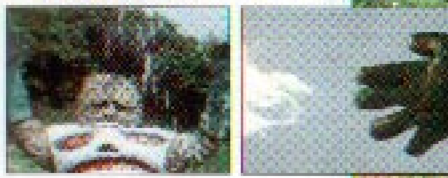
www.thai-toku.com

▼印は山勝「ミニカード仮面ライダー」の写真を使用しています。

■ガマゴエモン

石川五右衛門の頭を持ち、南原博士からRS装置の設計図を奪おうとした。火炎をライドル風車で返され、Xキックを受け爆発。22～23話／173cm／67kg／「ウゲー」(声：沢りつお)

▶▼伊賀流忍術を駆使し、斧と桶からのガマ油火炎、ゴエモン投げ等多彩な技を持つ。頭からのガマ油で攻撃を避ける。



■ジンギスカンコンドル

吸血鬼ビールスで都民の吸血化を計画。スティックを口に入れられ、火炎攻撃不能になりXキックに敗れた。22話／191cm／86kg／「ガー」(声：八代駿)

◀▲口からのロケット弾&火炎「ジンギスカンファイヤー」とミニコンドル、槍が武器。通常は病院長に化け、入院患者の吸血人間化の促進に励んでいる。

■吸血人間

ビールスに襲われた人間が変貌した姿。彼らに血を吸われても吸血人間になる。おじさんの血液はあまりおいしく感じないらしい。

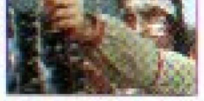
■サソリジェロニモ

大酋長ジェロニモの血族。ライドルスティックを頭に受けXキックに敗れる。22～24話／196cm／89kg／「アワワワワ」(声：八代駿)

▲大サソリに変身できるだけではなく、円盤の草巻りに来た人間に設計図を受け取った人の手がかりを求めて坊主に化けていた。

■インディアン部隊

インディアンメイクを施した戦闘工作員部隊。銃座を焚いて出現し、弓矢で攻撃する。



■コウモリフランケン

Xライダーを凌ぐ最強怪人。奇巌城でXライダーを迎え撃つが、スーパーファイブキックで再生怪人ごと大爆発。劇場／180cm／79kg／「ギエーッ」(声：辻村真人)

▲Xライダーの戦闘を参考に改造した。スパイコウモリで情報収集し、背中の大翼での空襲が最大の武器に。

■再生怪人軍団

キングダークの力でよみがえった。東京軍団からはジンギスカンコンドルとガマゴエモン、神話怪人はミノタウロス、オカルトス、サラマンドラを除く16体が出現。東京カラカラ作戦、進行の為山林と活動をしていた。東軍団はXライダーに早めに倒され、神話怪人も奮闘した5人ライダー相手に次々と倒され、山積みにされた。

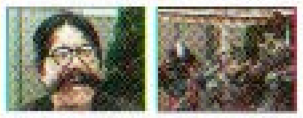
▼自らカブト虫に変身するのみならず、分身カブト虫を部下にし、情報収集。レンズのヒモに手をかけると、透視力が備わる。

■カブト虫ルパン

怪盗ルパンの化身。ギロチンハットとサーベルを武器にするが、ギロチンハットで首を切られる。22～25話／180cm／86kg／「ルパルパ」(声：西崎章治)

■ヒトラー親衛隊

軍服を着用し、機関銃を持っている点が通常の戦闘工作員と違うヒトデヒットラー専用部隊。



■再生怪人

講師に化けて仮面ライダーを中傷したネプチューンとメドウリ、キマイラ。27話。

■ヒトデヒットラー

ヒトラーの化身。拷問も得意である。設計図を道連れに自爆しようとするが、失敗した。26話／183cm／91kg／「ヒトラー」(声：辻村真人)

▲敵を水中に投げ込む渦巻き地獄、杖からのヒトデロケットなど多彩な技を持っている。

■クモナポレオン

Xライダーに勝てる力を持っていたが、V3によるパワーアップ後はあらゆる攻撃が通用せず真空地獄車の餌食第一号となった。28話／(声：沢りつお)

◀▲クモの糸と力を奪った後クモの巣ジャングルでXライダーの動きを封じこんだ。送りつけたナポレオンの肖像画に隠れ、設計図を奪った科学者の弾倉を練り返した。

■再生怪人

サラマンドラとアキレスがV3とクモナポレオンの戦いに加勢。X登場後はV3と戦っていた。

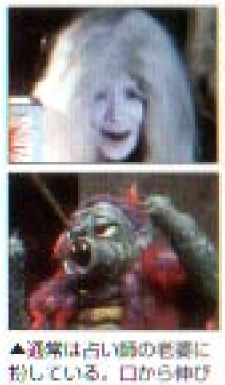
■カメレオンファントマ

変幻自在の体と怪力、舌と瞬間移動能力を駆使して戦うが、真空地獄車に敗れる。29話／178cm／84kg／「ガーッ」(声：八代駿)

■ニセXライダー

動きまでそっくりだったが、パワーアップしたXを苦しめる力はなかった。(声：飯塚昭三)

◀怪盗ファントマの化身。変装技術は得意だが、個人を映る姿はそのままだ。



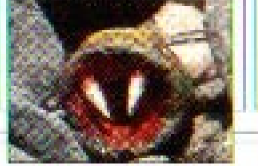
▲通常は占い師の老婆に扮している。口から伸びる舌が相手に巻付く。

■ヒルドラキュラ

しびと沼にいるドラキュラの孫娘。東京中を吸血人間にしようとした。地獄車キックに敗れる。30話／169cm／73kg／「アオー」(声：西崎章治)

■血吸いヒル

ヒルドラキュラのかわいいペット。一リットル拡大で、体が光る巨大ヒル。何匹もいて人間の体を溶かす目的にも使用できる。



■吸血人間

ヒルドラキュラや血吸いヒルに襲われた人達。吸血人間に襲われても同様に吸血人間になる。ヒルの弱点塩をかけられると元に戻る。

●「待て待て……久しぶりに日本に帰って来て、おやじさんの墓前を楽しみにしていたのに、こういうことになっていたとは……。ほーお、それじゃあ久しぶりに、ひと暴れするか」(風見／X 27話)

www.thai-tokku.com

▶無数のトカゲを操る他にも、トカゲになって屋内に忍び込む事もできる。

トカゲバイキング

卑怯が取り柄の怪人。益子焼の窯で神敬介の丸焼きを画策。自分の斧で右腕を切られ空中地獄車に敗北。31話／178cm／76kg／「グルルルル」（声：市川治）

トカゲ人間

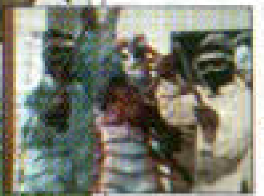
トカゲバイキングの緑色ガスでトカゲ人間に変えられると、身動きをとる事すらできなくなってしまう。

ムカデヨウキヒ

美貌を武器にする他、飾り扇子やヌンチャク、ダーツや鳥爆弾を駆使するが、真空地獄車により大爆発。33話／164cm／59kg／「ケーッ」（声：瀬野礼子）

▲ヤン博士の娘に化けて敬介の家に上がり、設計図を盗み出そうとした。

拳法戦闘工作員



中国服でヌンチャクなどの拳法技を使う戦闘工作員。

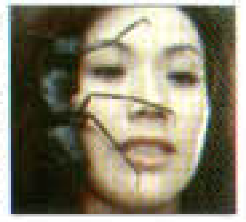
アリカポネ

ステッキは仕込み刀。変装時も愛用している葉巻は吹き矢になる。真空地獄車を受けて大爆発。32話／169cm／78kg／「イーッ」（声：山下啓介）

▲◀▼藤兵衛から設計図を奪取し、RS装置を完成させるも、GODに潜入していた2号ライダーによって装置は破壊されてしまった。

◀人間の姿をしているときも出で立ちに共通点は多い。巨大アリに変身して尾行する事もできる。

催眠アリ



大群で襲いかかれば容易に人間の血を吸い尽くしてしまう。

タイガーネロ

暴君ネロの血を引くGOD悪人軍団の切り札。自慢の刀とタイガー竜巻地獄で3人ライダーと戦うが真空地獄車の前に息絶えた。34話／180cm／78kg／「ワー」（声：八代駿）

呪博士

キングダークのコントロール室に座る、キングダークの一部にしてGODの真の首領。かつては神教授の親友であった。彼の死によりキングダークは自爆。

▶呪博士の頭脳はキングダークのコンピューターと直結しており、キングダークは呪の思うままに行動する。

バイク部隊

アワワワという雄叫びと共に現れる。ロープで敬介の体を引き裂こうとした。

◀父親同様サソリに変身。インディアンの血は車を馬の様に乗りこなす。

サソリジェロニモJr.

父の復讐に燃え、槍でXライダーの胸を貫くが、逆に刺さったままの槍に突かれ、ライドルで刺殺。35話／194cm／88kg／「ホホホホ」（声：山下啓介）

仮面ライダー改造白書

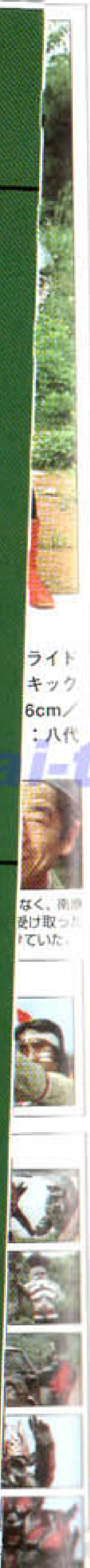
改造人間の悲しみに耐えて戦い続ける仮面ライダー達だが、彼らが改造手術を受けた経緯・方法は千差万別である。大別すると、機械の移植手術により人体を強化するものと、遺伝子操作により人体組織を変貌・強化させるものに分類できる。現実世界におけるバイオテクノロジーの急激な進化を反映して、近年は後者の生体的改造人間が主流となっている事実は興味深いものがある。

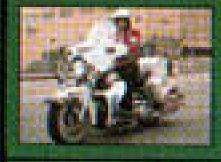
ライダー	改造したのは？	どのようにして？
1号 本郷猛。知能指数600の秀才で、優れたレーサー。	大学の恩師・緑川博士の推薦で選ばれ、ショッカー科学陣が改造手術を施した。	怪人・蜘蛛男により誘拐された本郷は、1週間の長きにわたる改造手術を受け、バッタの能力を持つ改造人間となった。しかし、脳改造される寸前に緑川博士により救われ、アジトから脱出。
2号 一文字隼人。格闘技をたしなむフリーカメラマン。	ショッカー科学陣。ナチスドイツの移植手術の手法により改造人間を作り出す。	仮面ライダーを倒す為の改造人間として作られたが、脳改造寸前に本郷ライダーに助けられてアジトを脱出。ヨーロッパに旅立った本郷に代わり、隼人は日本を守る新たな"仮面ライダー"となる。
V3 風見志郎。城南大学・生化学室の学生。本郷の後輩。	仮面ライダー1号・2号。V3を自らの後継者とし、日本の守りを託した。	改造人間分解光線を浴びて瀕死の重傷を負った風見を救う為、ライダー1号・2号は心ならずも彼に改造手術を施す。風見はダブルライダーの技と力を受け継ぐ、仮面ライダーV3として甦った。
ライダーマン 結城丈二。デストロン科学者グループに所属。	結城を慕う、デストロン科学者グループの同僚達。片桐、平、阿部の3人。	卑劣なヨロイ元帥の罠に嵌った結城は、処刑寸前に仲間の手引きにより脱出。失った右手の代わりに、かねてより開発していたアタッチメントを装着する手術を行い、復讐鬼・ライダーマンとなる。
X 神敬介。沖縄の水産大学に通う大学生だった。	敬介の父・啓太郎。城北大学の教授。ジン・ステーションに自らの記憶を移植。	GODの凶弾に倒れた敬介を蘇生させる為、啓太郎は自ら瀕死の重傷を負いながらも改造手術を執刀。敬介は深海開発用改造人間・カイゾーグ、またの名を仮面ライダーXとして復活した。
アマゾン アマゾンこと山本大介。ジャングルで育った野生児。	長老・バゴー。古代インカ文明の秘術を現代に伝える。高坂教授とも知己。	古代インカ超科学の秘密を秘めるギギの腕輪を狙って、ゲドンが行動を開始した。バゴーは野生の青年・山本大介に手術を施して大トカゲの改造人間とし、ギギの腕輪を守る任務を与えた。
ストロンガー 城茂。城南大学3年で、アメフトの選手だった。	ブラックサタン科学陣。奇械人の製作に最適な素材として、茂を賞賛する。	親友の復讐を決意した茂は自らブラックサタンのアジトに乗り込み、改造手術を志願。したたかな茂は自己催眠装置により洗脳を免れ、大首領への忠誠を誓う宣誓式の壇上にて組織に反旗を翻した。
スカイ 筑波洋。城北大・ハンググライダー部に所属。	志度博士。ネオショッカーに誘拐され、改造人間の製造に従事させられる。	ガメレオジンの攻撃により重傷を負った洋を救う為、志度博士は彼の改造手術を取り行う。一計を案じた博士はあえて脳改造のみを施さず、ここに新たな平和の戦士・仮面ライダーが誕生した。
スーパー1 沖一也。国際宇宙開発局に勤務。赤心少林拳の達人。	ヘンリー博士。一也の恩師であり、彼にとっては父親にも等しい人物である。	一也は父の遺志を受け継いで、惑星開発用改造人間第1号になる事を志願。ヘンリー博士をリーダーとする国際宇宙開発局・改造人間プロジェクトチームはこれを了承し、一也の改造手術を行う。
ZX 村雨良。元・大学生。バダンへの復讐に燃える。	バダン科学陣。過去の組織の怪人を研究し、パーフェクトサイボーグを開発。	新聞記者であった姉と共にアマゾン奥地に出没するUFOを調査中、バダンに誘拐される。囚われの身となった良は強化サイボーグ兵士に洗脳・改造されてしまうが、事故により自我を取り戻した。
ブラック 南光太郎。東星大学の人文学部に在籍していた。	ゴルゴムの3神官達により改造され、体内にキングストーンを埋め込まれる。	五万年に一度の皆既日蝕の日に生を受けた事から、ゴルゴムの次期支配者候補世紀王ブラックサンの素体に選ばれる。親友・信彦と共に19歳の誕生日に改造手術を受けるが、記憶消去を前に脱走。
RX 南光太郎。本作では佐原航空に勤務するパイロット。	太陽光線のエネルギーとキングストーンの力で、自ら進化を遂げた。	宇宙空間に放り出され、絶体絶命のピンチを迎えた光太郎。そのとき奇跡が起こった！　太陽エネルギーを帯びたキングストーンの導きにより、光太郎は仮面ライダーブラックRXに転生する。
シン 風祭真。城南大の体育学部卒で、スポーツ万能。	父親・風祭大門と、そのパートナー・鬼塚。謎の組織"財団"に所属。	真は父・大門の生化学実験に自らの体を提供。一方、大門の同僚・鬼塚は、密かに真の体に侵食性遺伝子細胞の移植手術を施していたのだ。この結果、真は改造兵士・レベル3へと変貌する。
ZO 麻生勝。かつて望月博士の助手を務めていた。	遺伝子工学の権威・望月博士。完全生物・ネオ生命体の創造に憑かれる。	望月博士は、助手の麻生をネオ生命体の実験台に選んだ。バッタの遺伝子を組み込まれた改造人間となった麻生は、落雷の衝撃で4年間昏睡状態にあったが、何者かのテレパシーにより覚醒する。
J 瀬川耕司。自然を愛するフリーカメラマン。26歳。	地底深くに住む地空人達。古来より地球を守護してきた高次存在。	地球を狙うフォッグの怪人に襲われて絶命した瀬川は、地空人達より大地の精霊エネルギーである"Jパワー"を与えられ、地球の自然を守る最強の戦士・仮面ライダーJとして蘇生する。
クウガ 五代雄介。2000の技を持つ気ままな冒険家。	旧来の改造手術とは異なり、体に同化したアークルの力で全身の細胞が変化。	アークルは超古代民族リントが作った変身ベルト。霊石アマダムを内蔵する。雄介は未確認生命体第1号、ズ・グムン・バと戦う為、遺跡から発掘されたアークルを身に付けて戦士クウガに変身した。

本項では、仮面ライダーの手足となって戦場を駆けるスーパーバイク達を一挙にリスト化した。高額なベース車を使用しているVマシンに瞠目する一方で、仮面ライダーの愛車らしからぬライダーマンマシーンのたたずまいが目に付くが、マシンの外見の変遷から判断する限りでは、チューンナップの為に意外と潤沢な資金がかけられている様だ？

	サイクロン	サイクロン（改造タイプ）	新サイクロン	ハリケーン	ライダーマンマシーン	クルーザー	ジャングラー
スピード	400km	400km	500km	600km	250km	700km	300km
馬力	500ps	600ps	700ps	1000ps	400ps	1500ps	調査中
特殊能力	本郷のバイクが変形。ジャンプ力は30mで、自動操縦も可能。必殺技はサイクロンクラッシャー。	ジャンプ力は40m。車体前部から、脱出用ワイヤーロープを射出する。垂直の壁を登攀する能力も持つ。	カウルから射出する翼（サイクロンカッター）により、短時間の滑空が可能。制動用パラシュートも装備。	原子力エンジンを搭載。ジャンプ力は50m。カウルの風車は速度の上昇に同調して、青・黄・赤と変化。	外見はノーマルだが、原子力エンジンを搭載。シートの下のスペースにはマスクとアタッチメントを内蔵。	陸・海・空を自在に移動する万能マシン。必殺技・クルーザーアタックでGODのバイク部隊を蹴散らす。	インカ帝国に伝わる太陽の石が動力源。カウルのアンテナでアマゾンの脳波を感知し、自動操縦が可能。
特記事項	ベースマシンの車種はスズキT125説が有力。本郷が常用する変形前のサイクロンはアクション用としても使われており、こちらのベース車はホンダCB350。設定上の馬力は"200馬力"と記載した資料も存在する。	ベースマシンはホンダCB350DT。ロッテ「仮面ライダーフーセンガム」CF製作時に、もう一台新調された（マフラーの形状で判別が可能）。劇中、2号ライダーはフルカウルのサイクロンと本車を併用している。	第74話からはライトのスリット等の塗装が変更され、よりシャープなイメージとなる。ショッカーライダー用に製作されたサイクロンは、2号ライダー用として流用された。ベースマシンはスズキハスラーTS250Ⅱ。	スズキ自動車に所属するデザイナー、斎藤勝彦氏がデザインを担当。実車はカウルの形状が異なる2種が確認されている。ベース車はスズキTM250説が有力。設定上の馬力は"300馬力"と記載した資料も存在する。	ベースマシンはスズキハスラー250。初登場から「X」まではタンクが緑色だが、「ストロンガー」客演時には銀、「（新）仮面ライダー」では赤のものを使用している。設定上の馬力は"125馬力"と記載した資料も存在。	神敬介がXライダーの為に開発。水流ジェットエンジンを搭載。撮影用マシンのプロペラには動力が仕込まれておらず、風力で回転する。ベース車はスズキTM250説が有力。"クルーザー大回転"はミニチュアで表現された。	バゴーが書いた設計図を元に、立花藤兵衛が組み立てた。カウルからは鋲を発射する。番組開始前の撮影会では後部の翼に白い鋼が張られていたが、走行に支障をきたす為取り外された。ベース車はスズキTM250説が有力。

	バトルホッパー	ロードセクター	アクロバッター	ライドロン	ロボイザー	マックジャバー	Zブリンガー
スピード	500km	960km	750km	1500km	800km	700km	1300km
馬力	415ps	1515ps	512ps	2000ps	550ps	510ps	調査中
特殊能力	世紀王の為に作られた、意思を持つ生体メカ。自己再生能力を備える。必殺技はダイナミックスマッシュ。	プラズマイオンエンジンを搭載。光電子レーダーライトを装備する。必殺技はスパークリングアタック。	ジャンプ力は最長90m。生体装甲・ソーラジルコンで覆われ、体当たり"アクロバットバーン"も強力。	自意識・ライドマインドを備える。フロントより射出するカギ爪・グランチャーで地中潜行が可能。	攻撃要塞の異名を持ち、後部ロケット砲やレーザービームを装備。強固な装甲を生かした体当たりも得意。	そのボディはバイオライダー同様、液体で組成されており、あらゆる攻撃を無効化。ジャンプ力は75m。	ジャンプ力は30m。ボディは100Gの衝撃や千度の熱にも耐える。必殺技はZブリンガーアタック。
特記事項	ベースマシンはスズキRM250と推測される。目の点滅等で光太郎と意思の疎通を図るシーンが印象的。キングストーンに呼応する為、シャドームーンに奪われた事もある。普段の光太郎の愛車はスズキGSX-R400。	本来は機械工学の権威・大門洋一博士が開発したゴルゴムの文明破壊マシンだが、博士の息子・明からBLACKに託された。時速800km以上になると、自動的に"アタックシールド"が作動してマシンと乗り手を守る。	ベースマシンはスズキSF13Aと推測される。ゴルゴムとの決戦で大破したバトルホッパーの残骸に太陽エネルギーが降り注ぎ、光機動生命体として生まれ変わった。なお、本作の光太郎はスズキRGV-γを愛車とする。	シリーズ初の4輪マシン。ベース車はマツダ・RX-7（二代目）。ドアはガルウィング式。クライシス人・ワールドが設計し、光太郎が製作。クジラ怪人の"聖なる海の洞窟"で生命を得て活動を開始。装甲はハイドロシルコン製。	動力はモトクリスタル。RXがロボライダーに変身すると同時に、アクロバッターはリストビットのエネルギーを受けてロボイザーに変形する。本編への登場は第18話のみ。ベースマシンはスズキSF13Aと推測される。	動力はロボイザーと同じモトクリスタル。RXがバイオライダーに変身すると同時に、アクロバッターがマックジャバーに姿を変える。高機動性を誇り、水中・水上走行も可能。ベースマシンはスズキSF13Aと推測される。	ベースマシンはスズキGSX-R400。ZOが変身の際に放出するエネルギーを受け、麻生のバイク（スズキBandit250）が変形を遂げる。カウルに付いている赤い目は発光可能。劇中における製作者は不明である。



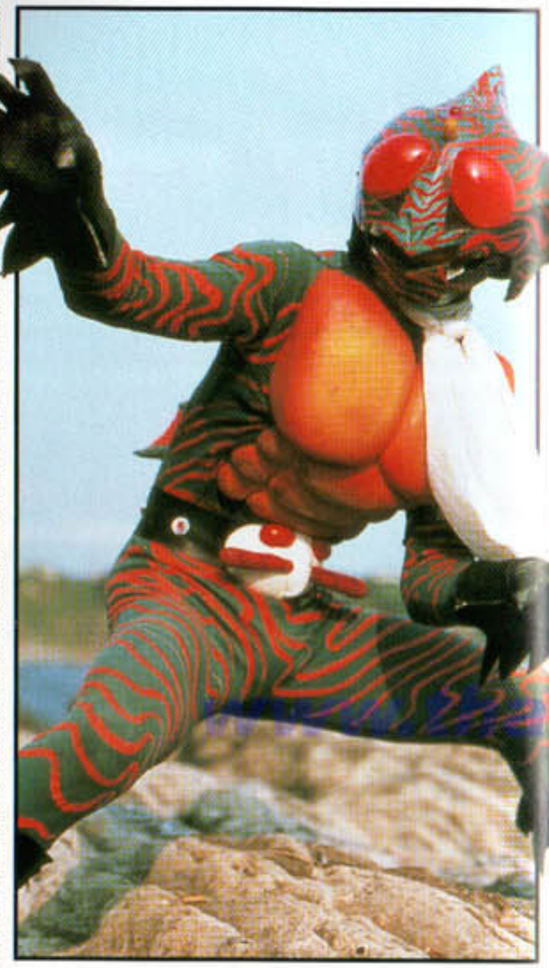
	カブトロー	テントロー	スカイターボ	Vジェット	Vマシーン	ブルーバージョン	ヘルダイバー
							
スピード	300km	250km	マッハ1.2	1340km	1340km	800km	600km
馬力	1200ps	調査中	2000ps	調査中	調査中	調査中	調査中
特殊能力	先端部の電光ライトから吸収する静電気がエネルギー源。雷の発生時には、時速1010kmで走行可能。	タックルのマシン。変形はせず、ユリ子の日常の足としても活躍する。劇中における製作者は不明。	水素エンジンを装備する。ライダーブレイクを行う際は、車体前部の高振動発生装置・HGVを作動。	Vマシンが変形した高速走行モード。開発者はヘンリー博士。平常時の巡航速度は、時速600km。	Vジェットに変形するスーパーバイク。追跡用のオンロードマシンで、沖一也の日常の足としても活躍。	一也の呼びかけに応じ、自動操縦で何処にでも駆けつけるオフロードマシン。ジャンプ力は最大200m。	核融合原子力エンジンを搭載。タイヤは路面の状況に合わせて、トレッドパターンが変化する。
特記事項	茂が常用するオンロードタイプのベースはスズキGT380。後部のテールカバーが無い、アクション用のオフロードタイプのベースはスズキTM125と推測される。シリーズ後半、オンロードマシンにはバックミラーが付く。	第4話にて、奇械人ゴロンガメに操られた立花藤兵衛に奪われてしまう一幕もあった。番組開始前の撮影会では、ハンドル部分に触角状のパーツが付いていなかった。ベースマシンはスズキTS125と推測される。	開発者は志度博士と推測される。平常時の最高時速は300km。緊急時の最高時速は"1200km""マッハ2"など文献により異なる。ベースマシンはスズキハスラー250で、劇場版製作時に車高の低い2台目が新調された。	マイクロ・ソーラー・システム・エンジンを搭載。ベースマシンはハーレーダビッドソンFLH1340。カウルの開閉やリアラゲッジの展開は、実際に電動で変形するギミックが組み込まれている（走行中でも動作可能）。	ベースマシンはハーレーダビッドソンFLH1340。設定上の最高時速"1340km"は、この型番にちなんで付けられた。Vジェットへの変形機構を備えたものとは別に、もう1台走行用の実車が用意されている。	カースタントシーンに多用されたマシン。実車はアクション用と、一也が常用するものの2台が用意された。ベース車は輸出仕様のスズキハスラー250。最高時速は"350km"あるいは"500km"等、諸説が存在。	劇中における製作者は不明。雑誌連載時の撮影会には第4回から登場している。ベースマシンは輸出仕様のスズキハスラー250。デザインは「科学戦隊ダイナマン」にも参加している原田吉郎が担当。

	ジェイクロッサー	トライチェイサー2000	ゴウラム	トライゴウラム	ビートチェイサー2000	ビートゴウラム	ライジングビートゴウラム
スピード	1330km	300km	500km	400km	420km	570km	700km
馬力	調査中	150ps	測定不能	測定不能	調査中	測定不能	測定不能
特殊能力	[illegible]0mのジャンプ力を持つ。体当たり技・ジェイストライクは本編に未登場で、設定のみ存在する。	無公害イオンエンジン（アレグロ）を搭載。マトリクス機能によって車体の色を変える事ができる。	その体は特殊金属で生成されており、人工頭脳により自らの意思を持つ。クウガを懸架して飛行が可能。	エネルギーが無くなると心臓部の霊石・アマダムから輝きが失われ、活動を停止。ゴウラムは分離する。	無公害イオンエンジン（ブレスト）を搭載。マトリクス機能を持ち、カウルに内蔵式バトライトを備える。	ビートチェイサー2000とゴウラムが融合合体して誕生。性能はトライゴウラムの約1.5倍。	ライジングフォームの"金の力"により、ビートゴウラムが強化された姿。約30秒間だけ発動。
特記事項	あらゆる条件下で[illegible]の性能を発[illegible]。瀬川の乗ったオフロードバイクが、仮面ライダーJへの変身と同時に[illegible]される"Jパワー"を受けて[illegible]。空中から襲い来るハチ女・ズ[illegible]を迎え撃つ。ベースはスズキDR-250。	警視庁が開発した特殊白バイの試作車。一条の判断で五代に託された。量産型のTRCS-2000Aも登場。ベースマシンはGASGAS・パンペーラ。バイクスタントは現役のトライアルレーサー、成田匠・亮兄弟が担当。	戦士クウガのしもべとして、超古代民族・リントが製作した甲虫型メカ。超古代の遺跡から発掘された破片が現代に復活し、周囲の金属を取り込みながら完全体に成長を遂げた。原寸大のプロップとミニチュアで表現されている。	トライチェイサー2000にゴウラムが融合合体して誕生した超マシン。角の先端に封印エネルギーを集中させ、体当たりする"トライゴウラムアタック"で未確認生命体第24号を倒した。ベースマシンはヤマハV-MAX。	科警研がクウガの為に開発したニューマシン。ボディは特殊形状記憶合金・BT鋼で作られ、後部に制動用の小型パラシュートを装備する。ベースマシンはトライチェイサー2000と同じ、GASGAS・パンペーラ。	ビートゴウラムは主として、未確認生命体を人気のない場所へ運ぶ為に用いられる事が多い。ビートチェイサー2000はゴウラムとの500回の融合合体にも耐えうる。ベースマシンはトライゴウラムと同じ、ヤマハV-MAX。	必殺技ライジングビートゴウラムアタック（五代は「金のゴウラム合体ビートチェイサーボディアタック」と命名）により、未確認生命体第45号を倒した。ベースマシンはトライゴウラムと同じ、ヤマハV-MAX。

1974 仮面ライダーアマゾン

TV
1974年10月19日～1975年3月29日 MBS・NET系
土曜夜7時30分～ 全24話

「仮面ライダー」の魅力を「不気味」と「異形のもの」と捉え直し、原点である「野獣性」への回帰が求められたシリーズ第4作。跳び、走り、噛み、裂き、切り、突き、蹴るといったアクションの数々は、シリーズの持つ肉弾戦の魅力を強く再認識させるものだった。原点回帰の意気込みは、原作漫画の執筆を久しぶりに石ノ森氏本人が行っている点からも伺え、系列局の編成問題から全24話という少ない話数で終了したのが惜しまれる。



平和なアマゾンの奥地を襲う十面鬼の恐怖。古代インカの超エネルギーを手に、全世界を我がものにせんと企てる秘密組織ゲドンが動き出した。23年前に南米奥地で墜落事故に遭い、奇跡的に一命を取り留めジャングルで育った日本人青年・山本大介は、インカ帝国の一族の末裔である長老・バゴーの手により神秘の力を託され日本へと向かう。十面鬼の持つガガの腕輪と、大介に移植されたギギの腕輪が合わさる時、隠された古代インカの超エネルギーが放たれるのだ。大介は日本で知り合ったマサヒコやリツ子、立花藤兵衛との間に友情を築き上げ、上陸したゲドンと戦う決意をする。激闘の中、新兵器・ジャングラーが藤兵衛から送られ、敵であったゲドンのモグラ獣人もアマゾンと力を合わせていく。次第にゲドンを追いつめていくアマゾンたち。ゲドンが放った最後の獣人・ヘビトンボの反逆がきっかけとなり、ついに十面鬼を葬り去った。しかし、新たなる敵・ガランダー帝国の手にガガの腕輪は渡ってしまう。より獰猛で強大な獣人たちがアマゾンに襲いかかる。戦いは熾烈を極め、アマゾンのよきパートナーを務めたモグラ獣人も、人類のためその命を散らしていった。ガランダー帝国の新造兵器・ヘリウム爆弾による日本焦土化計画を察知したアマゾンは最終決戦を挑むべく、帝国内に単身潜入。ガガとギギの腕輪がついに一つになる時、アマゾンの体を古代インカの超エネルギーが駆け巡る……!!

■仮面ライダーアマゾン

ゲドンの魔手に対抗すべく、長老バゴーが古代インカの秘術を尽くして山本大介を改造した神秘の戦士。機械的な改造は施されておらず、大介の左腕に埋め込まれたギギの腕輪がもたらすインカの超エネルギーが、その力の源と思われる。原始のマダラオオトカゲの能力を持ち、敏捷かつ力強いアクションで、肉を切らせて骨を絶つ凄まじい肉弾戦を展開する。野生に根ざした戦闘スタイルが特徴であり、全身を武器として戦いに挑むが、敵を深追いすることはない。必殺技は手足のカッターで敵を切り裂く大切断。175cm／62kg。

◀空中から繰り出される素早いジャンプキック。落下スピードを利用し、2トンもの衝撃を与える。対イソギンチャク、モモンガー戦などで使用した。

▶24話でガガの腕輪を装着したアマゾンが放った究極の技・スーパー大切断。体内に解放された古代インカの超エネルギーがみなぎる技である。

▲戦闘中には背ビレを立てて相手を威嚇。死闘に挑むアマゾンの闘志の現れである。

■コンドラー

ロープ、ナイフなど、用途によって様々に使い分けの出来る器具を装備した万能ベルト。大介の改造手術を執り行ったバゴーによって授けられた。七つの能力を有しあらゆる局面に対応するとも言われているが、その全貌は不明である。

▲バックル部分のナイフで黒ネコ獣人の目を潰す。10話。

▲バックル内蔵のロープ。移動手段として使用頻度は高い。

■ギギの腕輪

▶大介の左腕に植え付けられた古代インカの秘密を握る腕輪。有機的な移植がなされ、その命が続く限りはずれることは決してない。

■コンドルジャンプ

▲40mの高度まで一気に飛び上がり、敵に急降下攻撃を仕掛けるジャンプ技。

■アマゾンキック

▲上空からの落下を利用して並んだ黒ジューシャを数メートル吹っ飛ばす空中蹴り。18話

■ジャガーショック

▲一瞬の隙をついて懐に入り込み、クラッシャーで肉体を噛みちぎるアマゾンの基本攻撃。

■その他必殺技

鋭い爪で敵に躍りかかり、引っ掻く基本攻撃はモンキーアタック。跳躍から一転、体当たりを見せる攻撃はコンドルアタックと呼ばれ、ともに各話で多用されている。カマキリ獣人を葬った投げ技・アマゾン投げなどもある。

■大切断

▲腕部に備わるアームカッターで敵を斬り裂くアマゾン最大の必殺技。上空から振り下ろす、横一文字、下から斬り上げるものなどタイプは様々。敵の首を斬り落とすこともあった。

■山本大介（アマゾン）

幼児期に遭遇した飛行機事故により、大アマゾンの奥地で文明と隔てられて育った日本人青年。大自然に培われた強靭な肉体を備え、ゲドン・ガランダーとの戦いに身を投じる。普段の彼は自然を愛する純朴な青年であり、草笛を吹く姿も散見された。マサヒコとの出会いから友情を育み、文明と言葉への理解を深めていく。

殺らなければ殺られる！　必死の野獣性が死の危機を伝える時、大介は本能的な「もがき」にも似たポーズを構える。ギギの腕輪から迸るエネルギーを受け、高らかな雄叫びとともにアマゾンライダーへと変身を果たす。

▲長老バゴーによって、古代インカから伝わる秘術を用いて改造手術を施される。機械的な改造は一切施されていない。

▲轟音を立て猛スピードで走る電車やバイクは、文明を知らぬアマゾンにとって忌避すべき存在でしかなかった。3話。

▲変身前でも果敢に獣人に挑む。基本攻撃は相手の懐に飛び込んでの噛みつき技であり、その戦闘スタイルは変身後も同様。

▲生活環境の違いから、大介は誤解を受けることも多かった。自然に郷愁を覚えながらも人々との溝はなかなか埋まらない。

▲ジャングルで育ったアマゾンにとって、ロープは日常的な移動手段だ。木から木へ、ビルからビルへと素早く飛び移る。

▲ゲドンとガランダーは滅んだ。船上の大介は白いスーツに身を包み、愛する日本とマサヒコ達に別れを告げた

■立花藤兵衛

オフロードレース参加中にゲドンの襲撃を受け、大介の「変身」を目撃。バイクや自動車の修理の傍ら、託された図面を元にジャングラーを製作。アマゾンをバックアップする。

■岡村マサヒコ

城南小学校に通う高坂教授の甥。アマゾンの友達として心を通わせ、日本語教育にも熱心。その努力は13話以降で実ることとなる。アマゾンライダーの名付け親となった。

■ジャングラー

「太陽の石」という古代よりインカ帝国に伝わる秘石を動力源にしている。最高時速300km/hを誇る水陸両用マシーン。通常のバイクからの変形はしない。4話からの登場である。全長／2450mm。

▲ゲドン追跡のため、藤兵衛の運んできたジャングラーにアマゾンは跨った。4話。

▲野生児のカンでたちまちバイクを乗りこなす。その姿は藤兵衛曰く「ジャングルの中を走るヒョウだ…！」

▲設計自体はバゴーによるもので、高坂教授によって日本に持ち込まれた。アマゾン用に藤兵衛が製作した。

▲カウリングの上顎部分がスライドして、口の中からモリを発射。ロープを張って敵の進路をふさぐ。6話。

▶バゴーの設計したジャングラーはオフロードにおいてその真価を発揮する。荒れ果てた道なき道を自由に走り抜ける。また、その機動性を生かし、ゲドンの赤ジューシャバイク部隊に敢然と立ち向かう！

◀ジャングラーは超古代文明が与えたアマゾンの新たな手足となった。獣人に体当たり技を掛ける。11話。

■岡村リツ子

マサヒコの姉。高坂教授の姪であり、父亡き後身を寄せていた高坂博士の死に大介が関係していたことから、当初はその存在を疎んじ避けていたが、次第にうち解けていった。

■長老バゴー

インカー族の末裔である長老。墜落事故を起こし両親を失った大介の育ての親。十面鬼の反乱に遭い瀕死の重傷を負いながら大介に改造手術を施し、ギギの腕輪を託す。アマゾンを日本へと誘導する催眠暗示を与えて息絶えた。

■高坂博士

大介の父・山本教授とは旧知の仲で、アマゾンを探検した際バゴーと出会う。日本を守る大介の到着を待ち望み、これを迎え入れるが、クモ獣人の襲撃を受けて命を落とす。ジャングラーの設計図をバゴーから託されていた。

www.tokusatsu-toku.com

ゲドン

十面鬼によってアマゾン奥地に発祥した秘密組織。古代インカの超エネルギーを用いての世界征服を企み、そのカギの片割れであるアマゾンのギギの腕輪を奪わんとしている。

◀日本におけるゲドンのメインとなるアジトは採石場の地下に存在。12話。

◀ゲドンの獣人改造室で手術を執り行う男のジューシャ。12話。

赤ジューシャ

諜報活動を行う女スパイ。ゲドンの忠実な僕として奇声を上げて作戦行動に従事する。

▲ゲドンオートバイ部隊活動時には、薄桃色の揃いのツナギに身を包む。第13話ではゲドンの被害にあった名古屋美里に化けアマゾンを欺く。

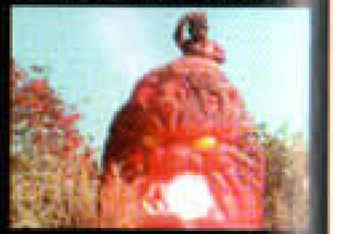
十面鬼ゴルゴス

ゲドンを束ねる首領。元々はゴルゴスと名乗るバゴーに仕える弟子の一人であったが、巨大な岩塊に自らの体と9人の凶悪な人間の頭部を組み込んで改造人間となり、反乱を起こした。忠誠と粛正を旨とする徹底的な恐怖をもって組織を律しており、アジトに逃げ帰った獣人はことごとく処刑。「ブラック・オン・ゴールド」の呪文を唱え、周囲を暗黒空間に包む超能力を備えている。8m／320kg。

▲ゴルゴスの右腕には古代インカの秘密のカギとなるガガの腕輪が付いている。

▲巨体を浮かび上がらせ上空からの攻撃を得意とし、巨大な質量で相手を押しつぶす。

▲岩面の口からは灼熱の炎を浴びせかける。クモ獣人などの処刑にも使われた。



▲口からのミサイルで、空中・地上から対象物を狙撃する。その爆発力は凄まじい。

▲岩面から吐かれる赤色の泡は起爆性に富んでおり、物体に降りかけそれを破壊する。

▲カマキリ・ヤマアラシなど、口から吐かれた泡から獣人を誕生させることも多い。

◀十面鬼を取り巻く悪の顔。各々の顔ごとに性格を持ち、時にゴルゴスに上申することもあるがそのどれもが悪の心を持つ。人の生き血をすすることでその顔は赤く染まる。

クモ獣人

アマゾンを追って来日。糸に風をはらませ空を飛び、死の糸を降らせる。切断された足も再生する生命力を持つ。1話／190cm／105kg／「ショワーッ」（声：林一夫）

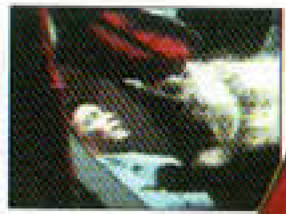
▲口と手から強靭な糸を出し、からめた相手を白骨化して絶命させる。巨大な蜘蛛の巣が張り巡らされたアジトには小型のクモが蠢いている。

獣人吸血コウモリ

アマゾン殺害を画策。背中の翼で飛行し、木からぶら下がる。最後は十面鬼の召集したコウモリの群に捕食された。2話／148cm／55kg／「ギィーッ！」（声：市川治）

カマキリ獣人

十面鬼が吐いた泡の中から誕生。樹上に身を潜め、両手の鋭い鎌を振るいながら躍りかかる奇襲戦法を得意とする。3話／196cm／98kg／「キリーッ」（声：山下啓介）



▲血を吸われた人間は、放射状に広がる不気味な斑紋が現れ死に至る病に罹患。

▲自らも口からの泡を武器とし、相手を痺れさせた上死に至らしめる。罪のない釣り人を手に掛け、その罪をアマゾンになすりつけた。最後はアマゾンの投げ技を食らい、全身を泡で包み込まれて絶命。

獣人大ムカデ

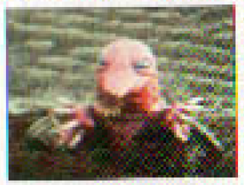
オートバイ部隊を率いてゲドンの秘密を知る高坂博士の友人・山村を誘拐、殺害した。ハサミと尾で攻撃を仕掛ける。4話／186cm／97kg／「ギエーッ」（声：辻村真人）

▲巨大なムカデに姿を変えてアマゾンの首に巻き付き、その首に牙を突き立てた。両手に備えた鋭利なハサミも強力な武器である。最後は巨大ムカデの姿で息絶えた。

●「成功か、然らずんば死、あるのみだ」（ゼロ大帝／アマゾン 16話）

モグラ獣人

土中を掘り進むスコップ状の鋭利な刃が武器。アマゾンに救われ、ゲドンに追われる。5～20話／190cm／102kg／「チュチューン」（声：池水通洋、7話～槐柳二）



◀地面に穴を開け、相手を引きずり込む。神出鬼没である。

◀天日に晒して日干しの刑に処せられたが救われた。6話。

◀敵との戦いで窮地に陥ったアマゾンをたびたび助ける。

◀キノコ獣人の毒カビを全身に浴び、命を落とす。20話。

獣人ヤマアラシ

ゲドンの手がかりを秘めたキーブ（縄文字）を狙う。背面全体を鋭い針が覆っており、組み合うだけで相手にダメージを与える。6話／183cm／103kg／「グルゥウウウウーッ」（声：市川治）

◀古代インカ科学の秘密を解る2つの腕輪について記された縄文字。

◀巨大なスパイクボールとなってコンクリートの壁もブチ破る。

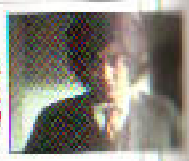
◀ゲドン[illegible]子に巻き付けて捕食する。縮めた姿はかつて伝説の怪物・ツチノコを彷彿させる。

ヘビ獣人

ゲドン一悪知恵の働く獣人。アマゾンを遊園地におびき出した。7話／172cm／290kg／「ヒュルルゥーッ」（声：林一夫）

ヘビ人間

ヘビ獣人に一度飲み込まれた人間は、意のままに操られる傀儡と化してしまう。



ワニ獣人

◀巨大な顎を開き、学校の校長先生を頭から丸飲みしてしまう。

◀生物の先生に潜り込み、ワニの剥製に成りすました。

人間を剥製にすべく、城南小学校を襲った。太い尾が武器。8話／105cm／220kg／「アウアウアウー」（声：八代駿）

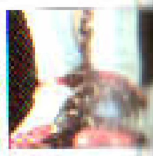
▲口から吐き出される泡と、両手のハサミが武器。横這いで移動する。

カニ獣人

ゲドンへの血の供物となる若い娘を狙い人食いカニ島にリツ子を連行。9話／190cm／93kg／「ギィーッ」（声：峰恵研）

人食いカニ

カニ獣人が操る下僕。縛り付けたリツ子の足下に放たれ、アマゾンを牽制した。



黒ネコ獣人

宵闇に乗じて奇襲。跳躍力を活かし、上空から襲う。鋭い爪の毒でアマゾンをピンチに追い込んだ。10話／181cm／75kg／「フニャオーッ」（声：山下啓介）

◀身のこなしは敏捷。噛みつき、引っ掻きを主とする戦闘スタイルはアマゾンと互角。

◀猫を元にした獣人らしく、アジト内でジューシャにノドを撫でられご機嫌。

獣人カタツムリ

その実力を見込まれアマゾンに挑む。口からの泡は相手を痺れさせその場から動けなくしてしまう。人語はしゃべらない。11話／204cm／156kg／「ゲォゲォゲォゲォゲォ」（声：池水通洋）

▲移動の際は殻で転がる。その堅固な殻は攻撃・防御ともに有効である。黄金のカタツムリに化ける。

◀体に生えた鋭いトゲを武器に、ナイフのように相手に投げつける。口からは強酸性のシャワーを吐き、物体にかけると溶解する。

トゲアリ獣人

強盗殺人など前科十犯の凶悪な村田源次を改造した獣人。その性質を受け継ぎ、奸智に長けた強敵。12話／201cm／98kg／「リィーッ!」（声：市川治）

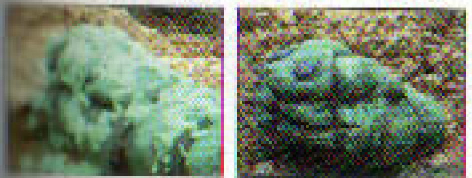
獣人ヘビトンボ(成虫)

ゼロ大帝と結託しゲドンを裏切る。一時はアマゾンと共に十面鬼を狙うが、最後は空中戦の末、大切断で首を切り落とされ絶命。14話／197cm／132kg／「ジャーッ」（声：峰恵研）

▲口から吐き出す緑色の液体はコンクリートを溶かし、長く伸びた尻尾は振り回して相手にダメージを与える。

獣人ヘビトンボ(幼虫)

赤ジューシャの化けた女スパイと連携するゲドン最後の獣人。カマ型の両腕は接近戦で威力を発揮し、アマゾンを追いつめた。13話／190cm／105kg／「ジャーッ」（声：峰恵研）



本体を切断され絶命したかに見えたが、口から緑色の糸を吐き出しその身を繭に包みサナギへと変態した。

ガランダー帝国

獣人ヘビトンボと結託し、十面鬼を葬り去ることに成功したゼロ大帝率いる謎多き帝国。その目的は、ゲドンと同じく古代インカの超科学の入手である。

◀地下数百メートルに位置し、その内部は煌々と燃え盛る松明に照らされている。背後に下ろされたカーテンに隠された秘密は誰も知らない。

▶ガランダー帝国の尖兵として働く戦闘員。体術を使用し、前線での実戦に投入され獣人の手足となって行動した。22話ではオートバイ部隊を構成して登場。17話では作戦企画を考案する作戦本部付きのジューシャも登場した。些細なミスでゼロ大帝に処刑されてしまうことも多く、気が抜けない。

■黒ジューシャ

黒と黄色のまだら模様のパンが作戦の遂行に投入された。15・24話

ヘリウム爆弾やアジト内の様々な罠を考案する科学者タイプの黒ジューシャ。24話ではヘリウム爆弾の開発・運搬から、設置までを一貫して行った。

■ゼロ大帝

古代インカ帝国に匹敵する科学力を誇るパルチア王朝の末裔であり、ガランダー帝国の地上建設を野望する大幹部。アマゾン討伐に手をこまねくゲドンを見限った陰の支配者の後ろ盾を得て、ギギの腕輪を入手するべく姿を現した。配下の獣人は獰猛な強者揃い。任務に失敗した者には鉄拳制裁を辞さぬ非情な性格で、手にした槍の先端部から「青い雷」と呼ばれる炎を放って処刑する。174cm／73kg。

▲カーテンの奥が妖しく輝き、ゼロ大帝に指示を与える。ゼロ以外との対話を拒む謎の声。

▲槍から放つ電流で、ギギの腕輪のパワーを相殺。アマゾンの変身を阻止する。24話

▲念願の世界征服を目前に、ガガの腕輪を吟味。超エネルギーの秘密が明かされる。

▲帝国内に単身乗り込んできたアマゾンと対峙。槍を振り回して挑みかかる。

▲空中から出現させた剣を手に、アマゾンとの最終決戦を繰り広げる。

▲アマゾンとの激しい攻防の中、アジトに仕掛けたトラップに落ちて絶命。しかし…

■ハチ獣人

ガランダー帝国最初の獣人。子供たちを帝国員として洗脳する。15話／193cm／102kg／「チィーッ」（声：曾我部和行）

◀口から飛ばす太い針に刺された者は、燃え上がり溶けてしまう。

◀尻の針も武器として使用。この部分には解毒成分が含まれている。

■蜂の子学校

さらわれた子供たちはガランダー帝国の尖兵となるべく毒バチ獣人によって洗脳され、殺人の英才教育を施されていた。

■ガマ獣人

"東京フライパン作戦"を立案し、大勢の奴隷を集めて実行に移した。17話／180cm／90kg／「ゲェーッ」（声：辻村真人）

◀二本の突起から出るガスは人間を一瞬で白骨化してしまう。

◀頭部の巨大ガマを取り外し、強力な回転を加え投げつける。

◀長い舌をムチのように相手の首に絡ませて自由を奪う。

■ハンミョウ獣人

局地的に地震を起こすゼロ装置で都民を混乱に陥れようとした。18話／210cm／150kg／「ルゥリリィ」（声：市川治）

▲抜群の跳躍力と俊敏さを兼ね備え、かた言の日本語を話す。

▲大顎を取り外しブーメランのように投げ、アマゾンを負傷させた。

■ゲンゴロウ獣人

"東京火の海作戦"の実行者で爆弾ゲンゴロウと腕先の鋭い爪が武器。大切断で額を割られ逃げるが、ゼロ大帝に処刑された。16話／250cm／160kg／「コォーゥ」（声：林一夫）

▲アクセサリー売りに化け、自らの分身である小型のゲンゴローをアマゾン特産のブローチと称しリツ子に接近した。若い女性の血をエネルギー源とする。

■フクロウ獣人

東京を地下から水没させる"地下鉄大洪水作戦"の作戦参謀を務める。二度に渡りアマゾンの視力を奪うが、大切断で斬首。19話／193cm／87kg／「ホッホーャ」（声：佐原公雄）

◀黒い羽根を目にうけ大介は一時的に視力を失う。

◀切り離した頭は単独で飛行しアマゾンを襲う。

■ガランダー少年部隊

フクロウ獣人により誘拐され、深夜の都会で黙々とトンネルを掘り続ける少年少女たち。その目的は東京を水没させるためである。マサヒコも仲間に加わっていた。

ai-toku.com

◀口からは人喰いカビの胞子を吐き、モグラ獣人を死に至らしめた。

◀平和なマンモス団地を襲撃し、一夜にして住民を全滅させた。

■人喰いカビ
緑色の粉末状の胞子に犯された人間は、悶え苦しんだあげく溶けて消え去る。

■キノコ獣人

芝浦水門地下の培養基地で"東京全滅カビ作戦"を進行。モグラ獣人の仇討ちに燃えるアマゾンの大切断を顔面にうけ絶命する。20話／192cm／88kg／「ヘェアー」（声：本塚正之）

◀体中にある無数の触手で自由を奪う。逃走時は首のみで飛行する。

◀触手を突き刺し、自分と人間の血を入れ替え食人鬼を作り出す。

■食人鬼
胸部にはイソギンチャクのような触手が発生し、次々と犠牲者を増やしていく。

■イソギンチャク獣人

"人喰い人間作戦"の遂行者。冷凍ガスでアマゾンを凍結し食べようとした。その体は何度切られても再生し、大切断も通用しなかった。21話／「ヒュヒュー」（声：八代駿）

◀飛行膜の内側に爆弾を装備し、上空から空爆をおこなう。

◀人間を凶暴化する毒ガスを噴出し、任務に失敗した者を処刑する。

■モモンガー獣人

空気に触れると多量の毒ガスを発生する秘薬インカリヤを使い"東京大殺人作戦"を実行。アマゾンキックをくらい爆発四散した。22話／「モガァーッ」（声：山下啓介）

◀怪力の他にも、人間の皮膚を融く変貌させる毒を持つ。

◀大切断で切り落とされた腕や尻尾は、瞬時に再生される。

◀オオサンショウウオに姿を変え、様々な場所に待ち伏せる。

■サンショウウオ獣人

ヘリウム爆弾を設置する間、マサヒコたちを囮に使いアマゾンをおびき出し足止めしておくのが主な任務。23話／「グェヤァー」（声：辻村真人）

■ニセアマゾンライダー

変身能力を有するサンショウウオ獣人は、大介やアマゾンに化け藤兵衛らを翻弄する。しかし偽者の左腕にはギギの腕輪は存在しない。

◀頭巾の下にはもう一人のゼロ大帝が、不敵な笑みを浮かべていた。

◀両腕を切り落とされ、スーパー大切断にとどめを刺された。

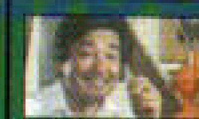
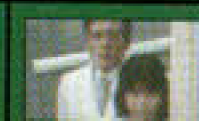
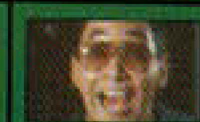
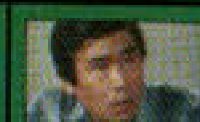
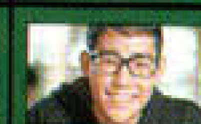
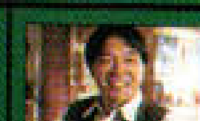
■真のゼロ大帝

アマゾンの前に現れた最後の強敵。白い頭巾とマントに身を包んだ全能の支配者の正体は、全ての悪の団体を支配すると同時にガランダー帝国の王者であった。24話（声：阪脩）

COLUMN 06

頼れるおやっさん

仮面ライダーの戦いを影に日向に支えてくれる、歴代の「おやっさん」たち。おやっさんとは、歴代仮面ライダーの数少ない協力者であり、孤独なライダーを時に励まし、時に厳しく叱責し、成長を見守る親父のような存在なのだ。ちなみに多くの歴代ライダーは「おやじさん」と呼んでおり、「おやっさん」というブロークンな言葉使いは本郷猛特有の表現。『クウガ』の飾玉三郎は、設定名に「おやっさん」と名付けられた最初のキャラなのだ。

ライダー	おやっさん		特記事項
1号・2号		立花藤兵衛	スナック「アミーゴ」を経営しながら、本郷猛のレーシングトレーナーをしていた藤兵衛は、ライダーにも協力を惜しまなかった。後に立花レーシングクラブを経て、少年仮面ライダー隊会長に就任する。初期の本郷や一文字は「立花さん」と呼んでいた。
V3		立花藤兵衛	少年ライダー隊会長として引き続き隊を運営。デストロンに破壊された旧本部に代わり、スポーツ用品の店「セントラル」をカモフラージュにした新しいライダー隊本部を用意、ダブルライダーの後継者であるＶ３＝風見志郎のバックアップ体制を万全とした。
X		神啓太郎・立花藤兵衛	神啓太郎は神敬介の父で、死しても神ステーションでXをバックアップしようとした。しかしすぐに、敬介の依頼心を断ち切るために自爆した。コーヒーショップ「ＣＯＬ」を経営していた藤兵衛は敬介を５号ライダーと認め、亡き父に代わり敬介の精神面の支えとなった。
アマゾン		立花藤兵衛	現役オートレーサーに返り咲いたのも束の間、野生のライダー・アマゾンと遭遇したことでゲドンの存在を知り、都会に慣れないアマゾンの後見人的存在となる。高坂教授とは知己であり、マサヒコ、リツ子とも面識があった。ジャングラーを製作したのも藤兵衛であった。
ストロンガー		立花藤兵衛	ジムニーに乗り、レーサーを見つけるべく旅に出ていた。旅先で城茂と岬ユリ子に出会い、彼らがストロンガーとタックルと知ってからは率先して協力者を買って出る。デルザー大首領との最終決戦に向け、自分が育てた歴代ライダーの集結に感慨深いものを禁じえない。
スカイ		志度敬太郎・谷源次郎	ネオショッカー科学者の志度博士は筑波洋と共に脱出後、志度ハンググライダークラブの会長となる。やがて志度会長は海外に旅立ち、洋の先輩である谷が新たな協力者となった。谷は喫茶店「ブランカ」を経営しており、そこは戦いを続ける洋の憩いの場となっている。
スーパー1		谷源次郎・玄海老師	8人ライダーを見送った谷は、モーターショップを経営。アメリカから戻った沖一也＝スーパー１に仮面ライダーの姿を見出し、良き協力者となる。谷はかつて、一也の両親に世話になったことがあり、現在は一也が谷を「おやじさん」と呼んでいる。玄海は一也の拳法の師。
ZX		海堂博士	生化学を研究している科学者で、村雨良の大学時代の恩師でもある。バダンのパーフェクトサイボーグにされた良の身体を気遣い、彼を陰ながら援助している。10人ライダーが暗闇大使と怪人軍団を倒した後、現れたバダン総統を見て、震雷のエネルギーという仮説を立てた。
ブラック		東堂勝	南光太郎、秋月信彦が在籍していた東星大学サッカー部のＯＢ。喫茶店兼スポーツ用品店「キャピトラ」の経営者だが、自分は店に出る事よりも趣味のスキューバーダイビングに行く事の方が多いという困った先輩である。一度だけ光太郎の作戦に協力した事がある。
RX		佐原俊吉	佐原航空の経営者で、ゴルゴムとの戦いに疲れ果てた光太郎を、何も言わずに迎え入れた情の深い人物。光太郎は「おじさん」と呼ぶが、本当の父親のように信頼している。光太郎が仮面ライダーブラックＲＸとは知らないものの、光太郎の危険な戦いをいつも案じている。
シン		風祭大門・結城卓也	風祭大門は真の父親で、臨床免疫工学の博士。自分の為に被験者となった真が、知らない間に改造されていた事に苦悩する。結城は真の大学時代の親友。世界グランプリを目指すレーサーだったが事故で断念。父親の研究に協力する真を、影から見守っている。
ZO		特になし	本作には「おやっさん」的キャラクターはいない。強いて挙げるなら、望月博士の父で町の発明家である望月清吉である。麻生がかつて望月博士の助手をしていた事は知っているが、麻生に深くかかわる事はない。むしろ清吉は、望月の息子・宏を見守る存在である。
J		特になし	本作にもライダーの後見人的人物はいないが、瀬川耕司を仮面ライダーＪに改造した地空人の男女がそれにあたるかも知れない。地空人とは大地の精霊をエネルギーにしている古代文明人で、フォッグの侵略を知り、フォッグと戦う地上人の戦士を探し求めていたのだ。
クウガ		飾玉三郎	五代雄介が居候する喫茶店「ポレポレ」のマスター。雄介から「おやっさん」と呼ばれている。人類に味方する"第４号"のファンだが、それが雄介だということに48話まで気付かなかった。マニアックなダジャレが得意だが若者には受けない。本名は最終話で判明した。

1975 仮面ライダーストロンガー

TV
1975年4月5日〜1975年12月27日 MBS・TBS系
土曜夜7時〜　全39話

異色編「アマゾン」の後を受け、作風の原点回帰を図りつつもヒーロー番組のスタイリズムを追求したシリーズ第5弾。番組前半の洗練された様式感は、77年の東映作品「快傑ズバット」にも一脈通ずる。宿敵ジェネラルシャドウを機軸に彼と同格の幹部怪人が多数集結、それに対し主役の強化〜歴代ライダーの参列というイベント続出の番組後半も人気が高い。毎日放送のネット変換から、関東圏の放映局がTBSに変った事も話題を呼んだ。

悪の組織ブラックサタンの改造人間・奇械人が、人間に憑依して悪事を遂行、現代社会の壊滅を目論む。だがその前に敢然と立ちはだかる若者がいた！　その名は城茂。彼はブラックサタンに殺された親友の復讐のため、悪に忠誠を誓うふりをして自らの肉体を敵組織に改造させ、最強の戦士"仮面ライダーストロンガー"となり、活動を開始した強大な悪の軍団に戦いを挑む。同じくブラックサタンからの脱走者・電波人間タックルこと岬ユリ子、そして立花藤兵衛を協力者とする茂は、戦いの旅を続けるが、その前にブラックサタンの大幹部タイタンが暗躍。激戦の果てにストロンガーはタイタンを打倒するが、更なる強敵・傭われ幹部ジェネラルシャドウが来襲。次いでタイタンも、百目タイタンとなって復活する。敵組織内に宿る幹部同士の軋轢さえも時に利用した茂は、百目タイタンを撃破。ついにブラックサタンの大首領と対決、悪の組織を壊滅に導いた。

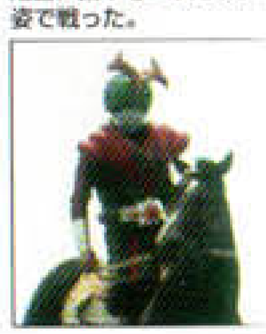
だが、ブラックサタン崩壊を陰で演出したシャドウは、故郷・魔人の国から改造魔人の一団を召喚。前組織を遙かに凌駕するデルザー軍団を編成する。度重なる猛攻で相棒タックルを失い、自らも絶対の窮地に立つ茂。しかし彼はブラックサタンを離反した科学者・正木の手で強力な改造超電子人間に転生、デルザーの強豪を撃破していく。一方、世界から来参する魔人を追って歴代ライダーも集結。果たしてストロンガーとシャドウの戦いの行方は？ そしてそんな一連の戦いを、奇厳山の謎の人面岩が、冷ややかに見下ろしていた……！

■仮面ライダーストロンガー

ブラックサタンが、悪魔山の基地で城茂の肉体にカブト虫のパワーと発電装置を組み込んで生み出した改造電気人間。悪を欺いて、最強の正義の戦士"ストロンガー"となった茂は、"仮面ライダー"の名を自らの意志で襲名、悪の奇械人と戦う。電気エネルギーを応用した必殺技を有し、水のイオンや雷雲からもエネルギー補給が可能。16話では、子供の血管から毒素を浄化する特殊能力も披露した。183cm／78kg。

▲有名な「天が呼ぶ〜」の名乗り（107P）は3、4、8話などマイナーバージョンがある。ベルト名はエレクトラー。体の材質は、超合金製（36話）。8話では頭の角から無線を発し、遠方の通信機に情報を送った。

▼20話にて百目タイタンの決闘状に応じて大砂漠に来た際は、馬に騎上。この後、ストロンガーはパンチョ姿のタイタンと西部劇風の対決をするが、その時も足首に拍車をつけたままの姿で戦った。



■必殺技全リスト

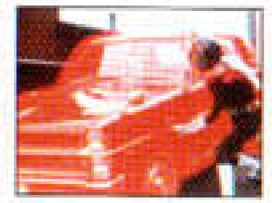
下記以外の技：反磁力線(3話)、カブトキャッチャー(4話〜)、電気ストリーム(4話〜)、電パンチ(7話〜)、磁力扇風機(8話)、バッテリーショート(9話)、エレクトロウォーターホール(9話〜)、ストロンガーバーリヤ(10話)、エレクトロサンダー(10話)、ウルトラパンチ(15話)、ダブルキック(19話)、スクリューキック(23話)、ストロンガーダブルキック(23話)、エレクトロキック(26話)、反転キック(28話)、電気ビーム(28話〜)、反転ブリーカー(29話)、マグネットパワーチェンジ(36話)

■ストロンガー電キック

全身の電気エネルギーを足先に込めた決め技。劇中、21体の敵を打倒した。1話〜。

■電ショック

8話で奇械人モウセンゴケに、12話でクモ奇械人に使った電撃技。打撃技に電気を注ぐ。



■電タッチ

手の平で触った物体を加熱する、電気攻撃。こちらも呼称は、7話で初めて登場した。

■エレクトロファイヤー

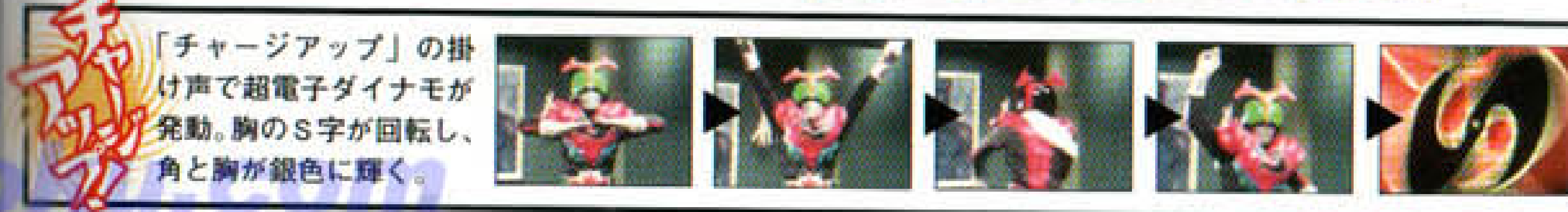
大地などを伝導させる、電気の火走り攻撃（3話〜）。13話以降、水中でも使用した。

■電マグネット

あらゆる物体を、強力な磁石に変えてしまう（3話〜）。36話ではこの変形技を披露。

■ライダービデオシグナル

一種の記憶再生装置。肉眼や電子アイで観測不能な、敵の機敏な動きを解析。1話〜。



「チャージアップ」の掛け声で超電子ダイナモが発動。胸のS字が回転し、角と胸が銀色に輝く。

www.thai-tokus.com

■仮面ライダーストロンガー（超電子改造人間）

デルザーの改造魔人に従来の必殺技がほぼ無力なストロンガー＝茂に、元ブラックサタンの科学者・正木博士が、自分の研究成果・超電子ダイナモを組み込んで再改造した姿。レザー光線で茂の肉体組織を変えた後、失敗率90％の危険性を超えて獲得した強化体である。以前とは桁違いの威力の必殺技を使用可能だが、発動後1分を超えると爆発してしまう難点を持つ。31話〜。

■超電ジェット投げ

36話で磁石団長に用いたジャイアントスイング。敵の完全打倒には及ばなかった。

■超電子ドリルキック

ドクロ少佐や岩石男爵の頭蓋を粉砕。38話のシャドウ戦にも使用。31話〜。

■超電子大車輪キック

35話でヘビ女を打倒した。33話で使用した超電稲妻キックの変形。

■超電急降下パンチ

34話でブランクに披露。この後、特に名前の無い必殺打で、相手に止めを刺した。

■必殺技全リスト

超電（子）三段キック（32話・岩石男爵の胴体を撃破、33話・狼長官に使用）／超電スクリューキック（33話・狼長官に使用）／超電稲妻キック（33話・狼長官を打倒、38話・ジェネラルシャドウを撃破）／超電逆落とし（39話・磁石団長に使用）

●仮面ライダーストロンガー城茂は改造手術を受けて電気人間となり、日本の平和と正義を守るため、世界征服を狙う悪の組織ブラックサタンを倒すため、敢然と立ち上がった。（ストロンガー／OPナレーション）

■城茂

元・城南大学アメフト部主将。天涯孤独の身上だが、親友・沼田五郎がブラックサタン奇械人の素材に選ばれ死亡したと知り、3年生の時に自らを悪の戦士に改造するよう同組織に志願。だがそれは復讐のため強大な力を得るための策略で、隠し持った自己催眠装置で洗脳を拒否。正義の仮面ライダーストロンガーに生れ変わった。変身前でも電タッチ位の攻撃は可能（31話）。自らを電気分解して、密室の罠も突破した（10話）。陽性な正義漢だが、一方で相当の戦略家。また意外に洒落もので、同じS字マークの色違いのトレーナー（赤、白、青、黄）を着分けた。

▲▶改造人間の素材として最高の評価を獲得（右）。後の31話で、超電子ダイナモを埋め込む両手術を受けている（上）。

変身！ストロンガー！

茂が両手の手袋を外し、両手のコイルアームを擦り合わせて変身する。掛け声は、番組全般を通じて「変身、ストロンガー」。

■岬ユリ子

茂同様、ブラックサタンを脱出した改造人間。13話で兄・守の存在が語られた以外、過去は不明。茂と同年輩だが異性としてより戦友としての絆を重視、常に戦績を競い合う。だが30話にて敵の毒に冒され、茂と一緒に平和な生活を送る事への憧れを語った後で、短い人生を終える。

▲改造後、洗脳される寸前に、偶然に同じ基地で反逆を起こした茂に救われて仲間となる。

▲変装が得意。これは1話の、フェリーのガイド姿。

▲7話(上)では婦警、4話では園児バスの保母に変装。

▲1話の時点から、よく敵の人質にされる事があった。

ヤッター！

「電波人間タックル」の掛け声で、渦巻き状の光波を放って変身。1話では、ユリ子が遮蔽物を通り過ぎるとタックルになる略式の変身も披露している。

■タックル

岬ユリ子が変身する、ナナホシテントウの能力を宿した改造電波人間。電波が自由に飛び交う空間でないと変身できない（7話）。強化改造を受けてないため戦闘能力は低いが、果敢な闘志で奮闘する。ほぼ唯一の武器は電波投げでこれは主に戦闘員を排斥したが、21話ではサメ奇械人にも相応のダメージを与えた。31話にて改造魔人ドクターケイトの毒液に冒され、捨て身の最終技ウルトラサイクロンを放って壮絶な最期を示した。

▲ストロンガーおよび3話で知り合った立花藤兵衛と、ほぼ毎回連携。ブラックサタン戦を経てデルザー軍団が台頭してくるまで、3人は次第に強い絆で結ばれていく。

●「天が呼ぶ、地が呼ぶ、人が呼ぶ。悪を倒せと俺を呼ぶ！　聞け、悪人ども。俺は正義の戦士・仮面ライダーストロンガー！」（城茂／ストロンガー　3話他）

■電波投げ

電波を衝撃波に変換する技で、ほぼ毎回使用。12話などでは、藤兵衛もポーズをマネしている。

■ウルトラサイクロン

敵の肉体に、電波による最大級の振動を注ぎ込む。だが使用者の肉体も、その振動で破壊される。

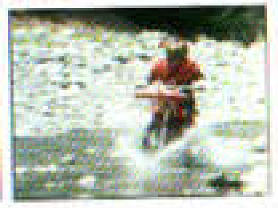
■エネルギー集中

21話で、百目タイタンが時限爆弾を仕掛けた鮫ケ島の敵基地（密室）から脱出する際に用いたストロンガーとタックル両者のエネルギーを一つにする能力。エネルギーの発現方法は未詳だが、海女の親子共々、無事に窮地を逃れた。

www.thai-toku.com

■カブトロー

茂の姿の時にも常用される、ストロンガーのバイク。1話から実戦に投入され、6話では茂が車上からエレクトロファイヤーを放った。茂の大切な愛車で27、28話では彼の呼び掛けに応じて自ら走ってくるが、34話でヘビ女に利用されたり、38話でマシーン大元帥に運転される例もあった。エネルギーは大気中の静電気で、通常は最高時速300km/hだが落雷を受けることで最高時速1010km/hの高速で走行する。誰が製作したかは、劇中では未詳。



▲5話では「カブトロージャンプ」なる大跳躍を披露する。8話では車体の前部から光線カブトローサンダーを発射（左上）。水上も走破可能だ。ちなみに左の写真はクランクイン前のものでオフロード型だが、テールが付属する。

▲画面によって、テール部が長い通称オンロード仕様（左／上）と、テール部が短い同・オフロード仕様が登場しているが、同一の車体。差異が生じる理由は劇中で特に語られておらず、22話では両方の仕様が、[illegible]の中で確認できる。

■テントロー

ユリ子＝タックルが愛用するマシン。カブトロー同様、持ち主の変身に際して形態を変化させる事はなく、通常からユリ子の愛車として常用された。画面への初登場は3話で、この時はユリ子が操縦（タックルの、画面内での初操縦は5話）。4話では奇械人ゴロンガメに操られた藤兵衛がこのテントローを奪い、3～4人の暴走族の若者と共に交通事故を誘引するブラックサタンの作戦に悪用した。なお操縦者ユリ子の技量からか、劇中で特に印象的なバイクアクションは行なわれず、また、ユリ子の墓標が立てられた32話以降どうなったかは、全く劇中で語られてはいない。最高時速200km/h

◀カブトロー同様に、やはり製作者は不明。なおテントローのハンドル上部には黄色い触覚状の突起があり（左上）、これが無い車体仕様の図版も確認される（右）。

■立花藤兵衛

レーサーの素質がある若者を求めて全国をジープで行脚し、初登場は3話。5話で自らストロンガーを「ライダー」と認め、6話で共闘を宣言。ユリ子と共に人質にされる事も多かったが、終盤は茂と6人ライダーの絆を固める役回りを果たした。14話（左）では釣り人に変装。また27話と36話では自宅らしき店が登場。

■立木藤太郎

関東第一原子力研究所の科学者。容貌は藤兵衛に酷似。深手を負った茂は、唯一自分を治療できる人物として彼を頼った。両者の過去の関係は不明。20話。

■正木洋一郎

ブラックサタンを離反した、超電子を研究する善意の科学者。野菜を満載したバンに瀕死の茂を匿い、彼を強化するが、ドクロ少佐に焼き殺される。31話。

■7人ライダー

デルザー軍団との最終決戦において、世界各国より日本に駆けつけた歴代ライダーたち。いずれもストロンガーとは初対面であったが、戦いの中でそれぞれを認め合い、同じ宿命を持った“仮面ライダー”として戦うことを誓い合った。迎えた岩石大首領との最終決戦では、これまでの組織の首領と声が同じだと驚かされる。

■[illegible]ライダー全エネルギー集中
[illegible]の決戦！ 大首領を倒[illegible]7人ライダーの全エ[illegible]一つになった!!

[illegible]を追ってエ[illegible]。シャドウと[illegible]。30話～。

[illegible]スペイ[illegible]アマ[illegible]。30話～。

▲アマゾンから帰国。Xらと共に四日市の石油コンビナート全壊を阻止した。36話～。

▲ヨロイ騎士を追ってギリシャから帰国。本作内では、アーム類は未使用。37話～。

▲37話で両者は富士ダムの決壊を阻止できず、敵の人質になる。39話でXたちが救出。

▲魔人の国で伝説となっていた勇者。1号は米国、2号はインドから帰国。38話～。

●タイタン「ブラックサタンの攻撃を止めてもらいたい。金はいくらでも出す」、茂「馬鹿にするな、金なんかほしかったら、元々改造人間になんかならん」（ストロンガー 13話）

ブラックサタン

■戦闘員

ブラックサタン戦闘員は、脳内に巣くうサタン虫によって操られ、いかなる命令にも服従する。それ故に、巨大ミサイルを背負い、ストロンガーに自爆を仕掛けるブラックサタン特攻隊（写真右下・9話）の様に、捨て駒として使用されることもある。

人間の耳から頭脳部に入り込み、人間を意のままに操る寄生生物・サタン虫。そのサタン虫を利用して、世界征服を企む謎の秘密結社がブラックサタンだ。彼らのアジトは日本各地に置かれ、日夜様々な計画が遂行されている。

彼らの擁する改造人間・奇械人は拉致した人間に動植物の特性を合体させたサイボーグである。彼ら奇械人もまたその脳にはサタン虫が植え付けられており、上級幹部の命令を身を賭して遂行する恐るべき戦力となっている。それら不退転の軍団を率いるブラックサタン大首領の正体とは……。

オートバイのテクニックに秀でており、しばしばストロンガーとバイク戦を繰り広げる。また白衣を着用した科学者タイプも存在。

■一つ目タイタン

ブラックサタン最初の大幹部。体内に8万度のマグマをたぎらせる、通称・改造火の玉人間。謎の紳士に変装し、奇械人らの作戦を監督し、時にストロンガーを牽制する。度重なる作戦失敗の責任をとるため、改造手術を受け、単身ストロンガーに挑む。が、ストロンガーに海に投げ込まれたために、体内のマグマが水蒸気爆発を起こし爆死。178cm／72kg。

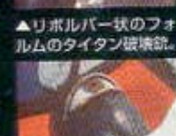
謎の紳士に変身するタイタン。胸のハンカチーフを引き抜き、顔の前にかざすと、タイタンの素顔に戻る。

▲リボルバー状のフォルムのタイタン破壊銃。

▲伊達男のタイタンはマント姿も披露（9話）。

▲首のマフラーは投げると火の玉となる。

▲「キック返し」でキックを弾く！（13話）。



▲改造を受け、従来の3倍のパワーに（13話）。

▲巨大な目からは強力な熱線が発せられる。

▲怪しげな魔法陣の傍らで次策を練る（9話）。

▲弱点を見抜かれ、敵に倒れる（13話）。

■百目タイタン

「ブラックサタンの呪いの棺」の儀式で蘇ったタイタン。以前の30倍のパワーを発揮する。地底王国にてストロンガーに最終決戦を挑むも、両肩のエネルギー回路を破壊され、体内からマグマを吹き出しながら倒れていった。178cm／75kg。

▲ブラックサタン大首領の司令で復活（17話）。

▲百の目玉から放つ新技ファイヤーシュート。

▲目玉が増え、より怪異な形相となる。

▲目玉型の奇怪な通信機で連絡を取る（18話）。

▲増大したパワーに身体が限界となる（23話）。

▲復活後もタイタン破壊銃を愛用する。

www.thai-toku.com

■奇械人ガンガル

"毒花粉作戦"の一環として、三河湾のホバークラフト乗っ取りを画策していた。電キックを浴び死亡。1話／195cm／82kg／「ギュイーッ」（声：辻村真人）

▲秘術「奇械人乗り移り」を用い、灯台守の山根に化けるも、娘のマリに正体を見破られる。また、身体をガスに変え、いかなる場所へも出入りできる。この他、左手にはロケット砲を装備している。

■奇械人オオカミン

日本近海の汚染作戦の一環として、都崎灯台にレーダー妨害装置を設置し、沿岸を通るタンカーを破壊しようと試みる。正体を暴かれ、駆けつけたストロンガーの電キックで爆死。2話／173cm／70kg。「ウォーッ」（演：沢りつお）

■サソリ奇械人

遊園地に来た子供を拉致し、ブラックサタンの一員にしようとする。3話／「シュエーッ」（声：槐柳二）

▲「奇械人乗り移り」で遊園地の支配人、北村に憑依する。右腕の巨大なハサミと、左腕のサソリ麻酔銃が武器。電キックを浴び死亡。

▲植物園の温室の管理人に変装して栽培中の毒花粉を撒布していた。全身がバネでできており、高い跳躍力を誇る。胸にある顔をバネで飛ばし、敵を攻撃。また胸の顔の口からはバズーカ砲も発射。

■奇械人ゴロンガメ

暴走族のリーダーに乗り移り、次々に交通災害を引き起こす。また藤兵衛をサタン虫で操り、暴走させた。4話／178cm／65kg／「グルルァーッ」（声：八代駿）

▼口から超高温の粘液を発する。また鉄よりも硬い甲羅に手足を収納させての体当たりも強烈。ストロンガーの電気ストリームで爆死。

▲身体を膨らませ戦闘態勢に。両腕のトゲを投げ、攻撃するも電気マグネットに弾かれ、電キックに倒れる。

■奇械人トラフグン

給食配達員に憑依し、相模湖近隣の小学校の給食に毒を混ぜていた。両手のヒレは鋭い刃。5話／165cm／52kg／「エェヒィーン」（声：山下啓介）

■クラゲ奇械人

学校教師らに次々乗り移り、全国の天才少年を拉致していた。次なるターゲット・堀文夫少年を捕らえんと、担任の松本先生や、文夫の母親に乗り移るが、ストロンガーにアジトまで追跡され、計画は失敗する。6話／169cm／55kg／「ビョビョビョ」（声：市川治）

▲身体をゲル状にし、どこにでも侵入。口から麻酔泡を吐く。また大きな頭の下には第2の頭がある。

●タイタン「手出しは無用だ、シャドウ」シャドウ「もちろんだ、私と張りあう大幹部タイタン君のお手並みをじっくり拝見させて頂こう」タイタン「恐怖をすれば命はない」シャドウ「命を大事にするのはそっちだろう」（ストロンガー 18話）

■奇械人ワニーダ

鎌倉・鶴ヶ丘八幡宮のドライブインを占拠し観光客を奴隷にしていた。対ストロンガー用のスリープガスで攻撃するが、何故か通用せず、電キックで倒れる。7話／189cm／150kg／「クワックワッ」（声：沢りつお）

◀ドライブインのオーナーに憑依していた。

▶強靭な尻尾の攻撃もストロンガーにはかなわず。

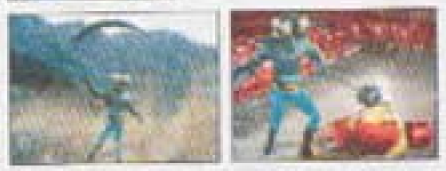
■奇械人モウセンゴケ

貯水池に毒液を流し、水を飲んだ人々を凶暴化させた。卑劣な性格で人質を取り一度はストロンガーを捕らえるが、逆襲の電キックにより散る。8話／「ギュアッヒアッヒアッ」（声：安原義人）

www.thai-toku.com

▲右腕からはツタ状のムチが伸び、獲物を捕らえる。▲右手のハサミには人間を溶かす毒液を蓄える。▲頭部の花より撒かれる花粉も、人間を溶かす。

◀人々を特殊音波によって混乱させ、その後に手にした太鼓のリズムで自在に操る。



▲右腕に装備した巨大なカマはブーメランにもなる。▲左腕は鉄球を装備。胸の装甲は電キックにも耐える。

■カマキリ奇械人

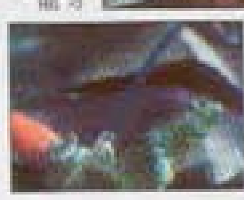
大人と子供を争わせる特殊音波で社会混乱を計画。バンドの指揮者や牧師に乗り移り、無防備な人々を操った。虫が好物で、人間体の時でもかまわず口に放り込む。9話／182cm／72kg／「ギリギリギリ」（声：八代駿）

◀ガンマー虫（写真上）をばらまく。"東京乗っ取り作戦"の要として、小型バズーカと電キックをも弾く装甲を装備。飛行に際しては背中のジェットを併用。

■奇械人ハゲタカン

人々を操るガンマー虫を散布する"東京乗っ取り作戦"を目論むが、エレクトロサンダーで死亡。10話／168cm／65kg／「クワァーッ」（声：沢りつお）

▶小型のカメレオンに変身する能力を持っている。

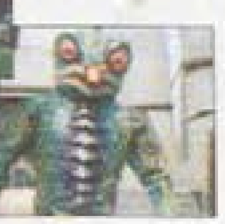


◀尻尾から発する毒液でストロンガーの視力を奪う。

■奇械人カメレオーン

石油危機を起こさせる為に、来日中の産油国・カザール国王の脅迫・暗殺を計画。体表の色を変えて、周囲の景色に自分の姿をとけ込ませる。また映画フィルムの中に忍び込む術も持つ。11話／178cm／68kg／「ルロロ　ルロロ」（声：沢りつお）

◀左腕を高速回転するノコギリに変形させ、敵を攻撃する。



▶逃げ腰ながら意外に健闘。だが電チョップ&キックの連携に倒れる。

■クモ奇械人

対ストロンガー用に改造された最強の奇械人。タランチュラガスで輸出用食料の汚染を計画。一度は倒されるものの2倍のパワーを得て復活。12話／167cm／64kg／「キェーッ」（声：辻村真人）

◀大和田一郎。脳改造も万全で彼を使役す人質を捜索。

◀全身から放出する糸で、防御用の蜘蛛の巣を作る。

▶腕から発射するチェーンで、敵を絞殺する。

▶口中にある注射針から、強力な毒液を注入する。

■奇械人エレキイカ

タイタンの茂打倒を支援。ストロンガーを確実に始末する為、タイタンに捨て駒にされる。13話／185cm／77kg／「ビリビリビリ」（声：八代駿）

◀絆守に化け、周到な計画で茂達をおびき出す。

▶必殺エレキクロスでストロンガーの視力を奪う。

◀頭部から発する目くらまし煙幕・エレキスモーク。

▶右手に装備された強力なエレキムチが主力武器。

■クワガタ奇械人

黒木博士を誘拐し、博士の研究していた重力制御法を奪うために活動。腕力は随一。15話／187cm／96kg／「カッカッカカカ」（声：山下啓介）

▶基本的には腕力に物を言わせ、ハサミ型の両腕にて攻撃を行うが、時には目から怪光線を放つことも。また頭部のハサミはミサイルになっている。

▲小型クワガタへも変身可能。腕力はストロンガーを凌駕するが、渾身の電キックに倒れる。

■ジェネラルシャドウ

タイタンなき後、2代目幹部として雇われた謎の剣士。味方を捨て駒にする作戦を嫌い、カード占いの結果次第で、気の進まぬ任務から手を引くなど、どこか気分屋。198cm／96kg。

◀4人を殺した凶悪犯を素体としており、これまでの奇械人に無い残忍さを誇る。

▶左手は通常のロープ付きのアンカーの他、ハンマーを装着することも可能。

◀左手のハンマーパンチは、地面を打ち叩くことで地震を引き起こすことも可能。

■奇械人メカゴリラ

タイタンの葬式に捧げる生け贄用の子供達を誘拐する。囚人を改造した為、非常に凶暴。14話／165cm／90kg／「ギィーッ」（声：沢りつお）

■奇械人ブブンガー

オリエンテーリング大会に参加した子供達の血を吸い、下僕化を謀る。ストロンガーに妨害されるも、大会の参加賞・タツノオトシゴの卵に擬態し計画を遂行。16話／177cm／62kg／「ビビビビッ」（声：市川治）

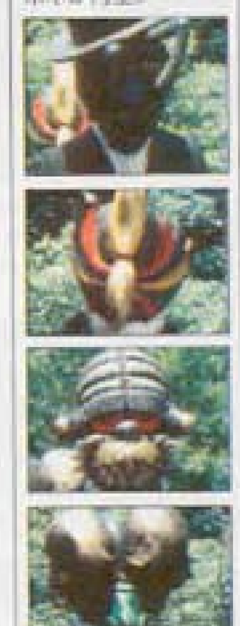
◀血を吸われた子供たちはボーフラになってしまう。

▶左手はトゲ付きの針になっており、敵を突き殺す。

▲◀針状の口は獲物の血を吸う他、戦闘時には引き抜いて剣として使用することも可能。洗脳した子供達にストロンガーを襲わせ、また藤兵衛を人質に取り、終始有利に戦う。だが、タックルの脱出を許し、起死回生の電キックによって敗れ去る。

■再生怪人

17話に登場。ハゲタカン、メカゴリラ、カマキリ奇械人に加え元GODのアリカポネが再生。



■コウモリ奇械人

お化け大会参加者抹殺を計画するも失敗。後に百目タイタンの指令で陽動作戦を展開。17話／169cm／73kg／「キキィーッ」（声：沢りつお）

▶爆弾花の地雷をまき散らし、また口からは人間を即死させる赤い液を吐く。翼は刃物としても使用可能。

●シャドウ「仮面ライダーストロンガーとは、お前の事か」ストロンガー「名を名乗れ！」シャドウ「俺の名を知らんとは、お前もよほど迂闊な男……」（ストロンガー 14話）

 ★印はロッテ「仮面ライダーガム」のカードの写真を使用しています。

■奇械人電気エイ

ストロンガーをおびき寄せるため、キャンプ中の子供達を手当たり次第に沼に引きずり込んだ。18話／190cm／105kg／「エーイッ」（声：沢りつお）

◀老人に化け、沼に伝わる言い伝えで子供たちをたぶらかす。

▶ストロンガーの電気エネルギーを吸収して、自身のエネルギーに変えてしまう。

▶エネルギーの吸収度合いは胸のゲージに表示される。最後は電キックを浴び死亡。

■奇械人毒ガマ

浜松城周辺での毒ガス作戦のためガス製造工場を防衛。胸部には配下の子ガマを多数収納している。19話／181cm／120kg／「クワーッ」（声：沢りつお）

◀浜松城にある、ブラックサタン毒ガス製造工場を守るため、亡者に変装して侵入者を退散させていた。

▶巨大な口からは、白色の毒ガマ毒ガスを吐きだして攻撃。また胸からも、赤色の有毒ガスを発生させる。

◀長く伸びる舌はまた、火花を放って、敵を牽制する。善戦するも、電キックによってとどめを刺される。

■奇械人アリジコク

ストロンガーとの決闘で傷を負った百目タイタンの手術のために、その技術を持つ立木博士の誘拐を画策する。左手に取り付けられたドリルで地中を自在に掘り進む。20話／「ギュルギュル」（声：八代駿）

◀地の利を生かして戦うが、電キックを浴びて死亡。

▶左腕に装備するドリルは地中潜行用の他、高速回転を利して攻撃にも転用。

▲巨大なアリ地獄を作り、獲物を待ち受ける。

▲胸の装甲版は取り外して投げ付ける事も可能。

▲腰の紐飾りは着脱可能で、獲物をからめ取る。

▲茂をまんまと生き埋めにし、勝ち誇るが……。

▲右手のサメ状ハンドからは、シャークミサイルを発射する。

▲顔と右手の牙で敵にかみつく。また、左手の爪も侮れぬ強度だ。

▲必殺の渦巻き地獄は、海中で素早く尾ビレを回転させ渦巻きを作る。

■サメ奇械人

伊勢・鳥羽湾の海底にあるブラックサタン海底基地を警備する。タックルの猛攻にグロッキーされ、ストロンガーの電キックでとどめを刺される。21話／177cm／78kg／「ギリギリギリ」（声：市川治）

▶タックル大活躍！通常の投げから電波投げの連携で、奇械人に大ダメージを与えた。

◀次期幹部の座を狙う、奇械人でも有数の実力者だ。

■奇械人ケムンガ

口からの糸と、左手の毒針が武器。タイタンはストロンガーを捕らえたままケムンガを繭にさせ、その後、両者共々爆破を試みる。が、繭があまりに丈夫な為に、計画は失敗。22話／173cm／67kg／「ケムケムケム」（声：辻村真人）

▲外部からはほぼ破壊不能の繭に、ストロンガー共々入り込んでいく。

▲口から吐く糸は、繭を作る以外にも、攻撃手段としても使用可能。

▲藤兵衛に化け、ストロンガーを「処刑の丘」へと導いていく。

■奇械人ドクガラン

ケムンガが変態した姿で、以降も執拗にストロンガーを狙う。宇宙からのエネルギーを再チャージしたストロンガーの電キックを喰らい地底湖に沈められる。23話／195cm／103kg／「ガガガガーッ」（声：辻村真人）

▼得意攻撃は羽根から撒き散らす毒の鱗粉。通常の人間なら数秒で死亡してしまう威力だ。この他、敵を空中に持ち上げてからの投げなど、技のバリエーションが豊富。

▲幼虫の時より軽やかなスタイルとなったドクガラン。だが、戦闘力は幼虫の数段上の数値を叩き出す。

◀成虫になったドクガランは、今度はユリ子に化けてストロンガーを罠にかける。また、口からは鋼鉄製の鋭い糸を発射してストロンガーを襲撃する。

◀ケムンガの繭内にて、ストロンガーは電気ストリームを敢行。その際に生じる熱を利用して、ケムンガを急激にドクガランへと成長させることに成功した。

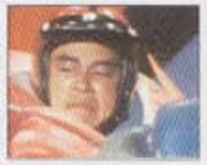
▼印は山勝「ミニカード　仮面ライダー」の写真を使用しています。

www.thai-toku.com

■奇械人ハサミガニ

トンネルに入った電車を襲撃し、拉致した乗客をブラックサタンの要塞島の建設作業員に仕立て上げる作戦を遂行。24話／186cm／81kg／「チューッ」（声：林一夫）

◀胸を左右に開くと、人々に幻覚を見せる泡が吐きだされる。また左手のハサミは発射することができる。



▲左手のハサミは挟んだ物をまっぷたつにする。

◀電キックでハサミをはじかれ逃走。だがシャドウに見捨てられ、再度電キックを浴びて死亡。

◀腕のカマはありとあらゆる物を切断する。また、しなやかなお腕をムチのようにして攻撃することもある。

▶電パンチもはじき返す頑丈な装甲。体を丸めての体当たりが必殺技。だが、電キックで装甲をぶち破られ、死亡。

◀廃棄ビューホテルの従業員に乗り移ったアルマジロン。巧みに茂を電気椅子の罠へと導いていく。

■奇械人アルマジロン

デッドライオン直属の部下。彼と共に邪魔なシャドウを攻撃し、また打倒ストロンガーを画策する。25話／181cm／98kg／「ブルルルル」（声：池水通洋）

▲サタンのペンダント。ブラックサタン最大の秘密が隠されているという。

右腕のデッドハンドは投射することも可能。また胴のたてがみも発射できる。

■ブラックサタン大首領

ブラックサタンの創始者。正体はサタン虫一族の長が、サタンのペンダントにより巨大化した姿。サタン虫らによる世界征服を企むも、その計画をことごとくストロンガーに阻まれる。26話にて、遂にアジトの中枢に乗り込んできたストロンガーに自ら闘いを挑む。6本の毒付きの腕で攻撃するが、電パンチ・電キックで倒される。200cm／113kg.

▲サタン虫。人間の頭脳に寄生し、人々の思考をブラックサタン大首領の意のままに操ることができるようにする。

▲テレポート能力を有し、それでストロンガーを幻惑するが、電パンチを喰らい、目から火花を出し苦しむ。

ハゲタカン、ブブンガー、電気エイ、毒ガマ、コウモリ奇械人の5人が復活。ストロンガーと再戦する。

■デッドライオン

ブラックサタン3代目幹部。大首領の信頼も厚く、その証としてサタンのペンダントを持つ。ブラックサタン壊滅後、いずこかへ姿を消す。25、26話／180cm／97kg／「ガオーッ」（声：辻村真人）

デルザー軍団

▲奇獣山の秘密アジトで、初期の仲間と歓談。27話。

▲大元帥参列と同時にアジトは変更。壁には戦略図。

ブラックサタン壊滅直前、シャドウが故郷"魔人の国"から呼集した改造魔人勢。各自が闇の伝説に名を刻む大物の末裔で、魔性の存在をサイボーグ化した面々は、ストロンガーにとって最大級の脅威となった。シャドウはリーダーの栄誉を賜に、初期参列の7名に打倒ストロンガーを競わせる。だがそんなシャドウの思惑は、後に上格のマシーン大元帥が出現した事で無効となり、本格的な日本侵攻が展開される。

■ジェネラルシャドウ

www.thai-toku.com

仲間を宿敵打倒に差し向ける一方で、当の相手に退却を勧告する（27、29話）など、茂に妙なこだわりを抱く。やがて軍団内の立場を失い、38話でストロンガーに敗退。26話から着用のマントで、転移技マントフェイドも披露（36話）。

▲最後の生き甲斐は、ストロンガー打倒だった。

▲♠のKの等身大カードに変身。瞬時、飛来した。

▲14話で初使用のシャドウ剣。V3戦でも使用。

▲鋭いトランプカッター。名称は14話のみ言明。

▲19話と27話で披露した幻惑技。シャドウ分身。

▲札が爆弾になるトランプショット。14話～。

▲敗退時の瞬間転移術トランプフェイド。14話

▲20話で、ユリ子を失神させたトランプパンチ。

▲15、16話ではカードで、相手の視界を奪った。

▲38話の決戦時には、等身大カードが火を吐いた。

▲最後は剣に体中の『シャドウパワー』を込める。

▲1名のみ直属の戦闘兵が登場。33話。

■銅鉄参謀

黄金魔人の子孫。ストロンガーとは5回激突。強靭なボディと怪力が武器。26～29話／190cm／304kg／「スティール」（声・市川治）。

◀ストロンガー電キックの威力を、己がパワーに変換。

▶武器は鉄球。29話ではストロンガーが奪って逆用。

◀反目するドクターケイトの毒素が弱点だった。29話。

戦闘員は猫を使用。声は「ギルギル」。

■荒ワシ師団長

"砂漠の死神"と言われた破壊師団の長。狡猾な性格で仲間を欺きデルザー軍団の覇権を狙うが、最初にストロンガーに敗れた。26～28話／178cm／80kg／「クワー」（声・安原義人）。

◀武器は、斧とデルザー軍団の紋章を刻んだ盾である。

▶高速で飛行が可能。なお翼は任意に着脱できる。

戦闘員は鷲脚下の羽根で、自在に操る。

■ドクターケイト

全身が毒の固まりの魔女。残忍で、ナイフでの暗殺も得意。26～30（除28）話／168cm／54kg／「ギヒヒヒ」（声・曽我町子）

▲人間を巨大なケイトウに変え、新たな毒を研究。

▲火が弱点だと、タックルに見破られてしまう。

▲杖の先から、腐敗性の毒液を発射する。

▲頭からケイトガス。他に幻惑戦法も披露した。

戦闘員は動きが鈍く、声は「ギヒヒヒ」。

■ドクロ少佐

イタリア忍者集団DDDのボス。多彩な妖術を披露。26～31（除28、29）話／187cm／42kg／「ケケケ」（声・山下啓介他）

戦闘員は忍者で、手裏剣型爆弾を使用。声は「キー」。

▲30話では頭蓋骨に変身。茂の墓を作って威嚇。

▲31話では、体を「分体」「再生」する大技を披露。

▲青白色やオレンジ色の、人魂にも変身する。

▲武器の大鎌から強力な火炎や幻惑波を発射。

■岩石男爵

スフィンクスの子孫。考えの浅さを狼長官に利用されるが、岩石に関連する多様な技は強力。26～32（除28～30）話／192cm／1.7t／「イワー」（声・沢りつお他）

▲大岩を砕のように凄とい敵の目を欺く、「岩砕れ」の術などを披露。

▲32話の決戦時には、手持ちの武器である「岩石棍棒」を使用した。

▲常態のストロンガーに「岩石落とし」という圧殺技を使用。32話。

▲体の粘土で、藤兵衛の偽物を作り出した。

戦闘員も共に変身して分身。声はフウ、イフ。

■狼長官

誇り高き狼男の子孫で成上りの魔人シャドウを軽蔑、造反を画策。目的のための手段を選ばない。27～33（除28～31）話／190cm／80kg／（声・峰恵研）

戦闘員は「猟犬隊」の異名を取る精鋭揃い。専有する武器は槍で、満月を象った黄色く小さい円盾に変身する。声は「ワオー」。

▲浅野病科医に変身。右上は、先祖の肖像画。

▲33話で使用した爆形爆弾は連発可能。

▲満月の夜の儀式で、プラズマ光線を会得。

▲ナイフを射出するライフルが主武器怪力は34話で切り札的に披露。

戦闘員は、隊長と同様のナイフ射出銃を持つ狙撃兵。さらに他軍団の戦闘員同様、白兵戦にも長けている。声は「ブイ、ブイ」。

■隊長ブランク

先祖がフランケンシュタインと自称。ストロンガー抹殺の抜け駆けを図る。最後は投げ技で爆発。26～34（除28～32）話／192cm／87kg／（声・辻村真人）

●ユリ子「――ねえ茂、いつか悪い奴人たちがいなくなって、世の中が平和になったら」茂「平和になったら」ユリ子「二人でどこか、楽しい所へ行きたいわ」（ストロンガー 29話）

◀マントは吸電能力があり、ストロンガーを火花で責める。

▶妖しい催眠術で藤兵衛たちを操り、己が配下とした。

◀窮地には本体を蛇に変え、敗走を図る。34話ラストなど。

▶額にウロコを張られた人間は、ヘビ人間と化してしまう。

■ヘビ女

軍団初期陣のほぼ壊滅時、シャドウが招いた己が片腕的存在。茂を毒や鞭で苦しめるが、V3の支援を受けた彼に逆転された。34、35話／「イーヒヒヒ」（声：瀬能礼子）

ヘビ女が放ったり、または蛇香から出た蛇が、戦闘員になる。声は「ヒューヒュー」。

www.thai-toku.com

■マシーン大元帥

35話でエジプトから来た軍団の最大実権者。陽動と本作戦を柔軟に切り換える戦略家。最後は電パンチに屈した。（声：市川治）

機関銃を用いる。声は「キー」。（35話〜）。

▲空を自在に飛来する棺は、移動装置の役も果たす。35話。　▲船舶で神戸に来た時は、棺の中からミイラ状の姿で出現。　▲額のランプから強力なビームを発射。35話のみの使用。

▲35話で使用のレッドバリヤー。V3の動きを封じ込めた。　▲38話では、自ら機関銃を携帯。一時は2号がこの銃を奪う。　▲人質を誇示する際には、当然、一般新型のバイクに搭乗。

◀両腕の磁石から発する強力なマグネットパワー。後に強化した磁力波で、旅客機の墜落惨事を引き起こす作戦を目論んだ。36話。

▶36話のミニ磁石。相手に吸着させて、電子回路を狂わせる。ストロンガーは磁極を逆転させて、磁石団長自身の体に損傷を与えた。

◀38話では、ストロンガー、V3、ライダーマンを人質に取った証拠として、奇巌山を行く藤兵衛の前にハリケーンに乗って現れた。

■磁石団長

大元帥の腹心としてアマゾンから来襲。日本の要所破壊を進行。最後は再生怪人と爆死。36〜39話／210cm／105kg／「シャイーン」（声：沢りつお）

戦闘員は馬蹄形の武器を使用。38話では粗暴な指揮官に苦労した。声は「シャイ」。

◀最も地味なマシンに搭乗。気質が窺える。

◀サーベルと短剣が武器。36話では双方の交差で高速熱戦を放ち、石油タンクを爆破。

■ヨロイ騎士

ギリシャやスペインでも暴れた大元帥の腹心。義に厚く、シャドウの死後に、復讐を宣言。36〜39話／196cm／120kg／「カチュー」（声：池水通洋）

騎士の命令で、破壊や防衛に従事する戦闘員。声は「チュー」。

■再生怪人軍団

サメ奇械人、岡アリジゴク、メカゴリラ、荒ワシ師団長が再生。カニ奇械人は初登場。ブブンガーはボディが異なる。

■岩石大首領

最終話で、奇巌山から現れた岩石巨人。ショッカーに始まる悪の組織の、真の黒幕でもあった。上の怪人群を再生させるがそれらの敗退後、自ら屹立する。（声：納谷悟朗）

▲先に37話で閉じた瞼を開き、ライダーとの最終決戦の時を窺っていた。　▲外の表皮は強固で、各ライダーの必殺技もほとんど通用していない。

■大首領本体

7人ライダーが口腔から突入した、巨人の内部に巣くう無気味な知的生命体。正体は宇宙生物らしく、外宇宙への帰還を模索するが、結局は自爆してしまう。

▲口から3発の火球を射出。さらに目の周辺からは、2条のビームを2回にわけて発射している。

■暗黒大将軍

突如、後楽園遊園地のステージ下に秘密基地を建造した謎の科学者。右の怪人以外にも、ブランク隊長の戦闘員とドクロ少佐の戦闘員や狼部隊を使役。怪人で日本征服を図る一方、子供を人質にした大金強奪を図るが、大首領の本体を葬った7人ライダーの合体技に敗れた。

▲地下のアジト内。そう深い地底にある訳ではなく、階段で往き来できる。何故か玉座の背面にはデルザー軍団の紋章が掲げられているが、魔人の国と暗黒大将軍の関係は未詳だ。

■怪人軍団

メカゴリラ、サメ奇械人、アルマジロン、ヘビ女、再生ブブンガー、カニ奇械人、奇械人アリジゴク、狼長官の姿が確認できる。最後の2人は暗黒大将軍の側近を務めていた。

●「平和と正義の七人の戦士・仮面ライダー。彼らは地上に悪のある限り、その勇姿を現わさずに違いない。だが、今は去っていく。さようなら仮面ライダーよ、さようなら——」（ナレーション／ストロンガー 最終話）

www.thai-toku.com

石森（石ノ森）章太郎によるオフィシャルな原作は『週刊ぼくらマガジン』『週刊少年マガジン』二誌に渡って連載。現在まで何度も復刻され、読み継がれる名作だ。石森は「たのしい幼稚園」でも一作目、「テレビマガジン（以下「テレマガ」）」では『アマゾン』を執筆。79年の『月刊少年マガジン』では『スカイ』放映前企画として単発の"絵コンテ漫画"も試みた。

原作以外の『ＺＸ』までの漫画化は「テレマガ」「テレビランド（以下テレラン）」『冒険王』三誌での、主に石森プロ作家陣による連載が主流。『冒険王』はすがやみつるが『ストロンガー』までの５作を連載。同氏は「テレマガ」でも一作目～『Ｘ』『スカイ』『スーパー１』を、更に『別冊冒険王』でも一作目と『Ｖ３』を手掛けた。「テレマガ」版『ストロンガー』は、主に成井紀郎が担当。本誌とは別に76年増刊では善意のエリュシオン星人が７人ライダーを人間に戻して完結。歴代戦士の苦闘に独自の解釈による一つの穏やかな終焉を与えた。なお後のテレマガ版『ＺＸ』は秋津わたるが担当。他方『テレラン』では『Ｖ３』後半～『Ｘ』前半を松本めぐむ（尾瀬あきら）、『Ｘ』後半～『ストロンガー』を土山よしきが担当。両者の流麗な筆致は印象深い。更に『スカイ』直前に山田ゴロが描いた、一作目～『ストロンガー』の一貫したリバイバル版が大作として特筆すべき存在で、氏はその流れで同誌に『スカイ』～『ＺＸ』も放映時に連載した。また『冒険王』では『スカイ』『スーパー１』を石川森彦、『ＺＸ』を金山静夫が執筆している。

◀▲左が原作版1号。上が同2号。ライダー漫画としては最もメジャーな原作版。怪奇アクションコミックとしての完成度の高さや、ＴＶ作品以上に際立った、改造人間の悲しみの描写はもはや説明不要。13人の仮面ライダーによって本郷猛の肉体が死を迎える中盤や、ショッカーの最後の計画の裏に秘められた真実が明かされるクライマックスは、読者に強い衝撃を与えた。

▶メディアファクトリー刊「石ノ森萬画館」全3巻シリーズは、1巻に新連載巻頭分をカラーで収録。2巻では「たのしい幼稚園」掲載の彩色原稿5編を、また既存単行本未収録分の復刻を実現。なお日立マクセルから、石森版原作漫画を電気紙芝居風に処理した「まんがビデオ」も発売。顔面が本郷のCVをアテる本格的な作りだ。

▶▲石森により描かれた『アマゾン』。本作のモグラ獣人はコミックメーカーでありながらも子供が改造されたというエグい設定。双葉社刊「仮面ライダーＥＸ」に収録。同書には『スカイ』の原形的側面を持つ「絵コンテ漫画」も収録。主人公名は異なり、ライダーは２号ライダーの姿を踏襲。敵組織名も単に"ショッカー"である。

◀▼南光太郎の異形の戦いを綴った漫画版。原作題名は『仮面ライダーＢｌａｃｋ』。英語表記の大文字、小文字で、漫画と映像を区別。現在は、小学館漫画文庫で新装版が刊行（全3巻）。

▲「冒険王」と「別冊冒険王（映画テレビマガジン）」に、掲載された『Ｖ３』。イベント編では、復活したゾル大佐以下の4幹部が怪人体を披露。すがや版の漫画世界では、ここで死神博士がイカデビルという図式が明かされた。また地獄大使も前作とは関係なく、ＴＶ版同様の怪人獣へと変身した。

◀すがやがライダー漫画史に残した功績は大きい。新1号時から『冒険王』での連載を開始。テンペストやシードラゴン4世、5世など、ここでのみで見られる怪人も登場。グルショッカー台頭時、地獄大使が新1号に加勢する展開は、ＴＶとは異なる興味がある。双葉社刊「新・仮面ライダー」に収録。（すがや版「Ｖ３」、島本版「Ｂｌａｃｋ」「ＺＯ」はいずれも双葉社刊のコミックに所収）。

◀島本和彦も「サンデー特別号」に「Ｂｌａｃｋ」番外編を執筆。「ＺＯ」も「月刊少年チャンピオン」に連載化。

▲原作版『決死戦7人ライダー』および『11戦記』（テレマガ）、そして『銀河大戦』（てれびくん）には宇宙用バイク・ギャラクシー号も登場。

▶新1号から遡に、世界中でのライダーの活躍を追った村枝賢一による『仮面ライダーSPIRITS』（集英社マガジンZ連載）。熱いドラマの中にオマージュが輝く話題作。

『ＢＬＡＣＫ』の漫画は小学館が主体。石森が原作を「週刊少年サンデー」に執筆の他、「てれびくん」「コロコロコミック」や各学年誌に漫画版が掲載。異色な所ではケイブンシャの「大百科」に、きむらひでふみが短編を提供（『ＲＸ』まで計４編）。一方「テレラン」はシュガー佐藤が『ＢＬＡＣＫ』『ＲＸ』を、『コミックボンボン』では岩田和久が『ＲＸ』を漫画化。『ＲＸ』放映後はライダーブランドの普遍化から、ＴＶ児童誌がオールスター企画を競合。「テレマガ」は成井の『仮面ライダー11戦記』（敵組織ガイスト）、「テレラン」は平山亨構成、佐藤画の『時空英雄仮面ライダー』（同ジャオロ軍団）、「てれびくん」は塩村真二の『宇宙の11・仮面ライダー銀河大戦』（同マーダー帝国）を連載。『11戦記』ではジェネラルシャドウが新ライダーに変身（左図）、『時空』ではＲＸとブラックの連携など話題も豊富。以降は「てれびくん」が、ＳＤ系を除きほぼ単独で漫画版を連載。『真』は小学館「別冊コロコロコミックスペシャル」に、たかや健二の作画で掲載された（独自の怪人コウモリ男も登場）。以降『ＺＯ』（画・青木たかお、以下同）『Ｊ』（小石さとし、脚本協力・上原正三、浅香晶）『クウガ』～『アギト』（たかなてつお）と続々掲載された。

COLUMN 08

ライダースペシャル!!

ライダー全員集合！　と言えば、少年たちにとっては世俗のいかなる大事件にも勝る、最大級のイベントであった。ＴＶや映画での競演も大歓迎だが、テレビスペシャルもレアな映像を見ることのできる、見逃すことのできないものであった。殊にビデオなどが普及していない70年、80年代前半において、スペシャルの名場面集の貴重さは今では想像もできないものだった。

その先陣を切った『全員集合！７人の仮面ライダー!!』は『ストロンガー』最終回の直後に放映されたもの。最終回に続き素顔の７人ライダーが集合した、最初で最後のスペシャルとなった。一方『不滅の仮面ライダー』は『スカイ』の直前にライダー復活記念として放映されたものであり、これが立花藤兵衛の最後の出演となった。

スペシャルでも破格に有名なのが『10号誕生！仮面ライダー全員集合!!』である。ＺＸの活躍と共に、風見、結城（これが最後の登場に）、沖の素顔の出演が嬉しかった。忘れられがちだが、２号ライダーを佐々木剛がアフレコしていたのも要チェックだ。『ＢＬＡＣＫ』放映前には、復活を記念した番宣番組『これが仮面ライダーＢＬＡＣＫだ！』がある。南光太郎本人へのインタビューといった企画が印象深い。また、『ＢＬＡＣＫ』と『ＲＸ』を挟んで、名場面を中心とした『仮面ライダー１号～ＲＸ大集合』が放映された。『クウガ』では新春スペシャルとして、ボレボレで居眠りしてしまった雄介の「初夢」として構成され、戦士の束の間の休息が描かれ、本作のムードにふさわしいものになった。

意外と見落としがちなのが、『ＺＯ』封切り前に放映されたスペシャル。麻生勝役の土門廣と体操選手の池谷幸雄とのトークを中心に、映画公開前の期待を高めた。またＣＳ放送局東映チャンネルでも『クウガ』放映中にスタッフキャストへのインタビューを中心としたメイキング番組が制作されていた。

さて、最後に一番スペシャルな映像に関して触れておこう。ビデオ『ウルトラマンVS仮面ライダー』における、ウルトラマンとの競演映像だ。10分程度の短編だが、少年時代の空想を映像化したかのような、まさしく「夢のひととき」とも言うべき作品であった。夕日の中握手を交わすライダーとウルトラマンの姿は、影山ヒロノブの主題歌「戦うために生まれた戦士」と共に忘れがたい。

▲「全員集合！７人の仮面ライダー!!」子供たちとライダーショーを楽しむ藤兵衛のもとに、ひょっこりと本郷、一文字、風見たちが現れる。しかし、そこには暗黒大将軍の恐るべき企みがあった！

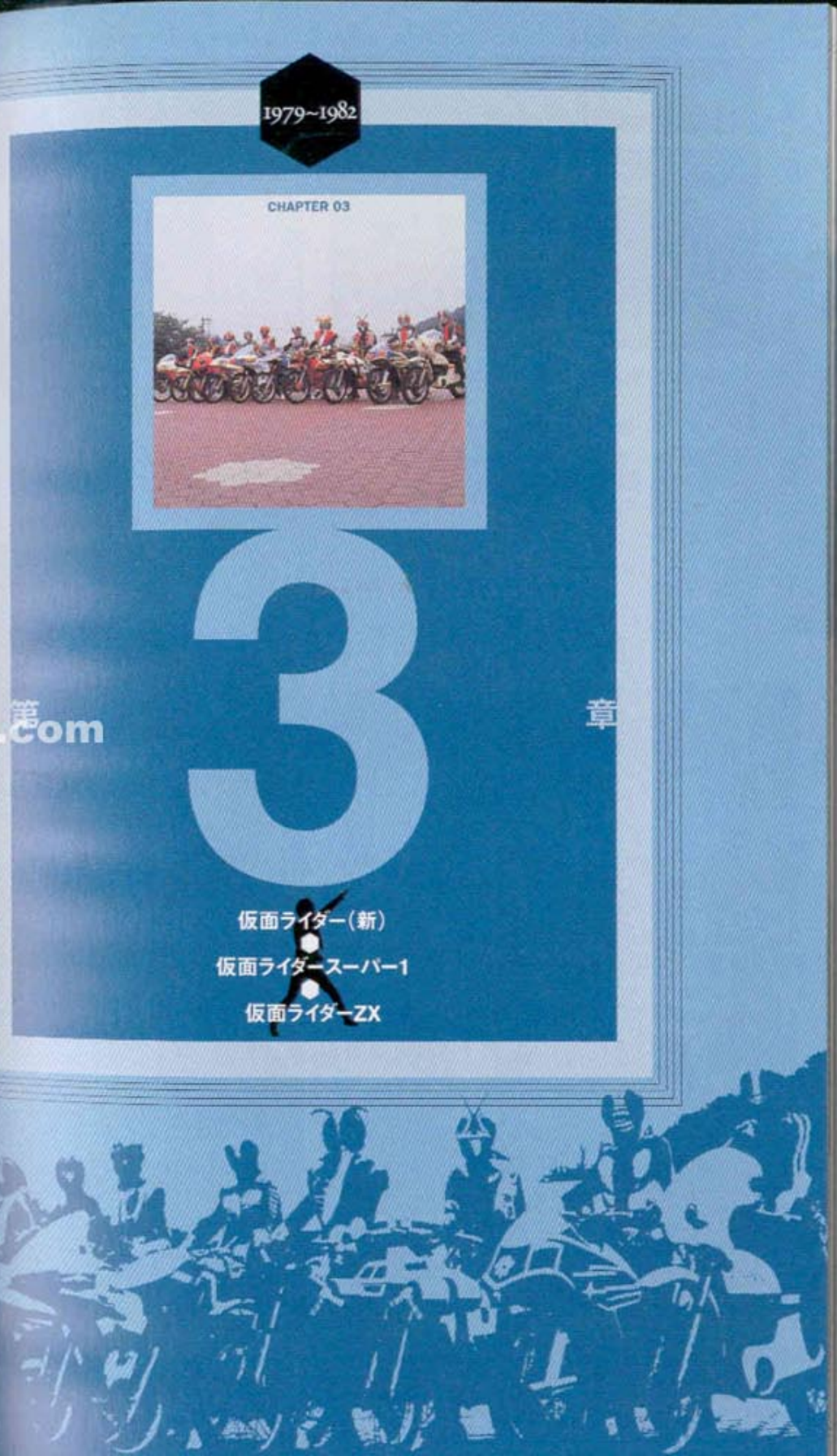
▲「不滅の仮面ライダー」大泉の東映東京撮影所に現れた藤兵衛が子供たちにライダーの勇姿を語って聞かせる。「スカイ」の「特報」では、ビデオ合成ではないスカイの飛行シーンが登場している。

▲クウガ新春スペシャルep46.5「初夢」。最終回直前の、最後のひと休み？　最後に登場した怖そうなお客は、実はグロンギ怪人人間体のキャスト陣。桜子、みのり、奈々の晴れ着姿も見物だ。

▲"東京ズタズタ作戦"遂行のため、ショッカーの最強怪人の証、黄金のベルトを巻いた海サソリ男が登場！

◀怪人は保駆ガドラスと合体し、サソリガドラスに。対するライダーもウルトラマン同様巨大化した。

▶２大ヒーロー、夢の共同戦線が見られるビデオは、バンダイビジュアルより好評レンタル中。



www.thai-toku.com

1979 仮面ライダー(新)

TV
1979年10月5日～1980年10月10日 MBS・TBS系
金曜夜7時～ 全54話 劇場作品1本

約四年のブランクを経た「仮面ライダー」は、黄時期のSF映画「スーパーマン」における飛行シーンの醍醐味を反映させ、史上初の"空飛ぶ仮面ライダー"として見事な復活を果たした。東映大泉撮影所による初の「仮面ライダー」という意味でも記念碑的な番組といえるだろう。物語中盤まで旧作との関連は希薄だったが、番組開始前の告知番組で"立花藤兵衛"がスカイライダーの変身ベルトを手に紹介する件があった事も特記しておく。

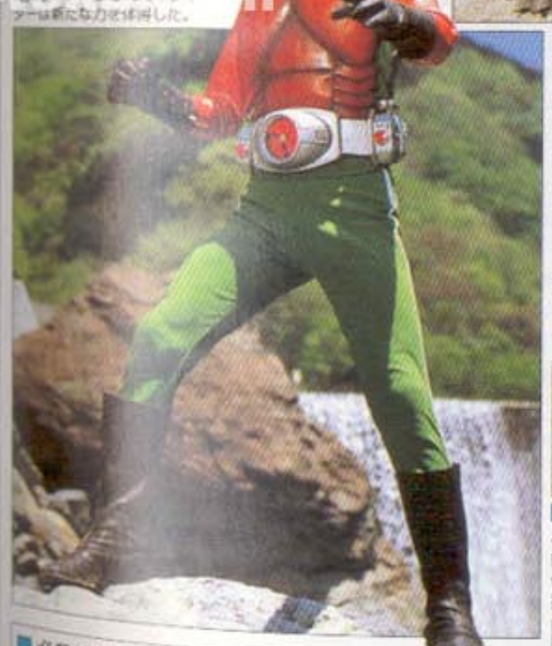
人々の蒸発、政治家の暗殺、ビル爆破……一見平和に見えたこの人間社会は、何者かに蝕まれつつある。その背後には悪の秘密結社ネオショッカー(以下ネオS)がいた。地球の人口過密状態を脱する為、一部の優れた民衆以外を抹殺せんとした選民思想の集団だ。ある日、青年・筑波洋は偶然にも謎の集団から追われる志度博士を救出。この集団こそネオSの尖兵であり、結果として洋は落命しかけてしまう。勇敢な若者を死なせてはならない……志度博士の想いは、洋を組織に有効な人物と判断したネオSの大首領によって叶えられ、改造手術が開始。だが洋に宿る正義の志までは悪魔も奪う事ができなかった。洋の手術は成功し、彼は仮面ライダーとして新たな姿を得たのだ。ここにネオSは最大の強敵の誕生を迎える事となる。仮面ライダーは志度博士と脱出し、ネオSの脅威から人々を守って戦い抜くと誓うのだった。
やがて志度は海外のネオS対策委員会からの要請で日本を離れてゆき、洋の後見を谷源次郎に預託。谷もまたネオSを憎む一人だったのだ。心強い味方を得ながら仮面ライダーは、ネオSの大幹部ゼネラルモンスターの打倒に成功。だが洋が汗拭く間も無く、新たな敵・魔神提督が南米のネオS支部からやってきた。激化する戦いの中で洋は、世界でネオSに抵抗する歴戦の勇士・7人のライダー部隊と解垢。彼らにスカイライダーは強化され、魔神提督の挑戦を撥ね除けてゆくのだった。

■スカイライダー

重傷を負った青年・筑波洋が、改造手術を受けて授かった"本当の姿"。改造人間の悲しみを越え、悪と戦う事に誇りを抱く孤高の戦士だ。最大の機能は空を飛ぶ能力セイリングジャンプで、これは重力低減装置の賜物である。必殺技のスカイキックは右足を用いるが、5と6話のみ両足でキックした。腕を交差するチョップ技も16～18、20話で使われ、後のクロスチョップ(44話)の原型と思しい。尚スカイライダーの名が出たのは(特番の他)21話が最初である。180cm/70kg。

◀20話でのストロンガー登場を機に旧作と密接に展開。31～40話は歴代ライダーが勢揃で連続登場するボーナス編だった。

▲28話における7人ライダーからの特訓を経て、"99"の技を会得したスカイライダーは新たな力を体得した。



■スカイキック

技名を呼称した回は1～26、28、32、35、37、38、40、41、44、45、47～49、51、53、54話及び劇場。

■重力低減装置

ベルト両脇の機器。このハンドルを下げてセイリングジャンプする。飛行時にはマフラーが伸びる。

■セイリングジャンプ

明確に用いたのは1～12、54話。他、19話は試みながら失敗に終わり、49話でも使用した模様。

■必殺技全リスト

スーパーライトウェーブ(3話)、Eシグナル(4話)、ディメンジョン(D)アイ(7、8、10、13～15、17、23、35話、劇場)、Dアイ赤外線スコープ(35話)、ベルトイヤー(7、10、19、23話)、嗅覚(9話)、レーダー触覚(13話)、遠心投げ(13話)、大回転スカイキック(21、27話)、スカイドリル(22、27、49話)、スカイパンチ(24、47、48、53話)

◀劇場版予告編におけるスカイライダーは旧カラーであったが、実際の本編だと新カラーで登場。これは、このタイムラグに7人ライダーからの強化特訓が行なわれたと解釈できよう。

■強化スカイライダー

強力な改造人間グランバザーミーを倒すべく、7人ライダーからの特訓を受けた洋へストロンガーの電ショックが放たれるやその身体は強制変身。7人のエネルギーを託されたスカイライダーは鮮やかな体色へと変貌する。ここに99の技を持つ新たなスカイライダーが誕生した！

▲スカイライダーの固有名詞は主に7人ライダーから呼ばれる際に用いられたが、稀に37話等の如く敵が呼称する例も見られた。

■ライダータイフーン脳天落し

ヘビンガー戦に使用した間接技。スカイキックを併用する。これも"99の技の一つ"。45話。

■水平回転チョップ

ニセスカイライダーへ放たれた怒りの4連発チョップ。スカイキックと併用する。(48話)

■スカイフライング・ソーサー

全身をX字に回転、そのまま蹴り技へ移行。42話では"99の技の一つ"と銘打たれた。(42、50話)

■三点ドロップ

宿敵グランバザーミーの腕、背部、脚をエビ反りにして負荷を与え、葬り去る技。(28話)

■竹トンボシュート

"99の技の一つ"。全身を旋回し、敵を放り投げた。これもスカイキックを伴っている。(41話)

■必殺飛び石砕き

並んだアリコマンドの群れに対し、相手の肩づたいに渡って上から次々と倒した技。(43話)

■必殺技全リスト

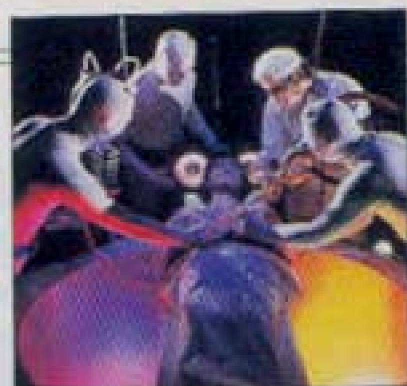
劇場以外の新機能と思しい物を記載・大反転スカイキック(28話)、スカイスクリューキック(29話)、スカイチョップ(29、40、41、46話)、念力返しライダースピン(30話)、必殺空中脳天落とし(30話)、ライダームーンサルトル(33話)、スカイバックドロップ(40話)、クロスチョップ(44話)、スカイダブルキック(47話)、岩石落とし(49話)、ライダータイフーン脳天落とし(51話)バイルドロップ(劇場)●以下は"99の技の一つ"。ヤリ渡り陽炎の術(32話)、風車投げ(37話)、スカイアームスドロップ(38話)、風神地獄落とし(43話)、スカイライトニングストーム(44話)、スカイ大旋回キック(46話)

●「ネオショッカーの恐を知った今、それと戦える力をふるくれた事を……感謝します」(スカイ/スカイ 1話)

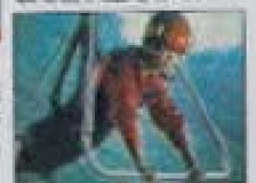
www.thai-t

筑波洋

スカイライダーに変身する青年。子供好きだが決して甘やかさず、いじめられたらやり返せと示唆（3話）。私生活ではハムスターを飼育しているらしい（25話）。三年前に父母と妹を事故で失い孤独の身（1話）だが、52話で改造人間FX-777＝魔神提督が父の筑波博士と聞かされて苦悩。だが洋の迎えた現実は更に過酷な物だった。



◀改造手術中の洋の脳裏へ、ネオSに殺された友人達の顔が去来する……悪への憎しみが彼を奮い立たせた。



▶趣味はハンググライダー。2～13話まで志度ハンググライダークラブ（以下、志度HGC）の一員として活動。

筑波洋の両親

父母の事故から約三年（52話）。人工心臓学の筑波博士がネオSの依頼を断った事実を洋は知る。母は大首領に捕まり、労働を強いられていた。

スカイ変身!!

「変身！」のコードは2話より。13話から腕の動きにストロボアクションが追加。かけ声も35話以降「スカイ！変身」に。6話等、水中変身も見せる。映画は空中回転で「変身」。

www.thai-toku.com

スカイターボ

スカイライダーの愛車。洋のバイクが変形してこの状態になる（詳細な変形プロセスは22話のみ描写）。高速のジェット噴射モードは19と23話で発揮した。登場は2～15、17～24、27～29、33、35～38、40、44、45、47、48、51、52、54話及び映画。28話以後も外観は格別な変化が無い。

◀18話のスカイターボジャンプで敵のいる送電線を切断し、40話はスカイターボアタックで攻撃。他、37話は爆風にも耐えて敵撃破する。

▼「スカイターボ！」の召喚コールで無人でも走行可能と証明（4話～）。5話は荒海をも越えて走駆してみせた。尚、無人で走る映像は17話が最初である。

ライダーブレイク

前輪とカウルを鋭らせ、敵地へ突入する人機一体となった破壊技。使用は2～7、10、11、52話である。他に本マシンはDアイの効能で垂直面を走り（15話）、爆音でオオカミジンの超音波に対抗（19話）して活躍。

▼

谷源次郎

洋の先輩。喫茶店ブランカを営み、店の裏でバイクの修理に精を出す。初登場時は黒コート姿で、終盤前は口髭を蓄える。14話～。

志度敬太郎

元はネオSの科学者だったが、洋によって救出。飛行少年だった経験を活かし、志度HGCを設営して会長となる。1～13話。

杉森ミチ

志度HGC所属。11話で洋の応援に地獄谷へ。2～5、7～9、11～15話と6話に洋の幻覚で登場。

野崎ユミ

3話で初登場の志度HGC一員。左腕に包帯を巻き33話で退院、翌話からブランカに復職。

叶みどり

志度の助手。ゼネラルモンスターの計画でユミ共々全治十カ月の怪我を負った（1～17話）。

がんがんじい

34話から登場する謎の戦士（?）。ネオSに挑む好漢・矢田勘次が中身と41話で判明。最終話で洋の素性を知る。38話のみ手がスコップ型に。

飛田今太

自称・名ルポライター。ライダーとネオSの戦いに度々遭遇する。1～12、14～16話に登場した。

小沢アキ

ブランカのアルバイト（18話～）で弟はオサム。49話でBFヨウスケが登場。バトントロワーだ。

伊東ナオコ

アキと同時に雇用された。合気道が得意。弟のタケシは初登場の31話で生け贄にされかかった。

シゲル

みどりの弟。6話で登場し18話以降もブランカへ出入りした。他、同店には沼という従業員もいる。

▼母国の危機に颯爽と凱旋。20、21、23、26～28、31～40、52～54話、映画に各人が活躍する。

8人ライダー

世界各国のネオSと戦う栄光の男達。彼らが呼称した新たな技を銘記しておこう。2号ライダーのライダー反転スクリュー返し／ライダーチョップ（以上40話）、ライダーV3の空中4の字はがいじめ／V3ダブル反転キック（以上35話）／V3ダブルキック（劇場）、ストロンガーのライダーキック（53話）。

▲一文字隼人。36、37、39、40、53、54話と最多登場を果たす。最終話で洋に2号の座で別れを告げた。

▲風見志郎（34、35話）。ボルネオからタコギャングを追って帰国。いきなり洋を殴り投げる奇行を見せた。

▲結城丈二（33話）。警官にネズラ菌の危険を促して登場。尚、本項目での話数表記は素顔を披露した回に限る。

▲神敬介。31、32話に登場。同話の舞台・魔神岬は学生時代に思い出ある土地だと述懐。大変身でネオSに挑む。

▲城茂。38、52～54話で活躍。今回、カブトローは普通のバイクにも変形。53話で洋の母を一目で見抜いた。

8人ライダーセイリングジャンプ

スカイライダーの変身ベルトへ全員の力を結集させ、大首領を宇宙へ運んだ捨て身の技。その意志は新たな戦士に継がれる。

●「仮面ライダー、筑波洋は改造人間である。人類の自由を守るため悪の秘密結社ネオショッカーと戦うのだ」（スカイ／OPナレーション）

ネオショッカー

▲34話より魔神提督は魔神像の祭壇を備えた基地を拠点に。

▲7話。パリで催された連絡会議に欧州国の支部長が参集。

謎の大首領に率いられた秘密結社。地球の人口増加に伴う食料危機を憂い、エリートだけを残して全体の3分の1へ減少させる事が目的である（2話）。有志の被験者を素体とした異能の改造人間が鉄の規律をかざし、平和を謳歌する民衆をさらっては使い捨てにする悪魔の集団がネオSなのだ。魔神提督の台頭につれ、組織の最終目標は日本全土の支配へ移行（26話〜）。その為には他星系の住人達と共同戦線もいとわない。

▲プロフェッサードク。計算機を手離さず、ゴキブリジンの強化等に務める。魔神提督に処断された(16〜18話)。

▲ドクターメテオ。人々に脳手術を施してアリコマンドを作る。ストロンガーの電ショックで蒸発した(38話)。

▲ドクターX。小児科を装うがアリコマンドの修理、処分が専門。FX-777の情報を洋に白状する(52話)。

▲ドクロ暗殺隊。洋の母を連れ戻す事が使命だが、隊長（マント付）がボウガンで殺害。53、54話。

ゼネラルモンスター

日本支部初代幹部。4話で死んだと思われたが、5話で再び姿を現わしライダーへ挑戦。同時に洋＝仮面ライダーの力も認めており、2話で仲間に誘った他、8話の組に敵対している事を口惜しむ描写も見られた。1〜17話。

▲9話より昇格に伴って軍服がカーキ色へと変更。以前の様な屋外行動も減っていった。

▲服装と同時に左腕もカギ爪に変わった。武器としてではなく、部下への威嚇に用いられる。

▲“洗脳君”と融合を試みるが断られたため、ヌンチャクの火で洋を攻撃…のみ。

アリコマンド

改造人間の計画を補佐。指揮官により与えられる武器や装備が異なる場合が多い（右はその一例である）。彼らも改造人間と思われるが、死後は蒸発する現象（1、5話等）や白骨化（33話）等、様々な事例が確認された。

▲オートバイ隊。1.2.7.8.10.13.15.17話等で登場。

▲随所で暗躍する科学者陣。52話は同色の幹部もいた。

▲18話の特殊仕様。胸の電気で“直列”攻撃を行なう。

▲52、54話で登場した大首領の怒りを静める巫女達。

▲36、37話登場の闇の戦士団。ヌンチャク等を駆使して2号、スカイと戦った。

www.thai-toku.com

ガメレオジン

組織を脱走した志度の捕獲が目的。これを妨害した洋への見せしめとして、彼の友人5名（エンドウやシズエなど）を地中へ引き込み殺害した。スカイキックにより倒された。1話／「ハァーッ」（声：沢りつお）

◀伸縮する舌で殴打。この攻撃の結果、洋は瀕死に。

▶保護色の機能で木々に擬態。みどりにも変身した。

▼改造手術用スペア人間の捕獲が任務。蜘蛛の網を飛ばし、高校野球の花形選手だった高森真一の確保に奔走。真一とその弟・健二に迫る。

クモンジン

製作No.105を素体とする改造人間（他の候補にはNo.12847や同27496がいた）。ライダーを同じネオSの仲間と思い込み、自らのアジトへ招いてしまう。2話／「グヘェェッ」（声：仁内達行）

▶健二少年を誘拐した後、通信用の小型クモを現場へ残留。真一に来るよう脅迫する。

▶公園の管理人に偽装。アジトには小型のメカコウモリも。

▲笛で子供達を幻惑した。また口から腐蝕性の毒液を吐き出す。

コウモルジン

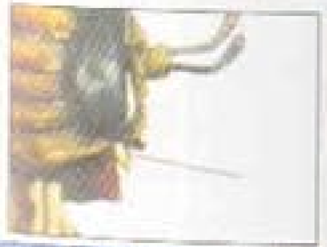
特殊毒ガスに不可欠な血液中の要素ＲＨＢを求め、“子供狩り”で誘拐した児童から採血を繰り返す。3話／（声：村越伊知郎）

サソランジン

ゼネラルMのリモート装置で操られる改造人間。受信機のペンダントが破壊された事を契機に元の人間・上村美也の自我を取り戻し、ゼネラルMへ挑戦するが、アリコマンドのボウガンに倒れた。4話／（声：八代駿）

◀鋏から溶解液を噴出する。左腕は2本の長針も射出。

▶凶行前は元登山家・美也の姿に。妹の可也がいる。


▶口から“目眩弾”を帯びたニードルを放つ。この針は爆発性を含有。他、両腕を交差させるパンチ技も併せ持つ。

▲無人島基地の中には巨大ハチが飼育。娘の絵美を巨大ハチのエサにすると、田代に協力を無理強いした。

ドクバチジン

旅客機“成田ＯＡＬ４０４便”を無人島基地へ牽引し、中に乗る人間改造学の権威・田代博士に協力を要求。また他の乗員へは組織の適正審査を施行して、不合格者は処刑する非道さを見せた。5話／（声：市川治）

キノコジン

最強改造人間。悪魔峠で繁殖した300年分の生命力と魔力を持つキノコから誕生。最後はスカイキックにより倒された。6話／「キュウルル」（声：梶哲也）

▶口から吐く胞子の霧が武器。これで洋を幻惑させ、溺死させようと企むが……。

▶▼洋の知己である若狭婦・高岩の姿をコピーして、様々な悪事を働いていた。

◀打倒ライダーを使命にしており、戦闘時には、体当たりの“連続キノコ返し”で苦しめた。

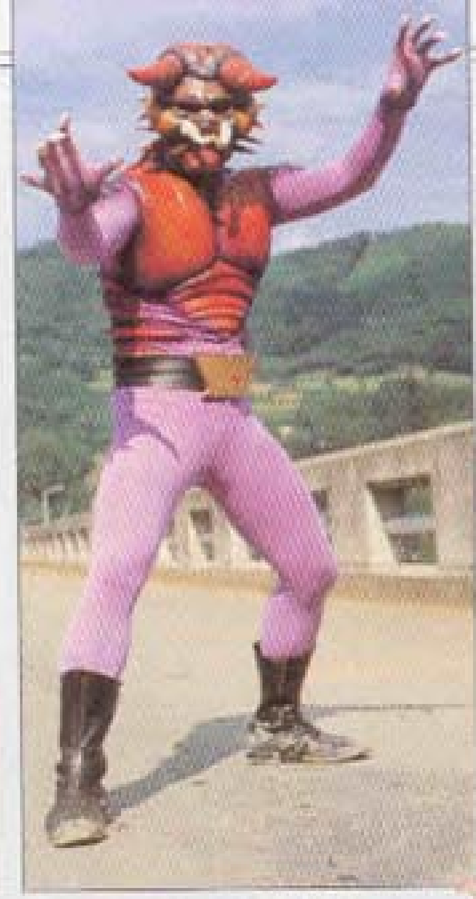
●叶茂「仮面ライダーって誰なんだろ」 みどり「もしかしたら……」 谷「(ハッ) さぁ早く逃げるんだ!」（スカイ／14話）

■カマキリジン

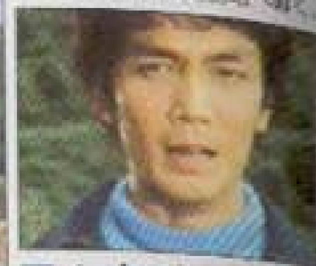
計画が遅れる日本支部へ、欧州支部連がプレゼントした改造人間。鎌を持ち全身を風車状に旋回させる“必殺カマキリブーメラン”を決戦時に用いた。サブタイトルではカマキリジン。7話／「キェェェン」（声：沢りつお）

◀サタンの像に祈祷、サタンカマキリ数十万の孵化を目論む。

▶師への生け贄にする13才と7才の兄妹を拉致。



▼進堂誠。世界一の空手家になる為の改造手術を受けたが後悔して脱走に成功、と任務を装しつつ洋に接触。彼を基地へ導く。



■ムカデンジン

組織に献金しない村上頭取を狙った他、猛毒ノムコロンを東北ダムへ混入する“東京都民殺害計画”を企図。武器は背中から伸びる尻尾で、ガスも噴出する。進堂の正体であった。8話／「クァァァァ」（声：塊柳二）

■コブランジン

コブラ催眠で各界の武道家を惑わし、地上最強の殺人集団を編成。洋の空手の師匠・三好良一も狙われた。9話／（声：辻村真人）

▶変身した姿。自身も殺人級の格闘家である。口笛で毒ヘビを操作。

▲左腕から発火性の赤い液体を出す。この他、ドアを腐蝕させる能力や生きたヘビを操る事が可能。

▲左腕からの泡で人々を発火させた。本体が出現する予兆としても泡が発生する。ハサミは鉄骨をも斬り“必殺2枚ハサミ”の技でライダーの首を攻めた。

■カニンガージン

京浜石油コンビナートに時限式爆弾をセットし、大爆破する事が使命。現場へ立ち寄った神山たくみ少年達を捕まえ、そのまま爆発に巻き込ませようとした。尚、OPではカニンガジンと表記。10話／（声：梶哲也）

▶ムチと腕技・必殺“竪発締め”の連携でライダーの首を締める。

▲有望なスポーツ選手の中学生を誘拐、地獄谷で特訓を行なう。中学生はコーチと呼ぶ。酒飲みでもある。

■サンショウジン

中学生をネオSスポーツ少年部隊に仕立て上げ、Jrスポーツ世界大会で来賓の各国元首を暗殺させようと企む。11話／（声：塊柳二）

▶ゲル化した溶解液を右腕から飛ばす。彼自身もゲル状に変化して随所へ移動する事が可能だ。

▼聖夜の都心でサンタに扮し、任務を遂行。労働人間にはパンとミルクしか食事を与えない。

■ナメクジン

自分の溶解細胞用の実験人間や、使役目的の労働人間を街から狩り集める。ライダー用に合成した“NO（エヌオー）液”を洋の変身ベルトに浴びせ、バックルの回転を制した。OPにおける表記はナメクジジン。12話／（声：山下啓介）

■アリジゴクジン

“東京全滅作戦”を遂行する為、今井博士にプラスアルファー爆弾の製造を強要。決戦時においては、自らの命を引き換えにしてでも作戦の成就を望んだ。13話／（声：峰恵研）

▼巨大なアリ地獄を作り、右手の“必殺地獄ムチ”でライダーを引きずり込もうとした。

▼水爆級の威力を持つプラスアルファー爆弾。東京タワーにセットして一千万都民の抹殺を目論んだ。

▼左手からは爆発性のある鱗粉を放出。ライダーのスカイキックの前に敗れた。

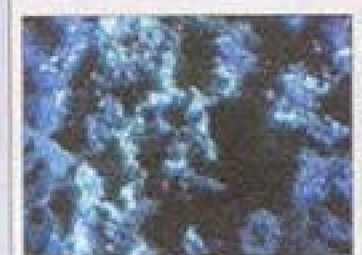
▼頭部が本体を離脱。富士急ハイランドで進行中の作戦を知った親子を、この頭部の内側にあるキバで襲う。

■ハエジゴクジン

ライダーのパワーを計算して作られた改造人間である。ジゴク液を基にした猛毒細菌ドクダーを風船に詰め、街へ放流する計画を進行。14話／「ビビビビィ」（声：村越伊知郎）

■アオカビジン

ライダーを倒すべく改造された。バイクに騎乗して街にアオカビをバラまく。全身のカビは感染性の毒素がある故、基地内ではカプセル内から指示。15話／「カビィッ」（声：辻村真人）



◀「関東大地震計画」の司令官であり、如何なる物質をも溶かすアオカビを都心の地下に流して、地盤沈下を誘発する。

▶ライダーも苦戦するカビの脅威。だが谷とみどりの助言で、ライダーはカビが火に弱いと知る。

■ゴキブリジン

ドクによる無敵最強の改造人間。民衆から買ったゴキブリを加工後、解放するゴキブリ計画を促進。16話／「アーウアーウ」（声：市川治）

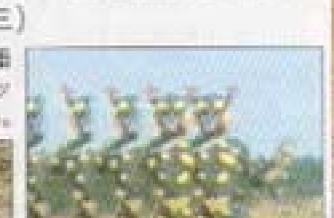
◀改造した殺人ゴキブリによる被害者は30人に到達。他、小型爆弾のバクハツゴキブリを投げる。

▶スカイキックを無効化するマント。苦戦するも、ヤモリジンの余計な行動の為に敢えなく敗れてしまう。

■ヤモリジン

大首領から最後通牒の印“赤目”を送られ、進退極まるゼネラルMが見せた本当の姿。ライダーとの自爆を計るが、魔神提督に処刑された。「ゼネラルモンスター、本体！」のコールで変貌。16、17話／「ハウーッ」（声：堀田真三）

▶ヤモリ分身の術を弄し、幾重にも姿をダブらせてスカイキックをも回避。本体は一つである。



◀尻尾を外してヤモリムチに。右角は爆弾にもなる。ヤモリ谷でみどり達を人質にした。

●ヤモリジン「計算が、計算が違ったか―！」 仮面ライダー「ヤモリジン、今一つの顔ゼネラルモンスター！ お前の計算には、このライダーのスピードが入っていなかった！」（スカイ 17話）

www.thai-toku.com

■魔神提督

一番の実績を認められ、南米からネオS日本支部の新幹部に着任。世界各地の改造人間を召喚して様々な密謀を巡らす。剣は22、35、49、51、52話等で抜き、超音波を防ぐ効能も持つ(19話)。(17～54話、劇場)

◀溶液入り入れ歯をライダーに発射。53話。

▶溶解毒ガス及び指先の機銃四基が右腕に内蔵。52話。

▲外した左腕がライダーに絡みつく(52話)。尚、月の光で回復可能。

■シビレイジン

リオデジャネイロ出身。100万ボルト超高圧電流による電気責め作戦で、大火災の発生が目的。体の電気はスカイキックを弾く。18話／「ビビビ」(声：八代駿)

▶"電気ムチ"で壁を破壊。また、洋を井戸に生き埋めにしようと試みた。

◀小型化し電線を経由して[illegible]の潜入を行なう。

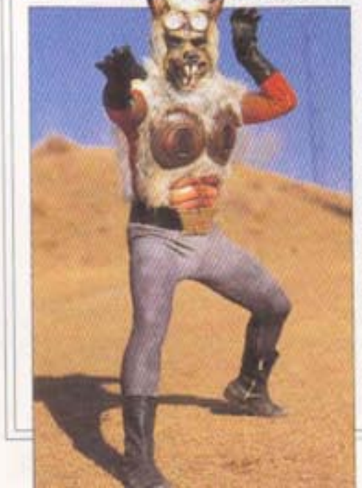
www.tokusai-toku.com

■オオカミジン

英国エジンバルの荒野から来日。野村超音波研究所の殺人音波装置を悪用した"殺しの叫び"をメガホンで増幅させ、山中の村を壊滅。19話／「ハァーオッ」(声：沢りつお)

▶人間体。研究所の所員・山田を尖兵とするが、非情にも彼を実験台に用いた。

◀頭は分離可能。牙の噛みつき攻撃を通じて相手に殺人音波を送る事もできる。



■サイダンプ

インドのガンジス支部より出向。走行速度やパンチ力に秀でた改造人間で、インド各地のダムに続いて日本の大山ダム破壊作戦を企図し、百万人の溺死を望んだ。21、22話／（声：仁内達之）

▶ジャッキ型の尻尾で地面に体を固定。スカイキックを四回続ね返すも、大回転スカイキック二連発で敗北を喫した。

◀ダンプをも押し返す力を誇る。保母の安田を盾で負傷させた挙句、彼女を人質にしてライダーをおびき出す。

■クラゲロン

香港の九龍島から三浦海岸に上陸。軟体ゆえ攻撃を弾き返すが、最期はストロンガーに敗れる。21、22話／（声：山下啓介）

▶右手の触手で殺人。サイダンプを軽視し、自分の頭の良さを主張する。

◀東京中の水へドクゴクラゲの混入を企てた。

■ココエンスキー

司令官。東京を冷凍ミサイルで凍らせる計画を担うが、成就に生け贄を渇望。サムスギール帝国のヒエールの神に捧げる為、少女を狙う。22話／「カォー」(声：朝戸鉄也)

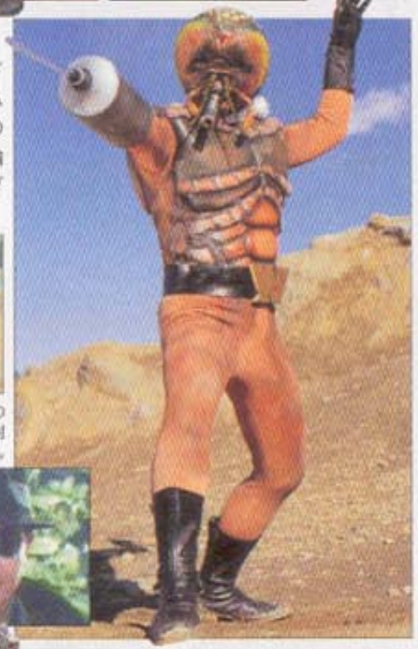
▶口から冷気を吐き、洋のバイクも凍らせる。また、体のツララは冷凍ヤリとしてアリコマンドの武器にもなった。

◀体表のツララが冷凍手裏剣に。結晶で左腕に刺さった為、最期は冷凍ガスが流れて敗因に繋がる。

■マダラカジン

ボルネオの密林出身。ドクロンの実験をドリームランドで試み、走行中のトラックから散布を目論む。24話／「マダラマダラ」(声：安原義人)

▲巻取式の注射器から殺人用のマダラカドクや爆発性の液を射出。口に機銃のマダラカガンも。



▶人間に変身、川口博士の毒ガス・ドクロンに着目、三億円で発注取引を行なった。

■ゾウガメロン・ボンゴ

"バミューダ海域の暗殺者"が異名の、魔神提督の客分。息子のボンゴ(左)による肩車攻撃で洋の圧死を企む。25話／(声：池水通洋)

◀二段変形で体重50トンの"必殺岩石落し"状態に。

▶ボンゴ人間体。肩てた洋をママと慕った。下は改造人間と思しき女性エルザ。ボンゴを庇み、洋に託す。

■ムササベーダー(ムササビ兄弟)

カナダから来訪し、新宿を狙う"X作戦"と横浜全滅の"Y作戦"を同時に展開。最期はスカイライダーとV3に打倒された。23話／「ベイダー(白)」「ビーダー(茶)」(声：白は村越伊知郎、茶は山下啓介)

▶白色は中華料理店の支配人を偽装。多数の爆弾人間で新宿の超高層ビル破壊を企むが、茶色自身も爆弾人間の一人だ。

◀白色のみ口から火炎を噴出。武器のナイフは白色が右手、茶色は左手に装備した。鼓膜の皮膜で宙の滑空も可能である。

▼30cm程の毒蛾へ変身。怪人状態では鉤分銅も駆使。

■ドクガンバ

東京を囲む37カ所の小学校を要塞化し、都心へドクガ砲の発射を計画する。出身地はギリシャ。26話／(声：八代駿)

▲鱗粉毒で侵した子供を校舎に隔離。同時に小学校各所の占拠も成功させた。

ヒルビラン

泉田博士が開発した、物質を融解しうるエネルギーを含んだバリチューム弾で攻撃。日本大壊滅の為に組織された二世部隊の隊長である。ヒル爆弾で武装。27話／「ビラビラビラビラ」(声：八代駿)

▶ヒルに変化。また、落とし穴へハマった洋にヒルの毒液を浴く。

◀バリチューム弾を放つ戦車を操る、蓑崎はライダー部隊の攻撃で殉死された。

グランバザーミー

大首領の勅命でキリマンジャロから推参。地球最高の改造人間を自称し、アマゾンの大切断もかわした。3万km地下の溶岩によるマグマ噴火作戦を促進。OPはグランバザーミ。27、28話／「チョキチョキチョキ」(声：仁内達之)

◀ロから吐く猛火のグランファイアー。28話が決戦場で、恐竜で二世部隊を率いた。

◀右手のハサミで反撃を示したオオカミジン(二世)を処刑。

◀ある攻撃はスカイターボにも比肩。このスピードで戦いに乗りゐんでくる。

ヒカラビーノ

エジプトのミイラ怪人。体細胞の仮面で子供達をチビッ子ミイラ軍団にする。アキを昔の恋人アラーカと思い連行した。29話／「ガビーノ」(声：八代駿)

▶仮面の力で大人を干物に変えた。

◀仮面の彼氏物がミイラ人間を生む。

オオバクロン

アマゾンの王子を称する。子供達に悪夢を植えつけて催眠状態に陥らせ、チャイム音で人を傷つける念力殺法を行使。30話／「バク～」(声：沢りつお)

▲毒液を噴霧。他、ダンプの泥でライダーの溶解を試みる。

▶転校生・麻野夢太郎が仮の姿。

二世部隊

キノコジン、ゴキブリジン、ヤモリジン、コゴエンスキー、クラゲロン、サイダンプ、ドクガンバ、マダラカジン、ゾウガメロン、ムササベーダー(茶)、シビレイジン、ジャガーバン、オオカミジン(27話のみ)が再生。皆、黄色のマフラーか帯を着用。27、28話。

黄金ジャガー

アフリカ・サハラ支部出身の将軍。誇り高い武人で卑怯な戦いを忌しみ、生け贄に捕まえた少年達にも慈愛の精神を示す。決戦時は槍の技"必殺黄金ジャガー大車輪突き"を披露。31、32話／(声：玄田哲章)

▶槍で正々堂々スカイライダーと戦う。

◀ネオショッカーの戦士を装ずが、名前は見せはしていない。

▶熱救師・鬼島として市井に潜入。大首領への生け贄にする子供を物色。

◀可矢を愛用。矢にはトリカブトの毒が塗られている。

トリカブトロン

魔神峠の大神殿で行なわれる大首領への儀式の為、来日したモンゴル平原の使者。スカイライダーを倒した事由で五階級昇進し、将軍となったが後で再び格下げされる。最期はXライダーに敗れた。31、32話／(声：村越伊知郎)

銀河王

地球圏に来襲した謎のコンピュータ型宇宙人。羅門博士の実験衛星"天界"から新エネルギー・シグマの数式を解読し、ネオSへ情報を供与してシグマ爆弾の製造を促す。その目的は地球の征服にあった。最期は宇宙船の爆破と共に姿を没す。劇場／(声：梶哲也)

▲妖艶な唇口を開き語さず、眼がカッと輝くや、掌からの念動波らしき異世界の能力で目標を壁に叩きつける。

▲地球人の女性が高等動物と興味を抱き、羅門の助手を務めた真壁泉を分析する。その際、眼の閃光で彼女を失神させた。

宇宙船

銀河王の移動用母艦。船体から怪光線を放ち、天界を襲撃する。富士のネオSに保留後、作戦の失敗と共に脱出を図るが基地爆破の火柱に巻き込まれて大爆発を起こした。

戦闘員

集団で稼動するロボット型のクルー。銀河王の後衛を務める模様だが、さしたる戦闘能力も発揮しないまま、その多くはスカイライダーによって破壊された。

サドンダス

銀河王の擁する一番凶暴な宇宙生物。スカイライダーのパイルドロップを受けてもまだ生命を保ち続けていた。劇場／「クァーツ」(声：梶哲也)

▲鋭いツメで攻撃。羅門の娘ルミをさらったジャガーバンと共に宇宙船へ連行する。

▲瞬間移動能力や姿を消す体機能を有する。スカイライダーのDアイによって発見された。

アルマジーグ

ジャガーバンと並ぶ新改造人間。装甲車の破壊後は二世部隊の中に参列する。1号ライダーのライダーキックで爆発した。劇場／「ジーグ」(声：峰恵研)

▲巨大な玉に変化。洋の友人・羅門ブンと泉の乗用車を破壊した。

▲戦車で基地の警固を行なうが、同機はスカイ、ストロンガー、アマゾンとの戦いの末、スカイキックで爆破。

ネオショッカーアジト

▲万年雪の残る富士にカモフラージュされ、発着口も普段は遮蔽。

▼銀河王の宇宙船すら小さく見える雄大な敷地に築城。中では魔神提督がシグマ爆弾のミサイルを造る。

ネオショッカー戦車

▲ヒルビラン使用の物と同型。多数が保管されていると思われる。

▼後部に牽引される砲台は分離可能。アリコマンドによって固定砲台として運用される。

ジャガーバン

逃さにかけては逸品の改造人間。二世部隊を召喚し、基地へ近づいた仮面ライダーの阻止を図る劇場／「ヒャオウ」(声：八代駿)

◀ジャガー剣と盾を出現させ、スカイライダーに挑む。

▶図らずもアルマジーグの玉に曲芸。転がってしまう。

改造人間二世部隊

クモンジン、シビレイジン、サイダンプ、ムササベーダー、ゴキブリジン、マダラカジン、ヤモリジン、オオカミジン、サソランジン、コゴエンスキーがネオS技術陣によって再生。尚、ゴキブリジンのマントが無いのはTV版27、28話に準ずるが、コゴエンスキーは同話と違って首のフードがオリジナル通りに復元されている。

www.thai-toku.com

■マントコング

アフリカの王者。人間を植物に変えて日本を“大自然怪人公園”とする魔神提督の作戦を進行。その為に、植物に動物的性質を持たせる南博士の研究を狙う。34、35話／「フォフォフォ」（声：池水通洋）

◀足踏みで地割れを発生させる。胸部は鋼鉄より強いがV3に首をキックされて爆発した。

▶ジープに乗って移動。人体実験用にアキやナオコとそのボーイフレンド三人を襲った。

■ドブネズコン

ニューヨークの下水道の毒素を培養したネズラ毒の研究者。ガスだけで人々を白骨化させるこの毒を小型のネズコンロボから噴出させ、人間皆殺しを計った。OPはドブネズラーと表記。33話／「キー」（声：仁内達之）

◀尻尾のネズラ毒は3人分の量が充填。

◀ネズコンロボ。試作型は主人が食べた。

■キギンガー

百鬼村で人間を樹にする研究を進めた、通称アマゾンの使者。人間の女の姿でいる事が多く、電波で樹人間を操ろうとする。同じ村で作戦を展開するドラゴンキングを信任していた。36、37話／「ガー」（声：沼波輝枝）

◀アフロマジンカの種で人間を樹に。

◀人間体。この姿で南米から来日する。

■ドラゴンキング

百鬼村でアリコマンドの忍者部隊“闇の戦士団”を訓育。村を恐怖で支配し、児童でも容赦はせず、死の騎馬戦で子供同士を戦わせる非情な性格。2号ライダーとスカイライダーのキックを受け、キギンガーへ後を託しつつ爆発した。36、37話／（声：仁内達之）

▶ガラパゴス人間の出身。幼子の達人であり、動きは素晴

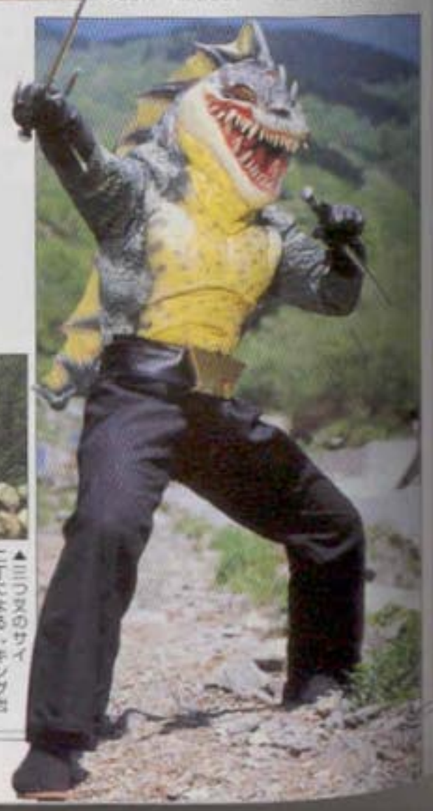
▲三つ叉のザイニンによる“キング岩石砕き”が必殺技。

■タコギャング

ボルネオきっての知恵者で、性格は狡猾。共同作戦を展開するマントコングに戦いを押しつけ、魔神提督と共に脱出した事でも図太さは如実である。地中からスカイライダーと戦った。34、35話／（声：[illegible]）

▲35話のみ“タコ忍法スミ隠れ”で消える。

▲先んじて誘拐した南の娘・亜矢子を拷問。



■ガマギラス

月給100万円の企業“マコリアインターナショナルK.K”を装い、暮った若者に試験を課して合格者をアリコマンド養成所へ送り込む。38話／「コゲコゲゲーコ」（声：沢りつお）

▶左手の一撃でたたき潰す。身体のイボ状構造

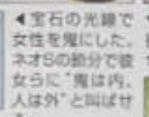
◀舌を伸ばして、ガマ舌がらめ、舌の先からもたらーり、を流す。

◀鬼火型。ライダーを気取った顔と言う。

◀毒は連発式だが、ライダーにおかれた。

■オカッパ法師

ウニデーモンを支援。背中の“甲羅返し”でスカイキックを弾く。白アリコマンドが随行し、頭頂部の皿へカッパエネルギーを溜らせる。39、40話／「カッパー」（声：八代駿）



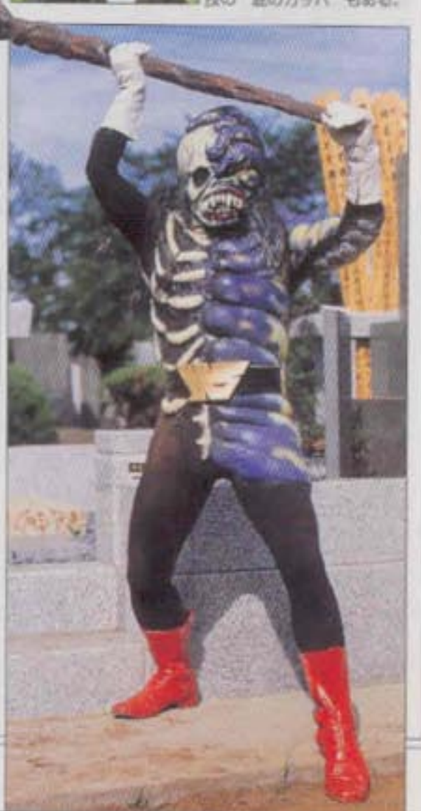
◀宝石の光線で女性を鬼にした。ネオSの約分で彼女らに“鬼は内、人は外”と叫ばせる。

■ウニデーモン

ポリネシアのダンサー・キレイダーが持つ伝説の赤い宝石を強奪し、額へ移植。2号ライダーに敗れる。30、40話／「ウニニー」（声：沢りつお）

▼托鉢僧の姿で登場。変身後、頭の皿円盤を巨大化させがんがんじいを飛ばした。

▲黒い布で2号ライダーを締めた技“カッパ巻き”。放屁技の“屁のカッパ”もある。



■ゾンビーダ

南米のハイチ出身。“ゾンビー”はアリコマンド以上の能力を持ち、バラバラにされても復元可能である。42話／「グァー」（声：八代駿）

▶呪われたゾンビーを杖で操る。ゾンビーダとゾンビー達はムチを武器に使う。

◀死人（しびと）博士を名乗り、シゲル達に接触。洋を誘い出そうとする。

■クチユウレイ

旧大戦時の病院地下に眠る日本軍の残した殺人ガスを利用しようと画策。ガスのカプセルは一つで百万人を致死させるが、15分で無効化。41話／「クァー」（声：沼波輝枝）

www.thai-toku.com

■ミミンガー

▲耳なし芳一に似たタカシに変装。

▲平家の亡霊をアリコマンドへ憑依。

アフリカの密林で悪霊寄せの術を会得し、耳なし芳一の霊を呼ぶ。大首領への供物として千の耳を欲する魔神提督の命令で暗躍、洋を最後の目標とした。43話／「ミミンガー」（声：二見忠男）

■ドロニャンゴ

催眠薬ＰＸＶに似た効果の"頭を良くする注射"を子供に投与。操った児童から採血し、全怪人の再生薬精製に用いようと企む。妖術や右手のツメが武器。44話／「ニャーオ」（声：牧野和子）

▲女の姿で鈴を鳴らし、深夜に子供達を集めた。

▲鈴の音の"妖術鼓膜破り"で洋の耳を攻める。

■ヘビンガー

カンボジア支部の毒ヘビ怪人。一年前に他界した白河妙子の姿を模し、彼女のペットである白ヘビの化身の如く振舞って洋を困惑させた。ワラ人形を爆弾に使う。45話／「ヘビンガー！」（声：沼波輝枝）

◀妙子は洋が殺した恋人。

▲ランカに擬したワラ人形。

▲エリマキからの誘爆弾や、分身技を多用する。　▲鏡の老婆が人々呪文を唱えさせ、内部へ誘う。

■カガミトカゲー

ベルサイユ宮殿の呪いの鏡を悪用。人々を鏡に封印し、同じ姿の殺人鬼を社会に派遣する。千人を吸収して強化後はエリマキが発生。46話／（声：川路夏子）

■アブンガー

スエズ運河出身。一年前に強化スカイライダーと戦い、以後その戦歴を記録。弱点を探り当てる事に腐心した。妙子を右手の毒針で殺した張本人である。45～47話／「アブンガー！」（声：八代駿）

▲アブカメラで戦いを記録していた。

▲"アブンガースカイキック"が技。

■ドロリンゴ

ニセ仮面ライダー作戦の実行者。ニセのスカイターボでコウスケ少年をひき逃げする。その目的は、信用と行き場を失した洋をネオＳに帰還させる事にあった。48話／「ドロドロ」（声：沢りつお）

▲スカイパンチを凹ませる軟体怪人。ミンダナオ島出身。

■ニセスカイライダー

▲偽物は分離してスカイキック、スカイタックルを使う。

▲子供が描くライダーへの憧憬を踏みにじる蛮行が横行。

■ザンヨウジュー

洋を大気圏外で抹殺するべく観音像型の宇宙ロケットを建造。化石の洋をロケットに閉じ込めて発射した。49話／「ジュラー」（声：八代駿）

▲化石ガスを噴射。洋[illegible]

▼変装した姿は彫刻家・阿久野もとじ。

■タガメラス

男子小学生を誘拐し、アリコマンド少年隊を編成。サダオ少年に丁寧な口調で近づくが無論見せかけだった。50話／「ガーメー」（声：沢りつお）

■リングベア

シベリアの森の奥から来日して、倒された仲間の復讐を希求。草野球を見守る中年に扮し、シゲル達20人を紅白のハチマキで操った上、子供に抵抗できない洋を襲わせた。51話／「ベアベアベア」（声：池水通洋）

▶小学校の授業で小型のタガメに偽装。少年隊に不合格の子は無惨にも血を吸ってミイラに処分し、ライダーの血をも針で吸引した。

◀右の角で白、左が赤のハチマキを操作、互いを争わせる。胸の白部を"リングブーメラン"として投擲。

■隊長蛇塚

父の行方を求めるスカイライダーが潜り込んだアリコマンド養成所の管理人。スカイライダーとストロンガーのキックによって倒された。尚、認識番号はFX797である。52話

▶剣の他、右手は牙が付いた蛇の様に伸びて攻撃。電ショックを受けても無事だった。騒乱で多くのアリコマンドが脱走した事から、教育は不徹底の模様。

◀伝説の竜の如く、口から火を吐いた。53、54話。

◀長大な尻尾でストロンガーと2号ライダーを捕縛。

◀V作戦の前段階に酸素破壊爆弾を東京へ投下した。

◀召使いにされた洋の母から足の裏が弱点と知る。

■ネオショッカー大首領

"黒き太陽の化身にして暗闇の王（32話）"及び"暗黒星雲の帝王（52話）"と崇められる宇宙怪物。千の耳が好物と思しく、魔神提督は二度も献上を試みている（43、52話）。姿を現わすまで左目と声のみ登場。52～54話（声：納谷悟朗）

●「一列一の法則じゃ手を出す訳にはいかんな……大丈夫だスカイライダーはもう昔のライダーじゃないんだ」（神敬介／スカイ 31話）

www.thai-toku.com

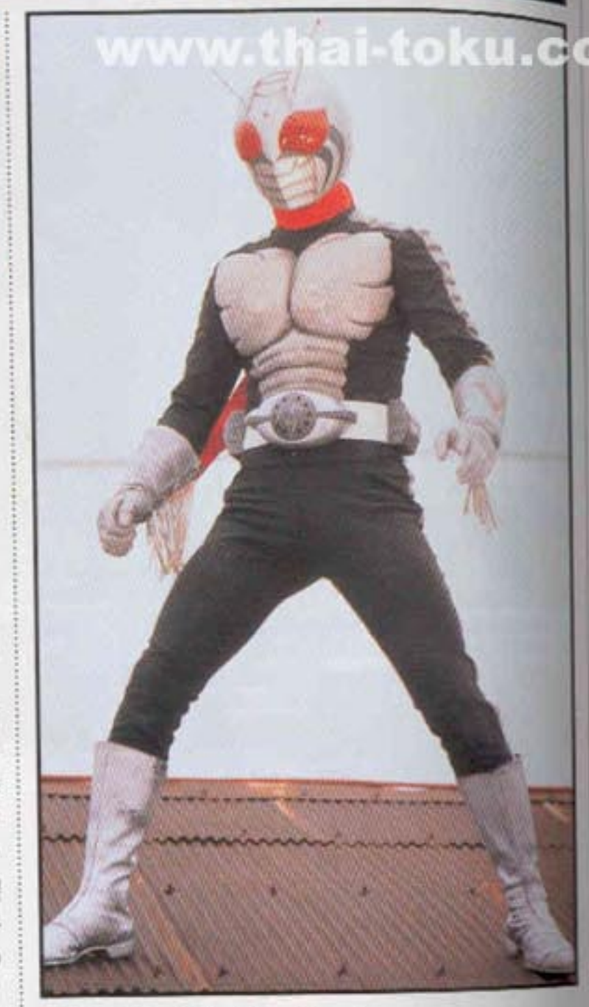
1980 仮面ライダースーパー1

TV
1980年10月17日～1981年10月3日　MBS・TBS系
金曜夜7時（～23話）、土曜朝7時30分～（24話～）全48話（劇場作品1本）

『仮面ライダー（新）』の後を受けてスタートした、ライダーシリーズ第7弾。メカニック性を前面に押し出したキャラクターと、中国拳法を取り入れたアクションが好評を博した。第24話のジンドグマ編からは放送時間帯が変更となり、ジュニアライダー隊や日用品をモチーフとした怪人の登場等、低年齢の視聴者を意識した要素が多数取り入れられたが、キャラクタードラマに関しては最終回まで貫徹されていた事実を記しておく。

アメリカ国際宇宙開発研究所に勤務する青年科学者・沖一也は、来たるべき宇宙開発時代の到来に向けて自ら進んで改造手術を受け、惑星開発用改造人間第1号・コードネーム“スーパー1”に生まれ変わった。一方、世界征服を企む闇の王国・ドグマは、国際宇宙開発研究所に対しスーパー1の身柄の提供を要求。これを拒否した一也の恩師・ヘンリー博士はドグマの尖兵・ファイヤーコングに殺害され、研究所も完膚なきまでに破壊されてしまった。理不尽な暴力により宇宙へ架ける夢を断たれた一也は、全人類の敵・ドグマの打倒を決意。ここに、新たなる正義の戦士“仮面ライダースーパー1”が誕生した。協力者・玄海老師や谷源次郎、草波ハルミ達との出会いを経たスーパー1はドグマ怪人達の邪悪な計画を次々と粉砕し、ドグマ最高幹部にして悲劇の改造人間・メガール将軍、そしてドグマの支配者・帝王テラーマクロをも打ち倒す。かくして、スーパー1の活躍により遂にドグマは壊滅した。……地球に再び平和な日々が訪れたかに見えたのだが、次なる悪の軍団は既に活動を開始していた。その名はジンドグマ。B26暗黒星雲から飛来した異星人・悪魔元帥と配下の4大幹部達は、ドグマ以上に強力な怪人軍団を率いて人間社会に牙を剥く。スーパー1は正義と平和を愛する少年少女達によって結成された“ジュニアライダー隊”と共に、ジンドグマの脅威に立ち向かってゆくのだ。

www.thai-toku.com



■仮面ライダースーパー1

宇宙開発を目的に改造された惑星開発用改造人間第1号、コードネーム“スーパー1”。未知の惑星を探検する際の諸問題に対応するべく装備されたファイブハンドと赤心少林拳の技で平和を乱す悪と戦う。ジャンプ力は重力調節により、無限大を誇る。その姿にかつての8人ライダーの面影を見出した谷から“仮面ライダー”の名を贈られ、以降は正式に“仮面ライダースーパー1”を名乗る（2話）。185cm／80kg。

◀48話、稲妻暗光剣を携えて決戦に臨む。スーパー1の体内には酸素ボンベが内蔵されており、真空中でも活動が可能な事を悪魔元帥は知らなかった。

■ファイブハンド

スーパー1の両腕は、惑星開発用として製作され、状況に応じて5種類のメカハンドに変化する。掛け声は「チェーンジ、○○ハンド！」（2話のみ、「チェーンジ、ハンド・ブルー（グリーン）！」と呼称）。

◀一定のアクション後に腕の機器を操作する事により、ハンドのチェンジを行う。

■スーパーハンド

▶平常時にはこの状態。未知の惑星の半宙怪物から身を守る為に開発されたハンドで、破壊力30トンのスーパーパンチを秘める。

▲スーパー1から3つのハンドを奪った怪人バチンガルだが、レーダーアイがミサイルとなる事を知らず敗北する（21話）

■エレキハンド

電源供給用に開発されたブルーハンド。3億ボルトの電流を発生させる。攻撃に用いる際は“エレキ光線”（呼称は21話から）を発射。47話では浄化光線を発射して黄金病の人々を治療した。

■レーダーハンド

レーダーアイ（偵察ミサイル）を発射し、半径10キロ四方の情報を入手する。15、21、45、47話では武器として使用。

■パワーハンド

怪力を発揮するレッドハンド。50トンの物体の落下を受け止め、投げ返す。36話ではスーパーサーブを使用。

■冷熱ハンド

右手からは超高温火炎、左手からは超低温の冷凍ガスを放つグリーンハンド。21、23、46話、劇場等、強敵との戦いでは両手を使い同時発射する場合がある。

■必殺技全リスト

旋風スーパーキック（2話）、スーパーライダー（以下、SRと略）閃光キック（3～6、11、15、17、21、22、34、41、44話、劇場）、SR二段キック（4、45話）、SR日輪キック（7話）、SR前方回転蹴り（7話）、SRダブルキック（7、10話）、SR月面宙返りキック（8話）、スーパー閃光キック（9話）、SR月面キック（10、14、18～20、23、24、27、30、32、35～38、40、42～44話、劇場）、SR旋風キック（12、29、33、40話）、SR梅花二段蹴り（13話）、赤心少林拳諸手斬り（19話）、SR十字回転キック（25話）、SR旋風二段蹴り（26話）、SR稲妻旋風キック（28話）、SR稲妻閃光キック（31話）、SR反転三段キック（39話）、スーパー1投げ（45話）、SR水平線キック（46話）。

■スーパーライダー閃光キック

バリエーションとして、閃光キック（23、30、36話）も存在。

■スーパーライダー月面キック

最も多用された必殺技。23話ではカイザーグロウを倒した。

■スーパーライダー天空連続キック

素早い連続蹴り。強敵・ゴールドゴーストを葬った（47話）

■スーパーライダー稲妻落とし

宮崎と共にキック一閃。使用は16話の対オニメンゴ戦のみ。

■スーパーライダー空中殺法四段旋風蹴り

無数のジンファイターを一瞬にして全滅させる（24話）

■スーパーライダー諸手頸動脈打ち

3話で使用した両手チョップ。劇場では“赤心拳諸手打ち”と呼称。

●「お初にお目にかかります、子供達が愛した仮面ライダーの生まれ変わりだ。俺は今日から、『仮面ライダースーパー1』と呼ぶぞ！」（谷源次郎／スーパー1 1話）

■沖一也

アメリカ国際宇宙開発局の秘密分署"改造人間プロジェクトチーム"の研究員。幼い頃に両親を事故で亡くし、ヘンリー博士に身柄を引き取られて育った。科学者であった父の夢を引き継ぎ、惑星開発用改造人間第1号となる事を志願する。当初は自らの意思で変身ができなかったが、玄海老師の指導により変身の呼吸を体得した。

▲改造手術を受けた一也は今、人類の希望を一身に背負う流れ星となった。

▶10話や40話等、赤心少林拳の修行により苦境を脱する事も多い。

▲最終回、宇宙ロケット"ジュピタースーパー1号"のパイロットに任命される。

変身!

変身ベルトの名称はサイクロード（劇中未呼称）。24話以降、変身ポーズは歴戦を経て研鑽され、より素早くなる（図・下段）。

■谷源次郎

スーパー1に協力してドグマ・ジンドグマと戦う"おやじさん"。本作では、オートバイ店・谷モーターショップを経営している。ヘンリー博士とは旧知の仲であり、一也とも幼い頃から面識があった。

■ヘンリー博士

国際宇宙開発研究所の所長。一也の改造手術を執刀した。スーパー1の献上を拒否した為、ドグマに殺される。メガール将軍は彼の事を「人間の一部には決して我らに服従しない者がいる」と評した。

■小塚政夫

通称・チョロ（チョロリン）。谷モーターショップの店員。一也を兄貴と呼んで慕う。その前身は大泥棒で、特技は関節外し。(4、44話)

■草波良

ハルミの弟。24話におけるジュニアライダー隊の発足は、彼の発案による。ライダー隊の中核としてジンドグマに立ち向かう、勇気ある少年。

■草波ハルミ

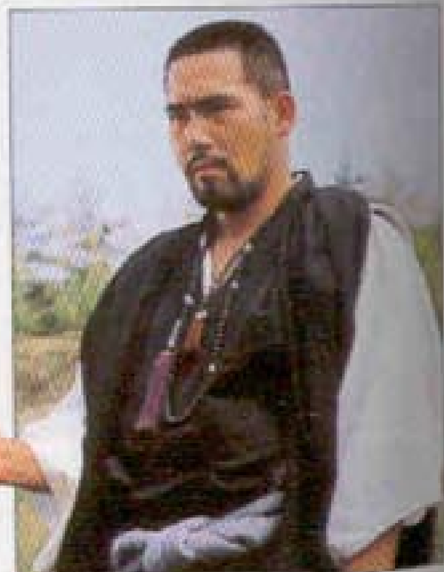
谷モーターショップの店員で、ジュニアライダー隊の隊長を務める。一也に淡い想いを寄せる。趣味は一輪車（16、17、21、24話）

■玄海老師

中国拳法・赤心少林拳の最高師範。本拠地は秩父山中の赤心寺。13話では"赤心少林拳・梅花の型"を、17話では真剣白刃取りを一也に伝授。23話でカイザーグロウの攻撃により命を落とす。

■弁慶

玄海老師の一番弟子。老師の行く所、常に影の様に付き従う。23話で一也を庇い、ダラーマクロ親衛隊が放った矢に倒れる。老師と共に2、6、10、12、13、17、23、劇場版に登場。



■ジュニアライダー隊

副隊長はハルミの親友マサコ。主なメンバーは秋田大助、松岡シゲル、村山マモル、田中タケシ、石田ミチル・マサル。

◀ヘルメット、自転車等の装備は、24話でジンドグマに狙われた大学教授から寄贈されたもの。

■Vマシン

ヘンリー博士がスーパー1の為に開発した超高性能オートバイ。無線機やレーダーを搭載し、主として敵の追跡に用いられる。宇宙局より脱出する際持ち出した。1〜4、6、7、9、11、12、14〜19、22、26〜29、31〜35、37、40〜44、47、48話、劇場に登場。

▼「Vジェット、スタンバイ―」（47話）。Vジェットへの変形シーンは4、9、47話で見られる

「荒々しい戦いの中にあってなお、桜の花の可憐さをいとおしむ心こそ赤心少林拳の心だ」（玄海老師／スーパー1　13話）

■Vジェット

Vマシンが変形した高速移動形態。最高時速1340km/h。設定では10km先まで見えるパワーサーチャーを装備。1、4、9、10、16、17、19、35、40、47話に登場。

▼ブルーバージョンは、2、3、5、6、8〜10、14、16〜18、21〜23、25、26、30、32、34〜36、39〜41、43、45〜47話、劇場版に登場。設定上の動力は原子力。

■ブルーバージョン

荒地や岩場で活躍するオフロードマシン。最高速度は時速800km/h。47話では体当たり技・スーパーライダーブレイクを使用。

■チェックマシーン

一也の体内のメカを修理・点検する為の装置。谷モーターショップと同じ町にある、秘密の研究室に設置されている。

▲2〜4、6〜8、9、10、12、15、18、24、29、46、47話に登場。

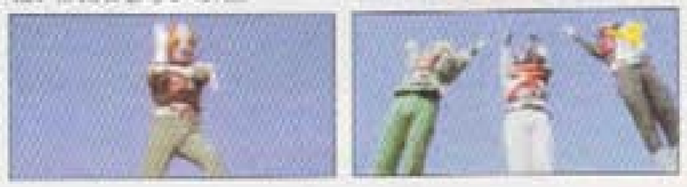
■9人ライダー

突如出現した"ドグマ復讐兵団"に行く手を阻まれ、大ピンチのスーパー1。だがそこに、ネオショッカー大首領と共に宇宙に散ったはずの8人ライダーが駆けつけた！（劇場）

◀「スーパー1」8人ライダーのゲスト出演は劇場版のみ。尚、ストロンガーはエレクトロファイヤーを使用しているが、呼称は無し。

◀「スーパー1、ここは我々に任せろ！」1号は伝家の宝刀・ライダーキックにより、黄金ジャガーとスパイダーバンを倒した。

▼「お～っと待ったあ、俺は仮面ライダーV3！」この世に悪のある限り、仮面ライダー達の戦いは終わらないのだ。


◀V3、ライダーマン、Xの3人は同時に"回転キック"を放って、スネークコブラン、カマギリガン、アリギサンダーを倒している。

www.thai-tokur.com

ドグマ王国

ネオショッカー壊滅後の地球に出現した、新たなる悪の軍団。その組織形態は旧来の悪の秘密結社と異なり、小国家的な性格を持つ。"闇の王国"を名乗る彼らの目的は、この世から弱い者を抹殺し、美しい者や優れた人間達によるユートピアを建設する事。本拠地たるテラーマクロの宮殿は、日本某所の霊山に存在する（23話）。

▼7、9、15話等に登場した改造実験室。多くの怪人を製造した。

▶死人渓谷の埋蔵金発掘現場を指揮する幹部・青鬼（3話）。

◀ドグマでは、カラスは"神の使い"として尊ばれている（23話）。

▲現代に復活したナチの科学者・ゾルベゲール博士（右・14話）と、怪人製造の天才・Drガイガン（左・9話）。

■帝王テラーマクロ

ドグマの支配者。奇怪な鈴の音と共に姿を現し、配下の者に命令を下す。玄海老師に匹敵する拳法の達人でもあり、地獄谷に道場を持つ（13話・劇場版）。

▲振動波を発する"怒りの鈴"（メガール将軍を与える事も（14話））。

▲その玉座は車椅子になっ[illegible]

■メガール将軍

ドグマ最高幹部。その正体は、5年前に消息を絶った青年・奥沢正人。本来は彼が惑星開発用改造人間第1号になる筈だった。7、15話で怪神士に変身。影武者も存在（14話）。

▲改造手術の失敗により人間社会に絶望。自殺寸前の所をドグマに拾われる。

▶将軍はドグマ怪人の墓場を決戦場に選んだ。だがそこに、昔の恋人・妙子が……。

■親衛隊

テラーマクロ直属の部下。メガール将軍よりも上（あるいは対等）の地位にあるらしく、将軍に命令を下すシーンも多々見られた。剣や槍などを使ってスーパー1と交戦する事もある。

▲23話、出陣したテラーマクロを護衛。

■ドグマファイター

ドグマの戦闘員。電子音の様な鳴き声を発するが、普通の言葉を喋る事も可能。6話の"ドグマ拳法隊・土蜘蛛ファイター"の様に、特殊な戦闘術を身につけた部隊も存在する。

◀白衣のファイターは、怪人製造チーム等に所属する。

www.tokusatsu.com

■ファイヤーコング

国際宇宙開発研究所に潜入し、スーパー1を強奪する事が使命。ヘンリー博士を殺害した。拳法の達人・猿渡剛介に変身。1、2話（声：梶哲也）。

▲拳法技に優れるが、最大の武器は頭から放射する火炎。後に、47話の回想シーンでもその姿を見せている。

▲カマ状の武器を使った"死の大鎌クロス"なる技でスーパー1を追い詰めるが、パワーハンドで形勢逆転される。

■カマギリガン

一也の親友・アブラーダ国のイスマエル王子に化け、日本にドグマの前線基地を建設する事が使命。目から催眠光線を放つ。4話（声：村越伊知郎）。

■エレキバス

電気怪人。登山者を誘拐し、強制的に埋蔵金の発掘作業に従事させていた。脱走者は"電気イス締め"により処刑する。3話（声：八代駿）。

◀体表に流れる電流で、スーパー1の攻撃を退ける。

▲その鉤爪は完全にドグマの支配を受けており、実の妹さえも殺そうとする。口から剣を出せば、左手首は外れて爆弾となる。

■カメレキング

忍者の末裔を改造した怪人。ドグマ近代美術館建設の為に美術品を盗みだす作戦を進める一方、バイク部隊を駆って一也暗殺を企む。5話（声：石井敏郎）。

◀不可視の糸で蜘蛛の巣を張り、宙に浮いている様見せる。

■スパイダーババン

ドグマA級怪人。"美しい村"建設の為、次々とアベックを誘拐する。指から放つ強靭な殺人糸と、蜜刀が武器。6話（声：梶哲也）。

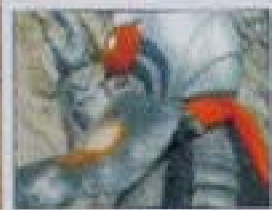
■アリギサンダー

素行不良の元ボクサーが改造された。特別な金属で作られたボディは、スーパー1の攻撃にもびくともしない。触角からは蟻酸を噴射。7話（声：仁内達之）。

▲山下博士が開発した"生きているコンピューター"を完成させる為に子供を誘拐する。

■スネークコブラン

ドグマ警察の怪人。ドグマ裁判の判決に基き、谷の友人・海野とその家族の処刑を執行する事が使命。"コブラン吹雪の舞"でスーパー1を幻惑する。口からはミサイルを発射。8話（声：朝戸鉄也）



◀左手のコブラハンドは伸縮自在で、切断されてもリモコンで自在に操作が可能。再生も容易。無数の蛇も操る。

◀口から泡あぶくを吐く"泡地獄"でスーパー1の体を麻痺させる。胸部の毛は超合金製の手裏剣。

■ガニガンニー

厳選した蟹を巨大化・改造した怪人。服従カプセルが埋め込まれる前に脱走し、無邪気に街中を彷徨した。"ドグマ拳法・先手地獄突き"なる技を持つ。9話（声：八代駿）

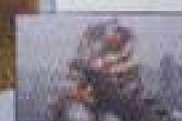
■バクロンガー

人間に悪夢を見せる"夢薬"を使い、人々から生きる希望を奪う。サンタの姿に変身して、夢薬を仕込んだテニスボールを配った。鼻先からはバクロン砲を発射する。10話（声：峰恵研）

▲左手の爪は強力な武器。オートバイ操縦の腕も立ち、ブルーバージョンと一大チェイスを演じた。

■ジョーズワニI世

何者かに持ち去られた"強化用人工細胞X9"捜索の為、一也と共同戦線を結ぶ。



青年・ジョー鮫淵に変身。11話（声：八代駿）

■ジョーズワニII世

www.thai-tokyu.com

I世が自らの体に人工細胞X9を取り込み、パワーアップした姿。目が黄色、左手が金色に変わった。尚、劇中では"I世""II世"の呼称はなされていない。

◀噛みつき技・ジョーズショック。攻撃を受ければ受ける程、II世の体にはエネルギーが蓄積されてゆく。

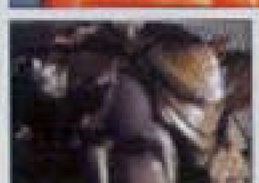
■ライギョン

中国拳法・拳竜会の最高師範、大石秀人に変身。ドグマ秘密警察を設立する為に暗躍するが、本来はスーパー1に倒される為にのみ作られた怪人。12話。（声：大西徹哉）

▲口から放つライギョン火花電流でスーパー1を襲うが、SR旋風キックであっけなく倒される。だが、その体内には怪しく蠢く何者かの姿が……。

■ギョストマ

ドグマ超A級怪人。大石秀人のもう一つの姿である。一也の技を見切る為、ライギョンの体内に寄生していた。SR梅花二段蹴りに敗北。12、13話（声：朝戸鉄也）



▶目から放つギョストマ幻麻光線は人間の手足を麻痺させ、思考能力を低下させる力がある。

■ムカデリヤ

Rガス（特殊なキノコから作る笑いガスの一種）による人類抹殺が使命。ゾルベゲール博士にそそのかされ、テラーマクロに反旗を翻す。14話／「ムカムカムカ」（声・辻村真人）

◀トゲ爆弾、ムカデロープ、ムカデ毒針が武器。Rガスを吹き出す小型ムカデを操る。

▶額のC光線はダイヤル1〜4の催眠光線と、ダイヤル5の破壊光線がある。

■ライオンサンダー

ノーブル賞候補の科学者・小針正が改造された姿。かつての友人・一也を激しく憎む。武器はライオンサンダー電磁剣（牙が変化）、ライオンサンダー鉄の爪。15話（声：梶哲也）

■オニメンゴ

ドグマ学を教える学校を建設する事が目的。遊びながら子供達を手なずけ、意のままに操る力を持つ。無邪気な性格で、一輪車に興味を示す。弱点は角。16話（声：山下啓介）

◀武器は"鬼に金棒"と"鬼にまさかり"。破壊光線を放つ"オニメンゴの目"を子供達に与え、学校の校舎を焼き尽くそうとした。

■ロンリーウルフ

ドグマ3等怪人。テラーマクロに妖刀ドグマンを献上する大役を仰せつかったが、ドグマンの囁きに魅入られて辻斬りを行う。剣の達人・大谷に憑依する。17話（声：村越伊知郎）

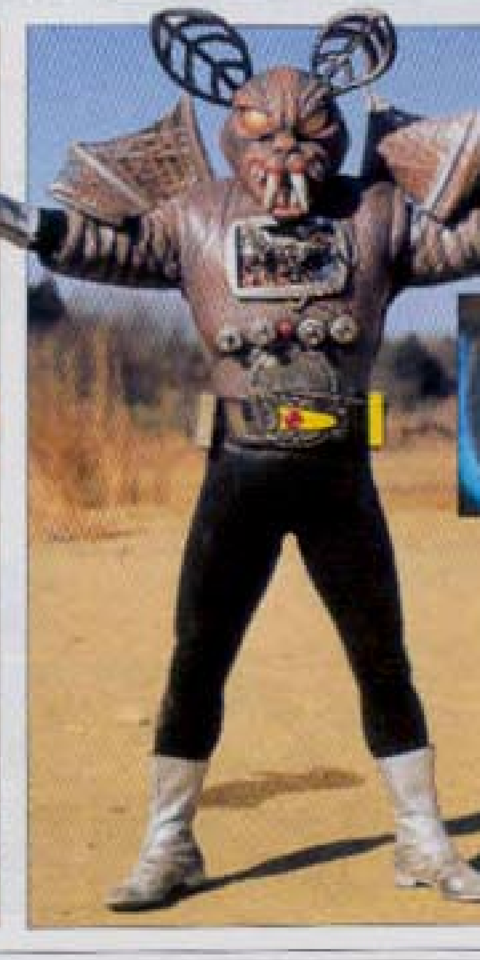
◀妖刀ドグマンは、ドグマ科学が生んだ超合金を鍛造した業物。自らの意思を持つ。

◀"大予言者"の少年教祖に変身し、東京の大崩壊を予言する。

■ヤッタラダマス

偽りの予言で人心を惑わし、ドグマの信奉者を増やす事が使命。電流を放つ"ドラゴンサンダー"と、炎を吐く"ファイヤードラゴン"が武器。18話（声：沢りつお）

▲口から吐くファイヤードラゴンでスーパー1を翻弄。最後はSR月面キックに敗れる。



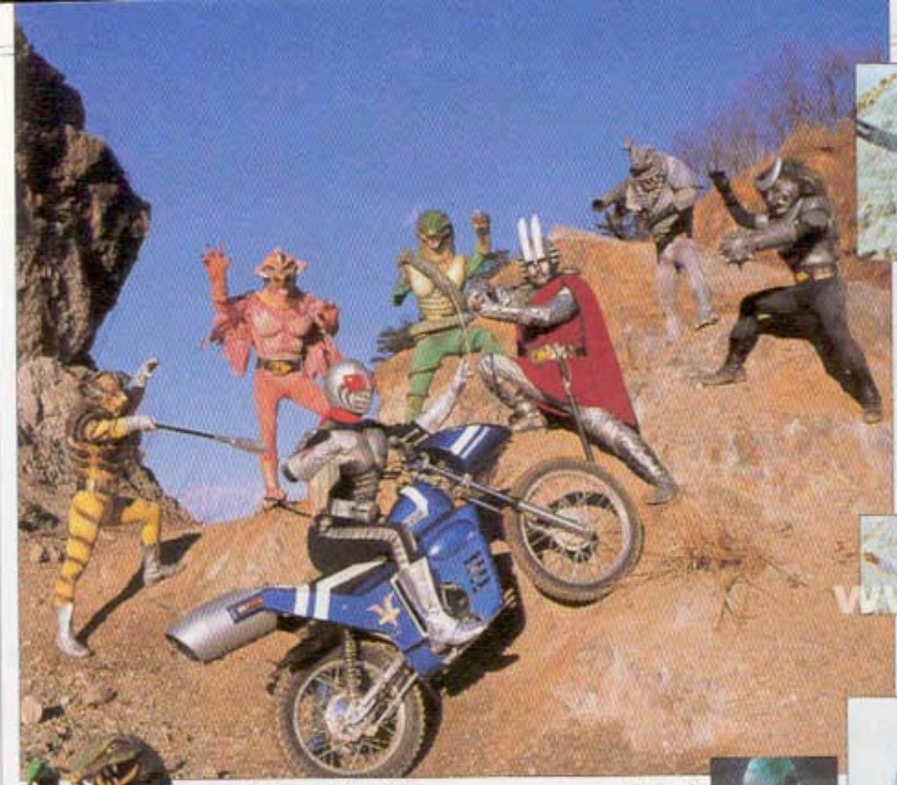
▼奥の手として、鎧が変化してブーメランになる。

◀胸部カセットテープを交換する事により、催眠音波・破壊音波・幻覚音波を使い分ける。

■カセットゴウモル

"DGM学習塾"に集まる子供達を催眠学習で洗脳し、ドグマのエリート教育を施す事が使命。胸部カセットデッキと破壊音波を発する耳を破壊され、SR月面キックに敗れる。19話（声：槐柳二）

●「流れ星だ、遠い宇宙からの大使を呼んでいる。使いの星だ」（沖一也／スーパー1　1話）



ストロングベア

熊嵐大五郎が変身。武器は左手の鉄球と、胸のブーメラン。玄海老師と戦うが、ブーメランを投げ返されたうえ、拳による突きを受けて果てた。劇場（声：不知火艶）

▲地獄谷五人衆の一人・熊嵐大五郎は剛拳の使い手。メリケンサック状の武器を使用。

ヘビンダー

蛇塚蛭夫が変身する。口から吐く蛇と自在に伸びる右腕、"地獄谷拳法・分身の術"が武器。赤心拳・諸手打ちにより倒される。劇場（声：大西徹哉）

▲地獄谷五人衆の一人・蛇塚蛭夫。蛇拳の使い手。鷹爪火見子と共に、都会に逃げたマタギの子供達を捜索する任務にあたる。

◀地獄谷五人衆の一人・鷹爪火見子。五人衆のリーダー格で、鷹爪拳の使い手。爪状の武器を手に装着している。山彦村から宝剣を奪った。

サタンホーク

鷹爪火見子が変身。最終決戦ではゾゾンガーと共にスーパー1に挑む。スーパー1と刺し違えようと図るが、SR月面キックを受けて大爆発。劇場（声：マキ上田）

▶地獄谷五人衆の一人・象丸一心斎。地獄谷五人衆はテラーマクロが直々に鍛えた精鋭。

ゾゾンガー

象丸一心斎が変身。象拳の使い手だが、怪人体では拳法技よりもバズーカによる砲撃を多用。エレキ光線でバズーカ砲を破壊され、SR閃光キックに敗れる。劇場（声：宍戸久一郎）

クレイジータイガー

大虎竜太郎が変身。山彦村近くの山中でマタギの子供達を発見し、食を人質にして光る石との交換を要求する。長槍が武器だが、スーパー1に奪われてしまう。劇場（声：中屋敷鉄也）

◀地獄谷五人衆の一人・大虎竜太郎は虎拳の使い手。象丸、熊嵐と共に山彦村の見張りを担当する。

ドグマ復讐兵団

ファイヤーコング、カマギリガン、カメレキング、スパイダーババン、アリギサンダー、スネークコブラン、ガニガンニー、ギョストマが再登場。ネオSのクラゲロン、黄金ジャガー（ジャガーバンの盾を持つ）、ゾンビーダも参加。

火の車

古代中国の破壊兵器。マタギの里・山彦村に隠されていた、ドグマに奪われるが、"光る石"によりエネルギーを失い、活動を停止する。

ツタデンマ

日本中の電話に発狂音波を流す作戦を指揮。中央電話センター所長の一人娘を誘拐し、電話センターのマスターキーとの交換を要求する。作業員やタクシーの運転手に変身。20話（声：八代駿）

▲ツタを使って地中やビル間を自在に移動。胸のダイヤル操作により、頭部の受話器から発狂音波・デンマ火炎・殺人ガスを放射する。

死神バッファロー

メガール将軍の正体。未熟な技術で行われた改造手術により変身回路が異常をきたし、醜い姿に変貌。頭部にはドグマの服従カプセルが埋め込まれている。22話（声：三木敏彦）

▶30トンの衝撃力を持ったショルダーアタックと、鉄球が武器。テラーマクロに操られ、かつての婚約者・赤上妙子を殺害する。

バチンガル

スーパー1に匹敵する能力を持つ怪人。起死回生を図るメガール将軍の命により、スーパー1からファイブハンドを奪う。背中の銃は毒針を発射。21話（声：朝戸鉄也）

▲ハルミと良を人質に取り、自らの居城である"蜂の巣城"にスーパー1を誘い込んだバチンガルは、パワー・エレキ・冷熱ハンドの入手に成功。

▲テラーマクロが守護神として崇めるカイザーグロウの像。正体は謎に包まれている。22、23話に登場。

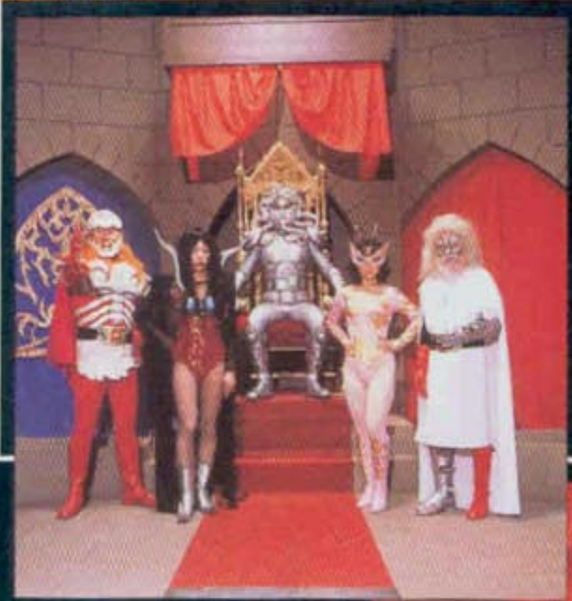
▲クチバシと、変形した左足からミサイルを発射する。鋭い爪も武器。カイザーグロウの体には、ファイブハンドのエレキ光線や超高温火炎、冷凍ガスが通用しなかった。

カイザーグロウ

ドグマの神・カイザーグロウ像に流れる血を全身に浴び、不死身の体となった帝王テラーマクロが変身。カラスがとまっていた為、唯一血を浴びていない右肩が弱点。23話（声：汐路章）

www.thai-toku.com

ジンドグマ



ドグマ滅亡を見計らい、新たにこの地球上に姿を現した悪の軍団。「ジンドグマに逆らう者は直ちに殺せ、必要なものは略奪し、不要なものは全て破壊せよ」という"ジンドグマ憲法"に基き、暴力・略奪・破壊による恐怖で地球を支配しようとする。日用品の能力を持つ怪人を使い、ドグマ以上に直接的な侵略活動を行う。大勢の支援者を持つ等、人間社会にも根深く食い込んでいる事が窺え(42話)、優れた武勲を立てた者には鉄十字章が贈られる(26話)。

▲大幹部達による食事会が行われた(26話)。調食前で食べる事が作法であるらしい。他、43話では一同でカキ氷を食する場面も。

■悪魔元帥

ジンドグマの首領。冷酷にして非情なる独裁者。部下に謁見を許す際は、ジンファイターが演奏するファンファーレと共に出現。功名心に駆られ、互いに手柄を争う四大幹部達には彼も頭を痛めている。その正体は、銀河宇宙の彼方・B26暗黒星雲から飛来した異星人である。尚、23話に登場したカラス(クロー)は、実は悪魔元帥がテラーマクロの動向を探る為に送り込んだ使者であった。

▲47・48話にはマスク等が金色のジンファイターが登場。劇中には言及が無いが、大幹部直属の親衛隊という設定。通常のジンファイターとの能力差等は不明。

▲42話でスーパー1と初対面。バックルから発する光線を使って洗脳した為、両者の直接対決は48話に持ち越された。46話では剣から光線を放ち、大幹部達に剣を与えている。

■ジンファイター

ドグマファイターが洗脳・強化され、ジンドグマ支配下の戦闘員となった。旧来のファイターとの外見上の差異は、銀色のマスクと胸部から腹部にかけて追加された一本線。声は電子音ではなく、奇声を発する様になる。

■妖怪王女

ジンドグマ最高幹部の一人。小悪魔的性格で、愉快犯じみた作戦を次々と立案してゆく。34話では、自ら車を運転して部下の怪人を救出に向かうアクティブな面を披露。29・34話で美女に変身。

▲42話の仮装パーティーにて、スーパー1の扮装をした男とダンスを踊る。しかし、その男は……。

▲キセルは吹き矢(32話)や、針が飛び出す(43話)。

■魔女参謀

ジンドグマ最高幹部の一人。気位が高い女で、残忍な計画を実行する。初登場となる23話では素顔で画面上に姿を現しているのだが、24話以降は顔の半分をベールで覆う様になる。

▲所謂の変装は28・32話で披露。

◀瞬間移動能力を持つ(35話)。前期の言葉は「幽霊博士は死なず。ただ消え去るのみ」(47話)。

■幽霊博士

ジンドグマ最高幹部の一人。その怪異な容貌に反して、性格は意外とひょうきん。科学者としての業績は、35話にて開発したドクロガス(人間を溶かす毒ガス)がある。38話ではヒッピー風の男に変身。

■鬼火司令

ジンドグマ最高幹部の一人。勇猛だが、やや粗暴な性格。25話では電話ボックスにまで八つ当たりする短気な所を見せた。自らの姿を火球に変える事が可能で、スーパー1の閃光キックすら無効とした(30話)。

▲手にした杖から炎を放つ。40話には道場の暗殺部隊"夜光虫"が登場(写真上中央)。39、46話で人間体に変身している。

www.thai-toku.com

キラーナイフ

ジンドグマ怪人第1号。原子物理学者・木谷教授を脅迫し、原子十字砲を製作させようとする。左手のナイフはあらゆるものを切断。24話／「ギリギリギリ」（声：仁内達之）。

▶ナイフ投げの天才、頭部のナイフで刺された人間の体は、彫形ちゃく内蔵してしまう。

ジシャクゲン

鬼火司令配下の磁石怪人。航空会社を脅迫し、日本の制空権を手中に収める事が使命。磁力による強力吸引光線の他、物体を破壊する強力電磁光線を手から発射。25話（声：槐柳二）。

▲人間吸引磁力光線は、人体の血液中の磁力にも反応する強力なもの。磁力を応用した"空中三角蹴り"も凄い威力だ。

火焔ウォッチ

幽霊博士配下の時計怪人。"全東京火の海作戦"を指揮する。時計を回収する業者に変身。両手は時計針に変形する。ゼンマイ状の舌も武器。26話（声：山下啓介）。

▲胸部の文字盤を操作し、時間を自由に操る。体の小型時計は時計爆弾となる。

グラサンキッド

妖怪王女配下のサングラス怪人。謎の少年・チャイルドXに変身し、子供達を煽動して破壊活動を行う。手持ち武器として剣を使用。目から催眠光線を放つ。27話（声：八代駿）。

▲胸部から"光線爆弾"を発射。腰の手錠でスーパー1の動きを封じようとするが、SR月面キックに敗れる。

マッハローラー

鬼火司令配下のローラースケート怪人。ジンドグマ・ローラースケート部隊の結成が使命。黒服の男に変身し、特殊なスケート靴で若者達を操る。30話（声：槐哲也）。

◀頭部から放射する殺人ガスと、猛スピードで突進する"ローラー必殺頭突き"が武器。

ビデオン

魔女参謀配下のビデオ怪人。左手のカメラで撮影した人間を、自らの体内に取り込む能力を持つ。頭部のアンテナが弱点だった。28話（声：沢りつお）。

▲ジンドグマ殺人研究所を設立する為、黒服に変身して科学者を誘拐する。アンテナ状の頭身の剣を使う（配下のジンファイターも）。

アマガンサー

妖怪王女配下の雨傘怪人。自由に雨を降らせる能力を持ち、人間コントロール装置を仕込んだ傘で人々を操る。拳法の達人・雨男に変身。29話（声：池水通洋）。

▼体側部（傘の骨の部分）から発射する雨傘ロケットが武器。手にした傘の先端からもミサイルを発射。

スプレーダー

妖怪王女配下のスプレー怪人。頭部から地獄スプレーを噴射して人間を溶かし、左手で吸い込む。腰にはスプレー爆弾を装備。31話（声：峰恵研）。

▲頭部は"スプレーダー火炎"も放射。手足を収納して斜面を転がり、敵に体当たりする"回転攻撃"も披露。

ツリボット

魔女参謀配下の釣竿怪人。東京を火の海にする"ミサイルぶんどり作戦"を指揮する。右手の武器は釣竿からフックに変化。32話（声：朝戸鉄也）。

▲釣竿状の右手であらゆるものを釣り上げる。リールを使って急斜面も登坂。オモリ爆弾が武器。SR月面キックに敗北。

レッドデンジャー

妖怪王女配下の赤ランプ怪人。赤ランプやサイレンを恐れる人間の本能を利用し、社会を混乱させる事が目的。34話（声：村越伊知郎）。

ラジゴーン

幽霊博士配下のラジコン怪人。毒ガスや爆弾を仕込んだラジコン軍団を操り、日本中を混乱に陥れる事が使命。33話（声：山下啓介）。

▲強力な電波を放ち、腹部のスティックでラジコンを操る。武器は目から発射する光線と、頭部のアンテナ剣（二刀流）。

ハサミンブラッド

鬼火司令配下のハサミ怪人。無数のハサミを操る"ハサミン嵐"と、手と胸の"二重ハサミン"が武器。道化師・ピエローヤに変身する。36話（声：曽我部和行）。

▲胸部は変形して、ハサミ型の"ハサミンサターンミサイル"を発射する。

▼肩と右手からココエンベエ冷凍ガスを噴射。最期の言葉は『無念～！』。

ココエンベエ

幽霊博士配下の冷蔵庫怪人。四次元トンネル作戦の指揮を執る。子供達を異次元のユートピアへと導き、ジンドグマの支持者を増やす事が使命。38話（声：山下啓介）。

イスギロチン

幽霊博士配下の電気イス怪人。脱走者の処刑が任務。ムチとギロチンスパーク（破壊光線）が武器。断末魔は「俺は死ぬ～」。35話（声：仁内達之）。

▶ジンファイターが変身した姿。ハリヤー・イスデを操り、イスを放を放せた。

◀コマ爆雷を使ってタンカーを沈没させようと企む。頭部のコマドリルで地中潜行も可能。

コマサンダー

鬼火司令配下のコマ怪人。ボディは強靭なウルトラスチール製。右手がコマハンマーに変形し、"コマハンマーパンチ"を放つ。37話（声：沢りつお）。

ロボットスーパー1

コマサンダーの能力をテストする為、ジンドグマ科学陣が開発したアンドロイド。冷熱ハンドを使用。

●『我がジンドグマは恐怖をもって人間を支配する。暴力、殺戦、破壊。これがジンドグマの三大原則である』（幽霊元帥／スーパー1 24話）

www.thai-toku.com

◀ライターに変身、右手もライター型に変化し、火炎を放射。

▲「ファイヤー」の声と共に頭部から炎が放たれる。ライター地雷・ライター爆弾も武器。

■フランケライター

鬼火司令配下のライター怪人。自らの生みの親であるフォンダ博士を脅迫し、フランケライター2号・3号を作らせようとする。弱点は腹部の中央にあるファイヤーストーン。39話（声：八代駿）。

■シャボヌルン

幽霊博士配下の石鹸怪人。人間をゼリー状に変えるジンドグマ石鹸を街中に配った。体に水分を与えて泡立てる事により、スーパー1の攻撃を受け流す。40話（声：峰恵研）。

▲人間体に変身し、ゼリー人間の回収作業に従事。右手から南流シャボンとシャボンカプセルを噴射。頭部が残れば体の再生が可能。

■キーマンジョー

魔女参謀配下のカギ怪人。魔術師ジョー吉田に変身し、ジュニアライダー隊の目前で一也を処刑しようとした。左手はブーメランになる。41話（声：辻村真人）。

◀チェーンとカギでスーパー1を縛り上げる・キーロックパワー・と、腹のカギ爆弾も使用。

■ドクロボール

ボール怪人。ジンドグマが主催する仮装パーティの秘密を守る事が使命。"ドクロボールネット"によってスーパー1を捕えようとした。武器は爆弾ボール。42話（声：梶哲也）。

▲巨大なボールに変身して襲う。体を無数のボールに分体する事も可能である。

◀口から冷凍ガスを噴射する。ゴールダー配下のジンファイターは、プロペラ型の手持ち武器を使用。

■ゴールダー

魔女参謀配下の扇風機怪人。物理学の世界的権威・尾崎博士が発明した窒素コールダー液を奪って日本を氷漬けにしようとする。43話（声：八代駿）。

■ハシゴーン

妖怪王女配下のハシゴ怪人。新開発のロケット燃料を宇宙開発研究所から盗み出す事が使命。両腕がカギ爪に変化する。44話（声：朝戸鉄也）。

◀背中のハシゴで・ハシゴ攻め・・やぐら投げ・・ハシゴよけ・なる技を使う・角からは電磁光線を発射。

■ショオカキング

鬼火司令配下の消火器怪人。武器は口のマグナムガンと、左手の溶解液。当怪人のデザインは、視聴者から公募した最優秀作品。45話（声：吹田千里）。

▲少林寺拳法の達人・南原健に変身して一也に接近するが、怪人体の際に"稲妻拳"を使った事から正体がバレてしまう。

■オニビビンバ

ジンドグマ超A級怪人。鬼火司令の正体。変形した右手から放つ"オニビビンバ火炎放射"で、スーパー1の視神経メカを破壊した。46話（声：河原崎洋夫）。

◀背中には"オニビビンバ・バズーカ砲"を装備。発射時には胴身が伸縮する。

▶"地獄剣法"の使い手。白布に隠り、大カマを自在に操るって襲いくる。

■サタンドール

ジンドグマ超A級怪人。妖怪王女の正体。オニビビンバと共にスーパー1に決戦を挑むが、二人まとめてSR水平線キックに敗れる。46話（声：沼波輝枝）。

◀瞬間移動能力を持つ。念動力でスーパー1の体を人形のごとく意のままに操った。

▶フランス人形に変身し、ライダー隊の本部に潜入。怪現象を引き起こす。

■ゴールドゴースト

幽霊博士の正体。劇中では言及がないが、他の幹部と同じくジンドグマ超A級怪人と推測される。街中に金の雨を降らせ、黄金病を流行させた。空中に自らの分身を投影し、敵を幻惑。47話（声：鈴木和夫）。

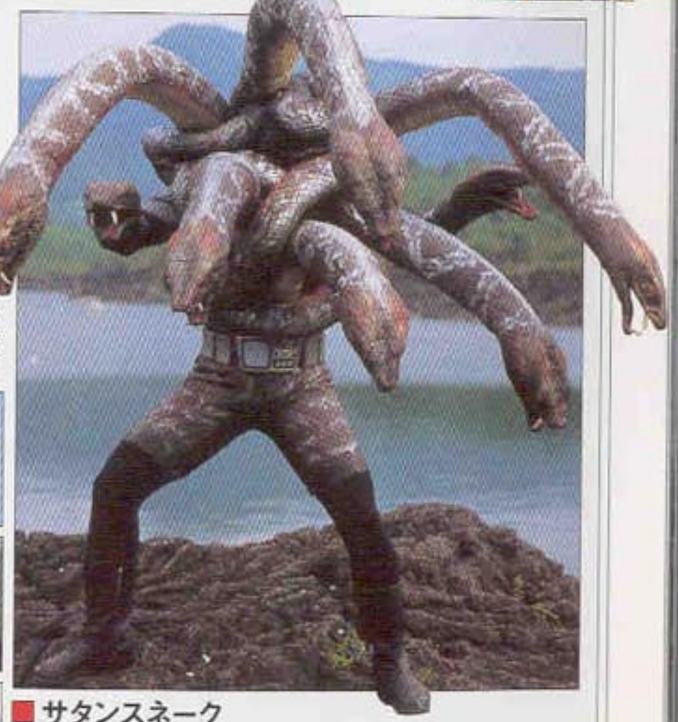
▶右手からはロケット弾を発射。黄金病の原因は、地球上にはない力によるものだった。

■マジョリンガ

ジンドグマ超A級怪人。魔女参謀の正体。国際宇宙開発局へ向かう途中の一也を襲った。悪魔元帥から稲妻電光剣を託されるが、スーパー1に奪われてしまう。48話（声：藤堂陽子）。

◀念動力による・超能力剣は飛ばし・が武器・蛇に変身する・末期の言葉は「ジンドグマに栄光あれ！」。

▼無数の蛇の目からスネークビームを発射。蛇の首は伸縮自在。スーパー1を道連れに自爆を図る。



■サタンスネーク

悪魔元帥の正体。ジュピタースーパー1号を入手する為、国際宇宙開発局を襲った。自らの守り刀である稲妻電光剣で腹部を貫かれて滅びる。48話／「ス～ネ～ク」（声：加地健太郎）

www.thai-toku.com

COLUMN 09

少年仮面ライダー隊へ入隊せよ!

『仮面ライダー』シリーズは、メイン視聴者層を児童と捉えている。彼等は番組に興奮すればする程、ヒーローを憧れに思うと同時に、"自分も共に活躍したい"という作中への自己投影の願望をも募らせる。その様な欲求に応える先駆け的存在として江戸川乱歩著書『怪人二十面相』内の「少年探偵団」があるが、それをテレビメディアに於いて見事に転用したのが「少年仮面ライダー隊」だ。

そもそもの発端は児童情報誌「テレビマガジン」（講談社刊）編集部が、東映にこの連動企画を持ち込んだ事による。雑誌を仲介して視聴者（読者）層の日常とテレビ世界をリンクさせたこの企画は、時の児童達の絶大な支持を受け、いわゆる"メディアミックス"の走りにもなったのだ。ライダーにはなれないが、「少年ライダー隊員」なら確実になれるという微かなリアル感覚がその要因であり、編集部には隊員番号を登録するための応募が殺到したという。また玩具展開とも連動し、ヘルメットやペンダント、自転車といった標準装備が商品化された。特に公式使用自転車のDM－7B（通称「ドレミ7」）は、これを駆る事が当時の少年達のステータスシンボルであった。

そしてそれは、営利主義一辺倒の企画ではなかった。隊員証には"世界じゅうの友だちとなかよくし、たすけあうこと""よくあそび、よく勉強すること"と明記され、友情や努力の大切さといった道徳感が娯楽を通じて子供達に啓蒙されていたのだ。まさにV3＝風見志郎役＝宮内洋が"ヒーロー番組は教育番組である"と常日頃提唱する根拠が、ここにあったのだ。

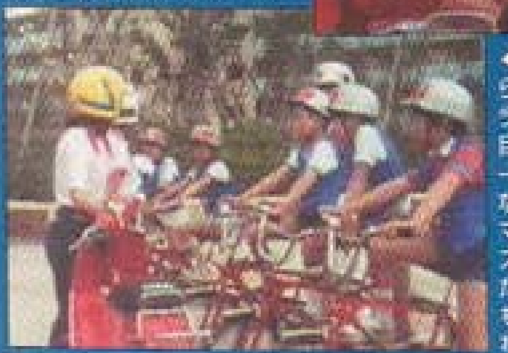
主人公の孤高さが強調された『X』以降、その組織は自然消滅状態となる。だがその存在は、数年のブランクを経て『スーパー1』後半の「ジュニア・ライダー隊」として番組内に復活。以前の「少年ライダー隊」と同等の設定がなされ、同様の活躍を見せていた。

しかし残念ながら、「ジュニア・ライダー隊」以降は、レギュラーとしての少年組織は設定されなくなった。辛うじて『仮面ライダーBLACK』24・31・47話で（大人の精神を持つ）少年戦士が出てきた程度だ。こうなった要因の一つは、やはり社会構造の変質であろう。少子化や個人主義化といった子供社会の変化が、かつての様な大規模な少年組織の設定にリアリティを持たせられなくなってしまったのだ。

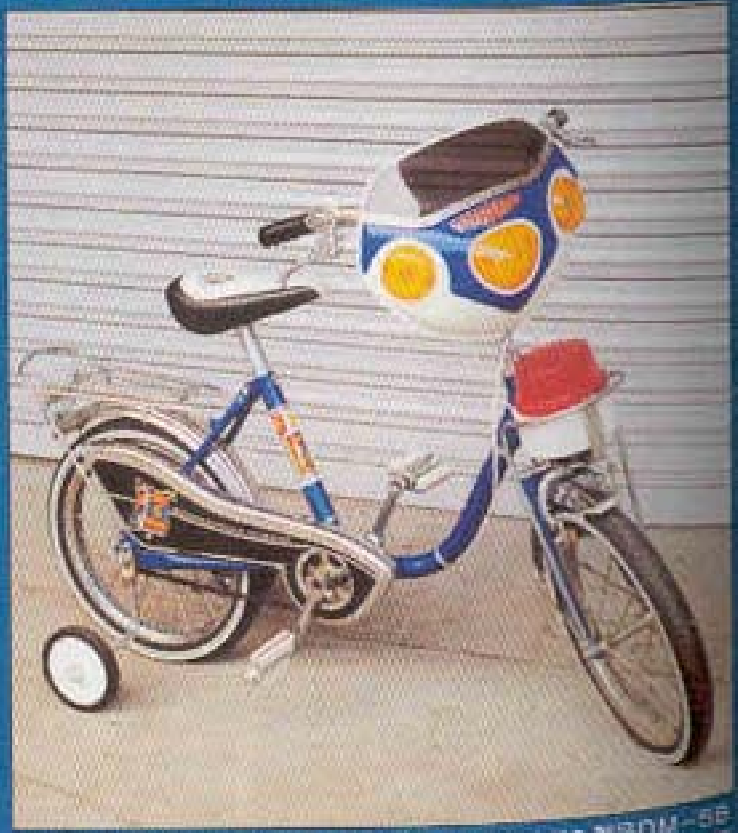
だが「仮面ライダー」シリーズは、暫しの休息を得つつ、不死鳥の如く甦ってきた。そしてそれを支持する少年少女がいる限り、ライダーのサポーターたる新たな「少年仮面ライダー隊」発足の可能性もまた、否定できないであろう。

◀『仮面ライダー』74話で結成された「少年仮面ライダー隊」。ナオキとミツルを中心に構成されている。その他、74話の伊藤達夫、75話の杏一、77話の透、78話の池田邦夫……等など、様々な隊員が登場し、ドラマに関与した。尚、ゲルショッカー壊滅を機に、一同はフェードアウトした。

▶「V3」1話の時点でも「少年ライダー隊」の組織媒体は継続していた。だがハサミジャガーの襲撃により旧本部が地中へ消えた事で、立花会長は新本部を設立。そして4話で本部の通信士代理を務めたシゲルが、リーダー格となり、再び活動を開始した。



◀『スーパー1』24話から登場する「ジュニア・ライダー隊」。組織や運営目的は「少年仮面ライダー隊」と同様である。ちなみに右の自転車は「アマゾン」の時期にブリヂストンより発売されていたもの。画面には出ずとも精神は脈々と受け継がれた。



「仮面ライダー」時にブリヂストン自転車より発売された製品DM－5Bは、後にサイクロンマークを模した上部のカウルへマイナーチェンジ。価格も17900円から25900円に移行している（写真は「アマゾン」時期のドレミ）。

www.thai-toku.com

COLUMN 10

憧れの仮面ライダーと握手ッ!

TEXT：田神悠

ブラウン管に食い入るようにして毎週見ている、憧れのヒーローに、会える！ショーはそんな夢のような空間だ。

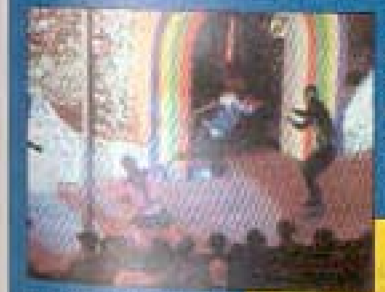
71年4月にスタートした『仮面ライダー』の人気に拍車を掛けようと、東映は長期的に番組のアピールが可能な場所を探していた。当時読売ジャイアンツと共に、後楽園球場（現：東京ドーム）をホームグランドとしていた東映フライヤーズ（現：日本ハムファイターズ）との関わりから、後楽園ゆうえんちの名が浮上。現在まで脈々と続く、後楽園ショーの歴史が始まる。

イベント用に元々あった屋外のステージを、ショッカー基地の赤い壁の司令室に仕立て、秋より「世界の平和を守る 仮面ライダー現わる」を公演。後楽園ショーの記念すべき第一歩を記した。演じるは撮影同様、大野剣友会の面々。目の前で展開する、2号ライダーの華麗なアクションステージは、大盛況であった！仮面ライダーは2体衣装を用意、下で戦っていたかと思えばパッと上から現れるといった、ステージならではの演出が光った。さ[illegible]ショッカー怪人が7、8体も軍団で登場、スペシャルな感じが興奮を高めた。ボクら一人一人の声援が2号に届き、力となる。ライダーは奮起し逆転、大勝利！握手してサインもしてもらって、満足しないハズがなかった。

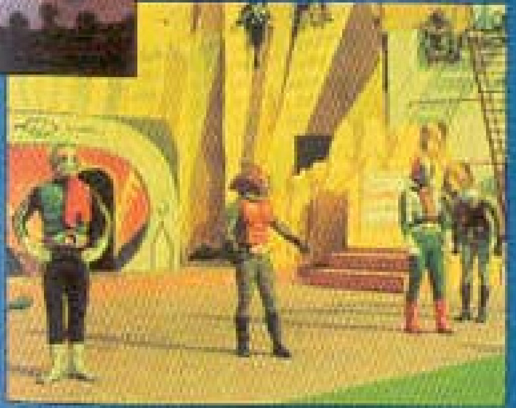
爆発的な人気となったこの時期、他行楽地やデパートなどへの登場要請も殺到。その対応の中、単発ショーのフォーマットも確立された。

また後楽園では球場にステージを建てて、『仮面ライダー』とアニメ版の『月光仮面』を交互に特別公演したこともあった。するとショーを待つお客さんの行列が、球場を5周！やむを得ず1日9回も公演！とどまることを知らないライダー人気を、肌で感じさせた。そして『V3』の登場と共に、2000人以上を動員可能な専用ステージ、野外劇場が完成。ライダーショーが確立した時期でもあった。

80年代に入ると、ファンであり続ける大人たちへも向けて、ショーは多角的な広がりを見せていく。ビデオ発売を機に行われた、オールナイトでの上映会。92年には親子で楽しめる展示型イベント「仮面ライダーワールド」が初開催。さらに2000年末行われた「Masked Rider LIVE 2000」。そして2001年、小劇場の舞台として製作された「仮面ライダー・戦闘員日記」。生誕30年を超えた現在も、様々なカタチで仮面ライダーが目前に現れている。各会場で、キミも仮面ライダーと握手っ!!

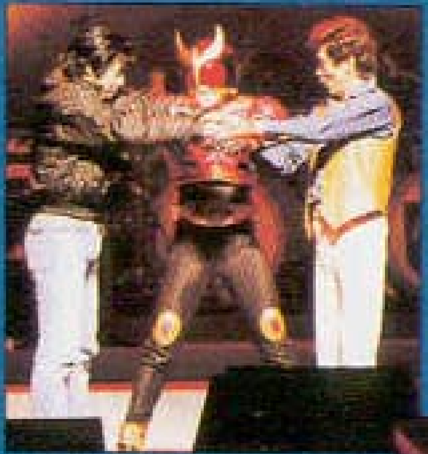


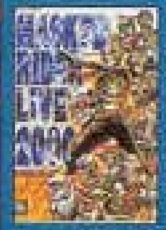
◀1973年の正月公演「帰ってきた仮面ライダー」の模様が、「われらの仮面ライダー」に収録されている。直前の秋公演がアニメ版の「月光仮面ショー」だったため、「帰ってきた…」というタイトルになっている。



▶上の映像のようにステージを屋外へ移している間、これまでのステージを越して、野外劇場を完成させた！写真は1970年の正月公演「お正月だよ!! 6人ライダー勢ぞろい」。テレビではそろうことのなかった、6人の活躍は大好評であった。

◀"スーパー戦隊"がメインとなった今も、仮面ライダーは正義のピンチに駆けつける！映像作品ではなかなか実現しない、夢の共演が観られるもショーの醍醐味だ。2000年「未来戦隊タイムレンジャー」のGW公演より、野外劇場からスカイシアターに移って、公演している。





◀▼20世紀末を盛り上げた「Masked Rider LIVE 2000」［LIVEは、東映ビデオより発売されているDVD（税抜価格6800円）、ビデオ（税抜価格4800円）で見ることができる。日本コロムビアより発売されているCD（税抜価格2800円）でも、しっくり聴くことができる］

▲本郷、風見、そしてクウガ。豪華な顔ぶれがここに揃う！一方、歌の方ではRider Chipsがメインとなり、ステージを盛り上げた。2001年8月には名古屋では「アギト」メンバーを迎え行われた。

◀▲現在放送中の「アギト」を中心とした展示型イベントの2001年版「仮面ライダーワールド」。撮影用のバイクや小道具を見ることができる。また曜日によってはショーも行われ、アギトとクウガが、共演を果たした！

1982

仮面ライダーZX

TV・MAGAZINE
1982年7月〜1983年8月まで雑誌連載
1984年1月3日放送（TVスペシャル）／60分

MASKED RIDER ZX

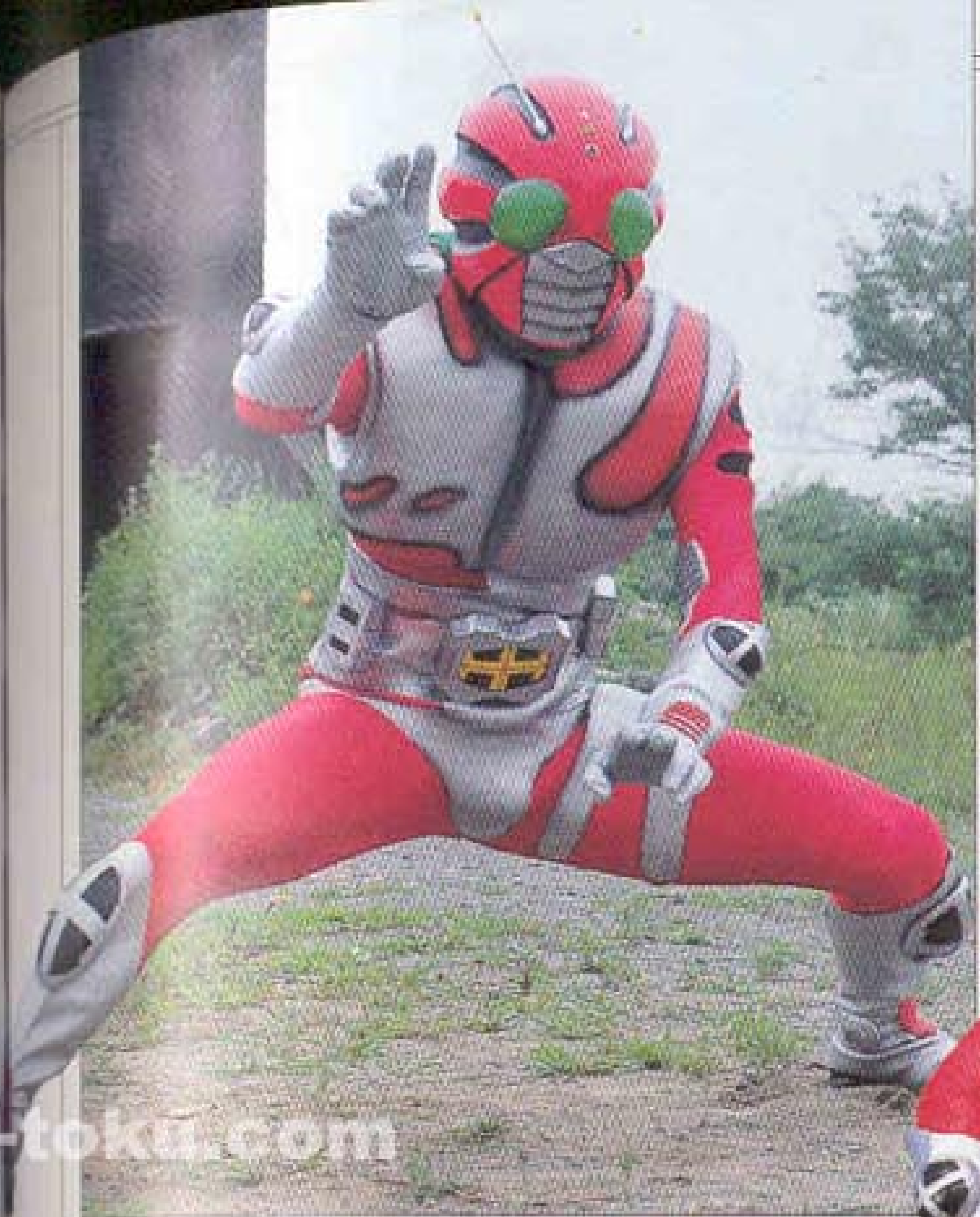
シリーズ終了後も止む事の無いファンの仮面ライダー復活を望む熱い声が生み出した本作は、テレビ作品という枠にとらわれないメディア作品として企画された。それ故に10号ライダー＝ZXの活躍の舞台は当初、「テレビマガジン」「テレビランド」「テレビアニメマガジン」といった各児童誌上での写真物語が中心であった。またその為、各エピソードにおいては怪人出現→対決というシンプルな展開が特徴。一方雑誌展開とは別に、82年8月14日深夜の「石森章太郎のオールナイトニッポン」内では、神谷明氏が村雨良を演じる本作のラジオドラマもオンエアされている。"ZX"の名前は一般公募により決定。その能力のみが公開されている当初は"仮面ライダー10号"とだけ呼称、VSクモロイド戦において初めて"ZX"と呼称された。そして雑誌連載終了後も絶える事のないその映像化への要望は、遂に1時間のテレビスペシャルの放映を実現させた。

当時、ブラジルで大学生だった日本人青年村雨良は、謎の組織バダンに捕われた。アマゾン地下のバダン＝シティーにおいて良は、唯一の肉親である姉を眼前で処刑され、自らもバダンの強化兵士＝パーフェクトサイボーグ"ZX"に改造された。しかし事故によって自我意識を取り戻した良は、処刑寸前に脱走する。日本に帰国した良は、復讐の心と共に仮面ライダー10号としてバダンと戦う決意を固めるが、ZXの前には、世界征服の本拠を日本に据えたバダンによって怪人が次々に繰り出される。全身に装備された超兵器や必殺技を駆使し、怪人達を撃破するZX。次々にその配下を失ったバダンは大幹部暗闇大使を派遣、更に超コンピューターシステム時空魔法陣の力による新型改造人間UFOサイボーグを開発してZXを襲うが、苦戦必至のZXにも頼もしい仲間が力を貸す。それは、かつて悪の軍団を倒してきた歴代の仮面ライダー達であった。激化する戦いの末、遂に暗闇大使率いる怪人軍団との最終決戦が幕を開く……。

■仮面ライダーZX

悪の組織バダンの手によって改造された青年村雨良が変身するパーフェクトサイボーグ。仮面ライダー10号としてバダンと戦う。脳を残して身体の99パーセントがメカニックと化しており、全身のいたるところに戦闘用の武器を装備。また、メカニック忍者とも呼ばれ、数々の忍者技を修得している。核エネルギーと数十万個のサーボモーターの力によりそのパワーは歴代ライダー最強を誇り、スーパー1とライダーマン二人を相手に回した際にも、それを凌ぐパワーを見せた。

◀ZXの技は、内蔵のコンピューターにより[illegible]腕・足の裏にはジェット噴射口が備え付けられ、そのジャンプ力は60メートル。また、虚像投影装置による分身能力も備えている。



www.thai-toku.com

▲ZXの両眼は、空間や物質を多方面から捉え、探索、分析するフィログラフィアイ。また、その頭部には、地球の裏側まで通信する事が可能な高感度アンテナを持つ。

▲ZXの主な武器は下記に紹介するものの他に、左腕に電磁ナイフを備え、音波砲やレーザー砲も体内に装備している。また、手足からレーダー撹乱煙幕を放出する。

●「仮面ライダーは改造人間である。人類の自由の為に、巨大な悪と戦うのだ！」（TVSP／OPナレーション）

■変身ベルト

◀▲変身ベルトはポーズと共に村雨良の腹部に出現。同時に体内のエネルギー炉が作動し緑色の光を放つ。またベルトには虚像投影装置が内蔵され、分身を作り、敵を惑わすことが可能。

■ZXキック

ZXの最も得意とする必殺技で多くの怪人を倒した。キックを決める直前に、空中で全身を赤く発光させる。ZXイナズマキックとも呼称され、様々なバリエーションを持つ。

■十字手裏剣

ZXの肘に装備され、1キロ先の敵に命中させる事ができる。肘から外すと同時に刃が飛び出る仕掛けとなっている。

■衝撃集中爆弾

膝に装備されている。爆発力を一方向に向ける事ができ、砲撃などの使用で効果を発揮する。電波による司令によって作動。

■マイクロチェーン

手甲に装備された超細スチールワイヤー。敵をからめとり、5万ボルトの電流を流して感電させ、多大なダメージを与える。

■村雨　良

南米帰りの青年。バダンによって改造手術を受け、一度は組織の最も優秀な強化サイボーグ兵士として生まれ変わるが、自我意識を蘇らせて反抗心に目覚め、電磁解体機で処刑されかけるがその寸前に脱走。裏切り者としてその命を狙われながら、人類の自由のために仮面ライダーZXに変身、バダンの巨大な組織に戦いを挑む。

▲良は姉を殺され、その身体を人間ならざるものに改造された。なお、三影との共闘は雑誌展開にはなくTVのみの設定。

変身! 村雨良は変身ポーズをとり、「変身！」と叫ぶ事によってZXに変身。その変身ポーズは（雑誌とTVで）2種類存在する。

■ヘルダイバー

変身後のZXが愛用するオートバイ。特殊金属性のボディを持ち、核融合原子力エンジンを搭載、最高時速は600km/h。走行地に会わせてそのタイヤのパターンを変化、水中航行能力も備え、怪人との戦闘でも活躍する万能マシーンである。

■10人ライダー

かつて数々の悪の組織と戦い、現在は世界中に散らばっていた1号からスーパー1の歴代仮面ライダー達が、新たなる悪の組織バダンの暗躍を知り、その作戦を阻止する為に日本に集結した。彼らはZXと協力、抜群のチームワークで怪人達を撃破していく。

●「姉さんを殺し、俺をこんな身体にしたバダンは許せん！」必ず復讐してやる（TVSP／村雨良）

▼歴代ライダー達が初めて協力してバダンと戦ったのは、トカゲロイドが再生怪人と共に総攻撃をかけた際である。そして壮絶大使の最後の挑戦に応えて再び集結、怪人軍団と激闘を繰り広げ、バダンを壊滅させた。

▲スーパー1、V3、スカイライダーの3人は、単身でも日本に帰国、怪人達との戦いにおいてZXとの名コンビネーションを見せた。

◀ヘルダイバーは戦闘能力も高く、その初登場であるVSカメレオロイド戦では体当たりによってこれを撃破した。また、VSジゴクロイド戦においても激しいオートバイ戦を展開した。

◀バダン科学班が、組織の戦士であるZXのために設計、開発したマシーンであり、良がバダンシティーより脱走する時に奪い出した。それ故、ZXは最大限までその性能を引き出す事ができる。

▶勢揃いした10人ライダーのマシーン。ヘルダイバーの装甲は強固のウイングカッターと、カウリングの下に装備されたレーザーバルカン砲である。

www.thai-toku.com

バダン帝国

ナチスの生き残りによって組織され、地下都市バダン＝シティーをその拠点とする悪の秘密結社。かつて数々の暗黒組織が成しえなかった世界征服の野望を追う。高度の科学力を持っており、ＵＦＯを飛ばし、優秀な人間に動植物の細胞を植えつけ身体をメカ改造した強化兵士を次々に造り出す。その野望を阻止しようとするＺＸと激しい戦いを繰り広げる。

■コンバットロイド

◀バダンの下級戦闘兵士。暗闇大使や怪人達の指揮のもと、その作戦遂行のために暗躍。手に持ったナイフを武器に、次々に襲撃を繰う。

■クモロイド

日本に本拠を置いたバダンが繰り出した強化兵士第１号。蝿取り蜘蛛の特性を持ち、特にジャンプ力に優れる。夜戦用を主目的に造り出され、巨大な眼には様々なメカが内蔵されている。

▶トゲつきの糸で敵を捕え、鋭いツメでとどめを刺す。また、腕からは毒液を出し、その歯は鋼鉄をも噛み砕く。ＺＸイナズマキックに敗れた。

■ドクガロイド

毒蛾の能力を備えたバダン強化兵士。大きな羽根を広げて飛行。空中から人間を襲い、口の長い管を突き刺して血を吸い、また、その身体に卵を産みつける。

▲武器は毒の粉で、催眠術で人間を操る事もできる。ＺＸイナズマキックと必殺パンチに敗れた。

■暗闇大使

バダン大幹部。性格は残忍で、決して他人を信用しない。地獄大使の従兄弟で、ライダー打倒を果たす事で自分が地獄大使より優秀だと証明しようとしている。武器は右手の超電圧ムチと左手のかぎづめ。

www.thai-toku.com

■カメレオロイド

カメレオンの様に身体の色を変化させる能力を備えた強化兵士。その視界は320度あり、後方からの攻撃にも対応。ヘルダイバーの体当たりに敗れた。

▲長い尾を絡めたり、ハサミの様な手、ヤリのように伸ばした舌で相手を攻撃する。

▲オートバイの名手で、ＺＸのヘルダイバーとのオートバイ戦を挑むが、最後にはＺＸイナズマキックに敗れた。

■ジゴクロイド

巨大な角で蟻地獄をつくる強化兵士で、敵を引きずり込んで、その角で真っ二つにする。手にはハサミ状の強力なツメを取り付ける事ができる。

▲左胸には毒液のボンベを持つ。暗闇大使による直接指揮の下、ＺＸ抹殺を目論んだ。

■カマキロイド

カマキリの能力を備えた強化兵士。武器は相手を窒息死させる右手のカマキロイドスパイラルと、左手の大ガマ。木の上を素早く動き回って相手を襲撃する。

■アメンバロイド

ゲンゴロウ獣人とタガメラスを研究して作られたＵＦＯサイボーグ。伸縮自在の足で、アメンボウの様に水上を高速で移動したり、木の上に隠れて相手を襲撃する。

▲ＺＸとスーパー１を苦しめたが、最後には２人ライダーの協力技・ライダーアタックに破れ去った。

▼着脱可能な4本の足の関節は、強力な機関銃となる。また、鋭い口を突き刺して人間の体液を吸う。

■トカゲロイド

バダンのUFOサイボーグ第1号。エリマキトカゲの様に動きが素早く、水の中ではパワーアップする。再生怪人と共に10人ライダーに挑んだ。

▶口から火炎を吐き、襟巻きを反射板にして焦点にいる敵に炎を集中させて攻撃。ＺＸイナズマキックに敗れた。

■再生怪人

時空魔法陣の力で蘇ったカメレオロイド、ジゴクロイド、カマキロイドの3体。トカゲロイドの指揮の下、10人ライダーに決戦を挑むが、歴戦の勇者達の敵ではなかった。

▲全長7メートルもの巨大な翼は障害物を切り裂く強力な武器でもある。また、その羽根は手裏剣爆弾となる。

▶ライダー暗殺をその使命とし、Ｖ３とＺＸを苦しめたが、２人ライダーのダブルアタック作戦に敗れた。

■タカロイド

鷹の能力を持つUFOサイボーグ。巨大な翼を背中に装着する事によってグライダーのように音もなく飛行、鉄板をも切り裂く両手の鋭いツメで敵を上空から襲撃する。

●「みんな、一度は君と同じように疑問に思えたんだよ。……今はただ、我々の力が必要とされる限り、戦い続けるだけさ」（ＴＶＳＰ／高見志郎）

■バラロイド

薔薇の細胞を移植されたUFOサイボーグ。エネルギーは人間の血で、トゲのついたつるをムチの様に伸ばして標的を捕え、花弁で窒息死させる。顔面からは毒ガスを発射。

◀顔面の花を巨大に開花させ相手に投げつける事もできる。ZXとスカイライダーのダブルキックに敗れた。

■タイガーロイド

メカと、虎の能力を持つ怪人をミックスした高性能UFOサイボーグ。暗闇大使が放ったZXへの最後の刺客である。背中の3本の大砲と腰の2本の機関砲による連射と、バダン最強を誇る怪力が武器。弱点は背中。

▲背中の主砲はタイガーボンバーと呼ばれる。50km先のビルをも一発で吹き飛ばす威力を持ち、毒ガスも発射できる。

◀その連射の0.7秒の死角を突かれ、イナズマキック、衝撃集中爆弾、イナズマニードロップの連続攻撃に敗れた。

▲体のハリは1本1本が鉄板を貫くヤリとなる。再生怪人軍団と共にZXを襲撃するが、最後には爆発蹴りによって撃破された。

■ヤマアラシロイド

ヤマアラシの様に全身に無数に生やしたハリを武器にするUFOサイボーグ。人間の血を吸い、その血をエネルギーに、かつての悪の組織の怪人達を蘇らせる事ができる。別名は怪人軍団長。

■再生怪人軍団

時空魔法陣によって生み出され、ヤマアラシロイドに指揮される旧暗黒組織の怪人達のコピー。獣人大ムカデ、帝機人カメレオーン、クモンジン、カメレキング、カガミトカゲの5体。

www.thai-toku.com

■サザンクロス

暗闇大使が変身した、今までの怪人の10倍のパワーを持つ超最強怪人。殻の砲塔からミサイルを発射、殻を取られても超電圧ムチで戦う。10人ライダーの共同攻撃と超パワーイナズマキックに敗れた。

■再生怪人軍団

▼10人ライダーに挑戦状を叩きつけた暗闇大使は、クモロイド、カメレオロイドを除く9体の怪人を蘇らせた。その全ての死と共にバダンは壊滅した。

■10号誕生！仮面ライダー全員集合

もう一つの『ZX』譚。時空破断システムによる日本壊滅を企むバダンの作戦を阻止する為に、新たな仲間ZXを加えた10人の仮面ライダーが集結。今、阿修羅谷で、ライダーと怪人軍団との最期の決戦が始まる。

◀自身と同じ宿命を持ち、共に戦い続けてきた戦士達と出会ったZXは、彼らの生き様に自らの生きる道を見いだす。

■ライダーシンドローム

◀ライダーが円陣を組んで放つ、10人のパワーを全開にして放出し、そのエネルギーを一つに結集させた究極の合体技。時空破断システムのエネルギーによる危機の突破口を開き、暗闇大使に大ダメージを与えた。

■村雨　良

バダンでは誰も優秀なエリートで、三影英介とは良きライバルにして親友であった。一度は裏切ライダー達をバダンの一員と誤解するが、程なく和解。最終決戦に勝利した後、仮面ライダー10号の称号を祝福と共に受ける。

■風見志郎／結城丈二／沖　一也

本郷の歴代ライダー。バダンニウム輸送部隊との戦闘中にZXに惚れ、彼に、改造人間の苦しみや復讐心を乗り越えた、正義の闘いの道を説く。

■村雨しずか

良の姉。新聞記者で、良と共にUFOの噂を追う最中にバダンに捕われ、暗黒組織の秘密を知った為に、良の眼前で電気椅子によって処刑される。

■一条ルミ

バダンの秘密を知った為に殺された一条博士の娘で、良の心にひとときの安らぎを与える少女。バダンにたった一人で挑もうとする良を心配する。

■海堂博士

良の父の親友で、大学での恩師である生化学の研究者。帰国した良に、その身体がサイボーグ化されている事実を告げ、彼の戦いに協力する。

■バダン総統

本郷の爆発と共に現れ、別れの言葉を残して消え去った。冷血漢で、悪霊のエネルギーに相違ないと言及される。

■暗闇大使

体内に時空破断システムのコントロール装置を持つ。本作では、サザンクロスに変身しないままZXキックに敗れた。

■タイガーロイド（三影英介）

良と優劣つけがたい技量を持つバダンの優秀なサイボーグ。バダンに自らの命を捧げ、"力こそ正義"を信条とする。ZXキックに敗れた。

■時空破断システム

次元を超越し、物質とエネルギーの交換によって一瞬に全てを消滅させるバダンの最終兵器。

■再生怪人軍団

阿修羅谷で、10人ライダーを待ち受けていた、バダンと旧組織の怪人の混成部隊。だがライダー達の敵ではなく、次々と敗れ去り、あるいは時空破断システムのライダー攻撃の巻き添えとなる。なおカメレキングはサーベルキングと自称した。

■バラロイド／カミソリヒトデ
■カマキロイド／獣人大ムカデ

■タカロイド

■トカゲロイド

■ヤマアラシロイド

■ドクガロイド

■ジゴクロイド

■アメンバロイド

■ガメレオジン

■カマキリガン

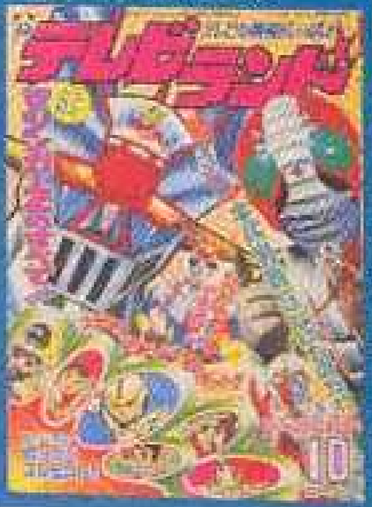
■カメレキング

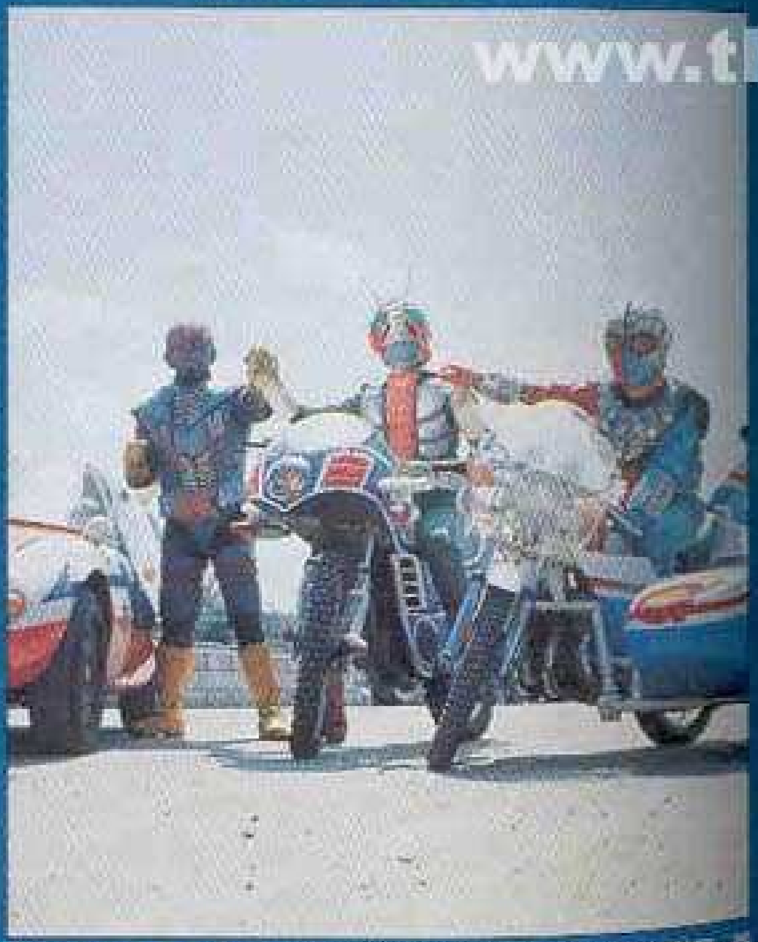
『仮面ライダー』が、70年代前半のいわゆる"第二次怪獣ブーム"の旗手的作品の一つであり、中でも"変身ヒーロー番組"という以降に続く膨大な作品群の源流となった事実は、万人が認める。そして周辺の印刷媒体において、第二次ブームが"第一次怪獣ブーム"期（64〜67年頃）と趣を違えるのは、児童向けテレビ専門誌の充実だった。むろん第一次ブーム時も多数の少年誌・児童誌が当時の怪獣少年の心を潤した事実は間違いない。が、第二次ブーム時にはテレビ児童誌が番組自体と更に密接な連動を図り、ヒーローの強化、新幹部出現……多くの話題を月単位の現在形で詳報。その記事内容は常に新鮮な感動を誌面に宿した。原作『ライダー』が「週刊ぼくらマガジン」「週刊少年マガジン」へ移行する中で徐々に勇名を揚げたと言うならば、テレビ版は、同じ講談社の「テレビマガジン」という器で別途に大きな成長のステップを踏んだのである。もちろん『ライダー』の人気高揚には、より低年齢が対象の「たのしい幼稚園」（同社）や、テレビ情報誌としての機能を新装した「冒険王」（秋田書店）などの児童誌、更には数度に及び新1号が表紙を飾った「週刊TVガイド」（東京ニュース通信社）など一般情報誌の功績も甚大だった。が、例えば72年11月から"少年仮面ライダー隊"の読者参加企画を提唱、それを番組内にまで反映させた「テレマガ」の存在はやはり突出したものだった。続く『仮面ライダーV3』期には「テレマガ」がその勢いを持続する一方、番組発信の場・東映に直結した競合誌「テレビランド」が登場。発行所を黒崎出版から徳間書店に変えながら、以降24年に及ぶ使命を全うする事になる。小学館の「てれびくん」は歴代の『ライダー』ムーブメントとは別個に創刊されたが、『仮面ライダーBLACK』時には番組の魅力を児童に伝授する主体となった。『ライダー』世界が長大な歴史を築く傍らには、常にテレビ児童誌の熱い共闘があったのだ。

◀左は「テレビマガジン」71年12月創刊号。73年9月には、増刊「仮面ライダー大百科号」を発行。TV本編では未詳の、1号ライダーがプロトタイプのサイギャングと戦い、改造後の一文字を2号ライダーとして救出する逸話も掲載。また80年8月の「夏休みびっくり増刊号」では、筑波洋は「本郷猛のこうはい」「城北大学の学生」という明確な記述もある。「ZX」の特写ストーリーは名前が決定した82年9月号からスタート。同号でクモロイドに襲われ血まみれになりつつも特写を撮り続ける加賀記者の報道魂は、ライダーファンの語り草となっている。

▲87年9月号で、名称未定のまま主役ライダーの活躍予告図（4色）を掲載。翌月、本格的に「BLACK」を初紹介した「てれびくん」同年10月号。小学館が同番組を雑誌掲載する主体となったため、ライダーファンから改めて注目される雑誌となった。漫画版（小林たつよし）も11月から連載されるが、特写不足や版権事情から歴代ライダー紹介の機会は遅れ、「RX」終盤の"11戦士"集結時まで持ち越される。90年代は後発という立場も感じさせず、積極的に新作を支援する。

▼73年3月創刊の「テレビランド」。東映と密な環境を活かして高い即時性を志向。74年1月号のライダーマン特集では、実質的な初紹介だが以降の展開も暗示。また同年8月のA4版増刊号では、生還したライダーマンが新型バイクを開発中という記事もある。79年には独自の「少年仮面ライダー隊」を公募。





▲◀上は73年の東映主要ヒーロー集結の特写。講談社・黒崎出版・小学館（「小学館BOOK」、各学年誌）の合同企画で、川崎の王禅寺で撮影会が行なわれたが、版権事情から黒崎出版のみが3番組の特写を活用した。ライダーキャラと他ヒーロー共演の特写は"新1号＆風＆バロム・1""V3＆スパイダーマン""ロボコン＆タイホウバッファロー"などが有名。秋田書店の「冒険王」は、72年8月号から漫画化と記事を掲載。おはイカデビルとの決戦グラビアを掲載の同年9月号、一時期の「別冊冒険王・映画テレビマガジン」と合わせて、後年まで漫画主体に読者を湧かせた。

栄光の『仮面ライダー』関連の書籍は数多い。第一作の時点では、講談社と朝日ソノラマの出版物が特写を駆使して特に双璧といえた。前者は「カラーテレビ版怪人絵ばなし」「『たのしい幼稚園』のテレビ絵本」他、後者は「怪人大画報」「怪人図鑑」「怪人百科」等が代表格。更に勁文社、黒崎出版、万創やエルム他、多くの出版社が書籍企画に参画。以後、現在に至るまで、特写や本編フィルム、または作画画稿を駆使して刊行される各シリーズ時の"絵本"類は、『仮面ライダー』ブランドの魅力を児童層に根付かせる上で、重要な役割を務めてきた。
ライダーの活躍図や怪人図鑑の枠組を離れ、番組記録の資料本たる最初の一冊が、78年9月発行の「ファンタスティックコレクション9・仮面ライダー《総集版》」（朝日ソノラマ）だ。全64頁の紙面で当時の最終作『ストロンガー』に至るシリーズの軌跡を語り、各作放映リストも初めて商業刊行物に掲載した。これを更に進めた出版物が、同年11月刊行の勁文社「仮面ライダー大百科」である。同書は児童向けながら、東映と毎日放送、当時の石森プロスタッフ・青柳誠の全面協力のもとに、第一作から『ストロンガー』編までの五番組の各挿話を完全紹介。怪人出現→作戦→打倒という基本構造ゆえ、ややすればイベント編を除き各話の判別が混同しがちな性格の『仮面ライダー』サーガの実体を、ファンに浸透させるために多大な貢献を果たした感涙ものの労作だった。
徳間書店は81年に、特撮ムック「スーパービジュアル・仮面ライダー」を刊行。『スーパー1』放映時に「ライダー」の原点である第1作・旧1号編のみを詳解した意欲的な内容だったが、後続企画を招かずに終った。以降、80年後半からのマニア向け書籍の主たるものを下に紹介する。この他の特記すべき書籍では、91年からバンダイが刊行した「EB仮面ライダー大図鑑」シリーズがあり、全7冊が非常に高い完成度を誇っている。

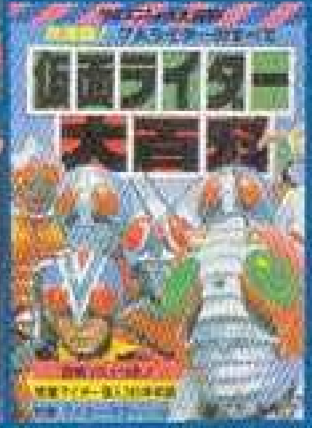
▶86年に講談社が刊行した「仮面ライダー大全集」。[illegible]し、スタッフや出演者のインタビューも積極的に実現。読み物・資料として共に充実した内容は無数のライダーファンを再覚醒させ、「BLACK」以降の第三期ライダー誕生を招くムーブメントの一助ともなった。現在に至る「ライダー」出版物の中興の祖といえる。本書は他作品も対象とする「大全集」路線の元祖でもあり、ライダー関連は「怪人大全集」「ライダー映画大全集」の2冊が続刊した。

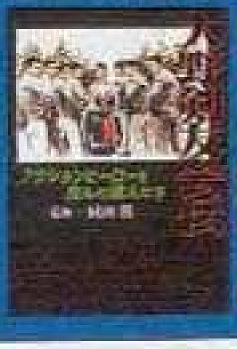
◀小学館から刊行される"超全集"の「ライダー」編の一冊「仮面ライダークウガ超全集・完結巻」。児童向け仕様ながら詳細に密着したメイキング記事、出演者座談会などでマニアの評価も高い"超全集"だが、「ライダー」系は「BLACK」「RX」から登場。以降、リアルタイムで他の特撮作品と同時に「ライダー」の新作群を追い掛け、今では特撮ファン必携のムックとなった。人気作「クウガ」は、4クールの長編を3分冊で語るという優遇された編集体制で刊行された。

▶小説でも、ライダー誌登場。右から「仮面ライダーZXオリジナルストーリー」（風雅社）「仮面ライダーJ」（小学館）。後者には、独自の新型フォッグライダーも登場。この他小説は「BLACK」「ZO」（共に小学館）が、また勁文社からは「BLACK」のゲームブックもあった。

▶右は双葉社「仮面ライダー大全」と朝日ソノラマ「仮面ライダー―変身ヒーローの誕生」。「大全」はインタビューと作品の徹底検証。一方ソノラマの方は、現在シリーズをまとめ、合本形式で発売中。そちらには滝などサブキャラのインサイドストーリーも盛り込まれている。共に受け手側の再検証と送り手側の述懐など様々な手法や切り口で作品を語っている。

▼文庫サイズの「大百科」シリーズを発表する勁文社。現在の「アギト」に至るまで、様々な形で展開、その一翼を担っている。「全怪獣怪人大百科」なども好評を得た。





◀90年代半ばからの流れとして、各作品主演者による現在の視点からの「俺のライダー（ヒーロー）像」をファンに伝える出版企画が続出。左上からZ字順に「仮面ライダー本郷猛の真実」（藤岡弘、ぶんか社）、「ヒーロー神髄」（宮内洋、風塵社）、「大野剣友会伝・アクションヒーローを生んだ達人たち」（風塵社）それに歴代ライダー役者の証言を、可能な限りインタビューした力作「不滅のヒーロー・仮面ライダー伝説」（岡謙二、ソニー・マガジンズ）。各俳優がライダー役に注いだ若き日の情熱が、今日に至るまでにいかに現実の中へ浸透していったか、各書が語る。

www.thai-tokus.com

COLUMN 12

釘付け！魅惑のライダーアクション

TEXT：田神悠

実写キャラクター作品を“特撮もの”と呼ぶことがあるが、『仮面ライダー』最大の魅力は特撮ではない、アクションだ！

『仮面ライダー』スタート時、本郷猛と同一人物である仮面ライダーも、藤岡弘が演じた。可能な限り吹き替えなしで演じるという方針の下で考えれば、自然な流れであった。だが藤岡は撮影中に負傷をしてしまう。怪人や戦闘員を演じ、スタート時からアクションシーンを支えていた大野剣友会が急遽、仮面ライダーを演じた。仕切り直しとなった2号ライダー登場を機に、マスクを付けた変身後の演技も、トランポリンのアクロバットやバイクスタントと同じく、専門家が担当することに。ここより、キャラクターアクションが作品の一部以上の、ある種独立した魅力を放つようになる。変身後を演じることは吹き替えではなく、主役を2人3脚で演じる感覚、なのである。パンチを連続でたたき込み、捨て身のキックを放つ懸命なアクション！　技斗・高橋一俊の付ける殺陣は、悪の科学により人間でなくなったマイナスをプラスへ転じ、一人で人知れず戦う設定にマッチ。ダイナミックな中にも哀愁を感じさせる、セリフ以上に物を言う秀逸な演技であり、ボクらの心を打った。

人気はブームとなり、ヒーロー性がより求められ、主役も派手なデザインの新1号になる。その終盤より、『超人バロム・1』を終えライダーを演じるようになるのが、中屋敷鉄也だ。両手を開く仕草、手袋直し、振り返り様に体をよじらせながら敵を牽制、といった動きを頻繁に行い、それが得も言われぬバランスでピタリと決まる役者であった。ダブルライダーの手により誕生する正義のスーパーヒーロー・V3では、彼の動きはさらに冴え、ライダーを神格化させた。同時に大野剣友会独特のアクションと感じられている動きが、この時期完成した。

『BLACK』からJACがアクションを担当。金田治アクション監督は「スーパー戦隊」や「宇宙刑事」で見せてきた斬新な映像の組み立てを持ち込み、新風を吹き込んだ。当時入団3年目ながら、体格がいい上にアクロバットが得意な逸材・岡元次郎や、演技の経験は積んでいるがキャラクターの経験がない富永研司を、仮面ライダーに抜擢。逆にアギトでは、数々のヒーローを演じ、自分の長所を知りつくした動きを見せる、高岩成二に任せている。

◀本郷猛を演じる藤岡弘自らが、現在も著く動きも制限される、変身後も演じた。現在では到底考えられない、無謀的な挑戦だった。

◀藤岡演じるライダーが蜘蛛男を演じる新田勝をバックドロップ、クルッと回り着地するが、見栄え以上に危険なアクションを行った。

◀大野剣友会が1号を演じたのは、アクシデントによる代役としてであったが、2号からは正式なキャストとして、演じている。

◀太陽の似合う新1号、演じた大杉雄太郎、そして中屋敷鉄也は体格もよく、体の動きも明るいヒーローにマッチしていた。

◀V3登場。キャラクターアクションが独立して楽しめるまでに確立。この頃になると、一生変身ヒーロー作品を見続けることに。

◀アマゾンは当時若手であった、新原和男が演じた。スマートな動きが極まった反動として設定されたキャラクターを体現した。

◀4年ぶりに復活したスカイに続き、スーパー1も中屋敷が演じた。中国拳法を味付けとして取り入れ、V3以上のキレを見せる！

◀ブラックに続き、RXも演じた岡元次郎。敵と対峙する緊張感の中で見せる、ブリッとした腰の動きがサイコーである。

◀クウガは、富永研司が体当たりで挑んだ。スーツアクターとして洗練されていない動きが、五代雄介のキャラクターと重なっていた。

◀クウガでは、乗車シーンにバイクトライアルの世界チャンプ成田武・亮兄弟を起用！“仮面ライダー”の魅力を改めて見せつけた。

www.thai-toku.com

1987~1988

CHAPTER 04

第4章

仮面ライダーBLACK

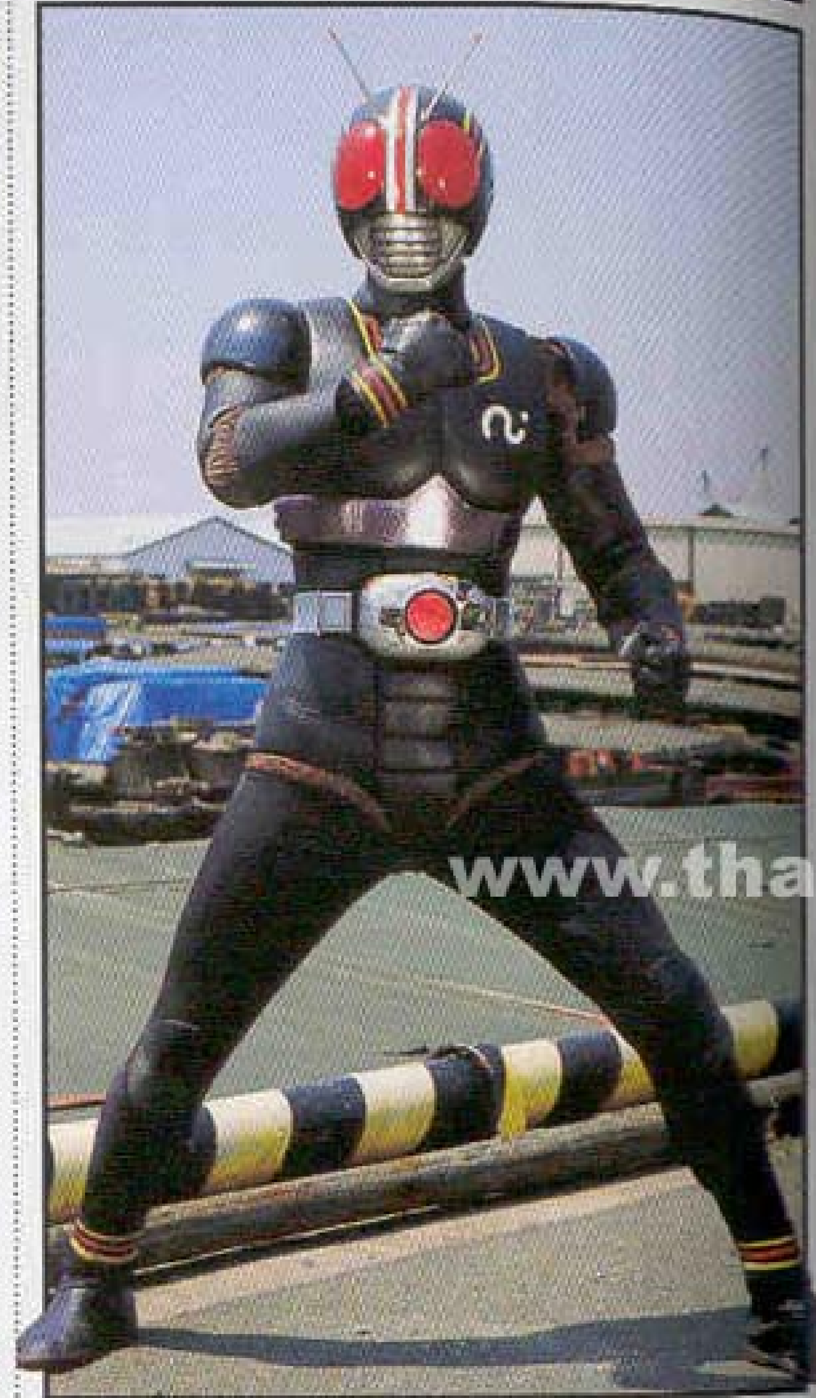
仮面ライダーBLACK RX

1987 仮面ライダーBLACK

TV
1987年10月4日～1988年10月16日　MBS・TBS系
日曜朝10時～　全51話（劇場作品2本）

“仮面ライダー0号”を目指すという石ノ森氏の考えを元に、東映製作による「メタルヒーロー」シリーズのノウハウを導入して新生したライダー。当時のムーブメントを反映させてか、野獣的な怪人、心理的作戦を多用する敵、親友同士の争いを軸にするなど、あらゆる面でこれまでのシリーズとの流れを断ち切り、ひと味違う異色作となった。またラスト、勝利したはずのヒーローが孤独に泣き崩れる、というのも本作ならではのものであろう。

日食の日に生まれた二人の若者を“世紀王”に改造して戦わせ、その勝者が支配者“創世王”となる暗黒結社ゴルゴム。その目的は人間社会を滅ぼし、怪人の支配する世界を作る事だ。兄弟同様に育った青年、南光太郎と秋月信彦は19歳の誕生日にゴルゴムにさらわれ、改造されてしまう。辛うじて脱出した光太郎は、悪の魔手から人類を守るため、そして信彦を救うために仮面ライダーブラックを名乗り、戦いを開始。“三神官”が長き眠りについていた怪人達を目覚めさせ、人の心の弱みにつけ込むゴルゴムの悪行を次々と粉砕していくのだった。
一方、生命力を減少させ、未だ目覚める事のないシャドームーン（信彦）を守るゴルゴムは、そのあまりの危険な暴れぶりに封印されていた剣聖ビルゲニアを目覚めさせ、ブラックと競わせる。しかし彼は創世王の座に野心をもち、その象徴である“サタンサーベル”を手に入れたのをきっかけに反逆を決行。ブラックを倒し世紀王の座を奪おうとする。一方、意を決した三神官の自らの生命を賭けた儀式を経てシャドームーンは覚醒。シャドームーンはビルゲニアを一刀両断の元に倒し、ゴルゴムの指揮者としてブラック抹殺、そして人類社会の壊滅に乗り出す事を宣言するのだった。
変わり果てた姿で再会した親友に苦悩する光太郎。しかし過酷な運命は、さらなる苦境に二人を呑み込んでいく……。ブラックはゴルゴムを滅ぼして、強敵と化した親友を救出できるのか？



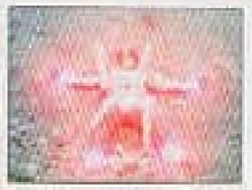
仮面ライダーブラック

南光太郎が体内に埋め込まれたキングストーン“太陽の石”の力で変身した姿。別名である“世紀王ブラックサン”が表す通り、この姿は彼がゴルゴムの王位継承者である証なのだが、洗脳寸前で脱出したため、その力は人類の自由と平和を守る戦士の能力として活かされる事となった。強化筋肉フィルブローンが産む30mものジャンプ力とスピード、それに光太郎自身がサッカーで培った能力を加えたキックとパンチ、及びキングストーンの特殊能力を武器にゴルゴムの怪人達と戦った。198.7cm／87kg。

バッタ男

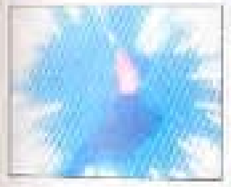
1話にて、ゴルゴムに追跡されていた光太郎が空中より墜落させられた直後にみせたブラックの第一形態。また、変身のプロセスでも一瞬だけ姿を見ることができる。

●「[illegible]」（光太郎／BLACK 1話）



▲パワーストライプス。蓄積エネルギーを赤と黄のラインから放出して、技の能力を高める。

▲エネルギーをベルトに集中し、技の破壊力を増す。トドメをさす前に使う事が多い。

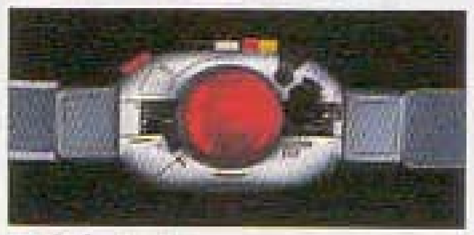


ライダーチョップ

怪人の強化皮膚を切り裂く手刀。センサーを使い弱点看破する“センサーアイ”と併用し、戦意を奪う使用例もある。

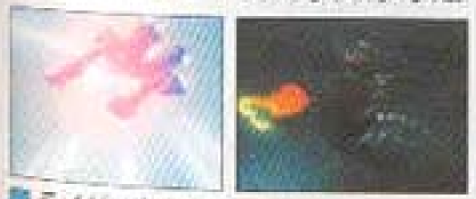
キングストーンフラッシュ

キングストーンエネルギーをベルトから放出する技。光に弱い怪人や、ショックを与える時に多用。



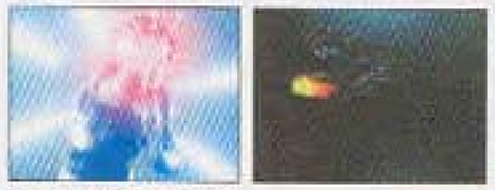
変身ベルト

キングストーン“太陽の石”が埋め込まれており、普段は光太郎の細胞の中に埋まっているが、変身ポーズをとる事により表に現れる。様々な技のエネルギー源でもある。



ライダーキック

バッタの脚力を活かし放つブラック最強の技。全エネルギー集中した時は足の先が発光する。



ライダーパンチ

敵の弱点に叩き込むエネルギー拳。13話でパワーアップして以降トドメとして使う事もある。

リュウシュート

◀インターポールの滝竜介と協力する技。滝が放ったウルトラクォーツを空中でブラックが敵に蹴り込む。滝が信彦に伝授したサッカーテクニックでもある。16、30話。

▶最後の敵・創世王は、光太郎が忌み嫌っていた次期創世王たる“世紀王”の資格を持つ者のみ使えるサタンサーベルでしか倒せなかった……。

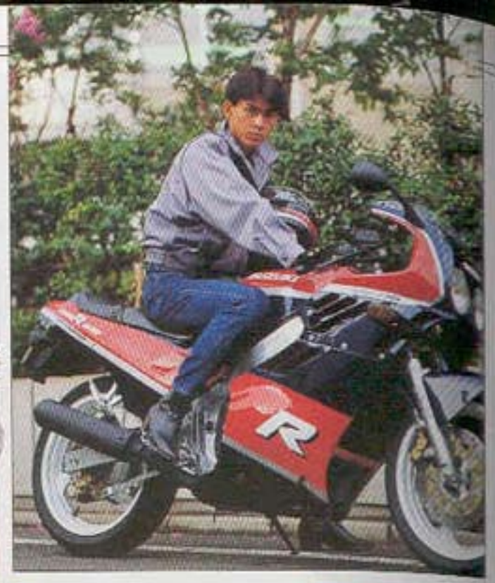
www.thai-toku.com

MASKED RIDER BLACK

■南光太郎

東星大学人文学部二年生。皆既日蝕の夜に生まれ、ゴルゴムの世紀王となることを運命付けられた青年。心ならずも改造されてしまうが、記憶消去の前に秋月総一郎の手引きにより脱出。同じ日に改造された親友の秋月信彦を救出し、人類をゴルゴムの脅威から救うべく仮面ライダーブラックとして戦う。

◀19歳の誕生日に拉致されキングストーン（太陽の石）を埋め込まれて生体改造されてしまった。



■南正人・友子

▶光太郎の両親。ゴルゴムに逆らい、飛行機事故に見せかけて暗殺された。

◀改造された光太郎は、変身前でも運動能力などにおいて、その能力の一端をかいま見せる。

バッタ男の形態を経て、外皮をリプラスフォームが覆い、変身を完了。ポーズをとらず、一瞬のうちに変身することも可能。

www.thai-toku

■秋月杏子・紀田克美

杏子は信彦の妹。父と兄を失ってからは高校を辞め、喫茶キャビトラで働く。光太郎にほのかな恋心を抱くが、叶わぬ恋となった。克美は信彦のガールフレンド。後輩、共にゴルゴムの攻撃を避けるため、アメリカへ逃亡。

▶秋月総一郎は光太郎を引き取り、息子の信彦とわけ隔てなく育てたが、実はゴルゴムの手先であり、二人を次期創世王候補としてゴルゴムに渡してしまった。クモ怪人に殺される。

■少年戦士

10歳の時、ゴルゴムによって拉致され、成長停止剤を受け、少年の姿を保つことを余儀なくされた戦士たち。光太郎と共に戦うことを決意する。実年齢は20歳。

■滝竜介

インターポールのはみだし捜査官として、ブラックすなわち光太郎に協力の手を差しのべる。少しキザな性格。かつてはプロのサッカー選手であり、信彦の先輩。16、30話。

■東堂勝

光太郎の先輩。西子たちに喫茶キャビトラの経営をまかせて旅に出てしまった。2、10話。

■バトルホッパー

世紀王専用マシンとして作られた生体メカ。自らの意志を持ち、無人でも走行が可能。荒地での活動に強く、高いジャンプ力を用いた"ダイナミックスマッシュ"等の技を持つ。キングストーンの力に呼応するので、シャドームーンも操る事が可能。だがシャドームーンに歯向かって、無惨にも破壊されるが、彼を巻き込み自爆した。最高時速500km/h。1～4、6、7、10、11、19～21、23、劇1、32、34、36、40、47、49～51話。

◀▲ブラック同様、バッタを模したスタイリングを持つ。ゴルゴムとの孤独な戦いを強いられた光太郎にとって、唯一の戦友でもある。普段はロードセクター共々、光太郎のガレージに格納されており、必要に応じて出撃する。

▲ゴルゴム神殿からの脱出は、バトルホッパーの力無くしてはかなわなかったろう。

▲ゴルゴムの暗黒科学の粋を結集して製作された。サイ怪人の攻撃により、ボディを大きく破損する。だが驚異的な自己治癒能力を持っており、破壊されても自動的に元通りになる。

◀登場は、12、13、16、19、21、22、25、28、32、33、36、39、劇2、42、44、47、51話。

■ロードセクター

ゴルゴムの依頼で大門洋一博士が文明破壊用に作った戦闘用バイク。完成と同時に息子の明が隠し、父を殺したゴルゴムへの復讐のために使おうとしていた。だがブラックと出会い、その卓越したバイク技術を見込み、ゴルゴムを滅ぼす日まで、との約束で譲渡。高性能RSコンピューターを搭載し、最高時速960km/hで体当りを仕掛ける"スパークリングアタック"が必殺技。ゴルゴムとの戦闘後、大門へ返却された。

▼最高時速に達するとアタックシールドを展開。高すぎる能力故、戦闘用としてはブラック以外には使いこなせない。

◀▲開発者の大門博士（右上）と息子の大門明（上中）。アタックシールド展開時は（左上）前方が見えないため、内部ディスプレイで操縦する（左下）。

暗黒結社ゴルゴム

文明社会が腐敗を始める時を待って、人類を完全淘汰して怪人による世界を作りあげようとする狂気の集団。五万年に一度、二人の世紀王の中から選ばれた創世王を頂点に、以下大神官、怪人、ゴルゴムに従属する人間（ゴルゴムメンバー）の序列となる。失敗や裏切り、用無しの存在は処刑の対象となる。

▲女優、月影ゆかりなど、様々な分野の人間が社会に潜伏してゴルゴムに協力している。

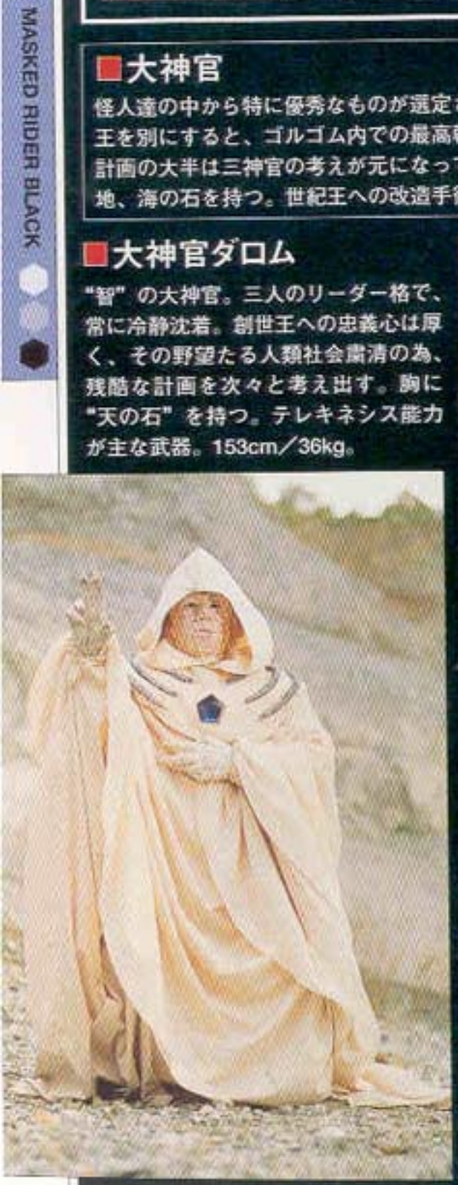
◀右から坂田総三郎代議士、秋月総一郎教授、大宮コンツェルン会長大宮幸一、黒松民俗学教授。

■大神官

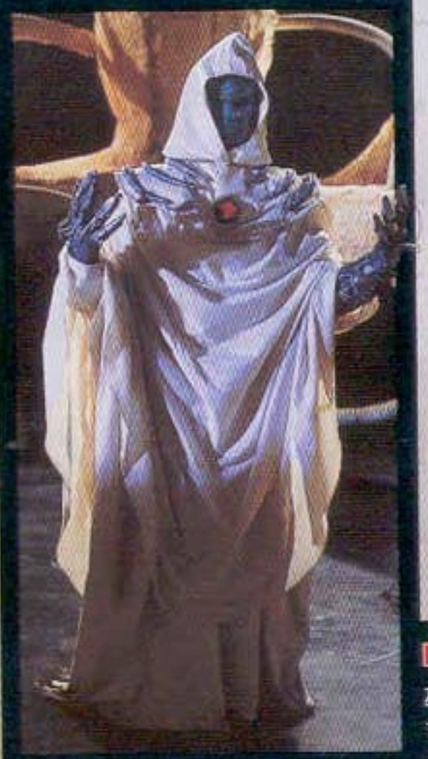
怪人達の中から特に優秀なものが選定されてつくることができる。創世王、世紀王を別にすると、ゴルゴム内での最高幹部の地位にあたる。人間社会への攻撃計画の大半は三神官の考えが元になって組まれる。それぞれ命の源となる、天、地、海の石を持つ。世紀王への改造手術も彼らの役目である。共に1～36話。

■大神官ダロム

"智"の大神官。三人のリーダー格で、常に冷静沈着。創世王への忠義心は厚く、その野望たる人類社会粛清の為、残酷な計画を次々と考え出す。胸に"天の石"を持つ。テレキネシス能力が主な武器。153cm／36kg。



▶人間を怪人に改造する遺伝子操作ビームを指の先から出す。破壊光線も持ち合わせる。



■大神官バラオム

"力"の大神官で、血気盛んで頭に血が上りやすい性格。胸に"海の石"を持つ。指から放たれる光線が主武器。繁栄の象徴を利用して、文明社会に鉄槌をくだす作戦が多かった。203cm／183kg。

◀ブラックやビルゲニアなどと戦う時には手からショックビームを出す。部下への懲罰にも使用。

■大神官ビシュム

巫女にあたる大神官。予言能力などを持ち合わせ、女性の心理的特徴につけ込むような作戦を得意とする。胸に持つのは"地の石"。両目から放たれる光線が主武器。177cm／47kg。

▲目から発射される破壊光線。その威力はブラックであってもたじろぐ。

▲人間に化け、怪人と共に前線で直接作戦を指揮することが多い。

■クモ怪人

ゴルゴムを脱走した光太郎と秋月総一郎の暗殺が使命。総一郎の暗殺に成功するが、ブラックとバトルホッパーの連携と必殺のパンチとキックにより、消滅。1話／189.4cm／69kg。

▲口から糸を吐き、敵を絡め取り、鋭い爪や牙をもって攻撃する。

▲五体というメリットを活かし、集団による連携攻撃も得意としている。

■ヒョウ怪人

ゴルゴムの秘密を光太郎に話そうとした女優月影ゆかりを殺した。肉弾戦を得意とし、暗闇でも自由に行動できる。マルチアイで顔が弱点であることを見破られ、敗北する。2話／192.1cm／67kg。

▲豹ならではの敏捷性を持っており、特に走行形態時はバトルホッパーをも上回る敏捷性を見せた。ブラック戦でも、それをいかした攻撃で善戦した。

■クワゴ怪人

巨大オブジェ"人類の最期"に必要な物や人を誘拐し、仕上げにブラックの首を狙う。キングストーンフラッシュで技を破られ敗北。3話／188.7cm／76kg。

▲口から吐くガス状の糸により、敵を繭に閉じこめる能力を持ち、ブラックを追い詰めた。またボディの柔軟性はキックやパンチを吸収してしまう。

■ノミ怪人

光太郎に臆病ホルモンを打ち込み、戦意を一時的に、喪失させた。ブラックを凌ぐスピードとジャンプ力で攻撃するが、マルチアイで動きを見切られ敗北。4話／186.6cm／59kg。

▶光太郎の知人逸水も筋肉強化ホルモンを注入され、獣人化してしまった。怪人の死と共に元に戻った。

▲黒松が開発した人の精神状態を変えるホルモンを注入する。驚異のスピードやジャンプ力は、特徴でもある脚から生まれる。

■コウモリ怪人

神官の諜報要員的存在として幅広く活躍。反面、戦闘能力は低い。大怪人最後の一人ダロムの死を神殿に伝え、息絶えた。1～4、11、12、14、19、20、29、劇1、34、37、43、46～49話。

◀大気圏内外を自由に飛べるなど活動範囲は広い。脳波をレーダーとして駆使した尾行や他の怪人のサポートまで広く任務をこなした。

■ヤギ怪人

国際平和会議の会場となる群馬県朝日村の村人を虜とした。外見は悪魔的だが、村人に自分を崇めさせ神として君臨する。弱点のツノを折られ、敗北する。5話／224cm／95kg。

▲炎を自由に操り、ブラックを窮地に追い込む。ツノから麻薬のような物質を精製。

●一人間共の謀殺、文化文明の破壊、それらをこれからゴルゴムがなさねばならぬ仕事……創世王はそう命ぜられている」（ダロム／BLACK 3話）

■オオワシ怪人

飛行し、エスパー能力のある画家を誘拐して養成、企業機密を奪取する作戦を実行。対ブラック戦でも上空から攻撃。6話／201cm／91kg。

▲眼からの光線が武器だが、同時にそこが弱点でもあり、ブラックとバトルホッパーの連携攻撃の前に敗北。

■サイ怪人

クロサイの力を活かした突進能力は、巨大なツノも相まって高い破壊力を誇る。大宮の操る暗殺者たちと共に暴走族グループを殲滅していった。7話／219.6cm／188kg。

◀バトルホッパーを戦闘不能にし、ブラックも追撃させるをえなくなった。

■セミ怪人

怪人が受けたダメージを人間の側にも転送してしまうバンドをつけた人間と、シンクロして作る破壊超音波でブラックの攻撃を封じた。額にある第三の眼を攻撃され、少女たちは解放。8話／195.8cm／38kg。

◀眼からの破壊光線、鋭い針、羽からの振動波などの武器も持つ。百合の「悪魔のトリル」が人々を苦しめた。

■ハチ怪人

渋谷・原宿を死の街とすべく暗躍。さらった人間を蜂の巣状の異空間に閉じこめる能力を持つ。腹部からの針を武器にブラックと戦った。弱点は腹部。9話／187.2cm／69kg。

◀ばらまいたペンダントにはハチの卵が入っており、幼虫に刺されると即死する。

■トカゲ怪人

ゴルゴムのテロリスト部隊養成計画をサポートすべく暗躍。誘拐時に使用する偽救急車の警護要員や陽動が主任務。部隊に潜入していた光太郎＝ブラックと戦った。10話／221.5cm／107kg。

▲テロリスト部隊。

◀巨大な尻尾は、攻撃を受けてもすぐ再生する。頭部が弱点である。

■サボテン怪人

怪人達の食料“ゴルゴメスの実”を人間の身体で、繁殖させようとするが失敗。この戦いでゴルゴムは大量の怪人を凍結せざるを得なくなった。弱点は水。11話／203.2cm／73kg。

◀針で覆われた外皮にはバンチも通用しなかった。胴から飛ぶ針と敵を絡め取るツタを武器にブラックと戦う。

■カミキリ怪人

11話で凍結後、コウモリ怪人と協力して、大門明博士からロードセクターを奪い返すべく12話に登場。ブラックのマルチアイで弱点の頭部を見抜かれた。206.3cm／81kg。

▲大門の息子輝一を誘拐、ロードセクターとの交換を迫った。二本の触覚を取り外し、鞭のように使用して戦う。胸のハサミも強力な武器である。

■カニ怪人

出産を終えたばかりの女性を誘拐し、自分達の卵の養育係にしようと企む。口から吐く溶解液で、ブラックを一度は破った。弱点は火。11、13話／199.5cm／112kg。

◀新たなライダーパンチはこの中枢破壊のために、特訓を重ね生み出されたもの。

■マンモス怪人

一度はブラックに敗れるが、黒松特製のタウリンエキスでパワーアップ。タウリンを大量生産すべく、それを多く含むマグロを強奪した。11、14話／230.8cm／238kg。

◀鼻から発するつらら状の槍はブラックを釘付けにした。また口から吐く冷凍ガスは、周囲のものを冷凍する。

■イワガメ怪人

眼から発する怪光線で心の暗黒面を引き出して、狂暴化させる。その能力を使い、小学校を混乱。普段はイワガメに化けている。弱点は眼。15話／220.8～283.8cm／196kg。

◀手足をひっこめてブラックの攻撃をかわし、体当たりや火炎攻撃であいつめる。

■ハサミムシ怪人

両手を交差して破壊光線を発する。光線を増幅させる“ウルトラクォーツ”を狙い、首都圏に群発地震を起こそうと画策する。16話／204.9cm／82kg。

▲両刃のハサミによりブラックを攻撃。しかし、ブラックと滝の連携技“リュウシュード”で剣を切り落とされ敗北する。

■バク怪人

人の夢に入り込み相手の意識を操り、かわりにその生命力を奪う能力を持つ。杏子の夢に入り、その生命力を奪う事でシャドームーンを蘇らせようとした。17話／209.6cm／92kg。

▲瞬間移動や口から吐く火炎攻撃を得意とする（上）。夢の中では、ブラックを翻弄した（下）。

●「君は今日までたった一人で戦ってきた。悲劇の者に、人間の自由と平和の者に…。だが君は、決して一人ぼっちじゃない。共に戦うものは、ここにもいる!!」（滝竜介／BLACK 16話）

www.thai-toku.com

剣聖ビルゲニア

"剣聖"と呼ばれる剣の名手。その横暴ぶりが創世王の怒りを買い封印されていたが、度重なるブラックの作戦妨害対策として、創世王の命令により大神官が復活させた。武器はビルセイバー（剣）とビルテクター（盾）。18～23、25～35話。

▲光太郎と信彦同様日蝕の夜に生まれながら、時期が合わなかったため世紀王の資格がないため光太郎やシャドームーンをライバル視している。跨るマシンはヘルシューター。RSコンピューターを内蔵し、ロードセクターと同等の性能を持つ。25話、体調が戻ると同時に顔が白色に。

▶ビルセイバーを使ったダークストーム、サタンサーベルとの併用でサタンクロスと様々な剣技を見せる。変装も得意だ。

オニザル怪人

失敗続きで処刑寸前の黒松教授に化けたビルゲニアと共謀し、光太郎を罠にはめる作戦に参加。コウモリ怪人と共にサポート。人間への変身能力も持つ。19話／194.3cm／78kg。

▲両手から繰り出す攻撃は長い指を生かした攻撃である。また高速移動により敵を翻弄し、ジャンプ力を活かした空中殺法を得意とする。しかし、ブラックのライダーセンサーに動きを読まれた。

クロネコ怪人

三神官と反目したビルゲニアの尖兵として出現。光太郎を大エジプト展におびき寄せ、挑むが敗れ、ビルゲニアの捨駒に。18話／191.1cm／66kg。

◀俊敏な動きと目から発する怪光線で攻撃を挑むも、ライダーチョップを頭部の膝に打ち込まれて敗北した。

▶不動産会社社長花輪園子に化ける。異次元空間は発火性の花粉の充満した世界で変身すると大爆発する。バトルホッパーも捕らえた。

アネモネ怪人

多年草の女性怪人。少女ユカリの家に作った異次元に光太郎を誘い込み、ブラックへの変身を封じるが、ダロムのミスにより敗北。20話／212.1cm／55kg。

▼分身のクローン虫は、バッタに寄生してその精神を錯乱させる能力を持つ。

タマムシ怪人

バトルホッパーを錯乱、ブラックを襲わせるよう仕向けた。ビシュムのミサイル作戦を援護する。後頭部から伸びる羽で空を飛ぶ。弱点は羽の付け根。21話／208.4cm／85kg。

www.thai-to...m

ツルギバチ怪人

ハチ怪人とは同族で、その敵打ちのためにブラック打倒に執念を燃やしている。また右腕は剣になっていて、異次元での戦いでその威力をみせた。22話。198.4cm／72kg。

◀ソーラービームキャノン作戦の一翼を担う。口からはく泡はブラックを失明に追い込むほどの威力を持つ。

アンモナイト怪人

超能力と闘争本能を司る二つの脳を持ち、片方が欠けると、残った能力は二倍のパワーを見せる。念動力で街中の物体を操り混乱に陥れた。23話／230.7cm／128kg。

▲超能力の脳のみでは、少年のペット"マルモ"と名付けられ、おとなしい性格となる。

▲ブラックによって落とされた超能力の脳の変わりに鉄仮面をつけた。

カメレオン怪人

擬態能力を活かし子供を誘拐。ゴルゴム神への生贄にしようとした。その手口は、水晶玉に閉じこめたり、バス運転手に化けての大量誘拐等である。劇1／213.6cm／93kg。

▲変幻自在の舌と体を丸めて転がり攻撃とする。その威力はブラックを吹き飛ばす程である。

▲分裂して戦ううち4体はライダーパンチで、1体はライダーキックで倒された。

ゴルゴム神の像

顔が太陽に向いたとき、生贄にささげられた人間を怪人にする能力を持つ。だが三神官の真の目的は、実は子供を助けに来るブラックを捕らえることと、そして最強怪人への再改造が本当の目的だったのだ。劇1。

シーラカンス怪人

克美の通う大学の高山教授の正体。ゴルゴムの女戦士大量生産計画にアンドロイドと共に従事し、素体となる女子大生を連続誘拐。電流攻撃等が得意。24話／202.9cm／89kg。

▲ダロムから与えられる薬でかろうじて人間体を保っている。ブラックとの戦闘時には、全身からの放電、落雷、エネルギー光球化攻撃などを行った。

カマキリ怪人

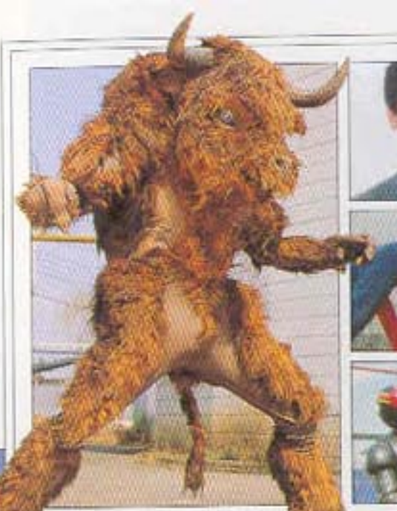
失敗したデスランナーに変わるヘルシューター開発計画に乗り出したビルゲニアを援護するため、大門博士の弟子、江上技師を誘拐した。残忍な性格。25話／205.7cm／74kg。

◀両手の鎌を使った格闘術と目からの破壊光線。溶解光線が最大の武器。体はロードセクターの体当りにも耐えられるくらい硬い。

テストロイド・デスランナー

ロードセクター打倒のため、三神官が、開発者大門洋一博士の記憶データを元に作り上げた新マシン・デスランナー。そのテストドライバーとなったアンドロイドである。25話。

●「私は自分の運命を嘆いているのですよ。同じ日食の日に生まれながら、三万年早く生まれたばかりに、世紀王の資格がないのですからね」（ビルゲニア／BLACK 13話）



◀人間に擬態し、麻美に近付いた。また人間を軽々に投げるほどの怪力や、鋭い角による突進攻撃などの力技を誇る反面、ドロップキックを使うなど意外な敏捷性をもっている。

■バッファロー怪人

負けず嫌いの少女麻美に近づき、その体と精神を乗っ取り悪事を働かせ、大人社会の常識を覆す作戦を実行。人間に手出しできない光太郎を苦戦させた。26話／229.5cm／190kg。

■イラガ怪人

様々なエネルギーに反応して爆発する繭を作る能力で人間社会を混乱させる。さらには光太郎を繭の地雷原におびき出し変身不能に陥れた。11、27話／196.5cm／73kg。

▲爆弾繭はブラックへの変身エネルギーにも反応する。これ以外にも、凄力で形成されるトゲを飛ばすなどの技を持っている。この他、壁を登ることも可能。

▲つがいで飼うと黄金の巣を作るオオガネムシを分身として持つ。"金粉の舞"は、敵の皮膚呼吸を封じるもので、リプラスフォームにも効果をあげた。

■コガネムシ怪人

黄金を産むオオガネムシで人間達の欲望を煽り、社会を混乱させた。両腕の鋭利な鈎爪も武器として使用する。最後はライダーパンチの前に散った。28話／197cm／77kg。

■アルマジロ怪人

口から吐く泡で、記憶や感情すら複製したコピー人間を作り出す能力を持つ。この力で、日本人初の宇宙飛行士のコピーを作り、NASAの宇宙開発計画の破壊を画策。ビルゲニアに反抗しつつ作戦を行うが、ライダーキックの前に敗れた。29話。

▼守るときも責めるときも、丸まって体当たり仕掛ける弾丸攻撃などが得意で、その鍵になっているのは非常に硬い外皮である。

■イカ怪人

ハワイ出現の少女ラナが持つバッタ退治の超能力を悪用してブラックを倒そうとする。一度は光太郎を記憶喪失に至らしめたが、リュウシュートを機に記憶を戻したブラックの逆襲に敗北。30話／236.6cm／100kg。

▶長い触手で敵をからめとり、両眼から発する紫色の破壊光線で攻撃。逆転時は擬態をはく。

■ヤマアラシ怪人

ニューゴルゴム少年戦士育成にあたり、天才プログラマー拓次と共に、TVゲーム画面から発する物質転換エネルギーを使っての人間誘拐計画を展開。さらにバスの運転手に化け、作戦を完全なものとしようと画策する。31話。

▲遺子空間内では消えたり磁気信号と化して自由に動き回ることができる。全身から棘を飛ばす能力を駆使し、ブラックも苦しめられた。

www.thai-toku.com

▲幻覚世界にてブラックと対決。キノコ爆弾と土中からのゲリラ攻撃、巨大キノコの胞子（ブラックの機能を損なわせる）やガス、と多彩な技でブラックを苦しめた。

■キノコ怪人

食べると人間性を失うキノコエキスと記憶を消去する胞子を使い、子供をゴルゴムの尖兵にしようと行動。ビシュムと共同し、少女ユキで光太郎をワナにかけた。32話／193.8cm／62kg。

■ケラ怪人

シャドームーン復活で揺れる克美を利用すべく、夕張にて彼女を誘拐。洗脳して、幼稚園バス襲撃を行わせ、ブラック攻撃の尖兵とさせる作戦を展開。ライダーキックに敗れる。37話。

◀口から吐くあい糸状の粘液や揮発性の高い麻酔泡"鎌状の巨大な手が攻撃の軸だが、強い光には弱い。

■ムカデ怪人

ビデオアイドル"大井裕子"に化け、目から発する特殊光線で人間達を洗脳。社会混乱を引き起こさせた。俊敏前進ながらも俊敏に動き回る。39話／207.8cm／88kg。

▲"大井裕子"時に放つ洗脳光線は、一度は光太郎ですら虜にしてしまうが、バトルホッパーの活躍により難を逃れる。またこの光線は破壊光線としても高い能力を持つ。

■ベニザケ怪人

五万年も世界中の海流をさまよう中で、水流を操る能力を得た鮭の怪人。コンビナートの工業廃液を逆流させて河川の生態系を破壊しようとする。33話／227.2cm／106kg。

◀手から出す粘液で敵の動きを封じ、鋭く尖ったキバやカミソリ状のヒレで攻撃を仕掛ける。自らの巣である地底湖で戦った時は、ブラックも苦戦を強いられた。

▼角と爪を武器に高速で敵を攻める。鼠を人間に化けさせ操る能力もある。

■ネズミ怪人

ゴルゴムが支配する政党"EP党"の陰謀に気付かれまいと、党へのレジスタンスグループを潰すべく、岸本青年に化けて潜入。内部からの崩壊を企む。38話／185.9cm／641kg。

◀半透明状態となることが可能。そのまま獲物に近付き、長い舌でからめとって、一口で人間を呑み込むことが出来る。

◀また舌からは、火花状の溶解液を発射することもできる。

■サンショウウオ怪人

シャドームーンによるゴルゴム帝国建造のため、文明社会の重要施設を破壊する命を受けて出撃。一部の施設を壊滅に追い込んだ。その戦闘能力は極めて高く、特に水中ではブラックは手も足もでない状態だった。40話。

MASKED RIDER BLACK

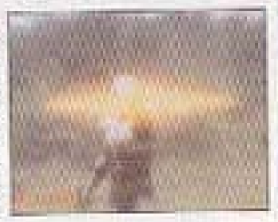
シャドームーン

改造手術時のトラブルで復活が遅れていたが、三神官の天、海、地の石の力で降誕。ブラックの宿命の敵として立ちはだかる。体内に宿すキングストーンは「月の石」で、創世王継承の為、光太郎の持つ「太陽の石」を付け狙う。信彦の記憶も残しているものの、心は完全に世紀王となっており、冷徹な作戦を繰り返す。最後はブラックに呪いの言葉を残し、ゴルゴム神殿崩壊後行方知れずに（声：寺杣昌紀）。1～3、17、34～51話。197.4cm／90kg。

秋月信彦

東都大学理工学部二年生で考古学者秋月総一郎の息子。光太郎とは兄弟同様に育った親友同士。光太郎同じ日に生まれ、ゴルゴムの世紀王となることが運命付けられた。19歳の誕生日に南光太郎と共にゴルゴムに誘拐され、世紀王シャドームーンに改造されるが逃げ遅れ、カプセルの中で眠っていた。

シャドービーム



▶指から発せられる破壊光線。キングストーンがエネルギー源になっている。

シャドーキック

◀ライダーキックと同じ能力を持っている。ブラックと違い両足を揃えて放つ強力な技である。

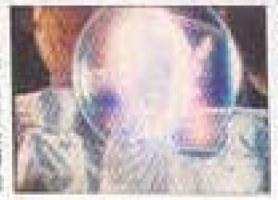
サタンサーベル

◀次期創世王候補にしか操れない剣。シャドームーンの主武器となる。ゴルゴム壊滅と共に消滅。

◀夕張の地で、相まみえる二人。ブラックは、シャドームーンが信彦であることから、思うように攻撃することが出来なかった……。結果、後に訪れる自らの死を招くことにもなった。

▲サタンサーベルをシャドームーンに取り上げられたビルゲニア。しかし彼のビルセイバーではかなうはずもなく、世紀王復活を告げるかのようにシャドームーンに一刀両断されてしまった。

▼シャドームーンは、その野望を形にするために親友だったブラックをも手に掛けるのであった……



▶生命維持装置内では、ブラック同様バッタ男のような形状だった。

▶ブラックを、世紀王・専用マシンバトルホッパーの力で倒そうとした。

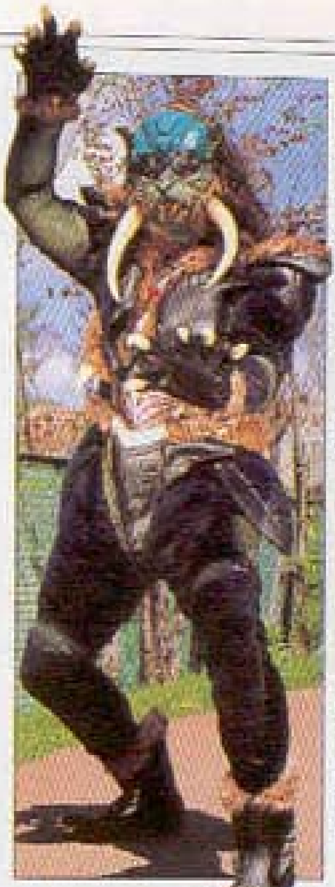
侍女マーラ ／ 侍女カーラ

シャドームーンが復活時に招喚した侍女怪人。前線に出ることはなかったが、神殿ではシャドームーンの側に寄り添うように追従する。最後はゴルゴム壊滅と共に、神殿の瓦礫の下敷きとなって消えた。

大怪人ダロム

"天の石" をシャドームーンに捧げた大神官ダロム、本来の姿。三葉虫の能力を持つ。ゴルゴムの日本奪取後、コウモリ怪人を従えゴルゴム帝国樹立のため破壊活動を行った（声：飯塚昭三）。

▶以前の念動力は健在で、加えて両手や触覚から放つ破壊光線なども使うようになった。36～49話に登場。



大怪人バラオム

シャドームーン復活に "海の石" を捧げた大神官バラオム本来の姿。サーベルタイガーの能力を持つ。文明社会を破壊したあと汚染物質を海に捨てる計画をたてた為クジラ怪人に裏切られ敗北（声：高橋利道）。36～46話。

◀手のひらからのショックビームは破壊力を増し、2色の破壊光線になった。

▶キバをサーベルのように使うほか、ツメや怪力を活かした格闘術も見せた。

▲竜巻を起こす能力でブラックを苦しめる。大神官の時にあった眼から放つ灼熱光球も使用。最期はブラックを自分ごとシャドービームで貫かせようとするが、シャドームーンの心変わりで自滅した。

大怪人ビシュム

シャドームーン復活に "地の石" を捧げたため、エネルギーを失った大神官ビシュム本来の姿。翼竜の能力を持つ。その最終目的は、シャドームーンにとりいって次期創世王妃の座につくことだった（声：好井ひとみ）。36～45話。

▼人間への変身能力がある。本体の時は長いムチを武器として戦う。

コブラ怪人

戦国時代の雑兵（右写真中央）に時間の流れを操るマシンを使わせて、現代社会から時間を奪う作戦を展開。彼らの行動を監視していた。41話。

ツノザメ怪人

"夕張征服計画" の実行要員。帝国建設の邪魔者を抹殺及び、U-BAROTの建造者牧野博士奪回が任務。劇2、11話。210.6cm／91kg。

▶怪力とカッターブーメランを武器とする。

◀鋭い歯を持ち、おられてもすぐ復活する。

亡霊怪人軍団

ツルギバチ、オオワシ、シーラカンス、サイ、ヤギ、イワガメ、アンモナイト、カマキリ、アネモネ、ノミ怪人により構成。シャドーフラッシュによって霊界に放り込まれたブラックをまちかまえていた。実体を持たないので霊界の中でしか戦えない。

U-BAROT

夕張に築こうとしたゴルゴム帝国の守護神にしようとしていた巨大ロボット。稼動前にブラックに怪人岩こと破壊されてしまう。

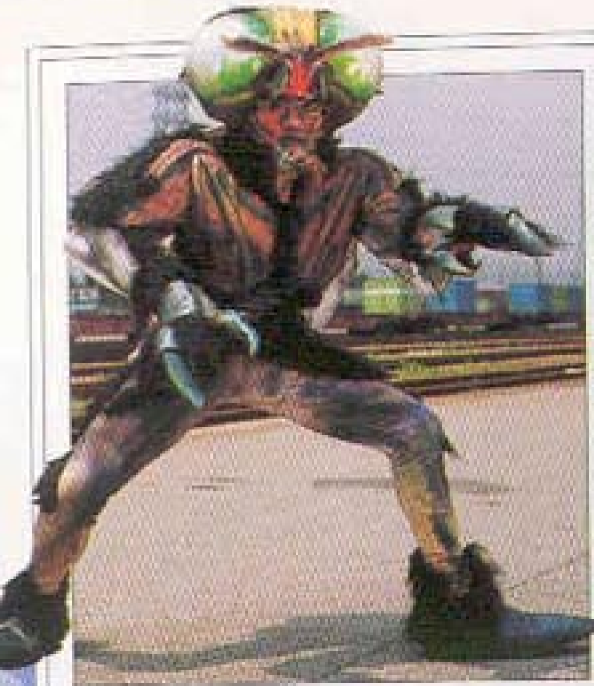
ゴルゴム戦闘員

ゴルゴムの帝国都市を夕張に建設するため暗躍。全身がヘルメットなどで覆われているので人間か怪人か、その正体は不明。

ゴルゴムのジープ

建造中のゴルゴム帝国を見張るべく巡回する監視用ジープ。二種類ある。ロードセクターと激突するが敗北する。

●「夕張市を占せよ!」まず手始めに、人間共にゴルゴムの存在を知らせ、ゴルゴムの恐ろしさを見せ付けるのだ!! 行け!!」（シャドームーン／BLACK 36話）



▶飛行能力を生かした攻撃で光太郎を苦しめた。口から吐く溶解液が武器である。

■ハエ怪人

霊媒能力をもっており、霊能力を持った神野ユウキに憑依し、亡霊怪人達を復活。東京に攻撃をしかけた。ユウキ少年（写真左上）に分離された所をブラックに反撃されて敗れた。42話。

■亡霊怪人軍団

ハエ怪人によって復活した亡霊怪人。実体をもたないのでブラックの攻撃は全く通じない。各々の能力は以前と同じようである。ユウキが分離することで消滅した。42話。

▲クモ怪人、カミキリ怪人、クワゴ怪人、サイ怪人、シーラカンス怪人、ベニザケ怪人、イラガ怪人、キノコ怪人、ネズミ怪人が復活。

■クジラ怪人

海を破壊するバラオムの作戦への不満分子として処刑されかかったところをブラックに助けられた。以後ブラックに協力するが、最終決戦を前に処刑される。46、48～50話（声：依田英助）。

▼裏切った後は海の洞窟に隠れていた。そして一族に伝わる"命のエキス"で、瀕死のブラックを蘇生させた。48話。

▲頭部から発する粘液は非常に強力で、大怪人ですら捕まったら動けなくなってしまう。

▲水陸どちらでも高速で移動する。頭からとばすトゲと、爆弾になるウロコが武器。また怪力を活かした格闘術も得意である。

■創世王

ゴルゴムの支配者。太陽黒点に自らの死期を見いだし、後継者を欲して出現。地球を破壊しうるパワーを持つ。敗北したシャドームーンを冷淡にも見捨てて、ブラックへ王位継承を強要。だがブラックの答えは……。50～51話。（声：渡部猛）

▲その防壁はロードセクターですら破れず、サタンサーベルしか倒す方法が無い（右）。尚46話以降は台詞で登場。他に34話等イメージにのみ現れている。

■クワガタ怪人

ハイテクマンションの管理人に化け、住民を操り地下の怪人牧場"ゴルゴムコロニー"で生命エネルギーを吸い取る作戦を展開した。最後は自爆するコロニーと共に爆散。43話。

▲巨大アゴと鋭い爪が最大の武器である。アゴを攻撃されると弱体化してしまう。

■トゲウオ怪人

最後の怪人。食料不足で眠らされたが、脱走怪人の粛清のため復活。クジラ怪人を殺すが、バトルホッパーを失い怒りに燃えるブラックのライダーキックを受け敗北。50、51話の他11、12話／221cm／91kg

■脱走怪人

ブラックの進行にゴルゴム全滅を予感し、おびえてゴルゴムから逃げ出そうとした怪人達。トゲウオ怪人に皆殺しにされてしまった。

www.thai-toku.com

COLUMN 13

世界を駆ける"ライダー"

仮面ライダーの使命は日本のみを護る事ではない。世界ではびこる悪、それら全てがライダーの敵なのだ。ここでは映像媒体から得られた実例を元に、各ライダー達が何処で戦っていたのか、地名が言及されたエピソードを参考に列挙していこう。

まず1号はヨーロッパへ遠征（第1作14話）→スイス（第1作40話）→アフリカ（第1作49話）→オーストラリア（『V3』20、21話、劇場、33話）→ニューヨーク（『X』劇場）→アメリカ（『ストロンガー』38話）→メキシコ（『仮面ライダー（新）』54話）。

2号がブラジルなど南米をはじめとして（第1作72、93話）→オーストラリア（『V3』20、21話、劇場）→アメリカ（『V3』33話）→パリ（『X』劇場）→インド（『ストロンガー』38話）→アマゾン（『仮面ライダー（新）』36話）→ポリネシア（『仮面ライダー（新）』39話）→アラスカ（『仮面ライダー（新）』53話）。

次いでV3はモスクワ（『X』劇場）→エジプト（『ストロンガー』35話）→ヨーロッパ（『ジャッカーVSゴレンジャー』※下図版参照）→カナダ（推定・『仮面ライダー（新）』23話）→ボルネオ（『仮面ライダー（新）』34話）→ギリシャ（『仮面ライダー（新）』54話）。

ライダーマンはタヒチ（『X』劇場）→ギリシャ（『ストロンガー』37話）→ニューヨーク（『仮面ライダー（新）』33話）→南アフリカ（『仮面ライダー（新）』54話）。

Xがスペイン（『ストロンガー』36話）→エジプト（『仮面ライダー（新）』54話）。

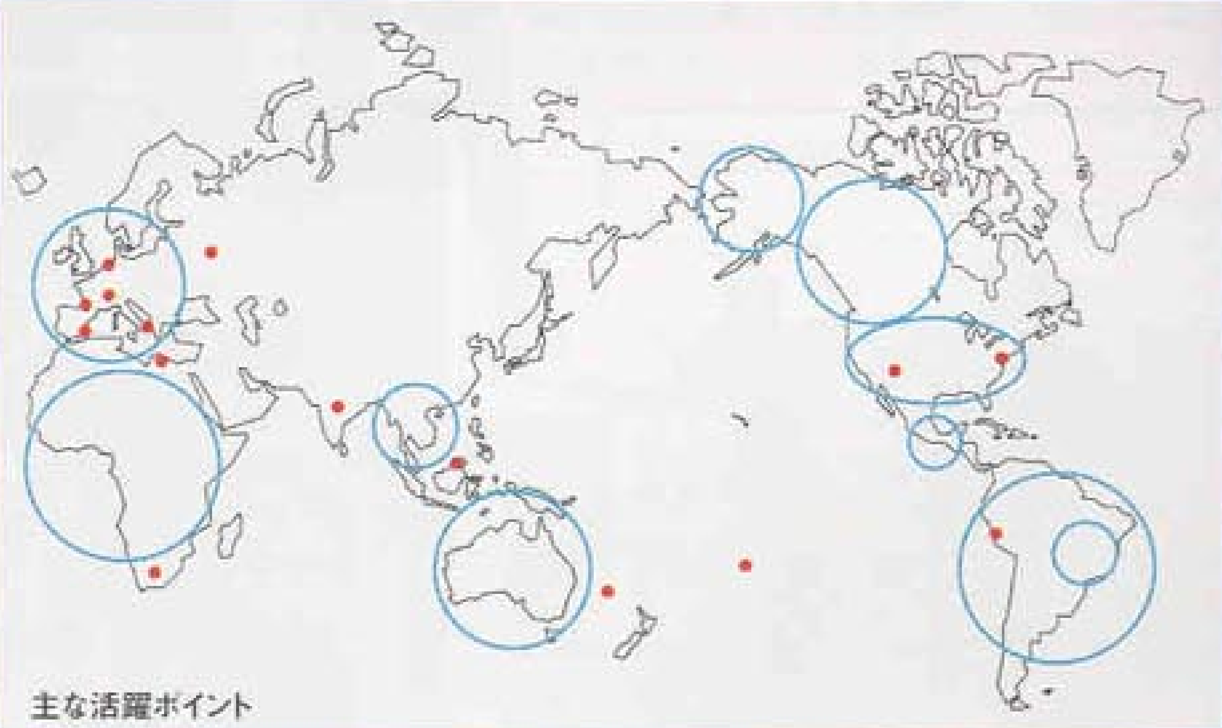
アマゾンはアマゾン（『ストロンガー』36話、『ジャッカーVS～』、『仮面ライダー（新）』30話）→ペルー（『仮面ライダー（新）』54話）。

ストロンガーが東南アジア（『仮面ライダー（新）』21話）。以後のスカイライダーとスーパー1、ZXの3人は個別の言及が無い。これらに加えて10人ライダーはアリゾナにいる1号の元へ参集した（『RX』41～43話）。

この他にも"仮面ライダー"に酷似した戦士達に関する報告が確認されている。まず、死神博士に似た大幹部は女性を想わせる怪人・千面女王へ変貌。地獄大使のような高官もガラガランダ然とした怪人と別個に作戦を進めた。更に1号～Xライダーまでの5人ライダーが古代ミケーネ帝国の武将に似た巨人と戦闘。この時の1号と2号ライダーはいずれも現地の風習に則したものか、マフラーを一様に黄色く染めていた。またライダーマンも実は女性だったのでないか？　という証言も別所で残されている（台湾にて公開された『閃電騎士』シリーズ）。こうした目撃例は地球上に留まらず、ここ5年程前に関係者の間で俎上に上がった件では、異星においてRXと全く同じ姿に変身する青年が、聖なる賢人の遣わした地球の「スーパー戦隊」との接触を経てアメリカに来訪。やはりクライシス帝国に似た悪の一党と戦ったらしい。侵略者の中にはドラスやクモ女、ハチ女らフォッグマザーの怪人達もいた他、クライシス皇帝を想起させる怪物は敵組織の支配者でなく地球の核に潜む超存在だったと見聞される（アメリカで放送された『MASKED RIDER』）。

▲77年公開「ジャッカー電撃隊VS秘密戦隊ゴレンジャー」より。鯨井長官からジャッカーへ、V3やアマゾン、キカイダーの活躍が伝えられる。

▲V3は犯罪組織クライム鉄面党と戦闘。アマゾンが交戦中という十面鬼は復活した姿か？　それとも本作は「アマゾン」と並行した新開軸？



主な活躍ポイント

1988 仮面ライダーBLACK RX

TV
1988年10月23日〜89年9月24日
日曜10時〜　MBS・TBS系　全47話

好評につき前作『BLACK』の倉田てつをが連続主演。原点回帰のシリアスな前作とは徹底的な差別化を施し、作風・人物設定共に明朗快活、ライダーはキックならぬ剣を必殺技として用い、車に乗り三段変身まで遂げる。賑やかなレギュラー達、地球と隣合せの異次元・怪魔界からの侵攻を主題に、敵側世界にもファンタジー風意匠を凝らした善悪キャラを多数配置する前例のない世界観は、前作以上にマニア間に賛否両論を巻き起こした。

MASKED RIDER BLACK RX

ゴルゴムとの戦い終結から半年、平和を取り戻した地球に突如、怪魔界のクライシス帝国が侵攻、帝国の印たる光る３本の杭を各所に出現させ怪現象を惹起した。同時にクライシスのジャーク将軍と四大隊長は地球一の勇者・南光太郎をクライス要塞に招請し今迄の２倍の力の授与と代償に尖兵にせんとする。応ずる筈もない光太郎。変身機能を破壊し宇宙の塵とする処刑が執行された時、神秘なる太陽光線の生命エネルギーが光太郎を、ベルト部に埋込まれたキングストーンを包む。地球に落下し爆煙の跡から姿を現したのは新生なった光の王子、"太陽の子"仮面ライダーブラック ＲＸだった！　帝国とＲＸの戦いが今、始まる！帝国は地球攻略に四大隊長の率いる様々な軍団員を投入。戦いの中、光太郎は様々な経験を積む。怪魔界で圧制に苦しむ人々の存在、亡命者にゲリラ、ロボライダーやバイオライダーへの変身、霞のジョーや的場響子、白鳥玲子の加勢等々……。ダスマダー大佐登場と並行して、滅亡迫る帝国の最終目的たる50億の民の移民という帝国の目的が表面化。地球人の奴隷・食料化、地球と怪魔界との次元転換やゲートの開放、地球環境改造、環境適応用強化細胞、移民第一陣や移民団収容地確保の作戦阻止を巡って攻防を展開する。戦いは激しさを増し、最後には世界各地から駆けつけた10人ライダーも参戦、地球とクライシス帝国は最終決戦の時を迎えた！

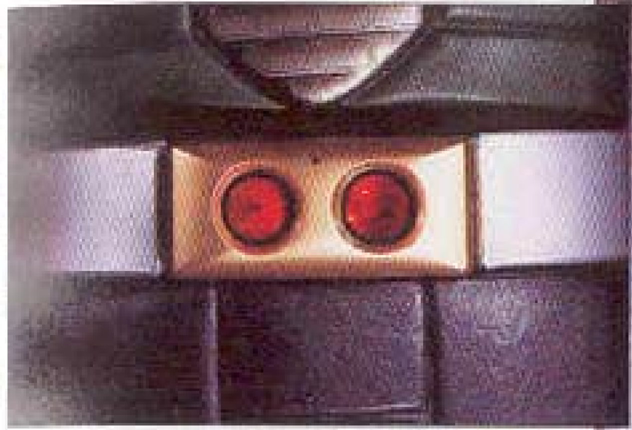
仮面ライダーBLACK RX

太陽光線の神秘なる力で復活再生したRX。その活力の源は腹部に埋設された従来のキングストーンエネルギーと太陽光線の生命エネルギーの融合たるハイブリッドエネルギーだ。これにより、彼自身も知らない力が危機に応じて発現した。

198.8cm／88kg／ジャンプ力：60m／水中活動時間：30分／走力時速：315km/h

◀腹部に埋蔵されたキングストーン。本作では前作の[illegible]を持って光太郎を導く[illegible]身の謎ともなった。それは[illegible]頭部より[illegible]、頭部に煌めく光として[illegible]話と16話に出現。光太郎に啓示として地球の[illegible]の使命や特殊能力の由来、そして[illegible]に生きる時間を避けんと願うなら、特殊能力の[illegible]な[illegible]を成めるよう人生における[illegible]の示針や[illegible]を与えた。

▲巨大な複眼がマクロアイ。触角はソーラーレーダー。頭部前面の両眼を区切る銀のラインがサイコインジケーター。左腕のブレスレットはリストビットで、テレパシーを増幅し2大マシンを召喚する。



▶ベルト部のサンライザーはエネルギーを全身供給。腹部パネルはサンバスクで太陽光線を吸収蓄積。ダスマダーは怪魔コンピューターの分析で弱点を狙った。

▲奇襲体技もさりながらＲＸは動作・ポーズ、屈しつつ片手で地を叩き跳躍を為げてのジャンプ、キック直前の空中逆回転等、静謐なるアクションを見せる。

▶ＲＸのスタイルは頭部と背面に至る首回りが特徴だ。背面に限らず全身を覆うＲＸフォームは黒と緑の強化皮膚だ。

● 「俺は太陽の子！　この世の全て、生きるもの全てを守る！　仮面ライダーブラックＲＸ!!」（ＲＸ／ＲＸ 2話）

RXキック

ブラックの2倍に達する60mのジャンプ力と3倍の破壊力を以て両足で繰り出される。リボルケインによるトドメの前に使用される。

キングストーンフラッシュ

腹部のキングストーンがベルトを介し発光。40話では幽霊に化けた戦闘員チャップの正体を暴露。逆に42話のゲドルリドルはこのエネルギーをも吸収した。

リボルケイン

変身ベルト・サンライザーに手をかざすと左風車部分より出現する光の剣リボルケイン。敵に突き刺すリボルクラッシュがＲＸの必殺技だ。

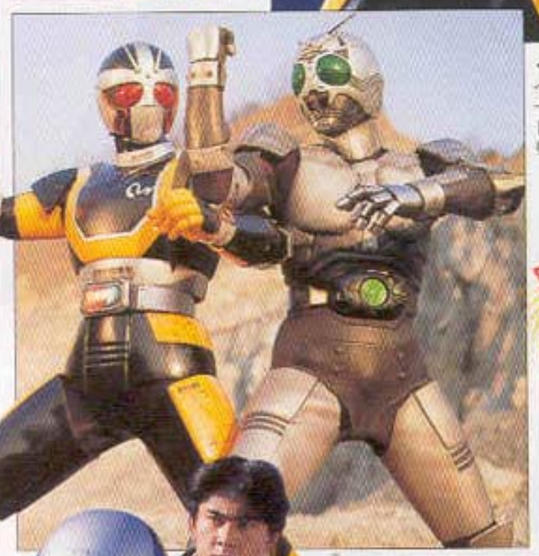
■ロボライダー

凶刃に倒れた佐原家長女ひとみの亡骸を抱えＲＸは悲しみの絶叫をあげた。それがＲＸの再成能力を発動、悲しみの王子ロボライダーに転生させた！　パンチ・キック力はＲＸの1.2倍。俊敏さにやや劣る。強固な装甲で高熱に強く、25話より炎の王子と改称。15話より登場。198.8cm／88kg／ジャンプ力：40m／水中活動時間：90分。

■ボルティックシューター

胸で構えた右手に光が出現。右大腿に降ろすと実体化する（途中から右大腿で即実体化）。金色光弾を放つ早射ち技ハードショットがロボライダーの必殺技だ！

◀両眼のビスタアイ、触角メタルレーダー、額のビートインジケーターも動員して戦う！



変身！

奇跡の初変身以降、ＲＸは自力でロボライダーに変身可能となった。光太郎から直接ロボライダーに瞬間変身・瞬間解除で敵の攻撃を欺いた事もある。

■南光太郎

光太郎は叔父にして佐原家の婿養子の俊吉と再会、佐原航空のヘリコプターのパイロットとなった。下宿先の佐原の子供達にも慕われ、賑やかだが幸せな家庭生活を明るく暮らす。光太郎は人としてささやかに生活する事を願っていたが、運命がヒーローを再召喚、地球と怪魔界ふたつの世界の救世主として戦場に舞戻る。前作より余裕を持ち敵をも翻弄する度量も度々見せた。尚、俊吉と再会した頃の光太郎は憔悴しきっていたと言う。

▲ヘリのパイロットとして第二の人生を送る光太郎。その腕は一級だ。

▲佐原家で見せた前作にないひょうきんな一面が、光太郎に新たな魅力を付加する。

■バイオライダー

友の処刑が迫るも地下1000mの牢獄から脱出できない怒りの叫びが奇跡を起こし、RXは怒りの王子バイオライダーに変身！　水晶の輝きを持つ水と化し、瞬時に隙間を這い上がった。俊敏軽快な攻撃が得意。特殊ボディは弾丸も素通りする。反面、防御や火炎にやや弱い。17話より登場。198.8cm／88kg／ジャンプ力：72m／水中活動時間：無限。

■バイオブレード

▲ベルト部に両手を構え、左腰から抜刀仕種を行うと光が実体化、剣となる。波動斬りスパークカッターで多数の敵を斬った。

■液化攻撃

▲液化して宙を舞うバイオアタック。潜入や敵の拘束からの離脱にも役立った。

▲体内で毒素の抗体も生成。通常許されないが特例で人間との細胞融合、ミクロ化、飛翔化等数々の秘技を持つ。

▶両眼がフレックスアイ、触角はアクアレーダー、額がルミナスインジケーターで、戦場での感覚を研ぎ澄ます。特に水中でその能力は全開される。

変身！

ＲＸが念じる事でバイオライダーに変身！　戦友・的場響子が湧かす命の水を浴び、光太郎から直接変身した事もある。

変身！

ＲＸへの変身直後に見せる全身発光はエネルギーが漲った証。緊急時にはポーズをとらない瞬間変身が可能。初期は太陽光が射さない場所では変身不能だったようだが後に可能となる。

◀クライシス帝国の徹底分析で開発された、ブラックへの変身機能を停止させる強力ビームを、怪魔妖族スカル魔に浴びせられる光太郎。

▶前作の太陽の石キングストーンは、本作では光太郎を導く彼自身の魂という新設定に発展昇華した。ＲＸ初陣後に初めてその姿を現す。

●「俺はこのまま、ヘリコプターのパイロットで人生を送ろうと思ってたんだ」（南光太郎／ＲＸ　１話）

www.thai-toku.com

アクロバッター

光機動生命体。1話で陽光に包まれた光太郎の腹部より光線が照射され、前作で大破したバトルホッパーが再生進化した。人語を喋りRXの危機に駆付ける。ソーラジルコン製装甲。最高時速:750km/h／最高出力：512馬力。

◀ウィリー走行攻撃、体当り技アクロバットバーンはじめジャンプ力90mのパワーで以て、スカル魔やガテゾーンとのバイク合戦も見せた。

ロボイザー

アクロバッターが変形したマシン。RXのバイクの中では最速を誇る。その体当たりは重量級怪魔ロボットの片腕も粉砕。武装は後部のロケット砲、レーザービームなど。最高時速：800km/h／最高出力：550馬力。

▲尾翼部のロケット砲は、エンジンスターター押下により発射！

▶ロボライダーがアクロバッターに触れるとリストビットが反応、金色の輝きと共にロボイザーへと変形を遂げた。

マックジャバー

アクロバッターが変形したマシン。バイオライダー同様、敵の弾着を素通りさせ物理攻撃を無力化するボディ組成を持つ。水上・水中でも自由自在な走行性能を見せる。小回りを効かせた乱攻撃を得意とする。ジャンプ力は75mで連続ジャンプも可能。最高時速：700km/h／最高出力：510馬力。

◀初登場時のみ、アクロバッターから変形した。

▶俊敏な動きで敵に接近し、体当たり攻撃を仕掛ける。

ライドロン

重装騎マシン。高速で水上・水中・地中も走行しRXを助力。会話も可能だ。最高時速：1500km／最高出力：2000馬力。

▼体当り攻ライディングアローが得意。前部の鈎爪グランチャーは敵を挟み地中も駆進む。

▲15話では怪魔界にいるRXの呼びかけに応え、次元を超えた。

◀▲怪魔界のワールド博士が設計。光太郎が製作したが起動せず、前作のクジラ怪人の巨なる海の洞窟で登場した。

白鳥玲子

光太郎のガールフレンドでフリーカメラマン。取材として佐原航空の利用も度々行っている。明るくお転婆で、29話で被害撮影を光太郎に制止されるも職業倫理を語り高い意識も見せた。同話で霄子と共にRXの正体を知り、以降空手を取得し戦いに参加した。

◀取材過程で事件にも遭遇、光太郎の近親者として狙われた事もある。逆に弱を買って出る意時も見せた。

▶光太郎との明朗なデートも描かれ、佐原家とも頻繁に出入りするほど仲が良かった。愛用のカメラはミノルタアルファ7000。

的場響子

ダム所長の両親の遺志を継ぎ水を清かせ操る超能力と弓矢で加勢する中学生。RXの正体も知る。

ナナ子

佐原航空の食堂のウェイトレス。ナナちゃんが愛称。怪奇話で吾郎を驚かすお茶目な一面も見せた。

吾郎

佐原航空の食堂コック。愉快な性格だが、最終決戦では被災者救援、情報収集などライダーに協力。

速水刑事

光太郎を要注意人物として探る警視庁特捜課刑事・速水半人。奇妙な言動をするが善人の様だ。

霞のジョー

光太郎が怪魔界で出会った地球人。15話で登場しネックスティッカーの洗脳メカで対峙するも、以後は光太郎を兄貴と呼ぶ無二の親友となる。サイを武器に霞流拳法で戦う。改造され記憶消去の身。

セーラ

怪魔界レイカ族出身。恋人ジョーの影響でグリラとなり、地球に潜む同士のリストを携え次元を超えた。同士との共闘の為、日本を去る（21話）。

佐原一家

騒ぎ廻る兄妹にカカァ天下、戦後日本の平均的核家族の典型ともいえる佐原家。傷心の光太郎は賑やかな一家にいかに癒された事か。

佐原俊吉

家庭では頼りないが潜水時の敵の酸水を担当もした。最終決戦に赴く光太郎の覚悟に禅華所ちで帰還を誓う。佐原航空社長。

佐原唄子

パパや息子との明るい会話が絶えない母。家族がクライシスに狙われ子を守る立場から取乱し、光太郎に辛く当った事も。

佐原茂

真の強さを光太郎より教わり（6話）。17話でRXの正体を妹共々知る。また、両親を失った怒りからボルティックシューターを構えたことも（46話）。

佐原ひとみ

光太郎に当る母を諫める程の成長を中盤見せた。ガロニア姫事件では替え玉として、誘拐された事もある。

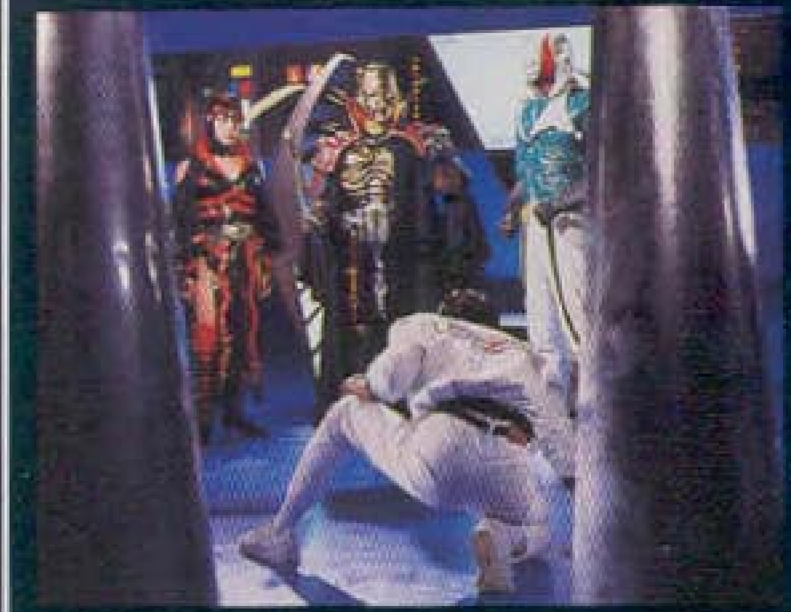
11人ライダー

世界各国でクライシスと戦っていた10人ライダーがアリゾナにある1号のアジトに集結（41話）。敵の日本総攻撃を予期し42、43話で猛特訓が描写され、44話で帰国参戦。以後、最終回に至る迄RXと共闘した。RXを含む、11人による協力技としては、グランザイラス戦で見せたパンチ攻撃がある。

◀グランザイラス・亡霊怪人・ジャークミドラと戦った。

◀▲RX救援時やアリゾナでの猛特訓では過去の得意技を見せた。ニセ1号ライダーとも戦った。

クライシス帝国



「地球にあって地球にない怪魔界」に千年前、クライシス皇帝が樹立した帝国。超科学・身分制・生産向上など様々な要因が重なり、湖川を枯らし荒涼たる世界とならしめ、怪魔界崩壊の危機が迫る中、日本を戦略基地に地球を支配し1年後の50億の民の移住を企む。地球攻撃兵団は最高司令官を筆頭に怪魔妖族・怪魔ロボット・怪魔獣人・怪魔異生獣の四大隊に組織され、地球侵略を敢行する。

▶光る3本の杭が帝国の版図の印。年に30日しか陽が射さない怪魔界も草木茂る世界だったと3話でワールドは語る。30話で昔各所にあった怪魔界との扉の先が伝説の桃源郷と判明。桃源郷の子孫の存在も確認された。

www.thai-toku.com

クライス要塞

地球攻撃兵団の戦闘母艦。地球・怪魔界・宇宙・怪魔空間を虚実移動する。ジャークはじめ四大隊長はここで指揮を執る。1話で緑色の転送ビームが光太郎を捕獲した。最終回では因縁のRXが単身潜入を果たす。

チャップ

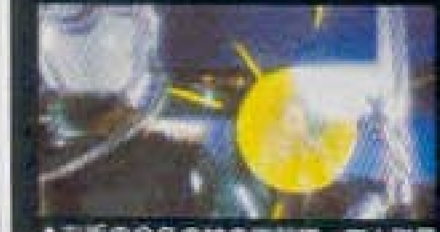
クライシス兵士で体色は黒・銀・銅の3種。親衛隊や本国にも兵士がいた。

ムーロン博士

要塞内で皇帝の細胞からガロニア姫を養育したが、事故死を隠匿する諜報参謀を尻目に将軍へ報告。

ジャーク将軍

地球攻撃兵団の最高司令官。純粋のクライシス人。冷酷な性格だが、癖者の四大隊長を威厳を以て統率しその内紛や抜駆け・反逆まで見抜きつつ、状況によって見逃しと処罰を与えた。ダスマダー査察官登場により、その地位を脅かされる。



▲右手の金色の杖の電撃で、四大隊長に24時間苦痛を与える罰も執行した。

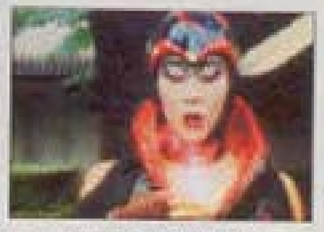
▲ジャークミドラにされながらも、最後は自らの身体に戻り、RXと対峙!

チャックラム

官房長ロボ。役職通り、要塞内部で浮遊しつつ、四大隊の行動を掌握して将軍に伝え、同時に将軍の諮問や意を下達する。地球侵略用のデータも入力済。反帝国軍ゲリラの亡命組織から地球での組織化を分析、報告した。

▲最後は顔に傷を受けた。ちなみにマリバロン率いる怪魔妖族は、クライシス人が修練して妖力を身に付けた怪魔戦士だ。

▲少女の母親の声を模したり、老女や妙齢の婦人、ユーコ、ミドリカワ等にも化けて人々を欺いた。



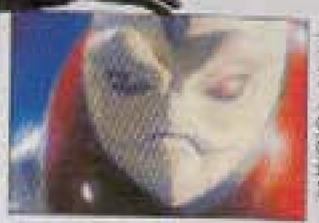
▲口や手から火炎を放射。頭部の羽根も手裏剣となる。主な武器は右手から繰出す赤い光線状の電磁ムチだ。

マリバロン

怪魔妖族大隊の長。諜報参謀。純粋のクライシス人。気高い性格。百種以上の呪術を会得。武によらず水制圧下の給水で市民を精神的に奴隷にせんとした事もある深謀家。

ボスガン

怪魔獣人大隊を率いる海兵隊長。純粋のクライシス人にして貴族、ナイトの位を持つ。誇り高くスマートな言動を執るが25、26話で将軍への忠誠の顔とは裏腹に密かに将軍の座を狙った抜目ない野心家でもある。



◀ボスガン操る怪魔獣人は、強靭なクライシス人の改造だ。

◀左腕の銃剣に加え怪魔剣・怪魔稲妻剣・星座落剣を駆使。

▲ボスガン指揮下のチャップ軍団分隊。占拠した村への侵入者を排除。37話。

「俺はあんたを兄貴分と決めた。これからはどこにでも付いていく!」(霞のジョー/RX 10話)

ガテゾーン

怪魔ロボット大隊を率いる機甲隊長。自身もロボットにして頭部は分離浮遊が可能。ニヒルな性格。銃の名手で必殺ガンを携帯、眼から熱線も放つ。

▲最後はボディーを相討ち・犠牲にRXと対決。ガテゾーン直属の怪魔ロボットは帝国の超科学で造られた。重武装で高度な知能も具備する。

ストームダガー

ガテゾーンと常にある専用バイク。レーザー砲・マシンガン・ミサイルを装備。最高時速600km/h。

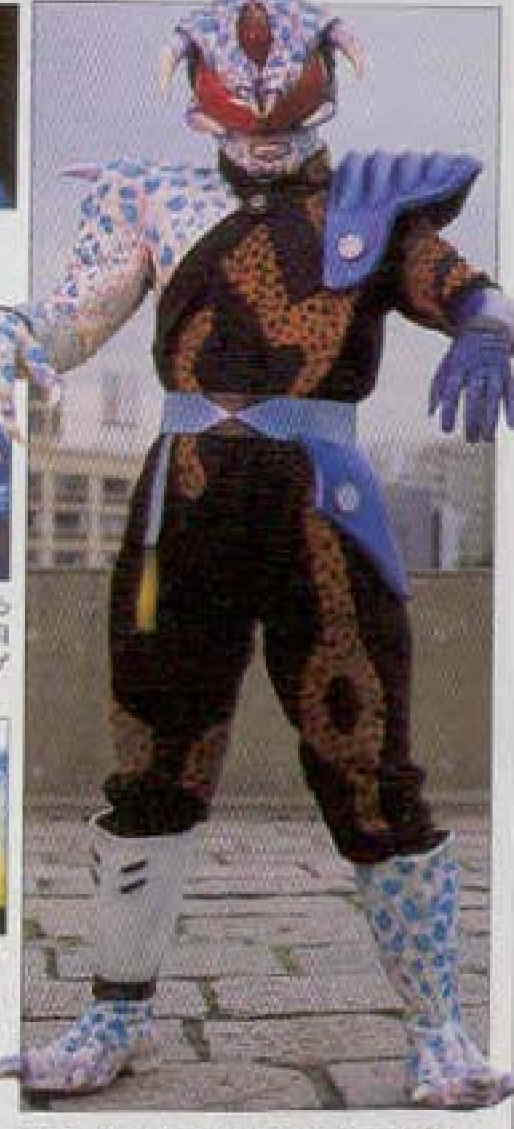
ネオストームダガー

皇帝陛下の護衛用マシン専用のクライシスチャージャーを装備し性能は4倍。両と腰の光線を同時発射。RXとの最後の戦いで使用。

▲ゲドリアン配下の怪魔異生獣は、怪魔界の生物を帝国の超科学で強化して誕生させた怪獣戦士だ。

▲頭や右手から雷撃。雷撃棒も使用。彼も前線に度々出現。自身の細胞から培養した異生獣ゲドルリドルが最後の切札。

▲地球攻撃兵団への皇帝の最後通牒たる最終時計を稼働させる人柱とされた彼の呪詛にさすがの大隊長達も同情を覚える。



ゲドリアン

怪魔異生獣大隊を率いる牙隊長。生粋のクライシス人ではない。やや短気で軽率。怪魔界一暗く寒いゲドラー域より這上がり隊長となる。抜擢の大恩は忘れない。身軽で柱も自在に登る。

▼角を生やすリーダーのスカル魔スター。1、2話のみ登場。彼はマリバロンより与えられた機能停止ビームを角より光太郎に放つ。

■スカル魔スター　スカル魔

怪魔妖族。3本杭を各所に生やし大鎌を振るう。RXとの初戦では自爆を謀った。1、2、9、19、32、42話／「ヘル」

▶焼撃したバイクで初陣のRXと壮絶チェイスを行った。

◀槍の貫通力は凄まじく、光太郎は苦戦する。

◀手から風魔ビームハリケーン。風速は100m！

■ガイナギスカン

怪魔獣人。通称“風の騎士”。誇り高き精神を持った武人である。光太郎達を怪魔界に連込む。オルゴールの音に弱い。光太郎に変身の機会を与えるフェア精神も持つ。RXもそれに報いた。3話。

■ガイナガモス

怪魔獣人。秘密の作戦に備え、奥丹沢の洞窟で毒蟻ガイナンとその幼虫を育てる。ガイナンを自在に操る。血清を運ぼうとする光太郎を幾度も邪魔をした。5話。

◀頭頂から赤色電撃を放つ。羽根が金色に輝き発する超音波で相手を金縛りにする。

▶ガイナンに刺され、頭部に羽根や爪が伸びガイナガモスの子と化す。敵の実験だった。

■毒蟻ガイナン

20年前に絶滅した毒蟻。幼虫は夜光する。刺された人間は本来、血清がなければ1時間で死ぬが今回は…。

■キューブリカン

ガテゾーンが製作した怪魔ロボット。RX破壊が使命。右手にビーム砲、左手に爪を装備。2話。

▲当初は人間態で光太郎を圧倒。RXキックで頭部を飛ばされるも、左右に重火器を装備する第2頭部が出現！

◀身体の各所に隠し武器を埋蔵する。右肩の突起部は実はビーム砲で、RXも攻撃時に意表を突かれた。

■ガンガディン

怪魔ロボット。RXの乗車ライドロン破壊に遣わされた。その姿はタンクを模しており、街中で砲撃し、幾多の建造物も破壊した。奇跡により生命を得たライドロンと激突、横倒しにされRXにトドメを刺された。4話。

▲両肩・両腰・タンク部の両脇に砲門を多数装備し、その火力・弾薬数は絶大なるものを誇る。

■キュルキュルテン

怪力を武器とする怪魔異生獣。戦略基地建設の労働力として数十億の卵子が散布。孵化適正50～60度の為3匹が誕生。青い個体は茂にまとい、赤はアベックを、緑は佐原航空を襲った。6話／「キュルキュル」。

◀口から泡を吐き大勢の人間の体温を急激に高め、苦しめる。

▶高熱の人間に卵を生み付け、同族を蛹化させる作戦に変更したのだ。

■武陣

怪魔妖族。毒ガス衛星設計図を森田から奪回する任務。剣の達人。金の光と化しマントで攻撃もはじくなど攻守に長けている。7話

▲大学教授や、友子の亡き父にして元クライシス人亡命科学者の岸田誠一に化けてまで、友子を拉致しようとした。

◀剣や短剣、手裏剣も用いてRXと戦った。

▲鎖渡りの秘技は水たまりも渡る。この技はマリバロンも使用可能だ。

■ガイナマイト

怪魔獣人。天才的頭脳と超能力を発揮するクライシス人との混血児・友子を連れ去ろうとする。人間への変身能力も有す。8話

▶右手のハサミがもがれても、口から白い溶解泡を吐いてRXを苦しめた。友子の念動力でふき飛ばされる。

■ドグマログマ

怪魔異生獣。液状状態で出現。対象となる人間に粘液を浴びせることでクローン人間を生成可能。瞬間移動を行う。10話

■アッチペッチー

不死身の怪魔異生獣。怪魔界の人喰いサボテンより作られた。体中に生えたトゲを爆弾として使用。折れても再生する。9話。

▲「化物とは失礼千万！」との反論も行った……。

▶クローン人間。本人より知能・運動神経で勝るが性格は悪い。これより以降、敵は光太郎の近親者の重要性を認識。

◀▲ツタで首を絞める。純真な少女の力で強化し、その剣で労働・食料用のサボテン人間を量産せんとす。

▲右手は鉤爪や機銃に換装できる。

▲腹部に銃口や金属棒も内蔵している。

■スクライド

怪魔ロボット。皇帝の怒りに触れ、スクラップ置場に眠っていた。頭部や左腕を強化し戦線へ。火力に加え、街のスクラップを操りその内部に人間をエネルギー化し封ずる能力も持つ。11話。

◀全身が武器。右肩にミサイル。頭部内メカの両眼も赤いビームを発射可能。

▶指子の悪夢に光太郎が。ゲリラも初登場。名はガル。

サム博士。次元転換装置を開発した亡命科学者。13話。

■ズノー陣

怪魔妖族。近親者に光太郎を敵と思わせ、襲わせんと潜在意識の中に侵入する。サーベルを用い幽体や首だけの姿も取る。12話。

■フラーミグラーミ

怪魔異生獣。サム博士と次元転換装置用のGクリスタルを捜索。地面を粉砕する腕の触手が武器。他にも電撃や催眠術、虚体化瞬間移動も駆使して戦う。13話。

▲キララ。サムの娘。異生獣に憑依される。平和が戻るまで地球で暮らすとの由。

www.tokusatsu-tokusatsu.com

■デスガロン

ガロニア姫ねつ造のため送り込まれた。額から光線。右肘から拳に電撃を集中して超強力パンチ。両肩にブーメラン。左胸に怪魔界飛行チャンネルがある。14、15話。

◀デスガロンは、RXの能力を分析した最強の怪魔ロボット。

■トリプロン1号
▶空中を明滅飛行する。前面レンズ部のパルスビームは合体後にも使用可能。15～17話。

■トリプロン2号3号
▶巨右腕が2号、巨左が3号。巨腕を戦闘に活用。1号とは異なり発話能力を有す。3体で連携攻撃も行った。15～17話。

◀デスガロン抹殺の命を受け活動するトリプロンだが、RX（バイオライダー）との直接対決は奇跡の谷で対決した一度のみである。

■合体トリプロン

怪魔ロボット。怪魔界・死の砂漠で光太郎と遭遇する。RXの怪魔界侵入を許したことにより、ジャーク将軍からデスガロン抹殺の命を受け、これと対戦した。その後、ガロニア姫の護衛として奇跡の谷に同行。バイオライダーに三体が合体したまま、スパークカッターを受け破壊された。16話。

▲RXの怪魔界侵入を許し、ロボライダーとも初対戦する。

■ネックスティッカー

光太郎抹殺を命に受けた怪魔ロボット。重量級で動作は鈍いが、巨大な腕部の怪力がそれを補う。洗脳メカを被せた人間を操れる。16話。

◀上腕の赤い両眼が点滅すると首部とアンテナが延長し、腕のジョーを操った。

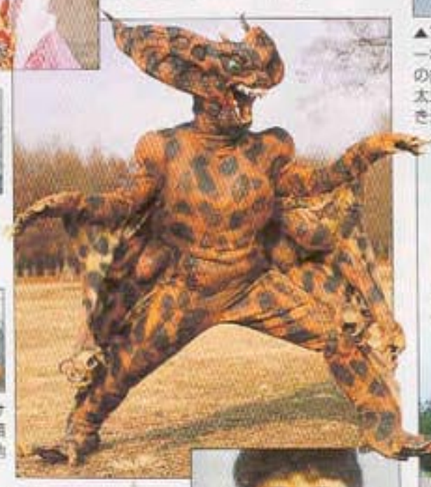
▲下腕の黄色い両眼は、カッター状光線を放つ事が可能。右腕の鉤爪は上方より飛びかかる光太郎に触れもせず反重力ではじき返した。

■ガロニア姫

皇帝の後継者。眼が赤く光り、念動力を発揮する。その正体は替え玉として、記憶を消され聖なる滝で急成長した佐原ひとみ。16、17話。

▲ムサラビサラは口から火を、眼から青緑色の光線を放つ！

▲RXに噛みつくムサラビサラ。光太郎は頭脳戦で欺き、戦場を地上に限定して戦う。



■ムサラビサラ

怪魔異生獣。1万mを超える滑空能力を持つ。人々に噛みつき毒素を注入、ムササビ症候群とし、飛降り自殺させようとした。18話。

▲ムササビ人間。牙が生え人に噛みつき感染者を増しムサビの如く空を飛ばんとす。

■クロイゼル

人工太陽のエネルギーにより稼働する怪魔ロボット。人工太陽を唯一破壊できる磁力砲の開発者・相原抹殺のため出現。19話。

◀人工太陽がこの地球に光線を放射、間接コントロール装置より光線を放射。

◀地球にある世界中のコントロール装置で放射を操作する。

■ビャッ鬼

怪魔妖族。皇帝に捧ぐ黄金の宮殿の為、鉱穴に捧したバナナを杖で冷凍し銀行から金塊を大量に奪う。20話／（声：奥村公延）

▶杖から光流を放ち敵を殴打、また手にした杖は巨大バナナ型鈍器にも変化。

◀白老（びゃくろう）。ビャッ鬼の変身体。洋館に棲む。念力を操る。

▲剣と全身の突起を武器にRXを追いつめる。

▲キーボードを拾ったマサオ少年が変身。怪力で獣人も撃退！

▲塾・病院・踊り・建設・料理の先生がブタに！ 後に倒れて死にかかる。

■ガイナバラス

怪魔獣人。動物を他種に変える細胞変換装置のキーボードの奪回を目的として出現。敏捷な身ごなしの上、剣術を得意としている。全身の鱗や頭の角も武器として使用する。23話。

▼ゲリラの一員セイラの影に潜むも光太郎は悪意を感知した。

▼影は巨大な雲ともなり攻撃・移動・神出鬼没自在である。

■バングゴング

怪魔異生獣大隊の追跡の名手。四大隊長一致の命で、亡命ゲリラのリストを狙い一掃を目指す。ゲリラの一員・セイラの影に忍び怪魔界より到来。20話。

■シャドームーン

打倒ライダーの妄念で復活。長短二本のシャドーセイバーで、RXと戦う。27話で異生獣を傘下にし、帝国とRXに再対決。21、22、27話（声：寺杣昌紀）

▲RXとの決着後、子供を送り届けた彼は信彦の心に戻っていた。

■アントロント

怪魔異生獣大隊きっての砂の使い手。強化後、竜巻を起す程の自転で攻撃しつつ墓塚状の砂に敵を封印。復活したシャドームーンとも対面している。22話。

▲砂嵐を巻き起し、人々を埋める。強化前でも、砂を集積し巨岩となって激突する荒技も見せた。

■リックバック

怪魔異生獣きっての特殊能力（人間の体質変化）を持つ。異生獣の強化育成に最適なカミラ族を増殖させるため投入。特殊物質リックストーンを、怪魔界カミラ族出身の武藤に埋め込んだ。24話

▼両腕の巨大な爪により戦闘力は高く、敵の拘束も得意。

▲異生獣の餌に適した人間を、噛付き次々増やす。

▶異生獣のため全滅。武藤の過去の姿だ。

ガイナカマキル

怪魔獣人。皇帝陛下に捧げる嫁座の花嫁確保が使命。敏捷な動作の拳法使い。25話／「ガキー」

◀両手のみならず、肩の鎌も分離して、膨大な空缶を鋭利に切断し凶器として飛ばす。鎌はブーメランとしても使用可能。

▶皇帝に捧げる嫁座生れの5人の花嫁。中に姫子も。

ガイナギンガム

怪魔獣人。堅い甲羅と怪力の持主。シミュレーションロボライダーすら断切る稲妻剣操るボスガンと共に、光太郎の近親者を脅迫。RX打倒が使命。25、26話／「グワー」

▲口から火花を発する。これでRXの両眼に喰らい付き失明させた。

▲蛇の如き頭首部が分離し空を飛び攻撃。胴体部も独自に活動可能。

▲異生獣は三首の眼から赤青黄の光線を発し、怪魔界より到着した栄えある兵士を蝶と化す。

ギメラゴメラ

怪魔異生獣。鶏頭より炎。蛇頭龍頭は噛付きと赤い電撃。腹部の口から白い高圧ガス。尻尾の一振りも強力。28話。

憑依人間

手から光線と電撃。首に蝶型の痣。地球界の環境改造・粛正を行う。

▲蝶は人間に憑依する。洞窟に用意した花で補給する際には分離。

マットボット

怪魔異生獣。両腕のパワーは地殻変動を誘発し、溶岩流さえ変える。シャドームーンの幻術に感わされ、四大隊長に反抗。27話。

▲▶移民団用都市の基礎整備に、噴火誘発用爆弾をセット。

▼戦闘力も高く、兜の冠より電撃を放つ。皇帝直直属特別査察官の彼は勲章獲得も狙っている。34話で作戦遂行中に美女にも変身。

◀サーベルを華麗に操る名手でもある。

▲粘性特殊火薬まみれのRXに、寄生体の両眼から赤色電撃を放ち起爆させる。その破壊力は強大である。

▶背負うムカデ状の寄生体も、田を無い攻撃する！

▲38話でジャークに、40話でRXに討たれても妖気となり復活。

ダスマダー大佐

確執が続く部隊内に、さらに波紋を広げた新幹部。五大幹部でさえ調査・処罰が可能な査察官。後に各隊長も率いて、前線に出るが失敗。42話で他幹部共々、業を煮やした皇帝の最後通牒である起爆装置“最終時計”を授けられた。だが……。28～47（除く31、32）話。

ムンデガンデ

怪魔異生獣。怪魔界に給水する水の城完成のため、貯水場を占拠。口の管は射出可能。両腕を鎌の様に用いる。的場響子の両親らを惨殺。29話。

怪魔道化師

独占した水を供給。後に帝国人民となる移民者と引換に行う。マリバロンの配下。29、30話。

メタヘビー

怪魔ロボット。怪魔界給水用に完成した水の城にてRX迎撃に待機。千度の熱の中でも自在に戦う能力を持っている。光線や火器は持たないためか、格闘は得意。炎の部屋へRXを閉じ込め、対戦した。30話。

▲柔軟な姿に似ず、軽快に両腕を駆使する体術の持主。パンチ力は相当なもの。

◀高熱に強いメタヘビーもロボライダーに敗れる。

エレギトロン

怪魔ロボット。地球界と怪魔界の扉を開く三位一体の鍵をそれと知らず探すユーコ・ミドリカワを見張る。開扉を横目にRXを足止め。右手にスティックを常備。31話。

▶連射光輪の威力はロボライダーの剣と互角！

▶電線・電灯・コンセント中を電気化し移動！

◀RXを両角で挟み、電気放射！

●「あんたは所詮異人間だよ」（ガテゾーン／RX 31話）

岩魔

怪魔妖族。破損した鍵を桃源郷の子孫に復元させるマリバロンの作戦を、複数の赤目青目を散布し警護。岩に四肢を与え敵を拘束。RXと互角に戦うが弱点の赤い石を貫かれ、倒れた。32話。

◀桃源郷＝怪魔界の子孫の娘・雲田ミカが買った人形にも赤目が！

▶▶岩は身を放つ！ 中心の赤い石がある限り復活！

ガゾラゲゾラ

怪魔異生獣。移民第一陣に四国を提供する為、瀬戸大橋を爆破する栄えある人柱。両手の鋏で攻撃する。作戦に失敗するも場を変えエネルギー充填装置を用いて戦いを継続。33話。

▲両手の鋏から赤色電撃も放つ！ RXはバイオライダーに再変身し交戦。

▲脱走するも命を落とした城南工科大学・田所博士開発の高性能火薬を体内の時限装置に仕込む。

シュライジン

怪魔ロボット。将軍を差置きダスマダーとガテゾーンが展開する、念力増幅稼動による“四国巨大戦略空母化作戦”の手先。両手で印を結ぶ仕種で溶解泡を放射。この泡で足下から出現し攻撃。34話。

▶人間にも変身。怪魔界の道具が集めた念動力少年達を洗脳。

▲溶解泡で四国地下の全資源を溶解せんとす！

▲三叉の槍を用い、拳銃や鎌もこの泡で駆使！

ウィル鬼

怪魔妖族。将来、反帝国と目される人間を怪魔コンピュータで冤罪を被せ検挙を煽る作戦中、マリバロンの吐息から羽根手裏剣上にミクロで出現。等身大化し、角から赤色電撃と光線を同時放撃。35話。

▲ウィル鬼を乗せたマリバロンの手裏剣が刺さる事で体内に侵入。

▲その使命は冤罪の光太郎の心臓を体内から一突き！

www.chai-toku.com

■バルンボルン

怪魔異生獣No.1パワーの持主。クライシスユーゲント育成の為、万能選手に変身し子供の信奉を得、帝国思想を植え付けようと画策。36話。

◀グレートマスクに変身。各界のスポーツ選手を破る。RXはボクサー沢田と協力して応戦。変身解除後、口からガス、目線から強電撃を連発。

■ガイナニンポー

怪魔獣人忍者隊頭領。移民第一陣五百名順応用の亜硫酸ガス散布器を悪魔分隊と守る。敏捷で忍法が得意。37話。

▲霧のジョーに擬写して変身。如意棒から光線！

■怪魔忍者部隊

頭巾の色は各様。散布器が設置された風神村に近付く光太郎を妨害。

■スピングレー

怪魔ロボット。移民失敗をRX打倒で挽回せんと、ボスガン秘蔵の怪魔銃と合せスペシャルプラトーン計画に投入。ミニ4WDに変身。39話

▶タイヤカッターを投げる。腹部にバルカン砲。頭頂両突起より光線とバリア。速度もライドロンと同等。

◀ミニ4WDに変形。自ら部隊員を集める司令となった。

▼天空と奇怪の舞踏団。一緒に踊ると難病も直る、と騙る。

◀杖は二つに分かれ、剣のように振るう。また扇状の盾からは、反重力を発生させる光を放つ。

■天空

怪魔妖族。環境不適で全滅した移民団に対策した地下王国建設に従事。人間に変身し舞踏団で労働力を集める。38話／「ギエー」（演：木村有里）

■ガイナジャグラム

大隊最強の怪魔獣人。強化細胞増殖装置が架設された団地を移民先にする作戦下でRXを迎撃。爪と牙と跳躍力を武器に戦う。40話。

◀肩から電光と共にブーメランが出現！

▲隙付き電撃！　獣人も査察官には怪魔コンピュータのRX分析の個だった。結果、サンバスクを狙う。

■百目婆ア

怪魔妖族頭領。多くの妖術を会得。多くの女の命を目に吸い二千年も生き長らえてきた。真眼を潰されない限り、不死身を誇る。巫子も虜にされた。41話。

◀杖から火炎と青白い妖光線！　諜報部諜の大叔母でもある。

▶最後は巨大な一つ目に変化し強妖光を放つ！

■ゲドルリドル

牙隊長の細胞より生み出された怪魔異生獣。あらゆるエネルギーを吸い込む腕は光線や砲弾も発射。42話。

▲査察官に断手され幼体に戻る。最後は幹部達にも裏切られた決死の牙隊長を経由し、要塞の原動力を尾に吸い強化された両眼より光線を発射。

■ヘルガデム

怪魔ロボット。頑強な体躯と力で、最後の戦いに臨む機甲隊長駆るネオストームダガーと共に戦線へ。バイオライダーの原理で液化するバイオロボット。43話／「ヘル、ガデム」

▲ロケットパンチの威力は絶大！　ガデゾーンの技術全てを注ぎ込んだ傑作でもある。

▲査察官が考案した、背のファンより補充し巻より放つデススモーク。リボルケインを抜く隙にベルトへ浸き、キングストーンを相殺した。

▼ロボライダーの必殺技に対抗して、両眼の金光が角に集中し電撃を放つ！

■ジャークミドラ

最強怪人。地下要塞の皇帝像の裁きを受け処刑されたジャークの亡骸から出現。正気を失ってダスマダーの命に従う。広巾の剣を用いRX打倒にのみ猛進。断末魔には将軍の姿を見せた。46話

■グランザイラス

最強怪人。皇帝直属の破壊兵器。査察官にのみ従う。街々を破壊。敗れてもメガトン爆弾級の身体が街を廃虚と化す。44、45話。

▼右腕は電磁ハンマー。炎と破壊弾も発射！

▲両眼の光線は防衛軍の戦闘機すら破壊。リボルケインを素手で掴む程強固なボディを持つ。

◀千度超の火球に、地球防衛軍の攻撃ももものともしない。

▶バイオライダーがミクロ化潜入し、相討ち覚悟で臨む。

■霊界怪人

スカル魔、メタヘビー、ズノー陣、ガイナカマキル、キュルキュルテン、エレギトロン、アントロント、ガイナニンポーは偽1号に変身。45話。

■クライシス皇帝

42、46話で声のみだった皇帝の真の姿。光太郎に帝国最高位サーの称号を与えようとする。正体とも分身とも取れるダスマダーが帝国崩壊の原因は地球の急速汚染と明かし、罪をなすりつつ怪魔界と共に滅ぶ。47話。

▼右の触手にサーベルを持ち、左の触手はRXに巻付く！

▼額部の三顔面の両眼より赤色電撃を放つ！

▼両眼の光線で拘束牽引と撃。鎖でライダーを絞む。

www.thai-toku.com

頼もしき相棒たち

悪の組織を相手に、孤軍奮闘を強いられる場合が多いライダー達。そんなライダーたちをサポートすべく、実戦に身を投じる勇敢な者もいる。彼、もしくは彼女達の戦闘能力は完全無欠ではない。また時として、残酷な運命を迎える場合もある。しかしそれでも、悪を憎み、使命を全うする"心意気"だけは引けをとらない。ライダーが戦い続けるかぎり、相棒もまた共闘を続ける。ライダーの歴史は勇気ある相棒との共闘の歴史でもあるのだ。

	名前	誰と一緒に？
	滝和也	『仮面ライダー』に登場。モトクロス選手権における本郷猛のライバルにして、FBI捜査官。第11話以降、1号ライダーと協力関係を結ぶ。更に2号ライダー登場後は一文字隼人にも協力。そして本郷帰国後には、「少年仮面ライダー隊」隊長に就任する。戦闘員相手の実戦もさることながら、被害者たる一般人の避難誘導で大活躍。最終話までの長きに渡って貢献した相棒だ。
	佐久間ケン	『仮面ライダーV3』に登場。インターポールの特別組織「デストロンハンター」5号。第29話から登場し、ドクトルGが失脚する遠因を作るが、それと同時に1～4号、及び6号の仲間も失う。それ以降は少年仮面ライダー隊本部で、第36話まで活躍した。立場的にはV3＝風見志郎の相棒というよりも弟分に近く、本部内でも純子やシゲル達からは軽く見られていた様だ。
	ライダーマン	『仮面ライダーV3』第43話から登場。冤罪で組織を追われた結城丈二が、戦闘時に身を変えた姿。姿こそライダーに酷似しているが、右腕以外は生身であるため、怪人相手では引けをとる。また当初は復讐心に固執するが余り、V3と対立していた。しかし和解を経て、第51話での勇気ある行動によりライダー4号の名が送られる。立場がライダーに昇格した唯一の相棒だ。
	モグラ獣人	『仮面ライダーアマゾン』第5話からアマゾンの敵として登場。しかし非情なゲドンに殺されかけていたのをアマゾンに助けられてからは、立場を人間側に近づけた。更にまさひこの持つ笛、そして立花藤兵衛の人情味にほだされてからは、俄然情報屋として奮闘する。その愛嬌のある"お友達"的存在ゆえ、第20話で死にゆく姿は悲痛。マサヒコ達一同は、その姿に涙した。
	タックル	『仮面ライダーストロンガー』に登場。ストロンガー＝城茂と共に改造された岬ユリ子が変身した姿。電波を自在に扱って、敵を倒す。前線で戦い、尚且つ"変身能力"を有して敵とあいまみえた唯一の女性相棒でもある。だが劇中では劣勢に陥る場面が多く、第30話で、はかない散り様を見せた。しかしそれが、後々の戦いに打ち勝つためのストロンガー強化の発火点となった。
	がんがんじい	『仮面ライダー（新）』後半から登場。その正体は正義感はあるもののどこか頼りない青年・矢田勘次であった。常に足を引っ張るギャグメーカーで、戦闘よりもお笑いの面で活躍した。しかしその一方で、第43話で体を張って筑波洋の耳を守ったり、第48話でスカイライダーの潔白を信じて弁護したりと、笑いを買うだけではない生真面目な所も見せた"イイ奴"でもある。
	弁慶	『仮面ライダースーパー1』第2話から登場。玄海老師の一番弟子で、一派[illegible]の使い手。口数は少ない分格闘能力に優れ、尚且つ"主人公の兄弟子"という珍しい立場の相棒であった。だが、第23話で一也をかばってテラーマクロ親衛隊員の矢に倒れる。かつて源義経をかばって矢を浴びたまま絶命した同名の猛者の如く……。がんがんじいとは逆に、前半にのみ活躍した相棒だ。
	滝竜介	『仮面ライダーBLACK』第16話と第30話に登場。米国在住の自称"インターポールのはみだし捜査官"。東星大学の理学部に在籍中、信彦にリュウシュートを教えたサッカー選手でもある。捜査官の立場から、強大なゴルゴムに挑む。登場話数は少ないものの、ストイックな雰囲気とガンアクションで印象は強烈。本作では他に少年戦士達も活躍。
	霞のジョー	『仮面ライダーBLACK RX』に登場。クライシス人に記憶を抹消された上に改造手術を受け、その後脱走生活を送っていた流れ者。後に光太郎を兄貴分と慕い、戦いに協力していく。戦いに身を投じるまでの生い立ちは歴代ライダーのそれと非常に酷似。そして、一時戦線離脱するも自然消滅という事態に陥らず、終盤になってちゃんと復帰した律儀な相棒でもあった。
	ベリー	『仮面ライダーJ』に登場。地空人の使者である白バッタ。思考力や言語能力は人並で、耕司の蘇生後は、彼＝Jを色々とナビゲート。相棒というよりも指令塔といった存在だが、耕司運転のバイクに高速飛行で同伴したり、ガライの猛攻に割って入ったりと、実戦に身を投じた。そして死んだと思われた後に健在ぶりを示すという、不思議な生命力を持つ存在でもあった。
	一条薫	『仮面ライダークウガ』に登場。警部補として未確認生命体の捜査に乗り出し、五代雄介＝クウガと共に事件に挑む。一見相棒の原点たる滝和也を継承した存在の様だが、五代に色々と世話をやいたり、また精神面で苦悩をみせたりと、従来の立場に加えてヒロインやおやっさん的役回りをも演じた。そしてその連携関係故に、真の意味で"ヒーローと同格"になりえた相棒だ。

ai-toku.com

1993~1994

第5章

真・仮面ライダー～序章

仮面ライダーZO

仮面ライダーJ

1992 真仮面ライダー序章 プロローグ

VIDEO
1992年２月20日
ビデオレンタル開始／90分

「ライダー」シリーズ20周年を記念して製作された初の完全オリジナルビデオ作品。「仮面ライダーＢＬＡＣＫ」で試みられた生物的なライダー像が掘り下げられ、ヒーロー的キャラクターとしての要素が排除されたヤングアダルトを意識した内容となっている。これは原作者である石ノ森章太郎氏が指向したライダー像の原点でもあり、雨宮慶太氏をコーディネーターに迎えて改めて"変身"に重点を置いた真ヒーローの創出に力が注がれた。

世界的な企業複合体"財団"旗下の生化学研究所――ISS社では、人間の体質を細胞レベルで改良する研究が進められていた。風祭真は、父・大門の生化学研究のため自ら被験体に志願するが、自分が怪物となって殺人を犯す悪夢に悩まされていた。父と共同で研究に携わる鬼塚の行動に不審を覚えた真は、鬼塚が秘密裡に分子的外科手術によるレベル３の実験に手を染めていることを知る。そこへ突然CIAの特殊工作部隊が突入し、激しい銃撃戦が繰り広げられる。気付くと辺りには屍の山が築かれていた。真相究明に乗り出す真に工作部隊の女リーダー・セーラが接触してくるが、ISSの豪島によって２人は命を狙われてしまう。なぜ……？ 自らが殺人鬼と化してしまった恐怖に苛まれる真を支えてくれたのは、ISSの看護人・愛であった。２人は束の間の愛を育む。再び事件を追う真は、CIAによるISSのコンテナ車襲撃現場に遭遇。異形の怪物と化し、炎に包まれ苦しむ鬼塚に感応する真。遺伝子改造を施されていた真も、レベル３の姿へと"変身"した。護送していた豪島がレベル２の正体を現し襲いかかる。辛くも窮地を脱した真だったが、ISS所長・氷室のもとへ嘆願に出向いた愛が監禁されてしまう。愛の胎内に宿ったミュータントに導かれ駆けつける真。しかし、氷室の放った凶弾に愛は崩れ落ちた。怒りに燃える真は再び変身！ 氷室を追いつめ、豪島との最終決戦に挑むのだった……。

■仮面ライダー・シン

バッタと人間の遺伝子を融合するレベル3の実験の第1号完成体。風祭真が変身する。"財団"の指揮の下、局地戦を想定して開発されたゲリラコマンドである。呼応反応（同族の記憶・感情・意識に反応する共通の疑似体験）で統制を取り、約114mという驚異的な跳躍力を活かし立体的な攻撃を繰り出す。だが、その脚力を用いてのキックは見られなかった。額に輝く第３の眼は暴走化した鬼塚のレベル3には見られず、両者を分かつ最大の特徴となっている。199.9cm／90kg

◀細部まで活性化された細胞が、驚異の肉体を示す。その俊敏な動きは弾丸の中にも容易する戦闘力を備える。口部ブレイクトゥーサーには鋭利な牙が並ぶ。"財団"の開発した究極の商品。

▲全身がセラミックの5倍という緑色の甲殻細胞に覆われており、堅固な防御力を誇る。ただし、生物であるシンは700～800度の熱には5分程度しか耐えられない。

■ハイバイブ・ネイル

高周波振動で敵を切り裂く爪。人間なら一撃で致命的な損傷を受ける。人工外骨格に身を包んだレベル2の目を狙い、これを潰した。

■スパインカッター

腕部と脚部に備わるとげ状のカッター。折れてもすぐに生え変わり、接近戦で威力を発揮。レベル2の喉にあてがい掻き切る鋭さだ。

■真ライダーパンチ

そのパンチ力は2000～2800キロもの破壊力を有する。最終対決ではレベル2の頭部を脊髄ごと引き抜く驚異的な腕力で勝負を決した。

■再生能力

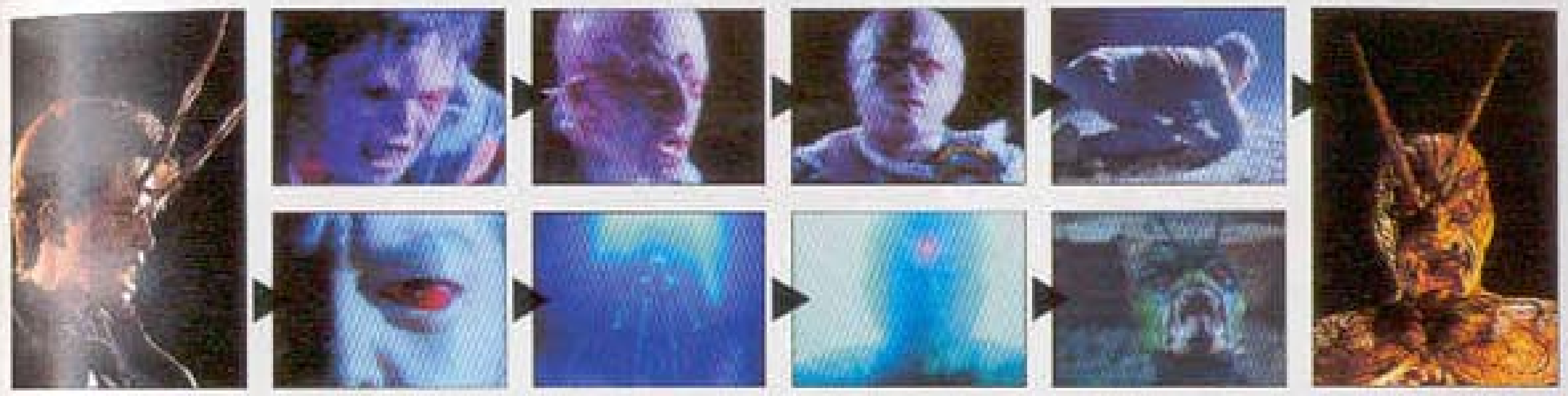
バッテリゲンの働きにより短時間での再生が可能。レベル2との戦闘で胸部と腹部に負傷したが、細胞増殖で急速再生してしまった。

■ミュータントベビー

急速な成長を遂げた真と愛の子供。胎児ながら呼応反応（テレパシー）で真に呼びかけを行い、愛の危機を救おうとテレキネシスを発揮するなど優れた超能力を発揮した。

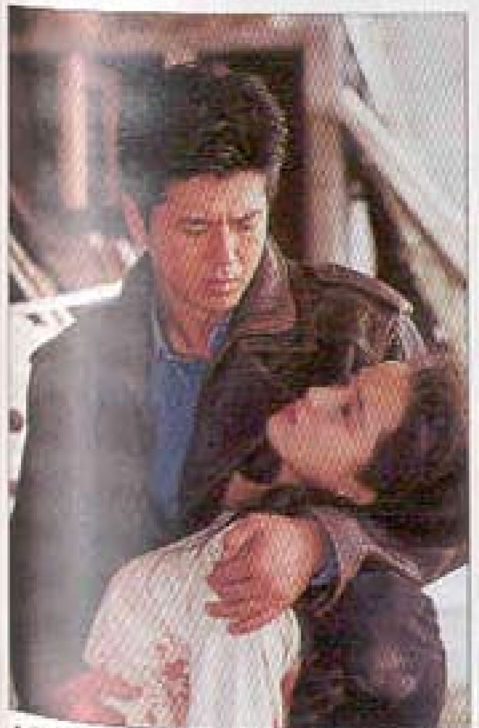
変身！

怒りの感情で細胞活動が活性化されると、バッタ遺伝子から細胞活性分泌物バッテリゲンが放出。細胞の急激な変異を誘発し、変身する。

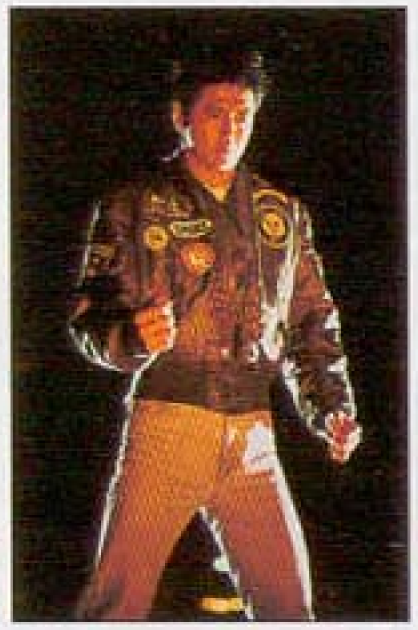


■風祭真

25歳。城南大学体育学部卒。知能指数は250でスポーツ万能。任務を越えて身を案じる愛といつしか心を通わせるようになる。改造後は鋼鉄のシャッターを素手で引き裂くなど、常人離れした身体能力を見せた。



▲氷室の放った凶弾に倒れた愛は、真との間に育まれた新たな生命の無事を願い息絶えた。駆け抜ける怒りが、真の体を変身させる！



▲▶父・大門の研究のため、自ら被験者を志願。しかし、鬼塚の独走によって真の体には密かにレベル3の改造が施されていた…。

▶500ccロードレース日本予選に初出場で優勝したバイクテクニックを持ち、世界GPを目指していた。

「たとえどんな姿で生まれようと、私と真との、結晶……お願い、真。この子を……この子を……!!」（愛／真）

www.thai-toku.com

MASKED RIDER SHIN

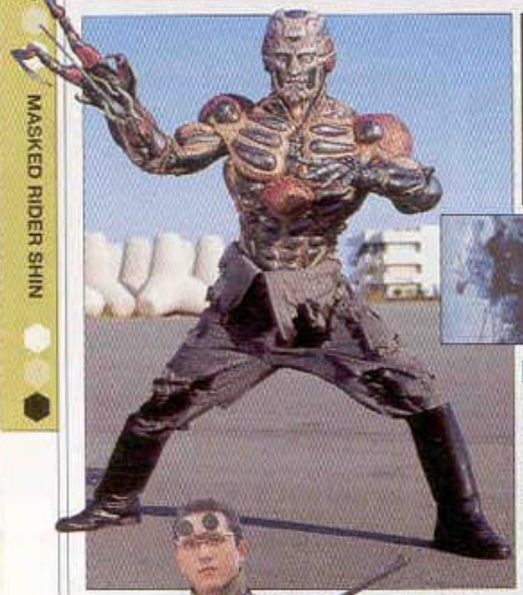
財団

政治・経済・文化・思想・科学など、社会をその影響下に置くべく世界規模での活動を続ける謎の巨大組織。その本部はニューヨークにあり、軍需産業は主要な財源の一つ。時として企業複合体としての一面を見せる。

▶都内某所にある生化学研究所・SS社・広大な敷地に建設された複合研究施設である。

■氷室巌

45歳。"財団"日本支部の主要メンバーの一人。生化学研究所の所長として改造兵士の開発・生産の任にあたっていた。



◀本体が活動不能状態に陥ると、一定時間を経過して頭部に仕込まれた自爆装置が起動。脅威を相手に始め、本体もろとも物証の隠滅を図る。最後の切り札。

■改造兵士レベル2

"財団"が実用化した最初の生体兵器。強化細胞とアンドロイド工学の融合体であり、普段は人造皮膚をまとっている。右腕の刀で相手を切り裂き、ボディはロケットランチャーの直撃にも耐える。

■改造兵士レベル3

"財団"に秘密裡に到達したレベル3の技術で鬼塚が変身した姿。シンと同等の能力を有するが人間的な意識は損なわれ、凶暴な殺人鬼と化した。

◀義眼の能力を活用した、強い光の発射を行なうことができる。

■鬼塚義一

38歳。自らを被験体にバッタと人間の細胞の融合を試み、密かに真の身体を改造していた。

■豪島

生化学研究所所長・氷室の懐刀でレベル2の改造兵士。"財団"と敵対する人物を追い、密かに始末する。

■明日香愛

23歳。"財団"のメンバーであり、実験体である真の看護人。監視が本来の目的であったが、真と愛し合いミュータントベビーを宿す。

■風祭大門

48歳。臨床的免疫工学の権威だが、被験者の死亡事故以来"財団"の元で人体細胞改造の主任を務める。真の父親。

■セーラ深町

28歳。"財団"の改造兵士計画をマークし、コマンド部隊を率いるCIAの特殊工作員。あらゆる銃火器の扱いに長ける。

■結城卓也

25歳。ロードレーサー時代からの真の友人で、現在はスポーツクラブの職員。研究の被験者となった真の身を案じている。

COLUMN 15

石ノ森章太郎と仮面ライダー

▲異様な姿、『BLACK』の出演時には『ライダー』での地味な釣り人役の面影皆無か？　と思わせるほど特徴良く決まった釣り人を好演。

◀華麗な語りかけ、イソギンジャガーの姿を目撃した釣り人は、秘密保持のため殺されてしまう……。ほんの数カットだが、人の良さそうな市民を好演。

▶『ライダー』84話より。少年ライダー隊の自転車の車輪が本物のバイクの車輪にオーバーラップするなど、石ノ森が風画で見せた描写をそのまま映像化している。

▲▶『真』では、企業幹部というこれまでに無い役柄で登場。一方の『スカイ』劇場版では、またもや被害者役に……。

ここでは名優＆名監督としても『ライダー』シリーズに関わった石ノ森章太郎の活躍ぶりをチェックしてみよう。

もともと映画というメディアにこだわりを見せ、[illegible]に憧れを持っていた石ノ森。その念願叶い初監督作となったのは自身の原作によるTV映画であった。

それが『仮面ライダー』84話の『危うしライダー！イソギンジャガーの地獄責』である。脚本も島田真之と共同執筆した本格監督作品で、通常の二倍にあたる二週間もの期間を費やす製作体制が組まれた（また監督補として『クウガ』や『アギト』にも参加の長石多可男がクレジットされている）。当時の少年誌でも、裏話がトピックスとして取り上げられるほどの、鳴り物入りの企画であった。ストーリーは怪人が幼い少女の父親であり、本来は善良な人間であった彼を、ライダーが元の姿に戻してやるというもの。波や少女の人形、犠牲者の靴といった情景カットのインサートや空撮を多用することでシュールな、息苦しいまでの緊迫感を醸し出し、観る者に生理的な圧迫感を与えることに成功していた。藤岡弘が石ノ森に『こういうのがやりたかった！』と感激を伝えたとの逸話も残っており、予告におけるブラック将軍の『ちとシャクだが、面白いぞ』は、スタッフの本音だったのかも？

この他シリーズにおける石ノ森監督作品として、『ストロンガー』最終回（山田稔と共同）、そして特撮やアクションがふんだんに盛り込まれた『スカイ』劇場版の総監督（監督は平山公夫）を担当。『ストロンガー』最終回では、岩石大首領の正体の描写やラストのライダーマシン疾走シーン、名場面スチルを巧みに使った回想シーンなどで、持ち味を遺憾なく発揮。第一期シリーズの幕引きに相応しい演出を行った。

一方、俳優としての石ノ森のキーワードは"釣り人"と"犠牲者"。『ライダー』84話での殺される釣り人役に始まり、『スカイ』劇場版でも銀河王に襲撃される宇宙ステーションの乗組員として登場。『BLACK』劇場第一作では光太郎を怪人島へと導く謎の釣り人であったりとファンの心をくすぐる出演を果たした。また『真』では、研究所を視察する企業幹部のひとりとして怪演を見せた。

1993 仮面ライダーZO

MOVIE
1993年4月17日
東映系にて公開／48分

「仮面ライダー」シリーズ初の劇場用オリジナルヒーローとして誕生した本作は、「東映スーパーヒーローフェア」第1弾のメインプログラムを飾った。もともとはシリーズ20周年を記念した劇場版単独作品として企画されており、ZOのネーミングも"20"から。ワイヤーを多用したアクション、CGの大幅な導入。さらにはモデルアニメーションと、「ライダー」シリーズでは初監督を務めた雨宮慶太氏の斬新な映像表現が盛り込まれた。

山中で深い眠りについていた麻生勝は、謎のテレパシーの呼びかけに異形の戦士・仮面ライダーZOとして覚醒し、自らが助手として働いていた望月遺伝子研究所を訪れた。時を同じくして誕生したネオ生命体ドラスは帰宅途中の望月宏を襲い街を火の海に変える。様々な形態に変貌し、廃ビルに宏を追いつめたドラスの爪が彼の首を掴んだその瞬間、爆音とともに壁を突き破って現れたZOが絶対絶命のピンチを救う。激闘の末、Zブリンガーの体当たりでドラスを鉄骨に串刺しにしたZOは辛くも勝利をおさめる。難を逃れた宏は祖父・清吉に事の成り行きを説明するが信じてもらえず、突如目の前に現れた麻生に戸惑い道場仲間の玲子らに助けを求めるのだった。しかしそこにも再生したドラスの分身であるコウモリ男とクモ女が出現し、一同は怪物に立ち向かう。ZOに変身した麻生は異空間でクモ女を葬り、間一髪のところでコウモリ男から宏を奪還する。清吉から望月博士の研究ノートを見せられ、恐るべき真相を知る麻生。そして父の作ったネオ生命体が自分の命を狙っていると告げられた宏は、いたたまれずに形見の懐中時計を叩き壊そうとするが、麻生の優しい気持ちに触れ思いとどまるのだった。だが宏は望月博士に化けたコウモリ男に連れ去られ、再び姿を現したドラスの前に麻生は成すすべもなく敗退する。宏を救うべくドラスの潜む廃工場へ疾走するZOの最後の戦いがいま始まる……。

■仮面ライダーZO

生命倫理を見失った臨床遺伝子工学の権威・望月博士によって、バッタの遺伝子を組み込まれて誕生した改造人間第1号。完全生物＝ネオ生命体のプロトタイプであり、麻生勝の体をベースとしている。バッタの持つ驚異的な運動能力、強靭な生命力、人知を凌駕する超感覚を備えており、その能力の全貌は不明な点も多い。大地との融合から未知のパワーを引き継いだ麻生勝の意志を残し、自然の摂理を乱さんとするネオ生命体・ドラスに敢然と立ち向かう。193cm／83kg。

◀ZOは手足で受けた衝撃的ダメージと連続のジャンプのため、4枚もの強靭な翼に覆われ、大地の様に包まれた姿りで、大自然の使者としての威厳、大いなるパワーを身につけるに至った。

www.thai-toku.com

▲大いなる大地に包まれ眠りから覚めたZOは、自然の摂理に背くネオ生命体と激しく対立。宏を守るため、その身を挺して敢然と戦いを挑む。

▲ZOの怒りが最頂点に達した時、口横部分から鋭利な牙・クラッシャーが飛び出すと同時に、後頭部の噴気孔から「気」が噴出される。

◀全身を走る生物的なラインが印象的な強化ボディ。深緑のその体は堅牢な装甲であり、格闘戦においてその真価を発揮する。

■ZOキック

130mもの跳躍力を生かし、繰り出される必殺のキック。ドラスとの最終決戦でのフィニッシュ技となった。

■ZOパンチ

厚さ20cmの特殊合金を打ち砕く強力なパンチ。その絶大な破壊力でコウモリ男の腹を貫通させ、息の根を止めた。

▲ネオ生命体のプロトタイプであり人間の体をベースとしているため、その能力は僅かにドラスに劣る。だが、大自然の使者として甦ったZOには、熱い人の心が残っていた！

●私はより強く、感情などに惑わされない完全な生物を作りたいだけだ！（望月博士／ZO）

麻生　勝

1968年２月７日生まれの25歳。望月博士の助手を務める青年科学者だったが、明晰な頭脳と強い肉体を見込まれ自らの師の手によって改造手術を施された。４年間に渡り大地に抱かれ眠り続けていたが、謎の呼び声によって再び目覚めた復活の戦士。望月博士を一度は憎むが大自然の使者としての使命に覚醒し、ネオ生命体と対決する。

▲◀完全生物創造の野心にとりつかれた恩師・望月博士の手で改造。変身前であっても改造手術を施された麻生の肉体は超人的であり、宏をかばいドラスのマリキュレイザーの直撃を食らっても耐える。

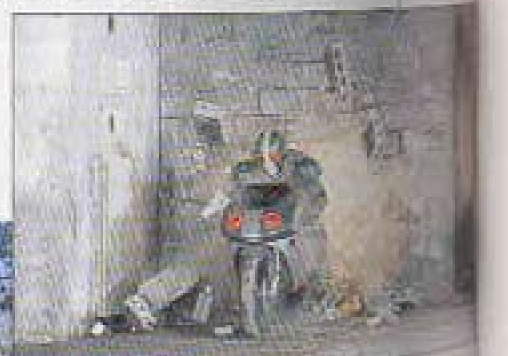
変身！

当初は感情の高ぶりで変身していたが、精神力を集中することで能力のコントロールを身につけた。変身ポーズは最終決戦において初めて見せた。

www.thai-toku.com

Zブリンガー

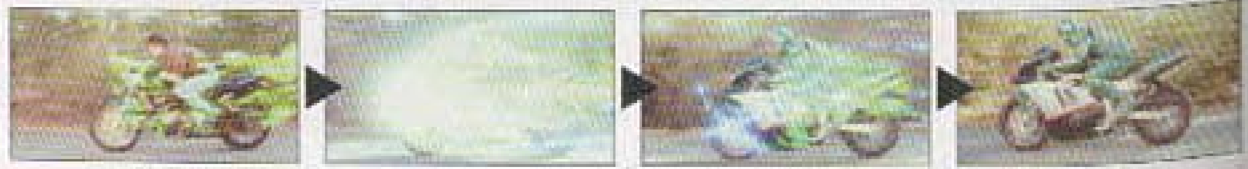
ＺＯが駆る特殊高速戦闘マシン。カウリングの複眼部分はヘッドライトとなっている。耐熱・耐ショック性に優れた強固な装甲が施され、コンクリートの壁も難なくぶち破る。ドラスとの第一戦では捨て身の体当たり技・Ｚブリンガーアタックで勝利を決定づけた。



▲最高時速は1300㎞／hを誇り、麻生の愛車（スズキBandit250）が変身と同時に変型したものである。全長／1995㎜、全幅／710㎜、全高／1050㎜、重量／180㎏。

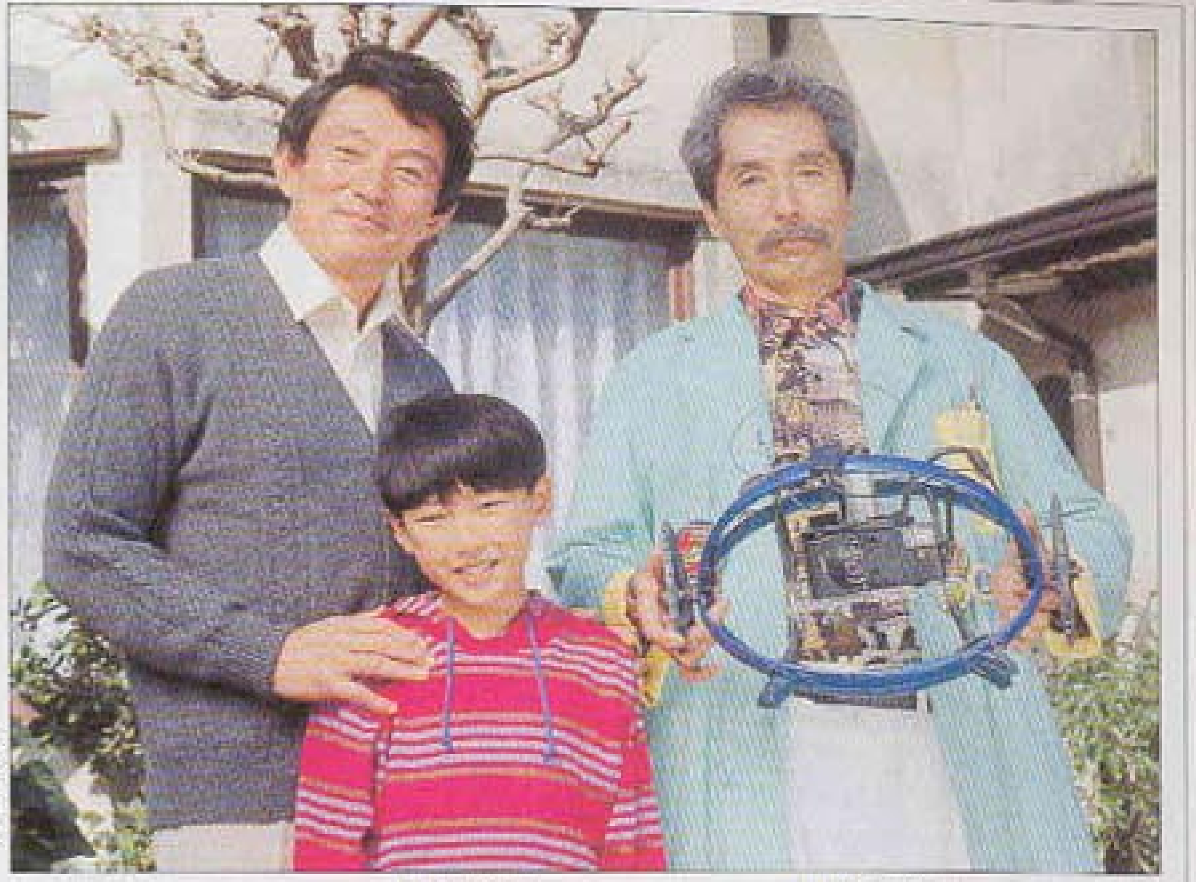
変型！

マシンにまたがった麻生と共に、まばゆい光に包まれ瞬時に変型を遂げる。



望月博士

臨床遺伝子工学の世界的権威でZOとドラスの生みの親。自宅に望月遺伝子工学研究所を開設。ネオ生命体の創造主たるべく歪んだ科学の信奉者になり果て、麻生を用いた人体実験に手を染めてしまう。２年前に失踪した。



●「僕の言うことを聞かないパパが悪いんだよ！」（ネオ生命体／ZO）

望月宏

望月博士の一人息子で、ネオ生命体から執拗につけ狙われる。父との再会を信じ、クリスマスにプレゼントされた思い出のオルゴール時計を肌身離さず持っている。突然現れた麻生にとまどい、心を閉ざす。

望月清吉

宏の祖父であり、自称町の発明家。しかしその珍奇な発明品はどれも実用性に乏しい。保護者として宏を見守り、コウモリ男襲来時には手製の電撃バットを片手に駆けつけるなど孫思いの優しさを見せる好人物。

▲▶壊れたオルゴール時計が麻生の不思議な力で鳴り出し、２人の心を結ぶ。宏にとっても過去の悲しみとの決別だった。

バッタ

麻生の前に現れ情報をもたらす不思議な存在。麻生と心を通わせ、宏の居場所を教える。その呼び声は他ならぬ望月博士その人であった。

玲子

宏が通う自宅近所の道場・東松館の師範代で、女性ながらに剣道・杖術の達人。道場生である顔馴染みの宏をかばい、宏と共にクモ女の暗黒空間に引きずり込まれてしまう。

西村

道場の幹部格で、空手の達人。他の３人と一緒に乱取り稽古に励んでいた。出現したコウモリ男に対して構えを取るも、ネオ生命体が相手ではさすがに手も足も出なかった。

宮崎

棒術の使い手。その腕前は確かで、飛来したコウモリ男（コウモリ体）を一撃で叩き落とした。宏を追ってやって来た麻生に対して不信感を露わにし、追い払おうとした。

黒田

最年少の空手家だが、黒帯を巻いている。他の３人と同様、乱取り稽古中に現れたコウモリ男の急襲を受ける。コウモリ男に攫われた宏を道場に寝かせ、看護にあたった。

ドラス

一定の形態を持たぬネオ生命体が、周囲の物質を取り込み作り上げた行動用の金属生命体。ZOと同じくバッタを思わせる外観を持つが内面は邪悪で、パワー・運動能力はZOを遥かに凌駕する。全ての力の源となる黄緑色の溶液をたたえたプールから、一定時間以上離れて行動することはできない。204cm／94kg。

◀右肩口からマリキュレイザーを発射。全身からの一斉放射攻撃も可能。

◀触角を長右に変化し、右腕を再生触手化、さらにロケットパンチを放つ。

◀戦闘エネルギー不足で動けない自分にかわり、空中から怪物を製造。

◀マルチ分割で表示されたデータを瞬時に処理、正確な判断を下す。

◀かつて宏が聞かせたオルゴールの音色に、かすかな安らぎを覚える。

◀ドラスの本体の金属球。飛行に適した形状に変形し、高速で移動する。

◀万物を従える新たな神となるべく、博士を拉致。最終決戦ではZOをもその体内に取り込み、完全体となろうとしたが……。

■ネオ生命体

望月博士が生み出した完全生物。感情に左右されず、その性質は凶悪かつ怜悧。反面その精神性は幼く、博士の愛情を一身に集めようと宏の拉致を画策。自らの姿を宏に似せて具象化し、「パパ」と呼びかける。「人間なんて無用の生物」と教え込まれた博士自身が人間である矛盾に悩む。

▲人間を見下しながらも博士に歪んだ愛情を求めるネオ生命体。愛情の萌芽を与えたのは、憎み続けた宏であった。

■赤ドラス

腹部に位置する球体の吸収口からZOを体内に取り込み、吸収合体したドラスの強化形態。手足のスパイクが消え、丸みを帯びた姿となった。ZOとドラスの能力を併せ持つと思われるが、その実力の一切は不明である。223cm／177kg。

▲「ライダー！」宏の叫びとオルゴールの音色が、ドラスの体内に吸収された麻生の意識を再び呼び覚した。

■クモ女

ドラスが生んだ怪物。宏と玲子を異空間に引きずり込う。外見と裏腹に、ZOを抱え円柱の上へと跳躍する意外な身軽さを発揮。体長270cm／99kg。

▶口から吐くアクラノイドウェッブで動きを封じ、鋭いカマ状の脚を振りかざして攻撃する。普段は小さなクモの姿である。

■コウモリ男

ドラスが生んだ怪物。宏誘拐を決行。両手の親指以外の8本の指を伸ばし、翼を広げて時速500km/hで滑空する。変身能力を有し、博士や宏の姿に化けた。182cm／63kg。

▲首筋への噛みつきが主な攻撃手段。戦闘能力は高くなくZOパンチの一撃にもろくも敗れる。普段はコウモリの姿である。

●「みんな一生懸命生きてる。愛しあいながら。これを壊しちゃいけない」(麻生勝／ZO)

COLUMN 16

「ライダー」シリーズを彩ったキャストたち

ここではシリーズを通して、名だたるゲスト出演者について見ていこう。『1号』では有名なところだが、山本リンダ、中田喜子、ミミ萩原、林寛子らアイドルが多数出演。また無名だった島田陽子も見られた。さらに『X』には、当時話題の超能力者、関口少年が念力を使わず出演。子役ということで絞れば『アマゾン』にはデビューしたての松田洋治、後のアイドル伊藤つかさが、『ストロンガー』には星輝美や女優の戸川京子など、今も活躍中の面々が見られる。また『ストロンガー』では悪役商会の[illegible]鬼馬二の登場もあった。

復活なった『スカイ』では、今や湾岸署署長・北村総一朗が、続く『スーパー1』では後に"おニャン子クラブ"の一員となる内海和子が子役で出演。他にもアイドルレスラー、ビューティーペアのマキ上田など、当時や未来の有名人が多数出演し、芸能史を語る上でも欠かせないものとなっている。

『BLACK』〜『RX』の時期は渾然一体としている。有名どころでは、漫才のセントルイスの星セントが、元日活ポルノ女優で、料理研究家結城貢夫人でもある泉じゅん、『ウルトラマン』の黒部進、ヒーローマニアの京本政樹が登場。さらに相原勇、田中美奈子、岩間さおり（セイントフォー）といったアイドルや、『RX』出演後、香港での活躍が増えた松井哲也、邦画アクションの雄・小沢和義など、番組を足掛りにした出演者が多い点は、シリーズ初期を継承しているようで面白い。

『真』では石ノ森氏の息子・小野寺丈が脚本を手掛けたこともあって、別のドラマで共演だった高島政伸が友情出演。特撮ヒーローファンには堪らない『ZO』の客演陣を経て、『J』には元祖チャイドル・野村佑香が登場している。

久々のTVシリーズとなった『クウガ』でも、村田和美、水島かおりといったアイドル・元アイドルは積極的に配置され、極楽とんぼの山本敬壱やきたろうといったお笑いタレント、女子プロレス界から白鳥智香子などを起用し、そのバランス感覚が嬉しい限りである。

以上、まだまだ語り足りないところであるが、脇で好演するキャストに目を光らせるのも、長期シリーズならではの楽しみ方の一つであろう。

www.thai-toku.com

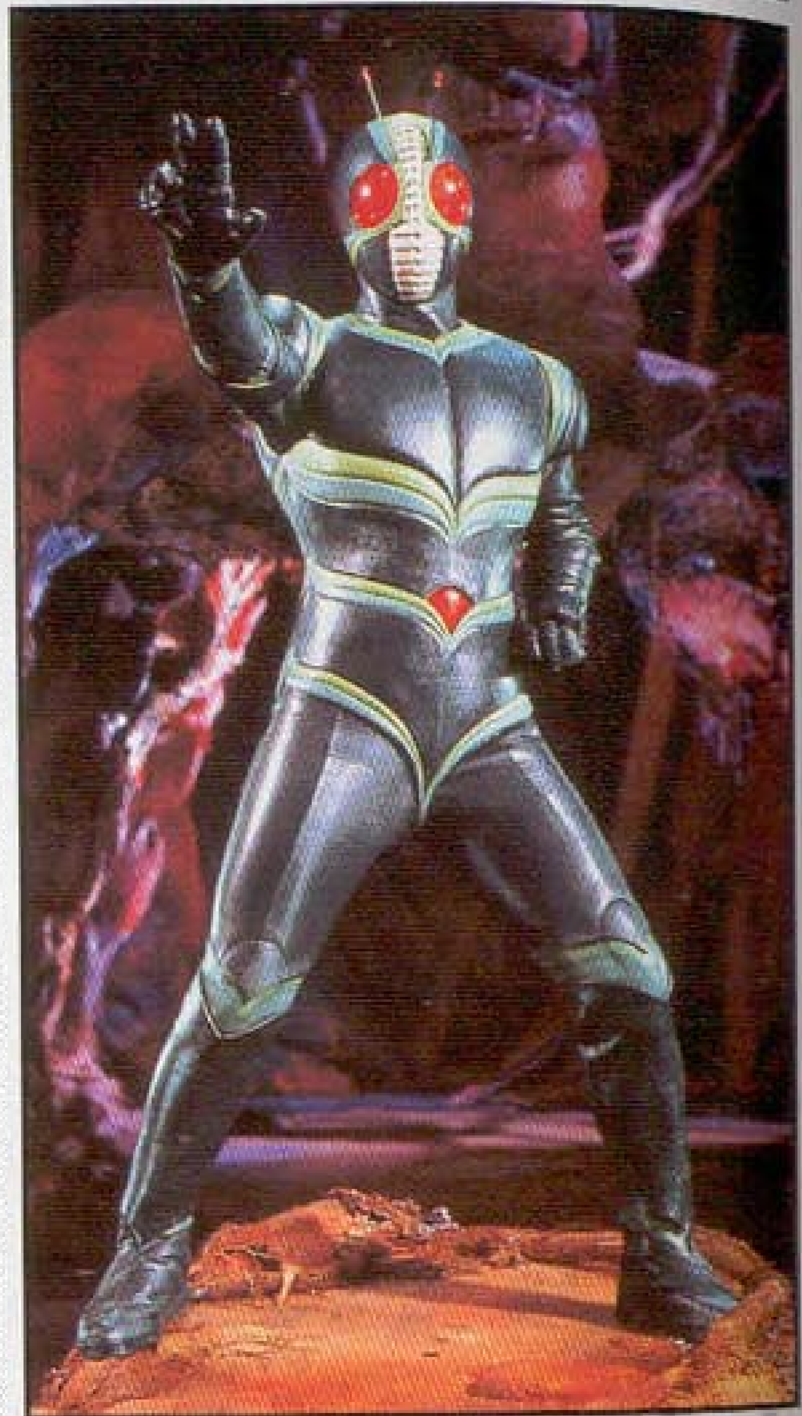
1994 仮面ライダーJ

MOVIE
1994年4月16日
東映系にて公開／47分

世が"Jリーグ"で賑わう94年に「東映スーパーヒーローフェア」で劇場公開された中編映画。見所は"巨人になる仮面ライダー"のビジュアルであり、これは前年発売のビデオソフト『ウルトラマン対仮面ライダー』で実践された1号ライダーの巨大化映像をブラッシュアップさせたものといえる。また本映画は、元祖チャイドルとして名を馳せる野村佑香のドラマ初出演作品である事など、現在の目で見ても話題性が高い。

世紀末の地球各地で異常気象が発生。これは銀河宇宙の制覇を企む、宇宙機械獣フォッグマザー到来の前触れであった。マザー内部では何万もの怪人が千年に一度の大孵化を控えており、ガライ王子を含む3幹部は儀式の生け贄とする人間を希求。折しもマザーの来訪した森林では、青年・瀬川耕司と自然を愛する少女・加那が居合わせていた。耕司は3幹部に殺害され、加那も生け贄として誘拐されてしまう。だが、これを地空人の使者ベリーが見ていた。地の精霊をエネルギーに地底で生息する地空人は、耕司に蘇生手術を施行。加えてマザーに対抗しうる"Jパワー"を彼に授け、戦士"仮面ライダーJ"の使命を委ねるのだった。

Jパワーの脈動を感知したマザーに応え、3幹部の一人アギトが出陣。谷川でトカゲ男の姿に変身したアギトから襲われながらも、耕司は初めての変身を成し遂げ、仮面ライダーJとなってトカゲ男に勝利する。やがて3幹部のズーが仕掛けた罠にはまる耕司だったが、ライダーJへ再度変身した彼は愛用のバイクをJパワーでJクロッサーへ強化変形させて応戦。ズーの変身したハチ女を打破しつつ、ライダーJはマザー内部へ突入してガライと対決する。Jキックでガライを倒すも、今度はマザーがライダーJを襲う。加那にも孵化した怪人達が迫る。だが、地空人の祈りと精霊達の光が集まったその時、ライダーJが巨人となって光臨！　今、天地鳴動の決戦が始まる……!!



■仮面ライダーJ

地空人によって手術を受けた瀬川耕司の変身した仮面ライダー。大自然から供与されるエネルギー・Jパワーを根源に活動し、地球に仇なすフォッグマザーの野望を阻止する事が彼の主たる任務。言い換えれば大自然そのものが彼の味方で、それらのエネルギーが結集した時こそ、仮面ライダーJの秘める本当の力が発揮されるのだ。なおJパワーを導き出すJスピリットと呼ばれる腹部の赤い透明体は、平時においても耕司のベルトで露出しているままである。194cm／84kg

◀地空人から送られた使者ベリーと交わす。対ズー（ハチ女）戦においてベリーはライダーJを果敢に補佐し、探すべき加那がフォッグマザー内部にいる事を示唆した。

www.thai-toku.com

▼谷川で鋭いキバを剥きつつアギト（トカゲ男）が耕司に迫ったその時、緑の戦士へと変身！　ライダーJはアギトの身体を力強く押し戻してゆく。

◀ライダーJがズーを下し、残る敵幹部は王子ガライ（コブラ男）だけとなった。無数の怪人達が孵化しつつある中、フォッグマザーの神殿が戦場に変わる。

■Jサイン
「仮面ライダーJ！」の名乗りと共に示したポーズ。右手へ光の玉が集まり"J"の文字を形成。戦士のウォークライである。

▶棠螂を想起させる節々の2本ラインは背面にも通っている。無駄を省いて均整のとれたボディに、天工的なものを見いだせよう。

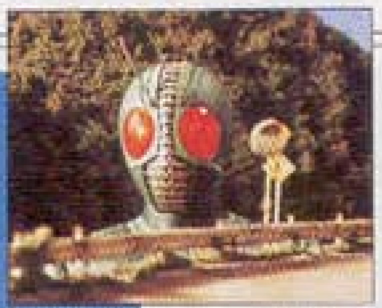
■Jキック
パンチやチョップと並ぶライダーJの技。このJキックは無敵と思われたガライをも葬り去っている。

■Jパンチ
そのパワーは一撃で相手を数十m飛ばす程の威力を秘める。

■ジャンボフォーメーション
巨悪フォッグマザーをくじく為、地空人や森の精霊から送られた神秘のエネルギーを吸収し、ライダーJは更なる変身を成し遂げた。それがこの約40mにも達する"ジャンボフォーメーション"である。天空高くそびえ立つ、空前絶後の"仮面ライダー"が誕生した。

▲フォッグマザー内の胃袋（左）に閉じ込められたライダーJ。彼に精霊エネルギーが収束してゆき、ひとたび腹外へ飛び出すや聖なる光と共に巨大な姿を顕現、"ジャンボパワー"発動の時来たる！

●「世紀末の地球は危機に晒されている。何者かの意志ともいうべき邪悪な前触れの中、一人の戦士の誕生、そして戦いが始まろうとしていた」（ナレーション／J）



■仮面ライダーJ（ジャンボ・ライダー）

大自然の怒りを代弁する仮面ライダーJが決戦時に見せたもう一つの姿。40mの体には、墓で眠る動物達、森の草木……そして地空人らの地球を想う願いが凝縮されている。今まさに仮面ライダーJは地球という最大の存在をも味方づけたのだ！

■ジャンボライダーキック

フォッグマザーに致命傷を与えた必殺技。数百m上空へ大きく跳躍した後、自由落下で目標めがけて蹴り技を見舞う。巨大化に伴って質量も増大した分、破壊力は計り知れない。

■Jエルボー

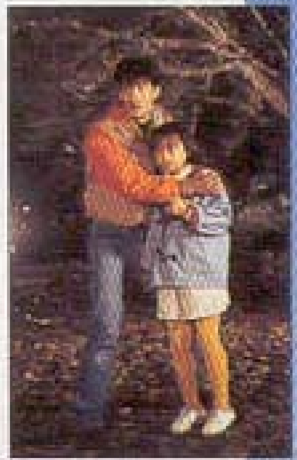
敵のウインダシザース[illegible]まったライダーJ[illegible]打ちで右側のハサミを破壊！　続いてJチョップが節足を弾き飛ばす!!

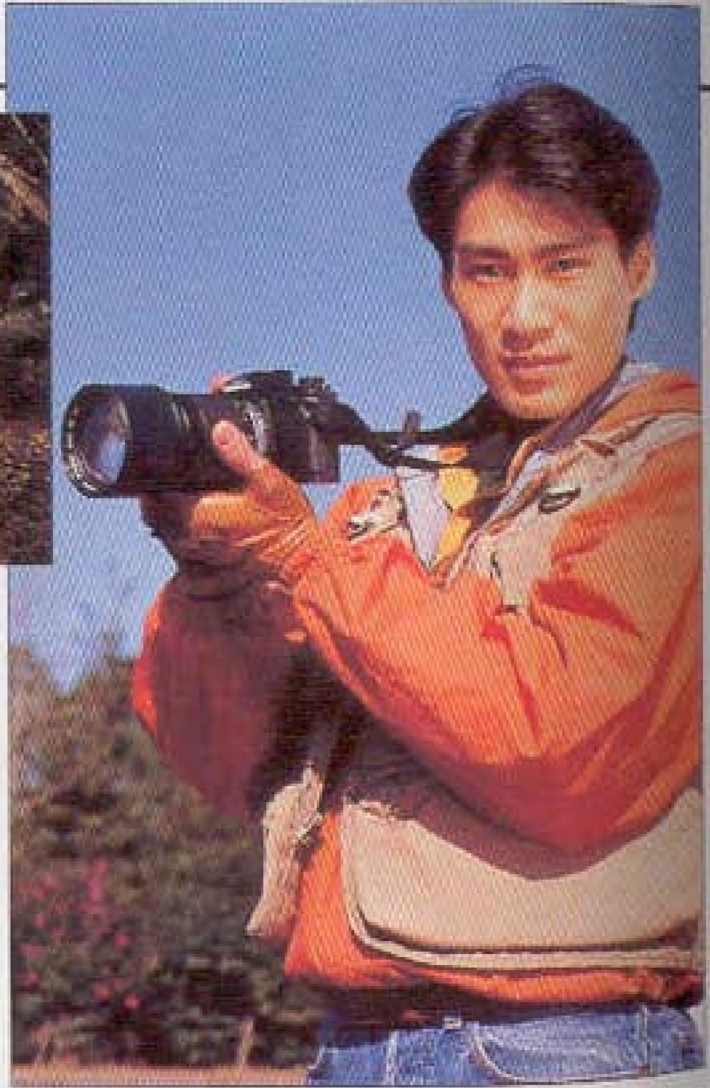
■Jパンチ

捕われの加那を救うべく、ライダーJは敵艦内部へ赤々と燃える右拳を一打。内部の彼女を握るや、森の大地へ降ろすのだった。

■瀬川耕司

仮面ライダーJへ変身する26歳の青年にして、物語の主人公。元々は環境破壊の現状を調査する目的で各地を探訪中のネイチャーカメラマンだったが、森で少女・加那と共にフォッグマザーを目撃した事件を契機に、彼の運命は一転する。





◀▼3幹部のアギトによって殺された彼は、地空人の手で"Jパワー"を授かり、仮面ライダーJとなる再生手術を受けた。ベリーを随伴させて敵地を目指す。

変身！

対ガライ戦でのみ見せた変身ポーズ。「変身」のコールでイチョウの葉の形をしたJスピリットのバックルが輝き、Jパワーで全身を包む。

■Jクロッサー

地空人が耕司のバイクに精霊のパワーを宿したスーパーマシン。対ズー戦で縦横無尽に駆使された。全長：210cm／車重：135kg／最高時速：1330km/h／ジャンプ力：90m

▶頑強なボディは爆風をものともせず、1000度もの熱にも耐えうる事が可能だ。ライダーJはそのスピードやジャンプ力を活かし、パンチや打撃技の攻撃力を倍増させる。

▲▶耕司が森を訪れる際に用いたス[illegible]のバイクが変形する。小型のカウルなど外観は軽装ながら、アグレッシブな内燃機関が勇猛さを際立たせる。

◀一つの戦いが終わった。Jクロッサーという物言わぬ相棒と共に、余人に知られる事も無くライダーJはハイウェイを疾走する。地球を脅かす者が再び現れる時、彼はまた戻ってくるだろう。

◀速さで優るズーに形勢不利と見たライダーJは、愛車に騎乗して激しいアクセルターンを展開！　耕司のバイクは光と共にスーパーマシンへ変換する。

■木村加那

森で横死した動物や虫の為に墓を作る、心優しき9歳の少女。耕司と意気投合するが、儀式の供物を欲したズーに認められてしまい、フォッグマザーの神殿へ拉致された彼女は、生け贄の烙印を額に刻まれる。

■地空人

死んだ耕司を蘇生させ、彼に仮面ライダーJの使命を託した地底の一族。不可思議な科学力を持つが、外界の光に耐性が無く、また下半身が大地に根を這わせている為、フォッグの到来を予測しながらも戦う事ができなかった。

■ベリー

地空人側のエージェントで、耕司を"J"と呼ぶ。知性があり、人間の言葉で会話も行なえる。加那を救う為に活路を開くが……（声：愛河里花子）

●「瀬川耕司、君はこの地球の痛みを感じてくれた。仮面ライダーJにふさわしい人物と判断したのだ」（地空人（男）／J）

■フォッグマザー

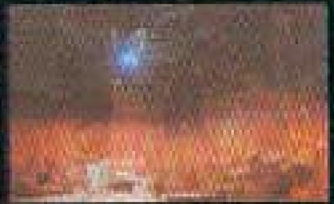
"機械獣母艦"の異名を持つ移動型要塞。母艦自身である女帝フォッグマザーとガライら3幹部が、フォッグの中核を成す。その体内では無数の怪人達の卵が1000年に一度訪れる孵化の時を待ち、3幹部は"フォッグの千年王国"実現がため、生け贄を求めて暗躍。7000万年前の地球で恐竜達を絶滅させたのもフォッグであり、今また惑星の生態系を狙って再度侵略を開始した。全長：70m／総重量：12000t（声：佳山真梨穂）

▲全身からの機関砲ブレットシャワー。基本的に砲弾は一門へ六発装填されている。ボディ各所に仕込まれた砲門が唸り、連続射撃により周囲を焦土と化す。山中の発電所を破壊した。

▲アイビーム。平時は神殿内にある神体の顔が、戦闘状態に移行すると外部にせりだし、右目から緑色の怪光波を発する。

▲フライングカッターこと、隠し技である連射式の回転ノコギリ。キックを見舞うライダーJへ放ったが、弾かれてしまう。

◀銀河宇宙を統べる悪の権化が、数千万年の刻を経て再び地球へ来襲。その目的は、地球上に生息する人類を糧とすることにあった。



▲3幹部が常駐する神殿（上）でマザーが祭られていた。神殿と下方へ連なるエサ場（下）にて無数の卵が目覚めつつある。

▲ウイングシザースが90度前方へ回転し、電磁波を放出してライダーJを捕縛。その後、中腹部で重く踏足の攻撃を行った。

▲下部には掘削用のドリルがあり、橋や街の建築物を壊していった。全身にくまなく装備された凶器が他文明を脅かす。

◀多方向に放射される反重力ビーム。ハイウェイを通過する一般車両を次々と弾き飛ばしていった。ここで挙げた機能の他、艦体から毒性のガスを噴出する事も可能で、罪の無い森の植物や動物達を苦しめてゆく。

◀フォッグマザーの母艦は機能を停止したかに見えた。だが本体である怪物はまだ存命しており、等身大へ戻ったライダーJを母艦の心臓部へ引きずり込んで最期の勝負を挑む。だが、長大な尻尾と口からの毒ガスでライダーJへの攻撃を試みるも、神秘の"Jパワー"を宿した戦士の敵ではなく、Jパンチによって敗れ去った。

▲アームをもがれたフォッグマザーへ超高空からライダーJのキックが炸裂する！ 悪魔の軍艦は、大自然の象徴である"仮面ライダー"の手で倒された。

■ガライ

マザーより"王子"と呼ばれる。人間や仲間の死をも"壊れた"と感受する非情な性質であり、ライダーJとの戦いにおいては右耳の飾りを弾く事で怪人体へ変貌。腹部を刺されても平然と活動しうる強靭な身体を持つが、最期はJの放ったライダーキックに敗れた。207cm／125kg。

■人間体

▲掌より発生するガライソード。発光する剣を手に、手持ち武器の無いライダーJへ斬りかかった。

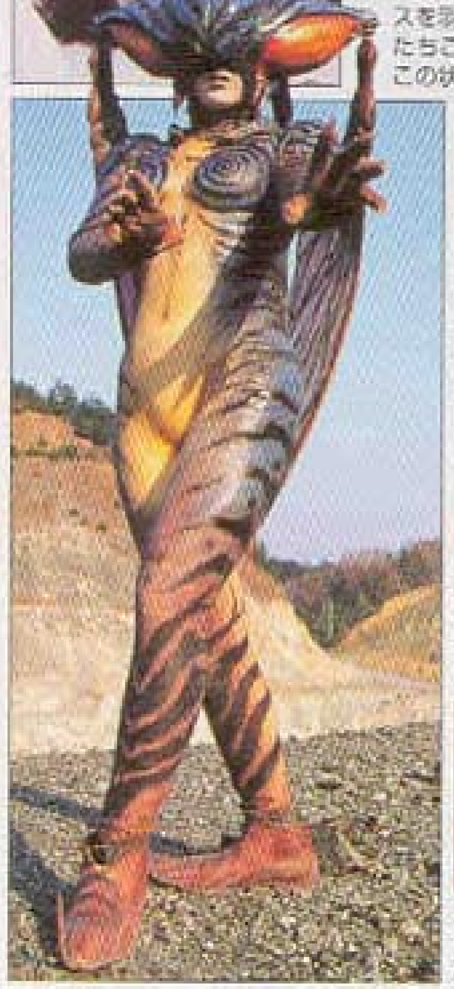
▲サーベルはムチのガライウィップにもなり、左腕をからめとったライダーJを振り回して苦しめる。

▲右腕に収束したエネルギーによる三つ叉のツメ・ガライクローを飛ばし、ライダーJの動きを封じた。

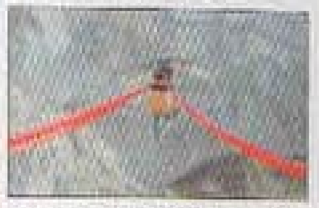
www.mai-toku.com

■人間体

3幹部中で唯一の女性型をしたズーのみ、白装束以外の着衣を披露。赤ドレスを羽織って、瘴気（しょうき）のたちこめる森で耕司を待ち受けた。この状態でも飛行が行える。



▲右の掌から数十cmのバームニードルを射出。ライダーJの右腕を刺し貫いた。

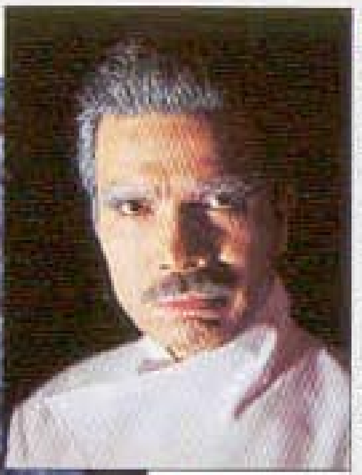


▲頭部の羽根で飛翔。ライダーJを軽々と抱え、地上十数mの高さを滑空する。

▲ガライに救いを求める断末魔。だが彼女へ向けたガライの表情は酷薄そのものだった。

■ズー

ガライやアギトと共に、フォッグマザーへの生け贄となる人間を見つけだす事が使命。ライダーJに対する第二の刺客として、得手とする空中戦で相手を翻弄したが、Jパンチの反撃によるダメージが致命傷となって絶命した。189cm／79kg。



■アギト

ライダーJと最初に戦った3幹部の一角で、寡黙な性格。人間体でも長い尻尾は武器に使える。大型トラックを暴走させて耕司を襲った。50cm（全長：490cm）／105kg。

▶爪や鎧の変貌に続き、表皮が角質化して変身。

■人間体

▲ライダーJに片目を潰されて崖を逃走するが、最期はJパンチで倒れた。

▲巨大な顎（あぎと）のアギトファングは、相手を挟んで持ち上げる力を持つ。

●「何……この星にアギトを倒せるものがいたとはな。おもしろい。少し遊んでこよう」（ガライ／J）

COLUMN 17 イベントで見られた"ライダー"

ここではテレビで見られなかった、"ライダー"について見ていこう。

まず「われらの仮面ライダー」は、『V3』1、2話の撮影終了後に行われた、「仮面ライダー放送百回記念パーティ」で上映されたもの。『ライダー』の名場面集に、関係者に向けての中江真司によるナレーションが加えられた。

『クウガ』の「乙彼」もそれに近く、一部のスタッフ、キャストが極秘裡に撮影したビデオを関係者による打ち上げパーティで上映したもの。内容は助監督として活躍した鈴村展弘が、石田秀範、渡辺勝也、長石多可男、金田治ら各監督のスタイルを模しておなじみのキャストを演出、オマージュを捧げたものとなっている。

一方、イベントなどで限定的に流れたのが「仮面ライダー世界に駆ける」と「仮面ライダーワールド」。共に3D映画という特殊な性格を持つ映像で、前者はブラック&RXという、設定上不可能な、夢の共演を実現。後者は"平成のWライダー"として、ZOとJの共演が初めてなされた。いずれも短編ながら内容の濃い、傑作巨編となっている。

◀「われらの仮面ライダー」、「仮面ライダー」の名場面や関係者で行われたパーティイベントなどをまとめた短編フィルム。関係者に向けて作ったものだが、本作のバックボーンを知るには、もってこいのテキストにも成っている。現在では、東映ビデオから発売の「仮面ライダースペシャル2」で見ることができる。

▶▼「仮面ライダー世界に駆ける」。脚本に浦沢義雄、監督に小林義明を配して製作された3D映画。ブラック＝RXという設定を逆に利用した完全なる外伝として楽しむことができる作品。手前にモノが迫ってくるカットが多いのも3D映画であればこそ。3D効果はないものLD「仮面ライダースペシャル2」で見ることができる。

◀「RX」のみでは話となっているのでジャーク将軍や怪人誕生も登場。RXがブラックになる場面では、「BLACK」ED曲と共に三神官が登場している（タロム（演：佐田雅志）を除いてオリジナルキャスト）。クライシスからは、スカル魔とスカル魔スター、デスガロン（TV未使用のバズーカ砲付）、合体トリプロン、ムサラビザラ、ガイギスガンが登場。スカル魔たちは例は、RX、ロボ、バイオ、ブラックそれぞれの必殺技により倒された。

▲「仮面ライダーワールド」。青梅市公開の「スーパー戦隊ワールド」と対をなす内容となる3D映画。こちらもLD「～スペシャル2」に収録されている。

▲シャドームーンが地獄征服を企み怪人軍団を復活させた！　これを知ったベリー様ZOとJを呼びよせた。マシンを乗って駆けつけるWライダー、ZOとJ！　コルゴムのサイ怪人、財団の改造兵士レベル2、フォッグのガライ、ズー、アギトの五体と壮絶なバトルを繰り広げる（それぞれここのみで見られる技や武器として、ズーのミサイル、レベル2の槍、ガライの剣がある）。これらを倒したWライダーの前に巨大化したシャドームーンが登場。これに対し、Jも再び巨大化して立ち向かうのだった……（脚本は東利彦、監督は渡辺勝也が担当。一部パンクも使用し製作された）。

COLUMN 18 仮面ライダーの音楽世界

TEXT：早川優

多くの人気ヒーロー作品と同じく、「仮面ライダー」も魅力的な音楽と作品世界とは不可分の関係にある。第1作から最新作の『アギト』まで、作品が登場した時代のニーズに合わせて、音楽のスタイルも変化してきたが、いずれも根幹にロックのテイストを置いている点は変わらないといえる。

連綿と続くライダー・ミュージックの基礎は、菊池俊輔による第1作『仮面ライダー』によって築かれた。ブラスと特殊楽器を加えたバンド編成で書かれたその音楽は、ウエスタン的なリズムを与えられた主題歌の変奏曲を中心に、軽快なアクション描写と悪の秘密結社がもたらす恐怖表現に力を発揮した。

この第1作以降、菊池氏は『V3』から『スーパー1』までの作品の音楽を担当した。唯一の例外は『スカイ』の劇場用新作『8人ライダーVS銀河王』で、追加曲を武市昌久が手がけている。菊池氏によるライダー・シリーズの音楽は、いずれも親しみやすい旋律の主題歌・挿入歌の[illegible]曲と、各作品の特色を音楽的に料理した個別テーマから成る。

ライダー・シリーズ第2のコンポーザーは、編曲家としても活躍する川村栄二。『BLACK』『RX』に提供したスコアは、打ち込みのリズムを活かしたテンポ感と硬質感あふれる音色によって新たなライダー・サウンドを確立した。Vシネマの『真・仮面ライダー～序章』（音楽は、宇崎竜童による主題を基に和田薫ら、3名の作曲家が担当した）を挟んで製作された『ZO』『J』の2本の劇場用作品では、オーケストラとシンセの融合によるハリウッド・テイストの音楽設計がみられる。

そして、仮面ライダー・サウンドの最新の担い手は佐橋俊彦。『クウガ』ではロックを基調とした音楽設計が、歴代作品中で最も徹底かつ戦略的に試みられ、新時代のヒーローの物語にふさわしい目の覚めるような効果を上げた。『アギト』では、前作の音楽設計を受け継ぎつつ、ヒーローに敵対する者のテーマ音楽として古典的なレクイエム曲の趣向も取り入れられ、音楽的な幅が広がっているのが特徴である。

駆け足で「仮面ライダー」の音楽世界を振り返ってみた。これからもライダー・サウンドは、悪に立ち向かう孤高のヒーローの魂を歌い続けることだろう。

◀「仮面ライダー」の主題歌の原盤制作は朝日ソノラマが行なった。ソノシート収録の主題歌は藤岡弘歌唱ライク。その後、放映にあわせ、藤岡一般に変更となった。

▶主題歌の大ヒットを受けて、原盤メーカーは日本コロムビアへ移行。歴史的なソング集が発売された。これを期に「ヒット曲集」は子供向け番組には欠かせないモノとなる。

▲'80年代半ば、ファン待望の「ライダー」オリジナル音楽が初めてレコード化された。そこに収録された菊池アクション・サウンドのつるべ打ちに、ファンは歓いしれた。写真は、V3までの主な楽曲を収録した「F1」とベスト盤ともいえる「W」。

◀現在入手可能な代表的「ライダー」CDを紹介しよう。「BGM大全集」は、それぞれ5枚組CDで、現存する「RX」までのオリジナル音楽を収録。「～バトルミュージックコレクション」は、戦闘曲満載の熱血盤（BGM大全集上下巻とも定12）36円、バトル～は各2427円、共に税抜き。日本コロムビアより発売中）。

▲「アギト」の関連盤盤（サントラ、ソングコレクション共に2800円）。今後も続々と発売が予定されている。白眉はライダーブッスが歌う「DEEP BREATH」。ジャケットのアートワークは感染モノ（8月18日発売、1200円。いずれも税抜き。日本コロムビアより）。

COLUMN 19 仮面ライダーSD

「RX」終了後、新作ライダーの無い時期に子供たちに向け、展開したのがここで紹介する『仮面ライダーSD』である。「ガンダム」「ウルトラマン」といったメジャーキャラクターが次々とSD（スーパーデフォルメ）化されていく中、当然のように我らがライダーもSD化された。それ以前では『仮面ライダー倶楽部』として、同傾向のSD化商品はあったものの『～SD』となってからは、玩具、TVゲーム、コミック、ビデオアニメなどでSDライダー世界を再構築。共通のキャラクターながらも個々に独自の設定を築き、それぞれで楽しめるようになっていたのが特徴であろう。
特に『コロコロコミック』で連載された『仮面ライダーSD疾風伝説』（画：かとうひろし）はV3を主人公に、荒廃した世界を救う11人の戦士。とライダー世界を根本から再構築。伝説の1号ライダーのもとへ駆けつける"風の戦士"たちの戦いは、東映オールスターキャスト映画のようでもあり、熱い展開を見せたコミックであった（ちなみにここでライダーマンマシーンの名称を「モンスーン」と呼称している）。

◀OVAとして発表された『新仮面ライダーSD　怪奇小クモ男』は主人公・RXに小野寺丈、おやっさんに小林昭二をキャスティング。

▶1号、2X、RXのバトルライダーズが中心となって、グランショッカーと戦う！

▲クモ男と戦うバトルライダーズがピンチに！　そこへV3、X、スーパー1のメカニカルライダーズが颯爽と駆けつけた！

▶『ライダーSD』通じて、若き主人公という立場のRXの成長譚としてストーリーは展開していく。ビデオ版、バンダイビジュアルより好評レンタル中。

COLUMN 20 CMに登場するライダー

いわゆる「ライダー」世代が社会的に中核をなす現代。僕らの「ライダー」は、企業のイメージアップや、直接関係がない商品の宣伝にもストレートに、時にはパロディとして積極的に登場するようになった。ここではそれら「ライダーCM」を追いかけてみよう。
1号ライダー、藤岡弘を起用して印象深いのが、光通信のキャンペーンCMと、日本小型自動車振興会によるオートレースのCM。光通信は2作のみ、藤岡も声での出演だが、当時の演出を彷彿させ、ナレーションも中江真司を起用し、イカデビルが登場するなど、細部にこだわりを発揮。オートレースCMは現在7作を数えているが、こちらはレースを連想した藤岡が、感極まって変身、レース場にサイクロンで乗り付け、そのままレースに出走してしまうという、本郷猛＝藤岡というキャラクター重視の作り。人気を博した「せがた三四郎」のCMと共に、氏のヒロイックな魅力を前面に押し出して好評だ（最新ポスターでは、V3やライダーマンまで登場。今後の行方が気になる）。
以上は単純にライダーが出たCMだが、その要素のみを抽出したCMもある。テクモの競馬ゲーム『ギャロップレーサー3』では、2号ライダー、佐々木剛を起用。大野剛友会所属のジョッキー戦闘員が登場し、「出たなジョッキー！」と叫ぶ佐々木が変身ポーズと共に「仮面ジョッキー」へ変身、大きな話題を呼んだ。
また、スカイパーフェクTVのCMでは、瀕死のSMAP中居クンに、科学者が豊富なTV番組を見せて回復させ、元気が出過ぎたのでショッカー（骨戦闘員）を投与して沈静化させる、という戦闘員のみの登場も見られた。SMAP出演CMということでは、NTT東日本CMで、稲垣クンにいたずら電話を掛けた慎吾ママが、「変身」ポーズをさせるというものがある。これは「変身」というキーワードが、流行語を通過し、ライダーを指し示すものとなったことから、ライダーCMの変種と捉えられるだろう。
このように、変身、戦闘員、バイクなど、以降のヒーローものに継承されるイメージを作った「仮面ライダー」ゆえに、これを逆手に取ったCMが今後も作られるのは想像に難くないだろう（エバラ焼き肉のタレでの「黄金ライダー」もその一例といえる）。

www.ai-toku.com

2000

第6章

仮面ライダークウガ

2000 仮面ライダークウガ

TV
2000年1月30日～2001年1月21日 テレビ朝日系
日曜朝8時～ 全49話（TVスペシャル1本）

原作者の石ノ森氏の逝去後初めて、ハイビジョン作品として11年振りにTVに復活した新機軸の「仮面ライダー」。トライアルレーサー・成田匠氏によるバイクアクションや等身大のリアルな世界観で展開する意欲的な作品。伝統の「ライダー＝改造人間」に替わる"超古代文明の謎"の設定、登場キャラの魅力などが視聴者に話題を呼び、シリーズを最新作「仮面ライダーアギト」に繋げた。2001年1月2日には正月特番46.5話「初夢」を放送。

西暦2000年。夏目教授率いる調査隊は日本アルプス・九郎ヶ岳の古代遺跡で謎の棺を発見。その発掘作業中、棺に施されていた封印が解け、異形の怪人が復活した。その"未確認生命体０号"は調査隊を惨殺した後、同族の超古代の怪人＝グロンギ族の封印を解き二百体余を現代に蘇らせる。海外から帰国した自称・冒険家の五代雄介と、大学院で古代文字の解読を担当していた友人の沢渡桜子は、連絡の取れなくなった調査隊の異常を知る。遺跡に急行した雄介は、発見されたベルト状の古代の装飾品に遭遇、ベルトの発した不思議な光に"戦士"のイメージを与えられる。事件を捜査する長野県警の一条薫刑事が古代文字の解読を桜子に依頼した事から、雄介はベルトと再会。県警本部に突如現れた獰猛なクモ種怪人（未確認生命体第１号）に襲われた雄介は、再びベルトの光から戦士のイメージを与えられ、それを装着。超古代の伝説の戦士"クウガ"へと変身した！　かくして、超古代から蘇り、人類を脅かす"未確認生命体"グロンギの怪人たちと、古代の戦士から変身ベルトと戦う力を受け継いだ五代雄介＝仮面ライダークウガとの長きに渡る戦いが始まった。警視庁の未確認生命体合同捜査本部に転属した一条やクウガにまつわる古代碑文の解読を行う桜子を始めとする仲間達の様々な協力を受け、雄介＝クウガはグロンギの怪人に立ち向かう。人々の笑顔を護るために。戦いの無い日が来る事を信じて。

■仮面ライダークウガ

五代雄介が変身。さらに状況に応じて各フォームへ超変身することで戦いを有利にする。

■マイティフォーム（赤のクウガ）

超古代の戦士ベルトを受け継いだ五代雄介が、戦う決意を固めた事で2話で初めて変身出来た格闘戦を得意とする完成形態。"邪悪なる者あらば希望の霊石を身に付け炎の如く邪悪を打ち倒す戦士あり"と古代碑文が記した赤い身体の"炎の戦士"。警察は"未確認生命体第4号"と呼称。200cm／99kg。

◀雄介の107番目の技を応用し、空中回転を加えた強化マイティキック。ズ・ザイン・ダを倒すために編み出された。12話。

▼クウガが必殺技を叩き込むと封印の文様が刻まれる。そのエネルギーがグロンギたちのベルトのバックルに達し、大爆発を起こす。

▲霊石"アマダム"が埋め込まれた変身ベルト"アークル"。両サイドに大きく刻まれた古代リント文字は"力"を意味する。

www.kai-toku.c

■グローイングフォーム（白のクウガ）

1話で五代雄介が初めて変身した姿。その時は戦士としての心構えが不充分だった為、角が短く体色も白いこの未完成形態にしかなれなかった。能力はマイティフォームの半分なので怪人相手に苦戦。警察からは"未確認生命体第2号"と認定された。190cm／90kg。

◀霊石が力を消耗し変身が維持出来なくなった時もこの形態になる。更なる消耗で雄介の姿に戻ると2時間は変身不能。

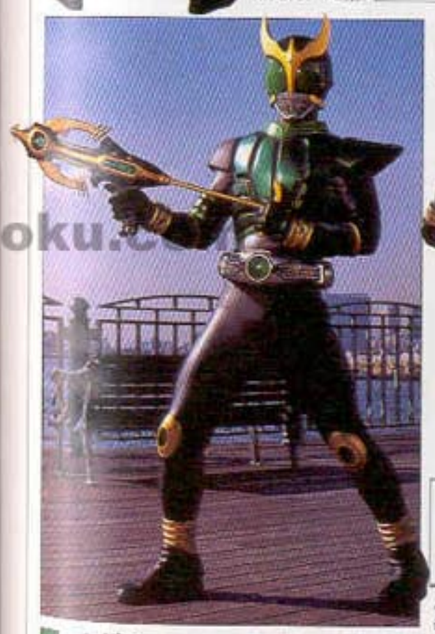
▶メ・ギノガ・デに必殺キックを放つも封印が不完全。3度目のキックでようやく倒せた。19話。

■ドラゴンフォーム（青のクウガ）

ズ・バヅー・バのスピード戦法に対抗すべく5話で現れた最初の特殊形態。瞬発力やジャンプ力が飛躍的に伸びた反面、弱くなった打撃力を棒術で補い敵を打つ。碑文に"邪悪なる者あらばその技を無に帰し、流水の如く邪悪を薙ぎ払う戦士あり"と記された青い身体の"水の戦士"。200cm／90kg。

▲鉄パイプや流木など、握った棒状の物が伸縮自在の武器ドラゴンロッドに変形。変身を解くと一緒に元に戻る。

▲怪人の身体に打ち付けたドラゴンロッドの先端から封印エネルギーを送り込むスプラッシュドラゴンが必殺技。



■ペガサスフォーム（緑のクウガ）

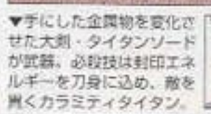
7話で現れた、視覚・聴覚など五感が人間の数千倍に強化された特殊形態。判断力や洞察力も優れ、見えない敵を察知。反面、消耗が激しく変身時間は僅か50秒。"邪悪なる者あらば、その姿を彼方より知りて、疾風の如く邪悪を射抜く戦士あり"と碑文に記された"風の戦士"。200cm／99kg。

▲一条刑事らから借りた拳銃を専用武器のペガサスボウガンに変化させて超感覚で敵を狙い撃ち。

▲ボウガンから封印エネルギーを込めた空気弾を放つ一撃必殺のブラストペガサスで怪人を葬る。

■タイタンフォーム（紫のクウガ）

運動能力が強化された形態。堅固な生体鎧で攻撃を跳ね返し大剣を振るい敵を倒す。"邪悪なる者あらば鋼の鎧を身に着け、地割れの如く邪悪を斬り払う戦士あり"と碑文に記された紫色の"大地の戦士"。初変身は10話。200cm／110kg。



▼手にした金属物を変化させた大剣・タイタンソードが武器。必殺技は封印エネルギーを刀身に込め、敵を焼くカラミティタイタン。

▲上に、変身の鍵キーでもある特殊警棒トライアクセラーを変化させる事が多かった。

●「数々の謎を秘めたまま、殺戦を繰り返す未確認生命体。その殲滅から人類を救えるのは、伝説の戦士・クウガをおいて他にはいない！」（ナレーション／クウガ 17話）

■ライジングタイタン
（金の紫のクウガ）

雄介曰く"ビリビリ"の"金の力"（ライジングパワー）を得て、メ・ガリマ・バ戦（24話）で最初に発現した形態。必殺技ライジングカラミティタイタンを振るう為、30秒間"紫の力"が数倍になる。200cm／122kg。

▲剣に"雷の力を加えて邪悪を鎮めよ"と古代文字が刻まれたパーツが追加。二刀流も披露（41話）。

■ライジングペガサス
（金の緑のクウガ）

金の力によって26話で初変身。"緑の力"の超感覚がより研ぎ澄まされ、高空から襲うゴ・ブウロ・グの位置を即座に察知した。消耗が激しく変身時間は50秒から30秒へと短くなったが、必殺のライジングブラストペガサスの連射に耐えられる様に身体は強化。200cm／99.9kg。

▲金の力を秘めた鎧身の強化パーツの働きで必殺弾の連射が可能になり、射程距離も大幅に伸びた。怪人に従来よりも大きな爆発を起こさせる。

www.thai-toku.com

■ライジングドラゴン（金の青のクウガ）

28話で初変身。ドラゴンロッドの通じない強敵ゴ・ベミウ・ギに、新必殺技・ライジングスプラッシュドラゴンを叩き込むべく強化された形態。ライジングパワーで向上した"青の力"でより素早く動け、より高く跳べる能力が身についた。変身限界時間は他の形態と同じく30秒。200cm／92kg。

▲ドラゴンロッドの両端に発生した、金の力を秘めた鋭い矛先で敵を突き刺す。そのまま遠くへ投げ飛ばし、必殺技による大爆発の影響を最小限に抑えた。

▼"赤の力"が更に強化された身体から放つ必殺のライジングマイティキックの威力は凄まじく、その大爆発の衝撃波は半径3kmにも及んだ。

■ライジングマイティ
（金の赤のクウガ）

金の紫の力が通じなかった強敵ゴ・ガメゴ・レを倒すあ、強大な力の予感にためらいを感じながらも30話で初変身した強化形態。右足のマイティアンクレットが生み出す金の力が加わった必殺キックの威力は絶大だが、周囲への被害も甚大な為、怪人を人気の無い場所まで誘導しなければ使用出来ない。200cm／104kg。

■アメイジングマイティ
（金の黒のクウガ）

ゴ・ガドル・バ電撃体に敗れ心臓を停止させた雄介が、再び椿医師の電気ショックを受け、金の力をより強化させて復活。長時間ライジングフォームに変身可能になったクウガが46話で獲得した更なる強化形態。ライジングマイティの全身に電撃が疾り、赤い身体が黒く変化。マイティアンクレットが両足に発生した"黒の金の力"で雄介は再び戦いを挑んだ！200cm／125kg。

▶両足から封印エネルギーを叩き込むアメイジングマイティキック。強敵ガドルの電撃キックとは中大級の差

■古代のクウガ

超古代、邪悪なグロンギの襲撃に対抗すべく、人間を超人に変える謎石の力を借りてリントが産み出した戦士がクウガ。4色の力を駆使した活躍は古代碑文の記述や雄介のイメージに現れる。遺跡の祠に入っていた彼の肉体は討ち果たした怪人群を現代まで封印し続けていた。

■アルティメットフォーム
（凄まじき戦士）

"聖なる泉涸れ果てし時、凄まじき戦士雷の如く出で、太陽は闇に覆われん"と碑文に記されていた4本角のクウガ究極の形態。35話、怒りに任せゴ・ジャラジ・ダを倒した爆発の炎の中の幻影に雄介はその姿を見た。碑文は、悲しみの心に囚われて優しい心＝聖なる泉を失った戦士はグロンギの頂点"究極の闇をもたらす者"と同じ存在"凄まじき戦士"に変する事を警告していたのだ。だが雄介は優しい心を失わぬまま48話でこの姿に変身し、伝説を塗り替えた。202cm／150kg。

▲ン・ダグバ・ゼバとの究極VS究極の最終決戦。お互いの持つ超自然発火能力では決着がつかず、勝負は血まみれの壮絶な殴り合いとなる。

変身！

「じゃあ、見てて下さい、俺の…変身」究極の闇をもたらす者に自分が変貌したら弱点ベルトを撃ち抜いて欲しいと一条に託し、雄介は静かに最後の変身を遂げる。

●「こんな殺戮の為に、これは上演かの涙は見たくない！　みんなに笑顔でいて欲しいんだ！　だから、見ててください！　俺の、変身！」（五代雄介／クウガ　2話）

五代雄介

クウガへの変身を含む2000の特技を持つ冒険家。その多彩な特技は人々の笑顔の為に頑張りたいという信条に基づく。人前では決して弱みを見せず「大丈夫！」が口癖。彼の人柄と生き方は周囲の人間に大きな影響を与えた。九郎ヶ岳で発掘されたベルト・アークルを身につけた事でクウガへの変身能力を授かる。父を小6で、母を18歳の時に亡くした後、みのりと兄妹二人、おやっさんの世話になっていた。1975年3月18日、北海道生まれの24歳（9話で25歳に）。血液型はO型。

www.thai-toku.com

◀ギノガの猛毒胞子に冒された雄介は椿医師の蘇生処置も虚しく心停止。しかし“戦士の瞳の下、大いなる瞳になりし時何人もその眠りを妨げる事無かれ”との碑文の通り、霊石の力で復活！ 19話。

▲長野に現れた未確認生命体の暴走の最中、戦士のイメージに導かれ、変身ベルトを装着した時から彼の運命は変わった。

▲「オリエンタルな味と香り〜」でお馴染みの、おやっさんの店“ポレポレ”の従業員だが事件で店を空ける事しばしば。

▲雄介が配る名刺。身に付けた技の数が手書きで記されている。桜子の物の数字は1834、ジャンのは1964。

▲笑顔を護る為に戦う決意をした雄介は、2話でイメージの中の戦士と同じポーズを取って“赤い戦士”に変身！

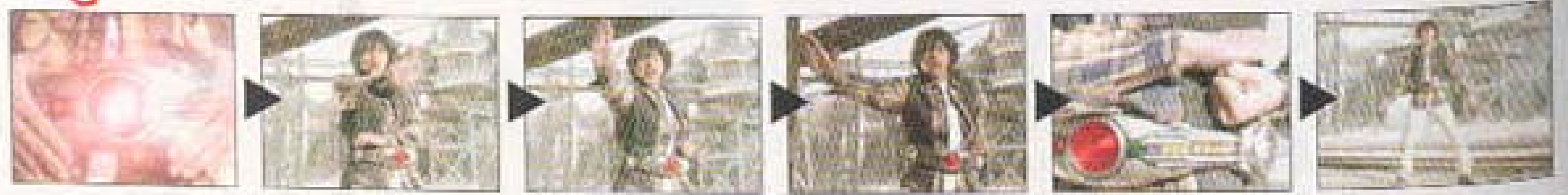
▲どこかの国の青空の下、小競り合う子供達に特技のジャグリングを披露し、子供達を笑顔にする。49話。

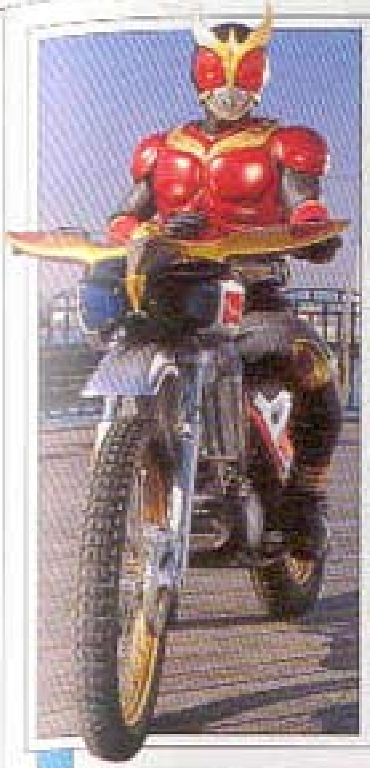
▶最終決戦を前に、一条とサムズアップを交わす。古代ローマで、満足出来る、納得出来る行動をした者にだけ与えられるこの親指を立てる仕草は信頼や友情や感謝やありったけの気持ちの印。48話。

◀互いの拳が変身ベルトを破壊。ダグバと雄介の最終決戦は人間の姿での血みどろの殴り合いになる。強敵との戦いに無邪気に笑うダグバと、傷付け合う哀しみに涙を流して戦う雄介……。

変身!

五代雄介が精神を集中し腰に手を当てると体内の変身ベルト・アークルが実体化。「変身！」と叫んでポーズを決めると、霊石アマダムの力が彼の肉体を戦士＝クウガに変えるのだ！





ブラックヘッド

普段、雄介が乗る際の車体色。全体を黒一色に変えている。後にガドラ戦で破壊されたコンバネを量産型のものと交換。

トライチェイサー2000（ゴールドヘッド）

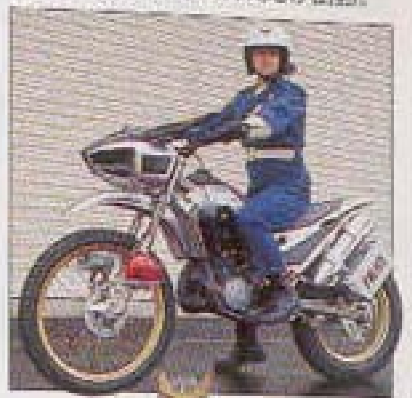
警視庁が開発した新鋭特殊バイク。試作機が一条の計らいでクウガに送られた。最高時速300km/h。無公害エンジン・アレグロと、車体の色を変えるマトリクス機能を搭載。コード入力「0008」でこの色に変化。

ポリスヘッド

4話の初出動時の色。“チェイサー”の名の通り怪人をどこまでも追い詰める。起動入力キー「0318」は雄介の誕生日。

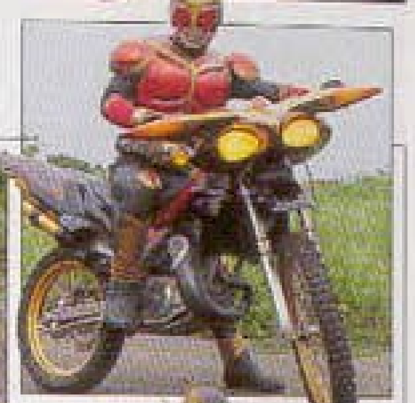
TRCS200A

特殊機能を省き、ガソリンエンジンに換装したトライチェイサーの量産型。カウルに桜の大門がつき、最高速度は時速190km/h。各都道府県警白バイ隊に配備が始まっており、33話のバダー戦では神奈川県警のTR05が出動。



ゴウラム

遺跡から発掘された破片が霊石アマダムを中心に集合して復活した古代の生体メカ。雄介のイメージにも度々その姿が浮かんでいた。“来たれ、甲虫をかたどりし馬の鎧となる僕よ”という古代文字の通り、クウガを掴まらせて飛行したり、バイクに合体して装甲になるなど、クウガをサポートした。



ブルーライン

33話で一条が自ら運転してクウガの元へ届けた際の車体色。マトリクス機能でクウガの乗るレッドラインと雄介の乗るブルーラインの使い分けが可能。

ビートチェイサー2000（レッドライン）

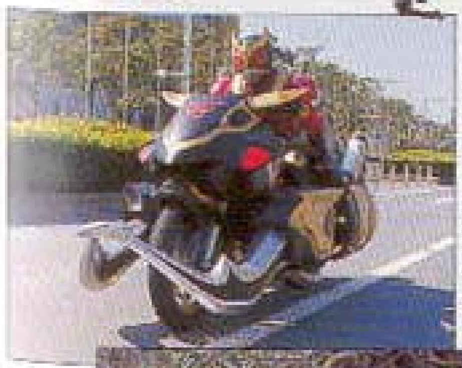
クウガ専用に科警研が開発した特殊バイク。ゴウラムとの合体を前提に特殊形状記憶合金「BT鋼」を採用。新エンジン・ブレストを搭載する。

トライゴウラム

トライチェイサー2000とゴウラムが合体して誕生した重装甲マシン。角の先端に封印エネルギーを集めて敵に体当たり。16話でギャリドが乗っていたトラックごと大爆発させた。

ビートゴウラム

新型バイク・ビートチェイサー2000とゴウラムが合体した姿。最高時速570km/hの速度を活かし、金の力の必殺技で大爆発を起こす恐れのある怪人を影響の少ない場所へ移送する。



◀ゴウラムとの合体の影響からタイヤやホイールが変化。時速400km/hのスピードで疾走する。

▶BTCS2000と修理されたTRCS2000の2大マシンが全速、決戦場へ赴く。

▲クウガでなければ乗りこなせない最高時速420km/hの超スピードからの緊急停止には小型のパラシュートが用いられる。

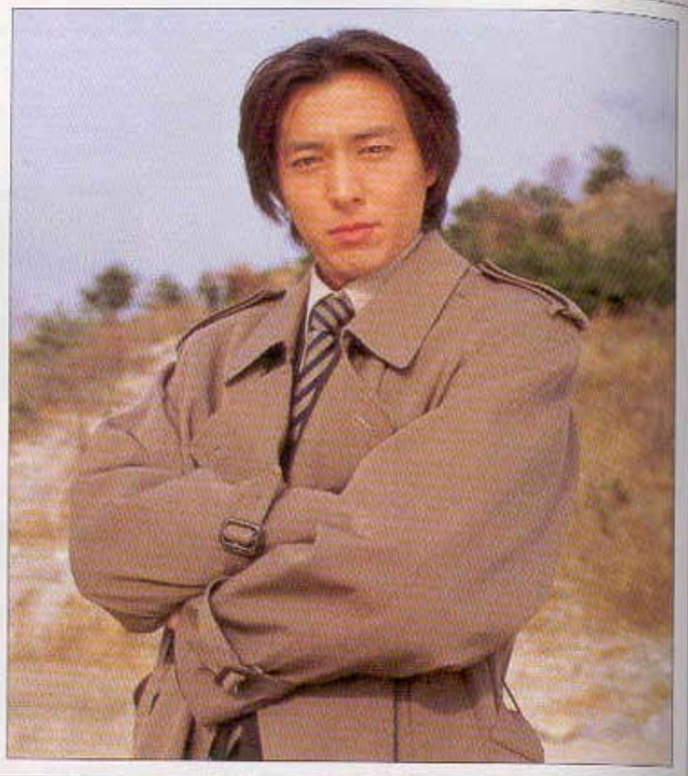
ライジングビートゴウラム

ライジングパワーを得て、ビートゴウラムも金色の装甲に覆われた姿に強化。威力の増した体当たり攻撃を雄介は「金のゴウラム合体ビートチェイサー・ボディアタック」と命名。

●「冒険者だからこそ現実にしたいじゃない、本当は冒険者がいいんだもん」（五代雄介／クウガ 41話）

一条薫

雄介と共に戦う刑事。長野県警警備課に所属していたが、未確認生命体関連事件の専任捜査官として警視庁に異動。一見クールだが、他人の為に自らを投げ出す熱い男。クウガ＝雄介の正体と、自分に似たその信条を知り、雄介の戦いに有形無形のバックアップを行う。合同捜査本部では“4号”関連の全権を委ねられている。亡父も警察官だった。1974年4月18日、名古屋生まれの25歳（15話で26歳）。血液型ＡＢ型。



▶長野県警に現れた未確認生命体をヘリから狙撃。白のクウガ＝雄介に助けられる。1話。

▶血の匂いを好む第23号をおびき出す為に人工血液を川へと流す。自ら囮となる。14話。

▶バラのタトゥの女・未確認生命体B群1号と接触。謎めいた言葉を投げられる。

▶未確認生命体を倒し、無事に帰還した雄介と熱き友情のサムズアップを交わす。46話。

▲一条の情熱が警察の上層部を動かし、自ら新マシンを雄介の元へ届ける。33話。

▲フルートコンクールに出場する夏目実加に応援の花束を。隣席のあんこを先に食べるのが好きだという共通点に笑う。43話。

▲射撃の腕は百発百中。愛用の拳銃はコルトパイソン357マグナム6インチモデル。特殊強化ライフルも併用し、特殊ガス弾や筋肉弛緩弾、神経断裂弾などでクウガの危機を幾度も救う。

亀山鶴丸

一条を暴う21歳の巡査で長野県警時代の部下。遺跡から発掘された謎の破片＝ゴウラムの東京移送の警備を担当するが、逃げられてしまった。

一条民子

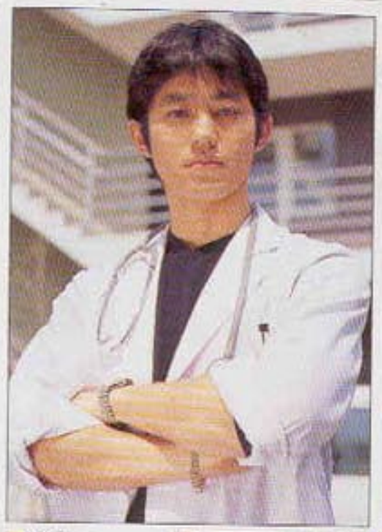
一条の母。名古屋西市民病院で看護婦長を勤める。息子の誕生日と同日の亡き夫の命日には毎年親子で墓参りをするのを恒例にしていた。51歳。

www.thatsoku.com

沢渡桜子

城南大学考古学研究室の大学院生。大学時代からの友人の雄介が身につけたクウガの力の謎を古代文字の解読で明らかにする。コーヒーはブラック党。1976年10月30日群馬生まれの23歳。血液型B型。

▲知らぬ間に第36号の殺人ゲームの標的となるが、間一髪でクウガに救われた。



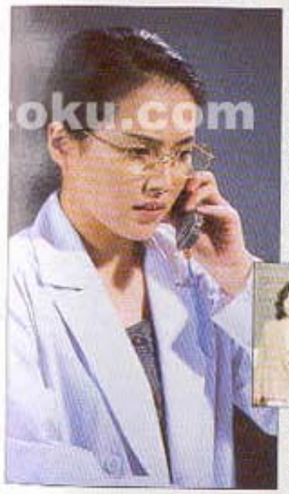
椿秀一

関東医大病院の医師。高校以来の親友の一条の依頼で雄介を検査。クウガの力を医学的に分析する。雄介の人柄と身体に惹かれ“世界で唯一の掛かりつけ”を自称した。紅茶はストレート派。26歳。

▲度重なる一条の呼出しで交際中の稲森麗子との仲は長続きはしなかったようだ。

五代みのり

雄介の唯一の肉親である妹（写真右）。豊島区内わかば保育園で元城恵子（写真左）と共に保育士として働く。クウガとなった兄を案じつつも絶対の信頼を寄せ、第26号によって雄介が死んだと知らされた時もその生還を信じ続けた。優しくも芯の強い性格。おやっさんからは“みのりっち”の愛称で呼ばれ、未確認の事件発生で不在になりがちな雄介に代わってポレポレを手伝う事も多い。1977年9月4日生まれの22歳。血液型はO型。



榎田ひかり

千葉の科学警察研究所（科警研）所属。一条とは旧知の仲。合同捜査本部の依頼を受け、未確認生命体関連の事物やゴウラムを調査研究。未確認生命体への様々な対抗策や対策装備を生み出して一条達の戦いを支えた。案外お茶目な性格の34歳。

▲夫とは離婚。仕事に追われ、最愛の息子の芳（6歳）と触れ合いが持てない事を悩む。

桜井剛・笹山望見・松倉貞雄・杉田守道

警視庁に設置された未確認生命体関連事件合同捜査本部の面々。写真左から、桜井は射撃が得意でパンが大好物の26歳の熱血刑事。通信担当の笹山は一条を慕う21歳。理解ある上司の松倉は捜査本部を束ねる57歳の本部長。クウガに命を救われてから、愛娘の葉月共々“4号”に親近感を抱くようになった杉田は37歳のベテラン刑事。一条の同僚である彼らもまた未確認の脅威に立ち向かう！

おやっさん

雄介が居候する喫茶店ポレポレのマスター。その独自のセンスで人をケムに巻き、クウガ関連の記事のスクラップ作成を趣味とする。就職試で判明した本名は“鈴玉三郎”。1955年6月9日生まれの44歳。血液型はA型。

朝日奈奈々

女優志望のおやっさんの姪。自称“五代雄介ファンクラブ会員第1号”。おやっさんの特異なボケに突っ込める稀有な存在。ポレポレでバイトしつつ芝居を勉強。ドラマ『おにぎりの味2』出演を射止めた。京都出身の17歳。

ジャン・ミッシェル・ソレル

城南大学で桜子と同じ考古学研究室に籍を置く留学生。好物は“梅肉の梅干”。ゴウラムの共同研究を通じて榎田の家庭の事情を知る事となる。

神崎昭二

2000年3月15日に2000の技を身に付けて再会する事を雄介が約束していた恩師。かつて雄介に教えたサムズアップの端に自ら励まされる。52歳。

蝶野潤一

何をしても長続きしない苛立ちや病を抱えた不安からか厭世的になり未確認に憧れた22歳の孤独な青年。雄介や椿との出会いが彼を変えていく。

夏目実加

未確認生命体事件の最初の被害者・夏目幸吉教授の娘。葬儀での彼女の涙が雄介に戦う決意をもたらした。雄介に励まされ父の志を継ごうと中学校の休憩中に遺跡調査に参加。フルートが得意な14歳。

グロンギ

西暦2000年、日本アルプスの九郎ヶ岳遺跡の封印が解かれ、200体余りが復活した超古代の戦闘民族。動植物の能力を持つ怪人に変身し独自の言葉を用いる。人間を「リント」と呼び、それを殺戮するゲーム＝"ゲゲル"を行い"ズ集団""メ集団""ゴ集団"等の階級を競う。警察は"未確認生命体"と呼称。

▲ダグバの力で現代に蘇る。陸上獣類＝ダ、昆虫類＝バ、水棲生物＝ギ、爬虫類＝レ、飛行生物＝グ、植物＝デに分類される。

■未確認生命体第1号 ズ・グムン・バ（クモ種怪人）

ビルの谷間に張った巣からバンジージャンプの如く急襲。初めての変身に戸惑うクウガと戦った。赤く変身したクウガとの再戦でキックを受け爆死。1・2話／198cm／196kg（声：坂口哲夫）。

▲口から吐く糸と手の甲の伸縮自在の爪で長野の警官を殺戮。銃も通じない強靭な肉体に、警察は全く成す術が無かった。

■人間体（B群2号）

日の光を嫌い、コウモリ傘と帽子とコートで完全防備。再ニゲゲル参戦を禁じられるがその命令を張り倒され続けた。

強化体

■人間体

◀発掘した頭の欠片を体内に埋め込み強化。体毛の薄くなった身体は陽光に耐え、逆げられた恨みを晴らすべく、同族に襲いかかる。36・37話／208cm／198kg。

究極体

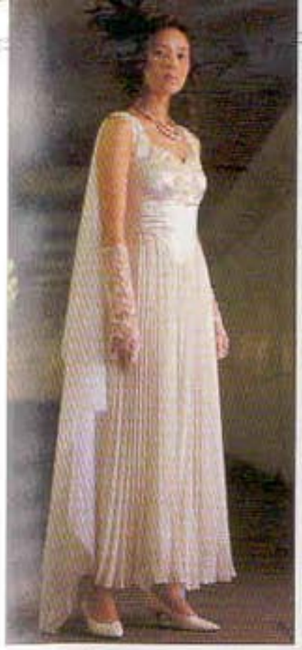
欠片の力で更なる強化を遂げ、ハイカーや警官を殺戮。クウガの攻撃が全く通じず、超音波発信装置で撹乱した隙を衝いての必殺キックも跳ね返した最終形態。ダグバに挑むが一瞬にして葬られた。38・39話／211cm／227kg。

■未確認生命体第3号 ズ・ゴオマ・グ（コウモリ種怪人）

生き血を吸う牙と鋭い爪、両腕の翼で空から人間を襲う。超音波を反射させ暗闇も自由に飛ぶが、強い光が苦手な夜行性。2話で朝陽を嫌い逃走。2～42話／206cm／167kg（演：藤王みつる）。

■人間体

www.thai-toku.com



■バラのタトゥの女 未確認生命体B群1号（ラ・バルバ・デ）

長野で復活した仲間を東京に集結させた。ゲゲルを司る存在。怪人体も存在するらしいが、その姿や能力は不明。『リントの戦士』と認めた一条に撃たれ海中へ没した。3～48話。

◀バラの花吹雪や蔦状に変化した腕が武器。指輪を怪人のベルトに押し当てゲゲル開始の合図としている。衣替えはゲゲルのレベルに応じて行っていたようだ。

■ヌ・ザジオ・レ（サンショウウオ種怪人）

"ヌ集団"の一人として、怪人達の使用する武器の調達・整備を行うのが役目。怪人体の姿や能力は不明。ン・ダグバ・ゼバのベルトの修復直後に殺害された。5～41話

■未確認生命体第5号 ズ・メビオ・ダ（ヒョウ種怪人）

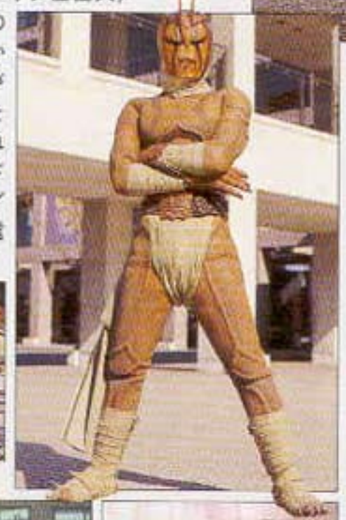
太腿のタトゥに触れた男を瞬殺、目の仇の警官を眼球をえぐって殺害。3～4話／203cm／172kg（演：白鳥智香子／声：西條久美子）。

▶時速270km/hの俊足を誇る。銃撃で右眼を負傷した恨みを晴らそうとするが、TRCS2000で駆けつけたクウガのマイティキックに敗れた。

■人間体

■未確認生命体第6号 ズ・バヅー・バ（バッタ種怪人）

25mの跳躍力を誇る驚異のジャンパー。人間を高所から墜落させ殺す。グロンギがある種の排煙に弱いことを初めて露呈。碑文に書かれた"青の力"スプラッシュドラゴンに敗れた。3～6話／204cm／185kg（演：小川信行）。



■人間体（B群5号）

▶ゲゲルの最初の挑戦者。全身を包む螺旋状の筋肉より生まれる素早い動きと跳躍力でクウガを追いつめる。

■人間体

▲毒針は一度発射すると再生に15分かかる為、連射出来ないのが弱点。羽根から発する超音波を探知され居場所を発見されてしまった。

■未確認生命体第14号 メ・バヂス・バ（ハチ種怪人）

メ集団のゲゲル初参加者。時速200km/hで飛行し、右腕の毒針を高度数千m上空から発射して人間を刺殺。クウガ（＝雄介）を殺そうとつけ狙うが"緑の力"によるブラストペガサスで狙撃され海へ落下、爆死した。7～8話／207cm／145kg（演：河合秀）。

■未確認生命体第21号
メ・ギイガ・ギ(イカ種怪人)

口から吐く体液で人間を爆殺する白銀の殺戮者。液の生成の際280度まで上がる体温調節の為の腹部の蒸気弁を貫かれ爆死。9〜10話／202cm／199kg（演：白井雅士）。

▲水中を高速移動し河川沿いでゲゲルを行った。新たな"紫の力"の生体鎧と一条との特訓で身につけた捨て身の戦法でクウガは爆液に対抗。打撃を吸収する柔軟な身体に鋭利なタイタンソードを叩き込む新技カラミティタイタンを見舞い、弱点の腹部を刺し貫いた。

■人間体

■人間体（B群3号）

▼マイティキックを跳ね返す肉体と腕力、鋭利な角が武器。警察犬に匂いを察知されゲゲルの資格を失うが、勝手に殺人を続けビランを怒らせた。仲間が日本語を覚え始めても頑としてグロンギ語を通す。

■未確認生命体第22号
ズ・ザイン・ダ(サイ種怪人)

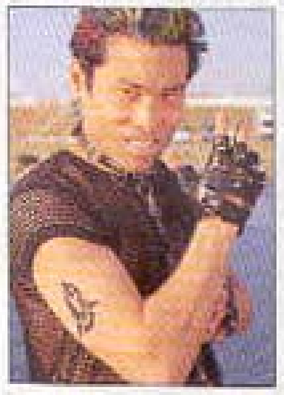
ズ集団最強怪人。トラックのアイドリングや工事の音を嫌い人々を殺戮。空中回転を加えた強化マイティキックに破れた。3〜12話／211cm／246kg（演：野上彰）

www.kai-toku.com

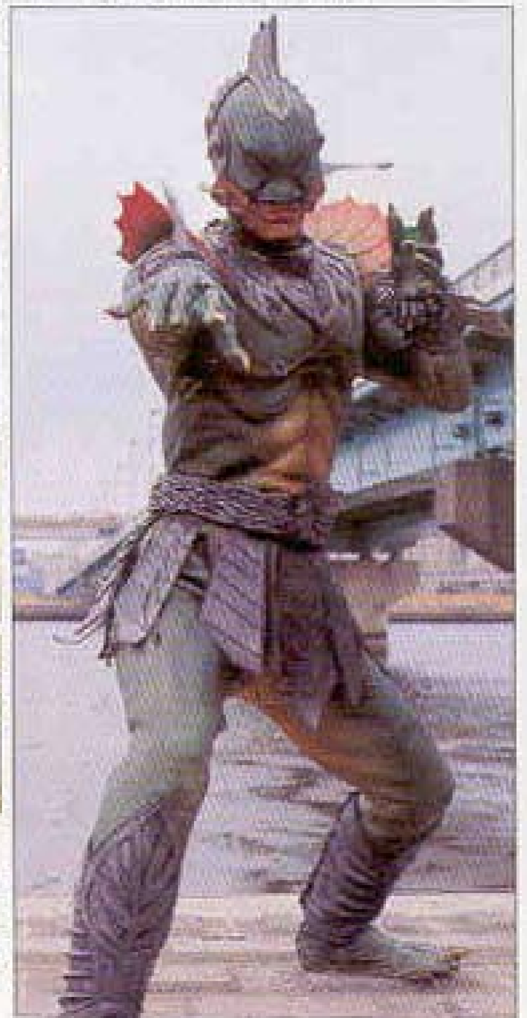
■未確認生命体第23号
メ・ビラン・ギ(ピラニア種怪人)

水中から水上バスの客や川辺に居た人間を襲った。血の匂いを好み人間を「獲物」と呼ぶ。スプラッシュドラゴンに敗北。7〜14話／196cm／188kg（演：大橋寛展）

■人間体（B群7号）

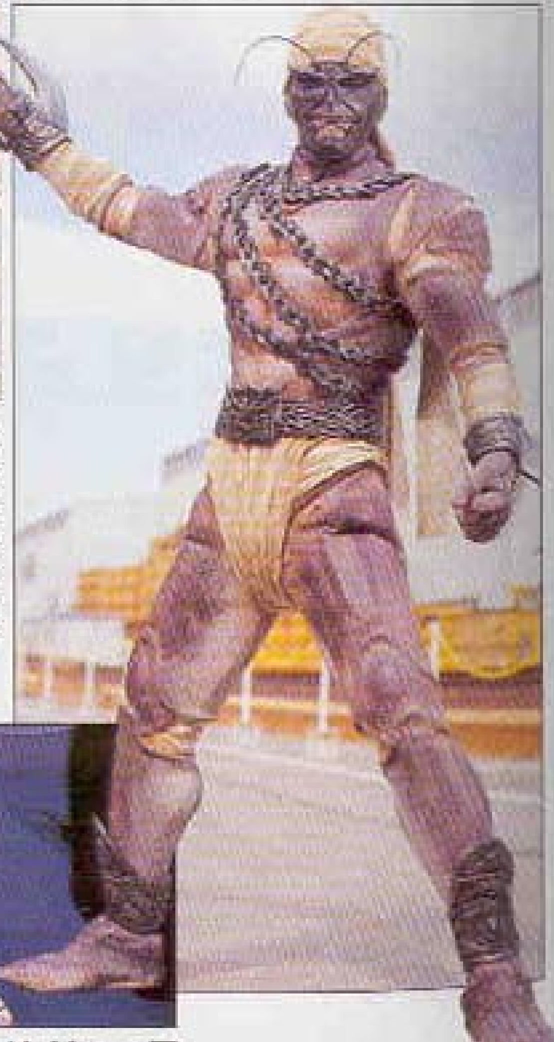


▲2日で180人を殺害するゲゲルに挑戦。強靭な牙と腕の鋭利なヒレで獲物を大切断。クウガの生体装甲も斬り裂いた。気が短くザインと幾度も衝突。特殊ガス弾に弱い。



▲自前の両手の力よりも車のバック走行による殺害にこだわる悪魔の背中を持つ男。ゴオマに揶揄されても「コレはコレでいいんだ」と日本語で答えたり安全ピンを腕に刺したりと、人間の作った物に異様な興味を示す。

■人間体



■未確認生命体第24号
メ・ギャリド・ギ(ヤドカリ種怪人)

盗んだトラックを運転、バック走行で人間を次々と轢き殺した。トライゴウラムの封印エネルギーを受けたトラックごと大爆発。13〜16話／身長202cm／体重196kg（演：石橋直）

■未確認生命体第25号
メ・ガドラ・ダ(トラ種怪人)

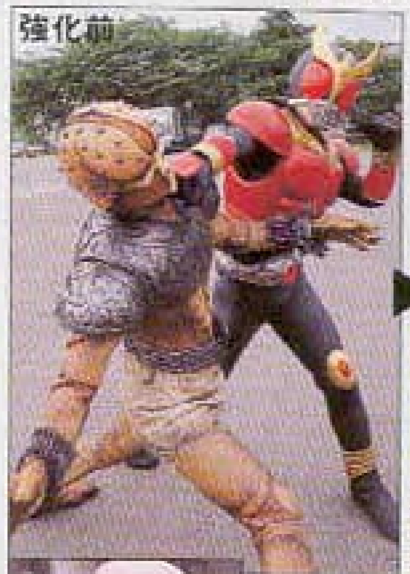
6時間で72人を殺害するゲゲルに挑戦。傷の数だけ強くなる事を信条とするが、その古傷にマイティキックを受け敗北。17話／205cm／215kg（演：西山義郎）

■人間体

▲TRCS2000の試作型インパネを破壊した腕の鉤で相手を撃ち、締め上げる。クウガと相撃ちになったパンチも強力。

■未確認生命体第26号A
メ・ギノガ・デ(キノコ種怪人)

猛毒の胞子を口移しで体内に送り込む"死の接吻"で人間のみならずクウガも犠牲にした。復活した白のクウガのキック3連発で倒された。18〜19話／209cm／138kg（演：青山雄）



▶当初は体質が虚弱で同族からも見下されていたが、攻撃を受ける度に強くなる性質を発揮。頭部の色を変化させ毒胞子の威力も強力になった。

■人間体

■未確認生命体第26号B
ギノガ変異体

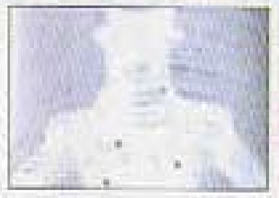
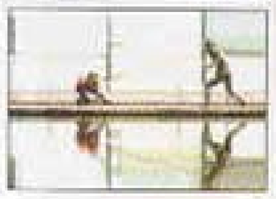
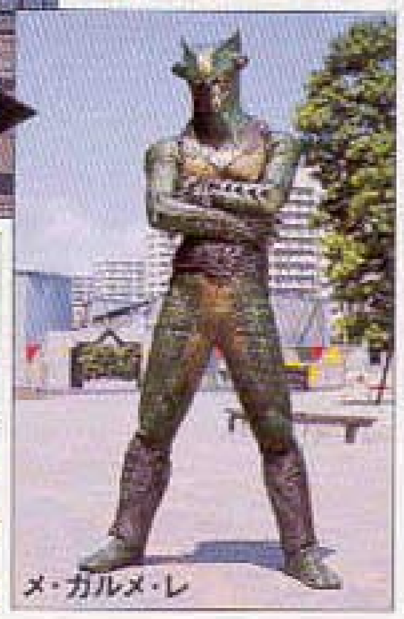
砕け散ったギノガの腕の破片が恐るべき生命力でクローン再生。知性は無く毒胞子も吐かないが、怪力で大暴れ。マイティキックを受けたが爆発せず最期はドロドロと溶けていった。20話／身長207cm／体重174kg。

■未確認生命体第31号
メ・ガルメ・レ(カメレオン種怪人)

周囲の色彩に溶けこんで姿を消し、伸縮自在の舌で獲物を引き寄せ殺す。ゴウラムと連携した緑のクウガに空中から狙撃された。3〜22話／200cm／200kg（演：森雅晴）

■人間体（B群4号）

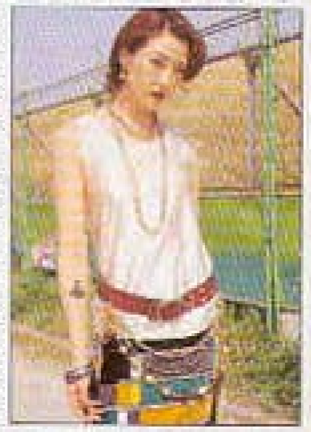
▶ゲゲルに成功し、ズからメ集団に昇格。強い光を浴びると5分間体色変化が不可能になるのが弱点。口が達者で「ズから這い上がった」と豪語。

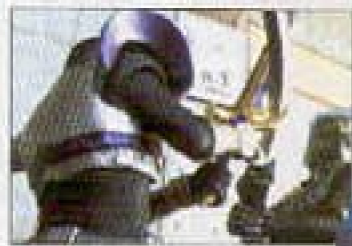
■未確認生命体第36号
メ・ガリマ・バ(カマキリ種怪人)

誇り高いメ集団最強怪人。ゴ集団流の武器（大鎌）とルールで人間を斬首。金の紫の力・ライジングカラミティタイタンで倒された。7〜24話／197cm／178kg（演：山口涼子）

■人間体（B群6号）



▼「振り向くな！」斬られた事を犠牲者自身が気付かぬ程の剣技で、同じ電車に乗り合わせ香の匂いをつけた人間の首を刈る。



■未確認生命体第47号
ラ・ドルド・グ(コンドル種怪人)

ゲゲルの犠牲者の数を"バグンダダ"なる道具で数える審判員。杉田と桜井の神経断裂弾で死亡。23～46話／身長213cm／体重188kg（演：婆娑羅天明）

▲ゴ集団の行う"ゲリザギバス・ゲゲル"が本人の申請した条件に則って行われたかを判定。一条にバグンダダを壊された責任を問われガドルと対決。武器はトンファー。

■人間体（B群9号）

■人間体

■未確認生命体第37号
ゴ・ブウロ・グ(フクロウ種怪人)

人間の心臓を狙い、体内で生成したペリットを上空から吹き矢で撃つ。ライジングブラストペガサスの連射を受け空中で大爆発。23～26話／身長207cm／体重168kg（演：高尾晃市）

◀東京23区をあいうえお順に各区9人ずつ襲い、5時間で126人を殺害。初戦はボウガンを受けた片翼を引き千切って逃亡、再生するまでカミュ大企業を踏んでいた怪鳥系。

■未確認生命体第38号
ゴ・ベミウ・ギ(ウミヘビ種怪人)

零下150度の鞭で心臓麻痺を起こさせる。ライジングスプラッシュドラゴンで海上遠く放られ爆死。25～28話／身長198cm／体重172kg（演：伊藤聖子）

▼水泳に来た人々をショパンの「革命のエチュード」の楽譜に準えて殺す、死のコンダクター。

■人間体

■人間体

▲ビルの屋上からルーレットの数字で選んだ地域に指輪を変化させた鉄球を投げ込み72時間で562人の殺害を目指す。

■未確認生命体第39号
ゴ・カメゴ・レ(カメ種怪人)

強靭な体と怪力でライジングカラミティタイタンをも跳ね返した。だがクウガの切り札ライジングマイティキックを受け大爆発した。25～30話／214cm／268kg（演：酒井一圭）

■未確認生命体第41号
ゴ・バター・ゴ(バッタ種怪人)

愛車バギブソンを駆り、バイクから引きずり降ろした人間を轢き殺す。BTCS2000とのバイクチェイスの果てにライジングマイティキックに敗北。21～33話／206cm／176kg（演：小川信行）

◀赤いマフラーをなびかせて、最期にクウガを挑発した挙句、変身ポーズまで披露。TRCS2000を駆るクウガを凌駕する能力のライダー。バターの兄らしい。

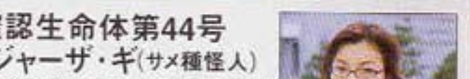
■人間体（B群8号）

■未確認生命体第43号
ゴ・ザザル・バ(サソリ種怪人)

耳飾りが変形させた鉤爪と強酸性の体液が武器。桜井とSAT狙撃班から中和弾を、クウガからライジングブラストペガサスを撃ち込まれ爆死。25～37話／187cm／168kg（演：朝倉ちあき）

■人間体

▼マニキュアと同色のタクシーやエレベーターなどの「動く箱」に乗った人間を跡形も無く溶かす。普段は怠惰だがキレると手がつけられない性格で、強化体ゴオマと大乱闘した。



■未確認生命体第42号
ゴ・ジャラジ・ダ（ヤマアラシ種怪人）

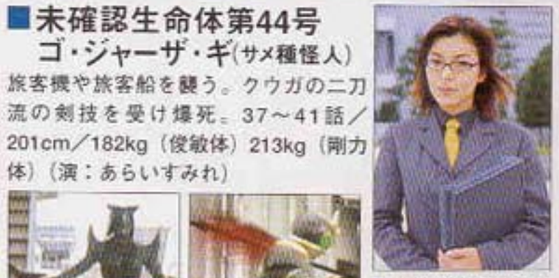
4日後に脳内で鉤状に変化する小さな針を人間の頭に埋め込み、恐怖に苦しみぬいて死ぬ姿を楽しむ。クウガの怒りの剣技で葬られた。25～35話／177cm／134kg（演：大川征義）

■人間体

▲緑川高校2年の生徒90人を12日間で殺害しようとした。動きが素早く、武器のダーツ状の針を投げつけて青のクウガを退けた。

■未確認生命体第44号
ゴ・ジャーザ・ギ(サメ種怪人)

旅客機や旅客船を襲う。クウガの二刀流の剣技を受け爆死。37～41話／201cm／182kg（俊敏体）213kg（剛力体）（演：あらいすみれ）



■人間体（B群10号）

▲ネット上で犯行予告。俊敏体と剛力体に変身し、装飾品を変化させた鎧と剣が武器。

剛力体

俊敏体

■未確認生命体第45号
ゴ・バベル・ダ(バッファロー種怪人)

地下街に閉じ込めた人々を大量撲殺。4日で千人以上の抹殺を図ったがライジングビートゴウラムアタックを受け、爆死した。37〜42話／（格闘体）213cm／223kg（剛力体）213cm／248kg（演：桜井顕生）。

▲格闘体はメリケンサック、剛力体はハンマーでクウガの生体装甲を傷付けた。一条の神経断裂弾のサポートが無ければクウガも危なかった。

■人間体（B群12号）

格闘体

剛力体

電撃体

▲電気エネルギーを得た最強形態。ゼンゲビ・ビブブ（電撃キック）でクウガを圧倒。眼は金色。

■未確認生命体第46号(B群11号)
ゴ・ガドル・バ(カブトムシ種怪人)

ゴ集団最強の存在として、他の怪人のゲゲルを見守っていた破壊のカリスマ。アメイジングマイティの両足キックに敗北。25〜46話／209cm／238kg（電撃体209cm／252kg）（演：軍司眞人）。

格闘体

ズ・ゴオマ・グ強化体を一蹴した基本形態。神経断裂弾を受けても気絶する程度。眼と宝玉はオレンジ色。

ラ・ドルド・グを粛清すべく、胸の装飾品を変形させた両刃のロッドで戦う。眼と宝玉は青色。

俊敏体

射撃体

ペガサスフォームに対抗すべく、胸の装飾品を変形させたボウガンから空気弾を放つ。眼と宝玉は緑色。

胸の装飾品や受け止めたタイタンソードを大剣に変え、クウガの生体装甲を斬り裂いた。眼と宝玉は紫色。

剛力体

■未確認生命体第Φ号
ン・ダグバ・ゼバ(究極の闇をもたらすもの)

グロンギの頂点に立つ者。アルティメットフォームのクウガと相撃ちし変身能力の源であるベルトを破壊しあう。人間の姿同士の死闘の末に死亡。1〜48話（演：浦井健治）。

▲超古代の封印が解け、彼が復活したことから全てが始まった。遺跡調査隊を惨殺し200体のグロンギを復活させたこの姿はまだ不完全であり、最終形態となるには破損した装飾品の修復が不可欠だった様だ。

▲黒い戦士アメイジングマイティに変化したクウガでも太刀打ち出来ない程強力。物質をプラズマ化する超自然発火能力による無差別の殺戮＝「究極の闇」をもたらす白い悪魔。

▲人間体の無邪気な笑顔の下には160体余りの同族を抹殺した、戦いと殺戮に無上の喜びを見い出す性質が隠れている。バラのタトゥの女と対等に会話しゲゲルの行末を見守る。

■人間体（B群13号）

■その他の未確認生命体

これまで紹介したほかにも、数多くの未確認生命体が警察によって確認されていた。そのほとんどは、新聞報道で大きく扱われた第13号ヤモリ種怪人ズ・ジャモル・レのように、クウガにより倒されている。しかし、第12号Aネズミ種怪人ズ・ネズマ・ダのように謎の爆死をしたものもいるので一概に断定は出来ないところであろう。また都内某所で展開された第40号イノシシ種怪人ゴ・ジイノ・ダとの戦いもまた、壮絶なものであったことが知られている。

未確認生命体第07号	ズ・グジル・ギ(クジラ種怪人)
未確認生命体第08号	ズ・ガルガ・ダ(カンガルー種怪人)
未確認生命体第09号	ズ・ミウジ・ギ(ウミウシ種怪人)
未確認生命体第10号	ズ・ガズボ・デ(ウツボカズラ種怪人)
未確認生命体第11号	ズ・ダーゴ・ギ(タコ種怪人)
未確認生命体第12号A	ズ・ネズマ・ダ(ネズミ種怪人)
未確認生命体第12号B	ズ・ネズモ・ダ(ネズミ種怪人)
未確認生命体第13号	ズ・ジャモル・レ(ヤモリ種怪人)
未確認生命体第15号	メ・アゴン・ギ(アンコウ種怪人)
未確認生命体第16号	メ・アグリ・ダ(アリクイ種怪人)
未確認生命体第17号	メ・イバエ・バ(ハエ種怪人)
未確認生命体第18号	メ・ガーゲ・レ(トカゲ種怪人)
未確認生命体第19号	メ・ムガド・バ(ムカデ種怪人)
未確認生命体第20号	メ・ゴリギ・バ(ゴキブリ種怪人)
未確認生命体第27号	メ・ガエラ・レ(カエル種怪人)
未確認生命体第28号	メ・ゾエビ・ギ(エビ種怪人)
未確認生命体第29号	メ・ウザー・ダ(ウサギ種怪人)
未確認生命体第30号	メ・デムド・バ(テントウムシ種怪人)
未確認生命体第32号	メ・ギネー・ダ(キツネ種怪人)
未確認生命体第33号	メ・ゲグラ・ギ(クラゲ種怪人)
未確認生命体第34号	メ・ガベリ・グ(ベリカン種怪人)
未確認生命体第35号	メ・ジュウマ・ダ(シマウマ種怪人)
未確認生命体第40号	ゴ・ジイノ・ダ(イノシシ種怪人)

www.thai-toku.com

COLUMN 21

21世紀の神話“アギト”

◀劇場版にのみ登場するライダー、G4。自衛官水城史朗（写真下）が装着。G3を生み出した小沢澄子が封印したシステムだが、自衛隊によって作られた。

◀三人のデザインは、それぞれ正統派（アギト）、メカニック（G3－X）、生物系（ギルス）と分けられる。これまでのシリーズで試行錯誤されたものを取り入れ、集大成と言うべきものになっている。

◀アギトに変身する津上翔一。記憶喪失ながらもうを一生懸命に生きようとする、またそのために戦う。

◀G3システム装着員の氷川誠警部補。ボ器用ながらも一直線に人命を守ろうとアンノウンと闘う。

◀ギルスに変身する葦原涼。過去を求めてさすらう彼。ふとした瞬間からアギトをつけ狙うようになる。

2000年、ファンの声や時代の要請を受け復活となった『クウガ』。そのヒットにより新世紀にもライダーの登場が実現した。それが最新作『仮面ライダーアギト』だ。

物語は、アンノウンと呼ばれる怪人たちとライダーが戦う……というストレートなものではなく、毎回毎回が見逃せないシリーズ通じての連続劇であり、謎また謎を呼ぶ物語や設定などにより、見応えのあるストーリーを展開。そして、それ以上に本作の特徴となるのが、三人の“仮面ライダー”が主人公となっていることであろう。

過去を失い、今を生きる男・津上翔一がアギトに。未来を守るためライダーになった男・氷川誠がG3に。今の自分を見つめ直すため、過去を求める男・葦原涼がギルスに――。

異なる立場の三人が、過去のシリーズのように、共闘するのではなくそれぞれの思いが重なり合い、ドラマを構成していくのも初の試みである。また三人のライダーに付随して、多彩な登場人物を配し、群像劇としても一級品のドラマを作り上げている。特にG3を中心としたドラマは刑事ドラマもかくやといった内容となっており、ライバルである北條透刑事とのかけあい（?）も見どころの一つとなっている。

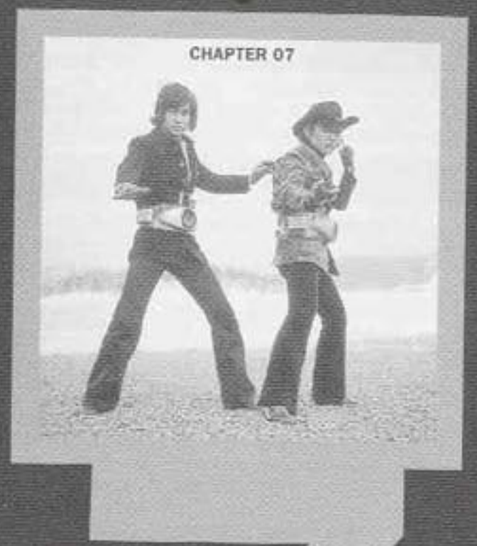
2001年8月現在、物語も後半戦となり、G3がG3－Xへとバージョンアップ。アギトもグランド、ストーム、フレイムの3フォーム、そしてトリニティを経て“力”の象徴バーニングフォーム、さらに最強のシャイニングフォームへとパワーアップ。アンノウンとの激しい戦いを予感させている。そしてそのアンノウンは、神にも等しい能力を持った存在として描かれ、彼らとの対決が石ノ森氏ならではの、神と人間との戦いを思わせる内容となっていることも注目であろう。

またTVだけではなく、久々となる劇場版の公開も楽しみなところだ（9月22日より全国東映系にて公開、併映『百獣戦隊ガオレンジャー』）。

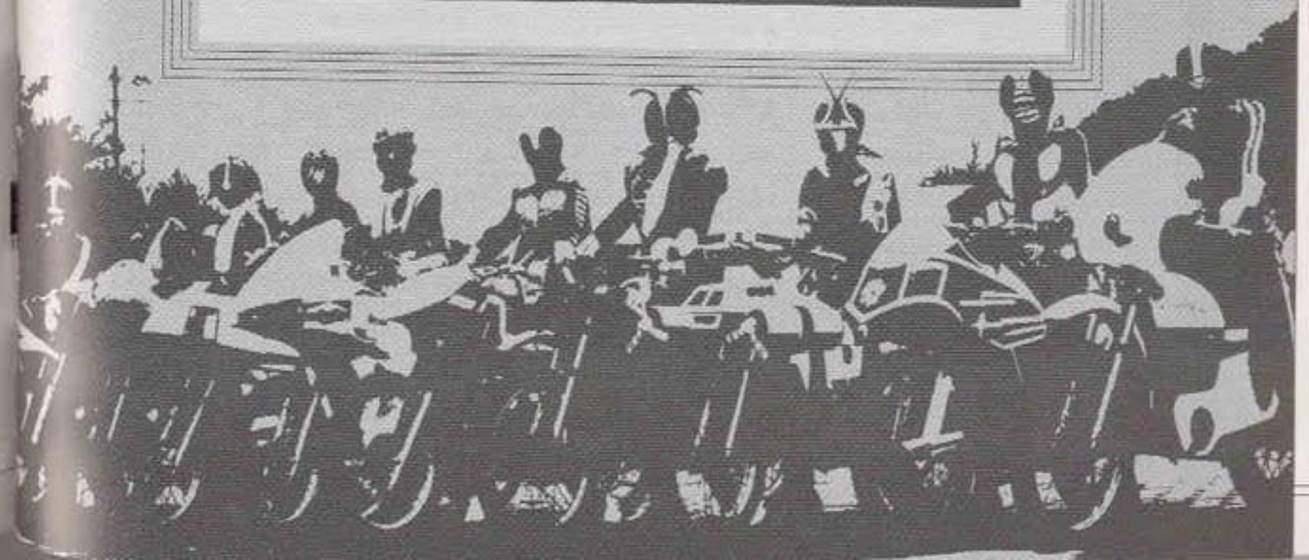
www.that-toku.com

1971~2000

CHAPTER 07



第7章

放映データ

索引